

演習林年報

2017年度活動報告等

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
2018.7

はじめに

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林は、1894年11月29日に日本初の大学演習林として千葉県清澄に設置されて以来、120年を超える歴史を刻んできました。気候帯や地域特性に応じて全国7か所に設置された地方演習林の面積の合計は、東京23区の面積の約半分に相当する32,300 haです。この広大な森林は、25名の専任教員、約70名の事務職員・技術職員と非常勤職員や研究員によって、地域の自治体や市民のご理解ご協力のもとで、教育研究の場として維持・活用されています。演習林の活動は、単に毎年行われる多様な学生実習のフィールドを提供したり、教職員自身が専門の研究をしたりすることだけではありません。持続可能な森林経営の実践的研究の場として、実際に伐採、植林や木材の販売を行っていますし、何世代も前の教職員が設置した固定試験地の成長記録や気象水文観測データなど、世界的にも貴重な長期観測を継続していますし、市民向けの観察会なども活発に行っています。こうした活動のためには、災害で崩落した林道の復旧や老朽化した橋梁や宿舍の更新など、インフラの維持管理も行っていかなければなりません。予算・人員ともに厳しい中で、教職員一丸となって地域のご協力のもと、効率的な管理運営に努めています。

演習林は、国立大学法人化や定員削減の進行という環境変化の中で、演習林の研究教育活動の持続性を担保し、さらに社会からの要請の変化に応じていくため、2007年度に「将来計画2007」を、2011年には「教育研究計画2011-2020」を策定して、それらの方針・計画にもとづいて管理運営されてきました。「教育研究計画2011-2020」は、従来、設置年度も管理運営方法も異なる地方演習林ごとに独自に定められていた「施業計画」に代わって、全演レベルで定めた初めての「教育研究計画」でした。2017年度は、その後半5年間の2年目にあたり、2015年度に実施した外部評価に基づく見直しを受けて、社会連携や国際対応の強化、教員の研究活動活性化、安全管理や広報活動の強化などに取り組んできました。国際対応の強化は、アジア大学演習林コンソーシアム、日本学術振興会 Core-to-core プログラムや本学の戦略的パートナーシッププログラムなどを通じた海外大学の演習林との教員・学生の派遣・受入、シンポジウムの開催、インターンシップ生の受入など、順調な発展を見せています。また、2017年度に研究科で開始された「農学コンテンツ構築事業」においては、千葉演習林の所蔵する植物標本画像や生態水文学研究所の水文観測データを「農学コンテンツ」がインターネット上に公開しました。

2018年度からは、本冊子にまとめられた演習林の現状と課題を踏まえて、「教育研究計画2021-2030」の策定に向けた検討を開始することとしています。

今後とも演習林へのご支援をお願いいたします。

2018年7月

東京大学 大学院農学生命科学研究科
附属演習林長 福田健二

目次

はじめに

演習林の概要	1
組織図.....	3
全演での取り組み.....	4
演習林活動の統計.....	8
演習林規則に則って開催された委員会・会議.....	10
その他委員会・会議.....	11

演習林の活動

各地方演習林活動

千葉演習林.....	14
北海道演習林.....	16
秩父演習林.....	18
田無演習林.....	20
生態水文学研究所.....	22
富士癒しの森研究所.....	24
樹芸研究所.....	26
教育研究センター.....	28

各常置委員会活動..... 30

資料

教育活動

大学院講義等.....	50
学部講義等.....	52
他大学の非常勤講師.....	55
その他の講義・実習対応.....	56
4研究室の所属メンバー.....	59
所属学生の学位論文.....	60
森林生態圏管理学大講座ゼミ.....	61
演習林教育研究センターゼミ.....	63
実習等.....	64

研究活動

教職員の論文等.....	67
学会発表等.....	71
著書.....	81
演習林を利用して行った論文等.....	82
受賞・特許等.....	87
外部資金によって行われた研究.....	88

社会連携

学外各種委員会等委員.....	92
小中高等学校への対応.....	94

公開講座・セミナー等	96
学会, 研修, 市民教育等における講師等(招待講演を含む)	98

管理

管理面積集計表・林相別蓄積集計表・植栽樹種	102
立木伐採量	103
育林実行量	104
素材生産総括表・土木実行総括表・道路現況	106
運営費予算配分額, 収入, 外部資金	107
演習林林産収入細分表	107
演習林技術職員等試験研究・研修会議	108

その他

国際交流

交流事業・国際シンポジウム・国際共同研究	112
海外渡航	114
外国人研究者の来訪	115

出版広報活動

演習林報告・演習林	117
科学の森ニュース	118
新聞・雑誌・放送等	119

安全衛生

安全・防災のための講習会等	120
資格取得のための講習等	120
災害統計・山火事予防活動	121

研修

技術職員	122
事務職員	122

組織図

企画部・教育研究センター	123
千葉演習林	124
北海道演習林	125
秩父演習林	126
田無演習林	126
生態水文学研究所	127
富士癒しの森研究所	127
樹芸研究所	127

人事異動	128
------	-----

利用状況

全利用者	129
各演習林所在地および連絡先	178

東京大学演習林の概要

1890年に東京農林学校が帝国大学と合併して農科大学となり、1894年にはその附属施設として日本で初めての大学演習林が房総半島の南東部に位置する清澄に設けられた。これが、今日の東京大学千葉演習林の始まりである。引き続いて、教育研究目的や森林の生態的な特性を考慮しながら、北海道演習林(1899年)、秩父演習林(1916年)、生態水文学研究所(1922年)、富士癒しの森研究所(1925年)、樹芸研究所(1943年)、田無演習林(1929年(演習林への移管は1982年))が設置され、さまざまな森林帯にわたる約32,000haの広大な面積の、世界的にも貴重で多様な森林資源を守り育ててきた。さらに、2000年度には大学院重点化が行われ、従来から関係の深い森林科学専攻ならびに関連分野の研究者との教育・研究協力関係を一段と発展させながら、大学院農学生命科学研究科の他の附属施設(農場, 牧場, 水産実験所, 動物医療センター, 緑地植物実験所)とともに生圏システム学専攻の協力講座として新たなスタートを切り、大学院教育にも主体的に参画している。現在、東京大学演習林は7つの地方演習林と企画部・教育研究センター(旧研究部)で構成されている。各地方演習林は、演習林全体としての共通理念に立脚しつつ、独自の教育研究計画に基づいて活動を行っている。

千葉演習林は、暖温帯に位置する総面積約2,200haの日本で最初の大学演習林である。スギ、ヒノキ、マツ類などの主要造林木の育成技術と持続的森林施業に関する試験を120年余にわたって実施してきた。また、モミ、ツガや広葉樹からなる貴重な天然林を有し、学内外のさまざまな分野の研究・教育に大きく貢献している。近年では、特に自然史や生態系に関する調査・研究を幅広く行っている。

北海道演習林は、亜寒帯に位置する総面積約23,000haの、東京大学では2番目に古い演習林である。択伐施業の実証的・理論的研究によって、林学と北方林業の発展に寄与してきた。各種の試験林が造成される一方、奥地天然林には11,000haの鳥獣保護区が設けられるなど北海道の森林動植物に関する各種の調査・研究に利用されている。特に1958年以降、北海道演習林の天然林全域を対象として、北方林の持つ環境保全機能と木材生産機能との調和を図る一大森林施業実験「林分施業法」を実施しており、その成果は国内外から高い評価を受けている。

秩父演習林は、冷温帯に位置し、総面積約5,800haと東京大学では2番目、青森県以南の大学演習林では最大の面積を有する演習林である。険しく多様な山岳地形の中にあるため、森林植生は変化に富み、生物相も多様である。大面積にわたる貴重な天然林を対象に森林生態系に関する調査・研究を数多く行っている。また、急傾斜の山岳林における人工林施業法、映像情報による森林情報の収集・蓄積・利用などに関する研究も行っている。

田無演習林は、本学農学部にもっとも近い西東京市に設けられている総面積約9haの演習林である。アクセスの良さや、土地が平坦なことから、圃場を中心とした造林学実験、森林動物学実験、フィールド農学応用実習、緑地環境実地実習といった生物系の実習や、都市林であることを生かした教養学部前期課程学生向けの全学ゼミナールに利用されている。樹木生理や解剖観察、微生物培養、DNA分析などのための実験設備も整備している。

2017年度 演習林の概要

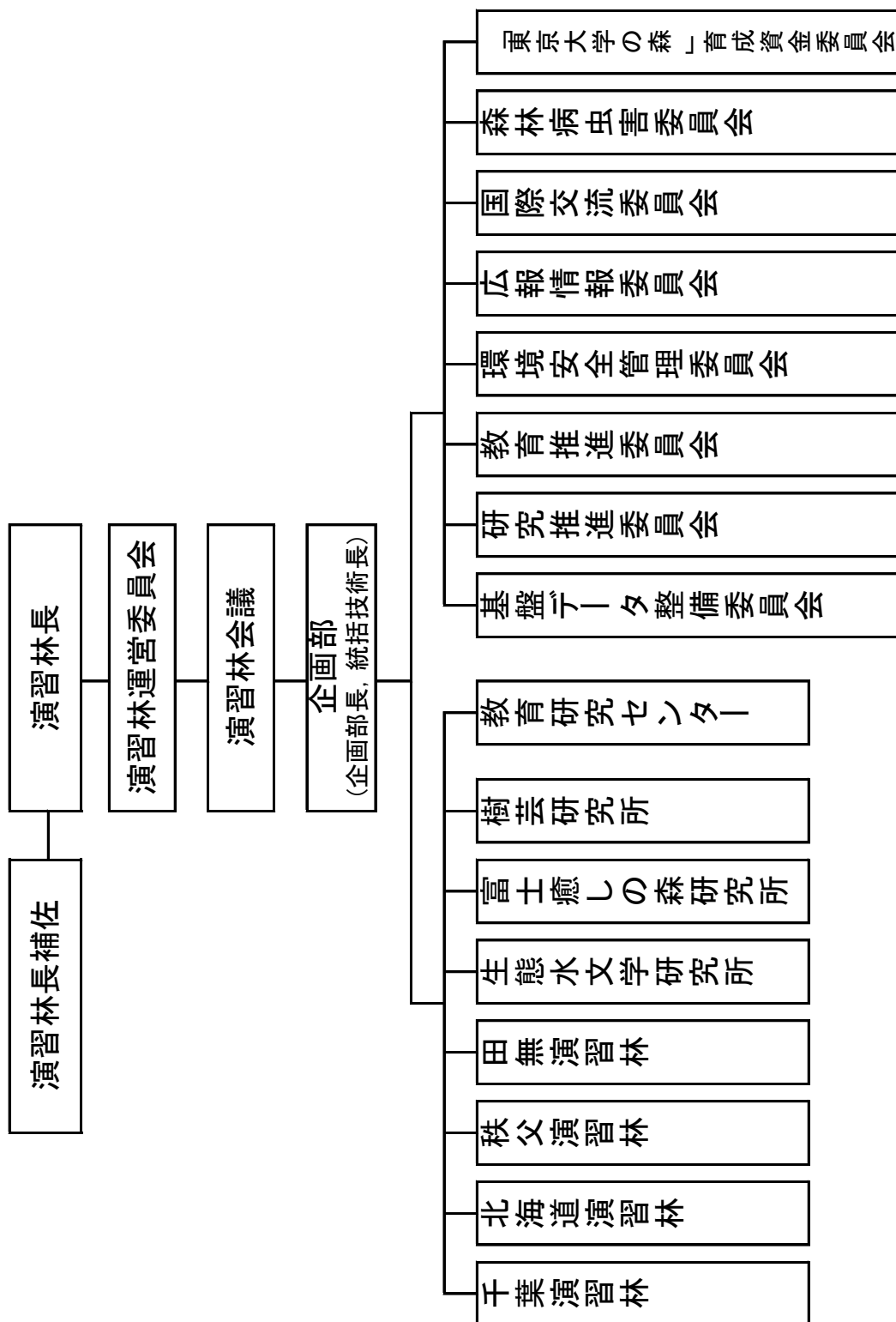
生態水文学研究所は、愛知県の尾張東部・北部丘陵に位置する総面積約1,300haの演習林である。林種は、荒廃山地(ハゲ山)から砂防植栽等により回復し、遷移した天然生林(76%)とヒノキやスギの人工林(24%)となっている。1922年の設置後まもなく、演習林内の山地流域からの水流出量の観測が順次開始され、3流域については現在まで観測が継続している。それらの長期水文データを基礎として、森林生態系に流入・循環・移動・流出する水、栄養塩、炭素、土壌、土砂、エネルギーの収支や時間変化、プロセス、メカニズムに関する様々な研究が行われている。また、森と水の自然科学教育、森と水と人の関係についての人文・社会科学教育の拠点となっている。

富士癒しの森研究所は、富士山麓山中湖畔に位置する総面積約40haの演習林である。立地条件を生かして森林の保健休養機能の解析や景観評価、環境教育に関する研究を行っている。また、演習林の一部には東京大学の学生・教職員の休養施設が設置され活用されている。

樹芸研究所は、伊豆半島南端の温暖な地にある総面積約250haの演習林である。樟脳生産のために1900年初頭に植栽されたクスノキ林と1980年代に現地適応試験のために植栽されたユーカリ属70種の生き残りが特徴の一つである。一方、組織の大きな特徴はエフォートの50%を教育に割くことである。教養学部前期課程の1,2年生向けの全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ」と国際開発農学専修3年生向けの森林実習を担当している。どちらも興味を中心が必ずしも森林ではない学生に対して、森林・林業のことを自分事として捉えるキッカケを与えることを大切に考えている。ユーカリとクスノキはそれらの重要な教材となっている。

農学部(弥生)キャンパスに設置されている企画部・教育研究センターは、東京大学演習林の教育研究活動をつなぐ拠点として、演習林全体の試験研究計画の円滑な実行を支援している。さらに、多方面の演習林利用希望者の便宜をはかること、共同研究の企画調整、各演習林の気象等観測結果のデータベース化と観測・研究成果の公表の場としての「演習林報告」および「演習林」の編集・発行、インターネット等を利用した情報公開促進・広報等、東京大学演習林全体に関わるさまざまな役割を担っている。

組織図



全演での取り組み

2017年度は東京大学演習林の「教育研究計画 2011-2020」後半5年間の2年目にあたる。2015年度に実施した外部評価の結果を踏まえて上記計画の部分的な見直しを行い、次期教育研究計画をも視野に置いた活動をスタートさせた。見直し結果の詳細は演習林59号に報告しているが、このうち「全演的な取り組み」に関する「見直しの基本方針」は表1に示した通りである。

基本的には計画前半の流れを維持しつつ、社会連携の強化、国際対応の強化、教員の研究活動活発化そして安全管理の強化をはかっていくことが主な見直し内容となる。具体的には、広報活動を効率的に活発化させ社会への発信力を高めること、海外からの研究者や学生の受入をより活発に行っていくために施設整備を進め受入プログラムを提供していくこと、教員のサバティカル制度の活用を促進すること、研究科の安全衛生管理に対応するだけでなく演習林独自の安全衛生管理の取り組みを強化すること、などがあげられる。これらの内容に関わる2017年度の主な取り組みを以下に挙げる。

1. 広報活動の活性化

演習林出版局が発行する書籍を購入できる書店の拡大を図り、千葉県立中央博物館ミュージアムショップ、東大生協駒場書籍部で新たに販売を開始した。また3月1日に弥生講堂にて一般向けのシンポジウムを開催し、関連する書籍を東大生協農学部店にて販売した。

2. 海外からの研究者、学生の受け入れ等

外国人研究者として米国から特任准教授を1名、中国から特任教授を1名受け入れた。サマースクールの受入プログラムとして国際短期プログラム「東京大学演習林－国立台湾大学実験林を利用した相互補完的な森林・林業・林産教育」(2017年9月)を申請し、認められた。このプログラムによって国立台湾大学からサマースクールを学部生5名、大学院生5名の計10名受け入れた。インターンシップの受入プログラムとして国際短期プログラム「The University of Tokyo Forests Field Education Program」(2017年4～9月、「The University of Tokyo Forests Field Education Program Phase II」(2018年2月～2019年1月)を申請し、認められた。このプログラムによって、インターンシップの学生をフランスから2名、英国から1名、マレーシアから4名受け入れた。これらの研究者・学生が滞在する施設として大学院農学生命科学研究科の施設整備(修繕)準備金により設置された北海道演習林山部国際宿泊施設の運用を開始した。

なお2016～18年度の3年間で採択されたJSPSのアジア・アフリカ拠点形成事業「アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把握する長期観測フィールドのネットワーク構築」は2年目の活動を行い、5月にソウル国立大学でワークショップ、11月にカセサート大学でシンポジウムを行ったほか、3月に弥生キャンパスで中間総括シンポジウムを行い、観測フィールドのネットワークの進捗状況を共有したほか、学会誌の特集号の提案や書籍の出版など共同研究成果の公表手段についても議論している。

3. サバティカル制度の活用

演習林長を座長とし4名の演習林教員からなるワーキンググループが組織され、検討が進んだ。2018年度当初には演習林としての制度を提案できる見込みである。またそれと並行して2018年7月～19年5月の11カ月間の教員1名のサバティカルの申請が演習林内での合意の上で研究科に提出され、認められた。

4. 安全衛生管理の取り組み強化

安全衛生管理については、環境安全管理委員会の委員長が地方演習林に出向いて視察および意見交換を行う活動を開始した。2017年度は3月に生態水文学研究所を訪問し、教職員と安全管

理に関する意見交換を行った。2018 年度以降も順次地方演習林を回り、各々の演習林ならではの安全管理の重要課題の洗い出しや対策に関する協議へとつなげていく予定である。

また、研究科で調査された教育研究活動における無人航空機利用の実態調査、木材加工用機械の現状調査について、演習林でも情報の集約を行った。

最後に、2018 年度の概算要求で「森林生物多様性国際教育研究施設」として概算要求にあげていた秩父演習林影森地区の教育研究施設の新築要求については、採択には至らなかったが、2019 年度の概算要求でも引き続き「森林生物多様性国際教育研究施設」という名称で要求を提出した。

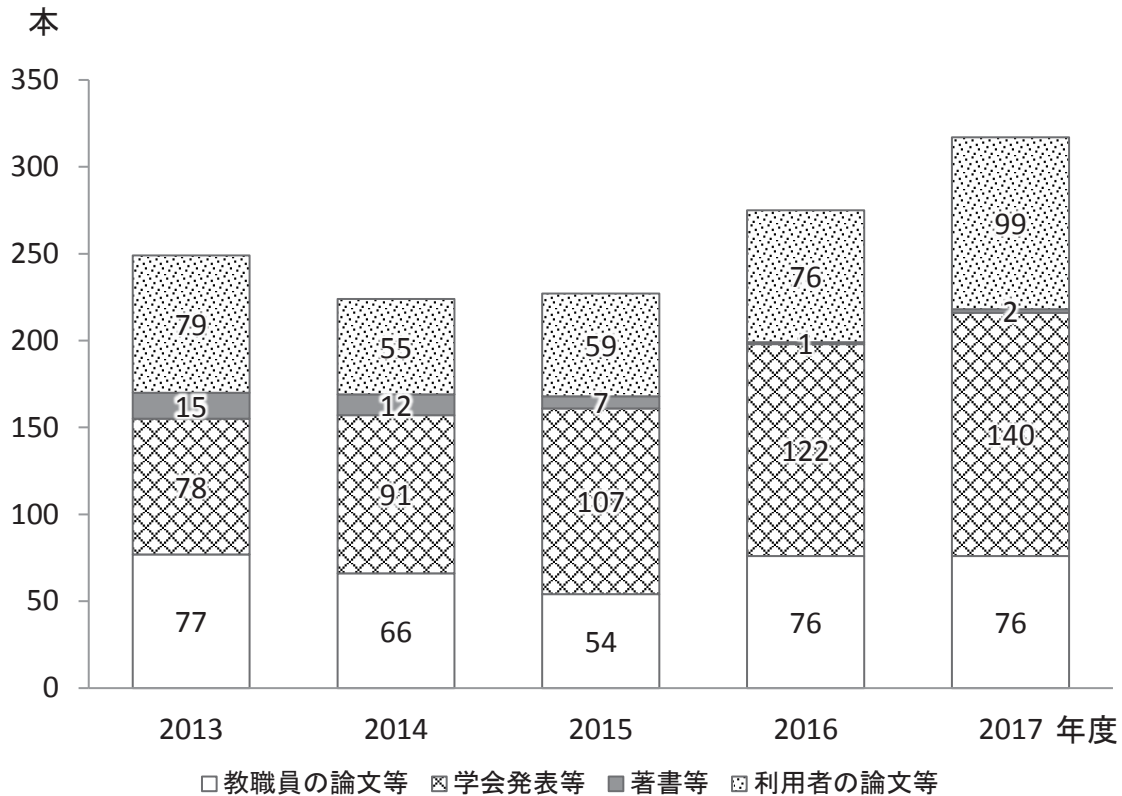
表1 「教育研究計画2011-2020」後半に向けての修正(全演の取り組み)

項目	見直しの基本方針等
全体	<p>○「基本的な理念」に掲げたミッション、キーワードを演習林運営の基本的な姿勢として後半5年間も堅持する。</p> <p>○7演習林体制を基礎に全演横断的な活動を常置委員会を中心として行っていく体制を後半5年間も維持する。</p> <p>○2011～2020年計画にのっとり水文・水質部門の基盤データ整備を行ってきた。後半5年間も計画に沿ってデータ取得、整備を進める。【基盤データ委員会水文・水質部門】</p> <p>○組織、バックアップを含む機器といった観測体制については整備が進んでいる。今後は、部門で確認した「気象観測指針」に基づき観測、機器および露場のメンテナンスを確実に実行し、精度の維持・向上を図る。また、データ保存状況を確認し、保存、公開、修正の体制を整える。【基盤データ整備委員会気象部門】</p> <p>○外部向けの発信力を高めるために、全演ホームページをさらに充実させる。また、研究科や大学本部の広報とも連携し、速報性のある情報をより外部に発信できる仕組みを検討する。【広報情報委員会】</p> <p>○演習林の活動をよりアピールするため、演習林年報の構成を変え、前半に当該年度の演習林全体のトピックス、視覚的な統計データなどが見えるようにする。【広報情報委員会】</p>
教育	<p>○これまで積極的に取り組んできた教養学部前期課程の全学体験ゼミナールや全学的に実施されている学生の体験活動プログラム等のフィールド体験教育を今後も推進する。</p> <p>○全国大学演習林協議会が行っている「公開森林実習」について、7番目の項目として位置づけ、企画部・教育研究センターと連携しつつ取り組む。【教育推進委員会】</p> <p>○アジア大学演習林コンソーシウムに参加している大学の学生等を対象とした国際トレーニングワークショップ、若手研究者育成プログラム等の企画・実施について、8番目の項目として位置づけて取り組む。【教育推進委員会】</p>
研究	<p>○国際交流への取り組みを積極的に進める。具体的にはアジア大学演習林コンソーシウムや台湾大学とのパートナーシップ強化などこれまで進めてきた国際交流活動をより活性化させ共同研究へと結びつけていく。また新たな国際共同研究のパートナーの開拓や共同研究者の受け入れ等の活動も他の業務とのバランスを考慮しつつ積極的に取り組んでいく。【国際交流委員会】</p> <p>○教員の研究活動の活性化に向けエフォート管理の充実やサバティカル制度の活用について検討する。</p> <p>○地方演習林がその役割分担を果たすべく核として行っている研究活動への全演的なバックアップ体制について検討する。</p> <p>○ホームページ等で研究成果を早く、アピールするための仕組みを検討する。【広報情報委員会】</p> <p>○昆虫分野については、当初は2008年度から2010年度までの3年間で公表する予定となっていたが、同一地点での採集を2012年度まで5年間続けているため、5年間でリストを公表することにした。しかし、現在のところ、後半2年分の同定が済んでおらず、同定終了後に公表する予定である。【基盤データ整備委員会生物部門】</p> <p>○研究推進委員会の活動方針を明文化する。【研究推進委員会】</p>
社会連携・貢献	<p>○研究成果の社会への発信を含め広報活動をより活発化させる。特に学外向けの広報には新たなメディアの開拓を含めコスト増をおさえつつ効果を上げられる広報活動を検討する。</p> <p>○科学の森ニュース編集委員会の役割を明確にし、より魅力的な記事が掲載できる仕組みを作る。【広報情報委員会】</p> <p>○利用実績の集計について検討を行い、よりの確なデータを効率的に取得できるようなシステムを構築する。【広報情報委員会】</p>

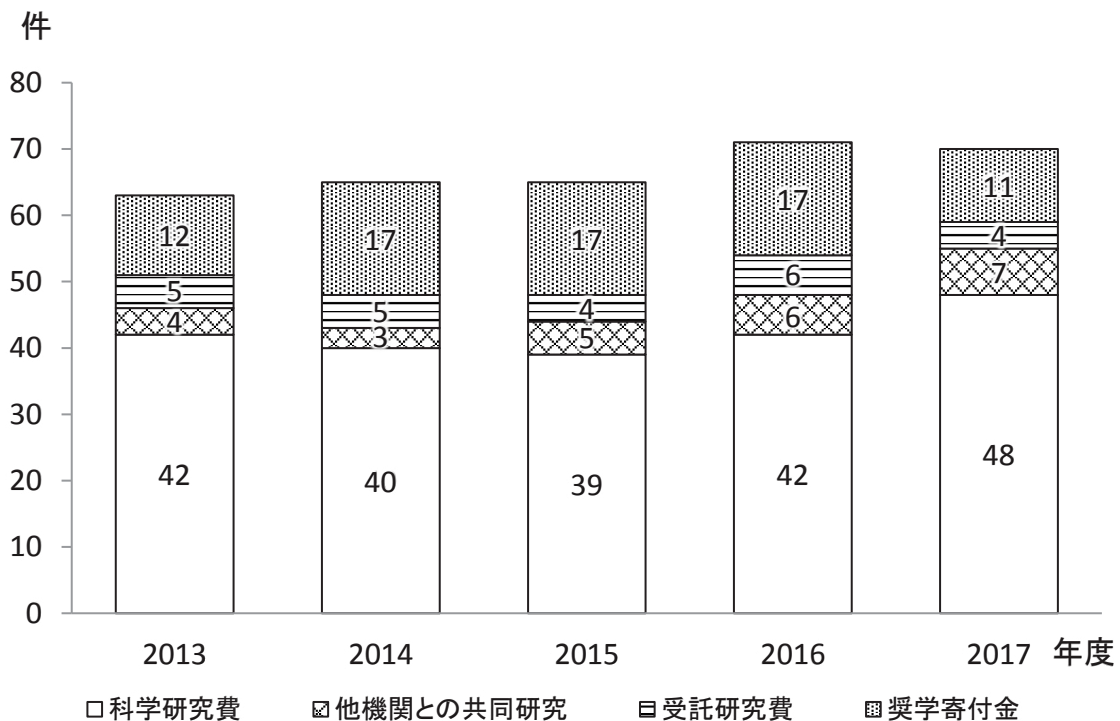
管理・運営	<p>○「技術職員削減」への対応についても附属演習林の任務を果たすために必要なポストや人材の確保に取り組んでいく。</p> <p>○特に安全衛生管理面からは必要不可欠な人員の確保に取り組んでいくとともに、災害を防ぐための活動をこれまで以上に進めていく。</p> <p>○観測精度維持のため、観測機器の定期的な更新や、観測方法の講習を検討する。 【基盤データ整備委員会水文・水質部門】</p> <p>○今計画期中に千葉演習林で死亡事故が発生した。このことからこれまでの安全管理体制が完全なものではないことが明らかとなった。研究科環境安全管理室との連携の下、再発防止を含めたリスク管理の検討を行った。フィールドには危険があること、どういった所はどういった危険があるかについて演習林は利用者に対して注意喚起する責任があることが確認された。【環境安全管理委員会】</p>
その他	<p>○教員総会に関する記述について、計画当時とは位置づけが変更されているので、必要な修正を行う。【教育推進委員会】</p>

2017年度 演習林活動の統計

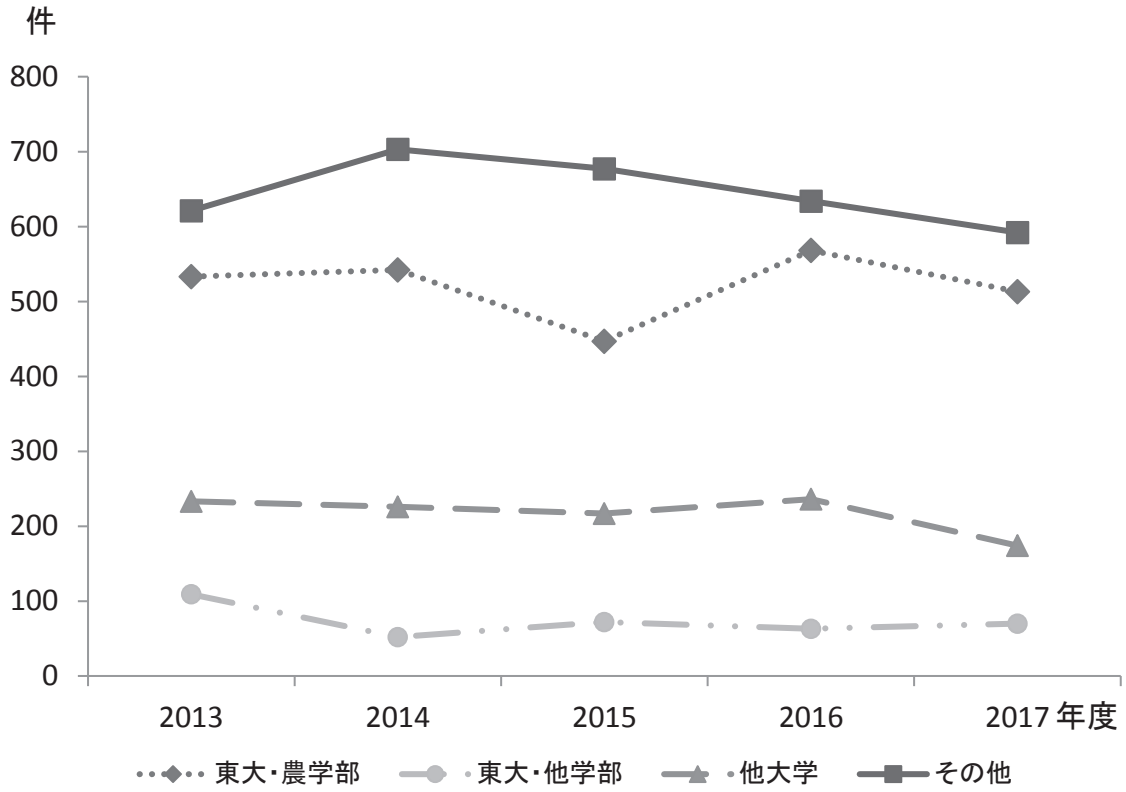
演習林活動の統計



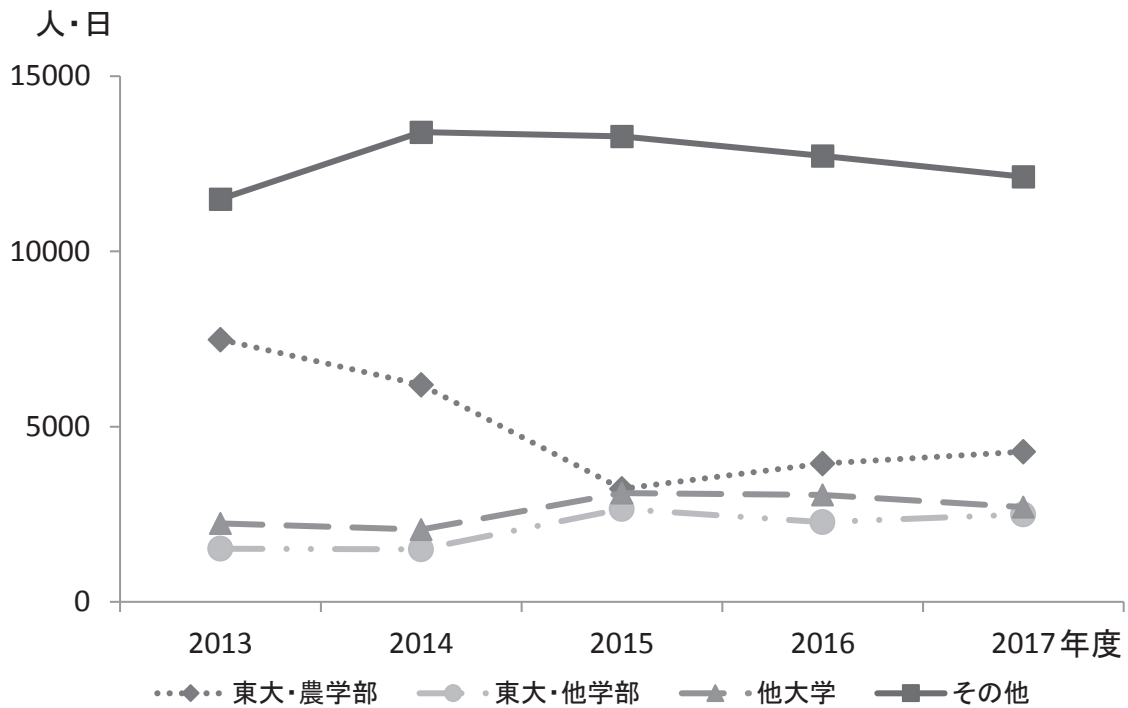
教職員の論文・学会発表・著書等の本数



外部研究費の獲得数



利用件数



利用者のべ人数

ただしロードレース大会利用人数(富士癒しの森研究所 2017年度は11670名)を除く

演習林規則に則って開催された委員会・会議

運営委員会

演習林規則第 5 条により設置されている演習林の管理および運営に関する最高議決機関である。委員は演習林の教授・准教授のほか研究科長が推薦する研究科の教授または准教授(10 名以内)と演習林統括技術長, 研究科事務部長であり, 演習林長が委員長を務める。今年度は 2018 年 3 月 15 日(木)に開催し, 地方演習林と常置委員会を軸とする演習林の管理および運営に関する重要事項の審議を行った。

演習林会議

演習林規則第 6 条により設置されている演習林の管理および運営の実務に関する事項を審議決定する期間である。議員は演習林長, 演習林長補佐, 演習林所属の教授, 准教授, 講師, 演習林統括技術長のほか演習林長が必要と認めた者となる(今年度は研究科総務附属施設担当副課長が指名された)。演習林長が議長を務める。原則として毎月 1 回(8 月をのぞく)教授会開催日の前日に開催する。今年度は 11 回開催した。

その他委員会・会議

技術主任会議

統括技術長と地方演習林技術主任により森林管理・技術主任組織等に関する諸問題を検討する。今年度は7月27日(木)に開催し、翌7月28日(金)に事務担当者・技術主任合同会議を開催した。

事務担当者連絡会議

大学院農学生命科学事務担当者による会議であり地方演習林事務担当者を含めて事務処理遂行上の問題点等について報告、意見交換を行う。通常年1回、当初予算決定後に開催されていたが、今年度は昨年度に引き続き、研究科事務の意向により開催されなかった。なお2018年度以降は隔年開催される予定である。

技術職員等試験研究・研修会議

技術職員等による研究報告と情報交換、技術研修等を目的に年1回開催する。今年度は12月7日(木)から8日(金)にかけて樹芸研究所・下賀茂寮を会場に開催した。

演習林編集委員会

「東京大学農学部演習林報告」と「演習林」の編集発行を行っている。委員は演習林の教授・准教授のほか関連専攻から推薦された教授・准教授(7名)と編集委員長が指名する者となる。原則として奇数月に開催し、今年度は6回開催した。

科学の森ニュース編集委員会

広報誌「科学の森ニュース」の編集に当たっている。必要に応じて電子メールのやり取りを中心に編集作業を行ってきたが、今年度は科学の森ニュースの編集のタイミングに合わせ3ヵ月に1回合計4回のテレビ会議を実施した。

ネットワーク委員会

演習林内のネットワークに関する問題の対応、メールアドレス管理等の他、研究科マルチメディア委員会の対応等を行っている。

■ 演習林の活動 ■

■各地方演習林活動■

千葉演習林

【教育】

教養教育として全学体験ゼミナール5科目(危険生物の知識(春編), フィールドで考える野生動物の保護管理, 危険生物の知識(秋編), 房総の森と生業(なりわい)を学ぶ, 君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか?(入門編))と総合科目1科目(森林環境資源学)を主体的に実施した。これらの現地実習は多様なフィールド学習や課題解決型学習を含む最長3泊4日の内容であり, のべ255人日が利用した。専門教育として, 農学部3科目(造林学実験, 森林植物学実験, 森林経理学実習), 理学部1科目(地球惑星環境学野外調査I), 大学院農学生命科学研究科1科目(生圏システム学特論)と新領域創成科学研究科3科目(地域自然誌論, 自然環境学実習, 陸域生態学実習)の計8科目を実施し, のべ424人日が利用した。また他大学の実習3科目(宇都宮大学, 京都大学, 千葉大学)でのべ318人日が利用した。

学生の研究活動として, 卒論研究2件, 修論研究8件, 博論研究4件の利用があり, 安全管理, 観測補助, フィールド情報等提供, データ提供などの研究支援活動を行った。

【研究】

研究課題のうち①「持続可能な人工林経営を实践する理論と技術の高度化」では, 高齢人工林混交化試験地の観測や, 集約的管理を実施するモデル林の検討を行った。②「林木の育種と増殖技術の開発」では, 抵抗性クロマツ選抜では千葉県との共同研究で一次検定に4系統が合格したが, 林木育種センターでの二次検定を受けた2系統は合格に至らなかった。また, 選抜を効率的に実施するため接ぎ木手法について検討した。千葉演習林産抵抗性アカマツの苗木のコンテナ苗生産方法の試験を開始した。宮崎県でのコンテナ苗生産現場を視察した。採種園の再評価および整備を開始した。③「絶滅危惧植物の保全に関する研究」では, 千葉県のヒメコマツ保全協議会として系統保存や観察会開催の取り組みを行うとともに, 引き続きさし木での増殖条件の検討を行った。④「房総丘陵における暖温帯林生態系の保全・管理」ではカメラトラップ法でのシカ生息数調査を試行した。

「基盤データ整備」として, 気象部門では, 札郷に観測タワーを新設し, 予備雨量観測装置を更新した。清澄では観測装置の更新を行った。生物部門の植物部門では, ハーバリウムコードの取得に向けて登録方法に関する情報収集を行った。脊椎動物分野では, I種調査として自動撮影カメラによる調査(6種確認)と, ハーブトラップを用いたコウモリ捕獲調査(3種確認)を行った。また, II種調査として目撃情報の記録を行った(5種確認)。鳥類分野では4月から6月の繁殖シーズンにおいて早朝にポイントセンサス調査と日常業務中の任意調査を実施し, 12月までの合計で26科44種確認した。昆虫分野では, ピットフォールトラップを用いた地表徘徊性甲虫調査を5月~11月の間で4回実施し, 採集したオサムシ科のタウ標本を作製した。また, これまで千葉演習林を利用した研究論文からの甲虫相のリスト化を継続中である。GIS部門では, 他演への支援と森林情報士の取得をおこなった。また, GIS操作技術向上のための内部研修会を3回実施し, 基本的な操作方法やGISの講義をおこなった。全演的な支援のための指導者養成研修として, 富士癒しの森にて「回転翼型小型無人航空機(ドローン)を用いた空中写真撮影とデータ解析」について受講した。

【社会連携】

昨年度の秋に「清澄一郷台ルート」において試行的に開催した一般公開を、今年度は4月下旬に時期を変更して開催した。8月には千葉大学海洋バイオシステム研究センターとの共催事業として「高校生のための森と海のゼミナール～大学の先生と考える環境問題と生物多様性～」を開催した。昨年度から開始した学内向けイベント「千葉演習林で楽しむ紅葉とランチ」を12月上旬に実施した。森林博物資料館一般公開を2月に開催した。地域交流協定を締結している鴨川市とは共催事業「野鳥の巣箱をかけよう」と交流事業「東京大学・小石川植物園見学ツアー」を実施した。また、地元の天津小学校5年生とその保護者を対象とした体験型イベント「緑の教室」を実施した。本イベントは今年度で20年連続の開催となった。同じく地域交流協定を締結している君津市とは地元の坂畑小学校5・6年生を対象としたスクールミュージアム事業「演習林見学会」を実施した。千葉演習林ボランティア会 Abics とは緊密に連携を取りながら活動を行い、一般公開・緑の教室等のイベントや試験地の除草作業等に協力していただいた。その他、千葉県立君津青葉高校「校外実習」、内浦山県民の森主催イベント、木更津市立金田公民館主催イベント等の外部利用者の利用を受け入れた。

【施業管理】

伐採・主伐はおこなっていない。2018年度に相ノ沢(10林班 C4 小班)の主伐を予定しており、今年度は当該主伐林分の毎木調査を行った。新植、下刈り、除伐、保育間伐に関しては、表-1の林分を対象に直営及び実習でおこなった。新植地では地拵えを行い、一部に防獣柵(総延長約120m)を設置した。

(表-1)2017年度育林実行量(2018年2月現在)

作業種	地拵え・新植	下刈り	除伐	保育間伐
林齢	-	1～3	8	29～37
面積(ha)	0.37	1.44	0.05	2.35

【その他】

本年度、千葉演習林ホームページの刷新と試験地・研究紹介(視察案内)の刷新を行った。

施設改修では清澄学生寄宿舎のトイレ改修工事やシャワー室増設工事を行い、外国人の受入体制を整えた。また懸案であった安野橋の架け替え工事を市町村交付金相当額予算によって実施完了した。

千葉演習林では4件の災害が発生した。そのうち2件はハチ刺され、1件は自動車追突事故、1件はチェーンソー破損事故で、いずれも重大事故には至らなかった。ハチアレルギー検査をエピペンを処方されていない教職員に行った結果、2名にアレルギー反応があった。1名はエピペンを処方したが、もう1名は来年処方する予定である。建物の周囲にあるハチの巣撤去用にハチ防護服を導入した。自動車追突事故は交差点で停止中後方から来た自動車に追突された事故のため、回避不可能な事故であった。チェーンソー破損事故は広葉樹を伐倒する作業中の事故であったが、一ヶ月前にチェーンソー伐倒安全講習を行い、伐倒前に待避場所を確保することや不測の事態には無理にチェーンソーを回収しないことなどを確認しており、落ち着いて待避行動をとれたため人的被害が無かったと思われる。

水銀系廃棄物の処理は水銀を使用している体温計を処理しデジタル体温計に交換したことや、山中で破損した状態で発見された水銀を使用した最高最低温度計を処理した。

千葉県として初めてのナラ枯れ被害が千葉演習林内で確認された。その後の調査で南房総地域でナラ枯れと思われる被害が確認され、千葉県の担当部署と協力して対応していく予定である。

北海道演習林

【教育】

学部・大学院の専門教育として、農学部授業科目「森林科学総合実習」を担当実施し、全演協の公開森林実習として公開した。他大学の学部授業科目2件(愛媛大, 同志社女子大)を受け入れ指導を行うとともに、1件(北海道大)の学部実習を受け入れた。大学院の授業科目2件(新領域創成科学, 北海道大環境科学院)を受け入れた。卒業論文研究5件(北海道大, 帯広畜産大, 北海道教育大), 修士論文研究5件(東京大, 帯広畜産大), 博士論文研究6件(東京大, 北海道大)を受け入れてこれらの実行を支援した。教養教育として、教養学部授業科目「全学体験ゼミナール:雪の森林に学ぶ～北海道演習林」を開講するとともに、1件の全学体験ゼミナールの実施を支援した。体験的な機会の提供として、本学の体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」を実施して計3名の学部生(教養学部 PEAK, 農学部, 工学部)が参加したほか、インターンシップ5件計6名(イギリス Nottingham 大, フランス AgroParisTech, マレーシア Sabah 大, 東京環境工科専門学校)を受け入れた。ICT を活用したフィールド遠隔教育の取り組みとして、弥生キャンパスで行う農学部授業科目等で3回の遠隔ライブ講義と2回のビデオ配信講義を実施した。

初等・中等教育支援として、文部科学省スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業による校外研修(札幌啓成高)を受け入れ、プログラムを作成・提供するとともに指導を行った。帯広農業高(森林科学科), とわの森三愛高(獣医・理数コース)の2件の研修を受け入れ、指導を行った。技術者教育として、国際協力機構(JICA)2件をはじめ、官公署・国有林, 林業団体・林業会社, NPO 等の研修会, 視察見学等計16件を受け入れ、それぞれ指導を行った。

【研究】

「汎針広混交林帯における森林生態系の持続的・順応的管理」を課題として掲げ、森林生態, 森林経営, 森林生態系保全の3分野のもと活動を行った。主なトピックは以下の通りである。

森林生態分野では、大面積長期森林生態系観測に関して、前山プロット設定25年後の定期測定に着手した。野生動物の生態に関して、エゾシカのライトセンサスと自動撮影装置による野生動物モニタリング, およびコウモリ類の生息状況調査(捕獲)と音声情報の収集を継続した。大規模自然攪乱後の森林回復過程に関して、過去4時点の空中写真からオルソ画像を生成し、択伐施業と台風被害に伴う天然生混交林の長期的変化を把握した。生態遺伝特性と遺伝子資源の保全に関して、麓郷・西達布のほぼ全域から収集・接木増殖したエゾマツ苗をもとに、岩魚沢入口に採種園を造成した。森林生態系の基礎情報の収集に関して、全演基盤データ整備委員会の活動とも連携しながら、気象観測, 水文・水質観測, 主要樹種のフェノロジー観測, 動植物の生物相・分布域など生物情報の収集を継続した。

森林経営分野では、林分施業法の科学的・技術的基盤の強化に関して、三の山方面で航空機 LiDAR データを取得した。また、固定翼 UAV 撮影画像から生成した3次元林冠情報の精度や特徴について、航空機 LiDAR データや地上調査の結果との比較から明らかにした。UAVリモートセンシングによる森林樹木の健全性評価を目指して、マルチスペクトル・熱赤外センサによる樹木の水分生理状態の検出特性について検討した。腐朽判定技術の高度化を目的に、造材土場における非破壊機器診断の基礎となる北海道産主要樹種の横打撃共振周波数について資料を収集した。更新保育施業による天然林再生技術に関して、択伐天然林の更新補助を目的とした精密植栽技術の開発に向けた実証試験を継続した。広葉樹優良木の管理・育成手法に関して、天然林施業試験地の測定データを用いて高価値広葉樹の成長パラメータを個体レベルで定量的に把握した。また、樽材として有用なミズナラ優良木の形質と空間分布に関する調査を継続し、樽材適性評価の一環として腐朽の非破壊機器診断に係る精度検証を行った。エゾマツ苗生産システムに関して、

立枯病を引き起こす *Rhizoctonia solani* の病因・分類学的検討を行い、菌糸融合群を同定した。また、暗色雪腐病菌が引き起こすと見られる夏期の立枯症状の発生機序について接種試験による検討を行った。安全で効率的な森林作業技術に関して、タブレット端末とデータベースソフトウェアを用いた蓄積調査野帳の電子化を引き続き進めた。

【社会連携】

一般公開事業として、公開セミナー「森林環境の保全と持続的な木材生産を学ぶ」、大麓山ハイキング登山会、および神社山自然観察路一般公開(春季・秋季に各1日)を開催した。富良野市との地域交流協定に基づき教育委員会が演習林内で展開する森林学習プログラム推進事業に全面的に協力し、プログラムの監修と学習サポーターの研修を担当した。2017年度は市内の計8校(小学校6校、中学校2校)でプログラムが実施され、計173名の児童・生徒が参加した。その他、市内小学校1校の総合学習を支援するほか、小中学校教員の研究会(社会科)の研修1件を指導した。また、富良野市の博物館事業、地学団体研究会の巡検を受け入れた。

【施業管理】

立木伐採は資材量で18,099 m³(天然林12,229 m³, 人工林5,870 m³)を実行し、うち1,698 m³について素材生産・販売を行った(直営956 m³, 再生林請負527 m³, 委託販売215 m³)。立木および素材の販売額は合計83,881,698円で、立木が34,705,850円、素材(委託販売を除く)が20,559,900円、委託販売(銘木市売)が28,615,948円であった。山出苗生産本数は31.3千本(トドマツ11.1, エゾマツ14.4, アカエゾマツ5.8千本)、地拵、植付、下刈の実行面積はそれぞれ16.0, 32.7, 52.5 ha、林道改良距離は62.75 kmであった。森林保護に関して、春期に山火予消防活動(監視および啓発)を、春と秋に野鼠発生予察調査を、冬期に北海道猟友会富良野支部および富良野市と共同でエゾシカの有害獣駆除(2回)を、森林被害巡検調査を計3回、それぞれ実施した。特定試験林(試験地)の測定を計画に則って実行した。

不動産(土地)について、1件の土地売却(誤信使用地1,650.45 m²)を行い、演習林林道の取付道として2件の寄附(各1,454 m², 169 m²)を受けた。2012年度より開始された地籍調査事業は、これまでに平沢・老節布地区と東山地区の一部で終了し、今年度は東山地区の残りの境界確認を行った。また、昨年度に成果閲覧を行った本学所有地45筆(計112,433 m²)の所有権保存登記と、文科省所管地1筆(16,909 m²)の所有権移転登記を行った。土地の貸付契約は、賃貸借13件(計50,497.49 m²)、使用貸借22件(計193,416.44 m²)を締結した。また、演習林内の富良野市道用地に係る使用貸借契約を新たに結び、併せて当該市道の維持管理に関する覚書を締結した。不動産(構築物)について、崩落の危険性がある戻沢橋の架け替えを計画し、新橋梁の設計を行った。立木補償は、用地売却予定の公共事業に係る2件、計328本であった。なお、昨年8月の記録的な大雨に伴う全域の林道崩落・流失被害は、復旧事業工事契約の入札不調が続いて本格復旧に至っていない。当面の措置として、直近の施業に必要な幹線林道2路線(山西、オンコ岩)の仮復旧工事を行った。

【その他】

環境安全管理について、事故災害発生件数は15件で前年度(6件)より増加した。特に、虫刺され災害が8件(ハチ4件, ダニ4件)と、昨年度のハチ災害1件に比して激増した。その他は比較的軽微な受傷や物損事故だったが、安全靴の着用により軽傷で済んだものの重大災害に繋がりがねなかった倒木処理中の事故もあり、安全装備のさらなる導入と作業方法の見直しを進めている。

秩父演習林

【教育】

1. 学位研究の受け入れ

本学の学部課程 2 名, 修士課程 4 名, 博士課程 2 名, 他大学の学部課程 2 名, 修士課程 5 名, 博士課程 1 名が学位取得のための研究を行い, 研究指導, 研究計画の助言, 研究地への送迎, 野外調査の補助, 試験地の維持管理などの協力を行った。

2. 大学実習の受け入れ

学部の実習 4 件, 森林植物学実験, 森林土壌学実験(森林系専修), バイオマス科学実習・森林科学実習(生物素材科学専修), 森園管理学実習(フィールド科学専修)を受け入れた。大学院の実習 2 件, フィールド科学総論(生圏システム学専攻), 環境デザイン統合教育プログラム(自然環境学専攻)を受け入れた。秩父演習林として全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」, 「秋の奥秩父を巡る」を開講した。他大学の実習では, 首都大学東京動物系統学野外実習, 立教大学ゼミナールを受け入れた。また, 国外からインターンシップ学生 1 名を受け入れた。

【研究】

1. 冷温帯森林生態系に関する研究

成果として, 原生林固定試験地の 2016 年の毎木調査資料およびイヌブナ天然林のリターフォールの 1991 年 6 月～2006 年 12 月の調査資料を『演習林』60 号で公表した。定期調査として, 再生林試験地(15 箇所中 8 箇所)および人工林固定試験地(32 箇所中 12 箇所)の毎木調査, リターフォール調査(シオジ林), 環境省モニタリングサイト 1000 調査(毎木, 落葉落枝及び落下種子(リターフォール), 地表徘徊性昆虫)を実施した。なお, 昨年度まで継続していたイヌブナ天然林におけるリターフォール調査は 2016 年度で終了したため, 2017 年度はサンプルの仕分け・計量のみ行った。2017 年 11 月に発生した山火事によって林床が焼けた大面積プロットにおいて, 立木の被害状況を 12 月に調査した。また, 民間企業との連携による, シカ排除柵試験地(30 箇所×内外 2 調査区)の毎木調査や下層植生調査等, センサーカメラによる哺乳類相調査, 渓流水の水質モニタリングなど, 植生保護・生態系管理に関する実証研究を行った。

2. 情報工学分野との融合研究

前年度に続き, ライブモニタリングシステムによる森林景観と樹木フェノロジーの映像・音声記録, 鳥類相の遠隔調査, 環境教育教材の開発に関する研究が行われた。

3. 山村社会に関する研究

前年度に続き, 山村社会の変化と資源, 山村振興に関する研究が行われた。

4. 基盤データ整備

気象部門では 2016 年の観測結果を, 水文水質部門では 2015 年の観測結果(流出量・水質)をそれぞれ『演習林』60 号で公表した。GIS 部門では短期派遣研修(生態水文学研究所)において講師として, 技術指導者養成研修会(富士癒しの森研究所)に受講生としてそれぞれ参加したほか, 試験地や歩道等の GIS データの整備更新を行った。生物部門鳥類分野では繁殖期のポイントセンサス(I種)のほか, 越冬期のポイントセンサスとラインセンサス(II種), 通年で任意調査を実施した。昆虫分野では例年実施しているピットフォール調査および埼玉昆虫談話会と連携してライトトラップ調査を実施した。脊椎動物分野では自動撮影カメラ調査およびライトセンサスを継続するとともに, かすみ網によるコウモリ調査も実施した。

5. 利用者ガイダンス・利用者発表会

利用者ガイダンス・発表会を開催し, 教育・研究の促進と利用者間の調整を行った。

【社会連携】

公開講座・セミナー等として、公開講座「東大の森林で昆虫採集」(8月, 参加者 16名), 「秩父演習林の哺乳類と冬の森」(1月, 参加者 12名)を行った。この他に、ガイドツアーを2回開催(5月, 参加者 12名・11月, 参加者 7名)した。また、秩父市木材加工業者主催の「木が香る秩父フェスティバル」(5月・11月, 道の駅ちちぶ)に参加, 秩父演習林の恒例行事となっている「影森祭」(12月, 来場者約 100名)を秩父演習林ボランティア「しおじの会」と秩父演習林OB会の協力を得て実施した。また、しおじの会によるボランティア活動は、シカ防除柵の点検補修, 歩道巡視, 修繕, お土産(木工品)づくり, リター仕分けなど, のべ 228名の参加があった。

学外各種委員会では、特別天然記念物カモシカ保護対策事業特別調査指導委員, 埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会, 埼玉県環境科学国際センター客員研究員, 甲武信ユネスコエコパーク登録推進検討委員会, 秩父地域森林林業活性化協議会, 秩父地域獣害対策協議会, 関東山地ニホンジカ広域協議会専門委員会, モニタリングサイト 1000 検討会, JaLTER 運営委員会など様々な活動を実施した。

【施業管理】

育林実行量は枝打ちが 2.93ha と獣害対策がクマ剥皮防除樹皮ガード保守管理 1 箇所(1.28ha), シカ防護柵の保守管理 3 箇所(2.10ha)であった。シカ防護柵の保守管理はボランティアの協力を得て実施した。また、埼玉県の水源地の森事業により撫育間伐 3 箇所(9.63ha)を行った。民間企業との協定による森林整備では、樹木園に設置されているシカ防護柵を異なる素材の柵への張り替えと 25 林班内の歩道修繕を実施した。土木実行量は、車道維持が 18,697m, 歩道維持が 46,615m, モノレール維持が 3,067m(3 路線)であった。工事は、原生林歩道修繕工事, 滝川軌道修繕工事, 入川林道石積補修工事, 入川軌道崩落修繕工事を実施し、樹木園内の倒木(危険木)を処理した。土地資産に関する変動はなかった。

【その他】

環境安全管理について、今年度は災害が 5 件発生し、ヒヤリハットはなかった。災害の内訳は、ハチ刺されは今年度発生しなかったものの、ダニ刺されが 1 件, 枝打ち作業中のナタによる切創が 2 件, 打撲・外傷等が 2 件, 車両事故が 1 件であった。更に身の回りの安全確認に取り組んでいくとともに、育林作業等においては基本動作による作業を徹底していきたい。4月に普通救命講習会, 11月に交通安全講習, 5・12月に公用車自主点検, 8・1月に消防訓練を実施した。災害時の非常食は賞味期限をもとに適宜更新した。11月には、UAVの落下が原因による山林火災が発生し、人的被害はなかったものの 4.50ha を延焼した。また、新たに東京大学育成資金に 2 件の寄付をいただき、記念樹を設定した。

田無演習林

【教育】

農学部の実習を3件、教養学部の実習(全学体験ゼミナールおよび全学自由研究ゼミナール)を3件実施した。農学部実習のうち1件は連携する生態調和農学機構によるものである。全学体験ゼミナールの2件は田無演をはじめ千葉演、富士研の教職員が主体的に関わって実施した。小中学生に対する指導体験を通じて樹木に関する知識とコミュニケーション力の向上を図ることを目標とする「都市の緑のインタープリター」、森のエネルギーを体感し森林管理の観点からその流通利用における問題点について学ぶことを目標とする「森のエネルギーを使いこなす」である。

卒業論文研究等では卒業論文1件、修士論文6件(うち本学2件)、博士論文2件(うち本学1件)の利用があった。

【研究】

単回・通年利用を含め45件の申請があり、延べ1,028人の研究利用があった。内容別には生物の生態的特性に関する研究が約5割、生理に関する研究が約2割、森林情報の収集技術等工学的研究が約2割、物質の動態に関する研究が約1割となっている。

分野の異なる利用者との交流を深め、研究可能性をさらに広げることを目的とした研究利用者交流会を6月27日に開催し、15題の口頭報告のほか、2件の要旨による報告がなされた。

【社会連携】

小中学生向け講座を2件、休日公開を延べ5日間実施した。休日公開に合わせ、今年度からツリークライミング体験会を開始した。近隣の中学校から4件、高校から1件の延べ12日間職場体験・校外授業活動を受け入れたほか、演習林資源を有効活用できるように学内教職員向けのリース作り講習会を1件実施した。地元小中学校による校外学習を4件指導したほか、地域の公民館、科学館、非営利団体による利用6件に対応した。

樹木剪定作業により生じた枝葉を花材・園芸資材として東京都板橋市場にて販売した。

【施業管理】

実習および研究用としてアカマツ、クロマツ、スギ、ヒノキの実生苗の育成を行った。そのほか、研究者から委託された苗木育成のための苗畑管理(灌水や除草)を技術職員と技能補佐員で行った。また、試験地として実験用に植栽されたフィールドの適切な管理を行うため、下草刈り等の作業を行った。田無演習林は、年間を通して多数の一般利用者が来演するため、一般利用者の安全を考え、散策路沿いや樹木園の休憩場所の枯損木の伐採を、小径木については直営で、大径木については請負(マツ類)で行った。枯損枝、掛り枝は、スローラインや高所作業車を用いて直営で除去した。また、強風、台風、積雪時には一般見学を中止とした。

敷地境界からはみ出した枝の処理や境界沿いの小径木の伐採は直営で適宜行った。特に新築住宅建設地に接する北側境界では、コナラ4本を請負で伐採するなど重点的に整備した。また、第4期教育研究計画で示した、隣接する民地にかかる支障樹木の伐採を請負(クロガネモチ1本、シラカシ枯損枝1本)で行った。伐採した樹木は、薪、椅子などに利用し、板にも挽く予定である。そのほか、散策路柵の修繕を定期的に行い、重機を用いて、雨水の溜りやすり場所への碎石敷や下草刈りの支障になる丸太の運搬を実施した。

【その他】

栗田直明技術専門員が全国演習林協議会の森林管理技術賞特別功労賞を受賞した。受賞テーマは「田無演習林における苗畑管理を通じた教育研究への多大な貢献」で、永年にわたる経験と技術による貢献が評価された。

全国演習林協議会の関東甲信越地区技術職員等研修を「市民を対象にしたイベント企画」と題して11月に実施し、全国から6名の受講者が参加した。田無演習林でこれまで実施してきた社会連携の経験を活かし、イベントの実施だけでなく企画段階からのノウハウを共有することを目指した。

6月に開催した利用者交流会や、利用者が来演する都度、田無演から環境安全管理についての情報提供を行い、利用者の安全管理に努めた。安全に関するリスクアセスメント検討会を兼ねた環境整備をアジア生物資源環境研究センターと共同で5月23日に実施した。機構と防災訓練を共同で11月に実施し、消火器取扱い訓練や救急救命のためのAED講習を行った。毎月定例会の前に行っている安全衛生マネジメントシステム会議では、他で発生した災害発生報告や、熱中症やハチ刺され対策など季節に応じた注意喚起を行い、災害を未然に防ぐことができた。教職員や利用者の災害発生など緊急時に即応性高く対応するために、演習林内の位置と緊急連絡先を記した現在地標識を林内8箇所を試行的に設置した。

「東京大学の森」育成資金に2名の方から寄付いただいた。「武蔵野に大学の森をたずねて～東京大学田無試験地の80年～」を51冊、「森たび」東京大学演習林のみどころ100」を29冊販売した。



好評を博したツリークライミング体験会



イベント企画の技術や工夫を共有した技術職員研修

生態水文学研究所

【教育】

農学部森林生物科学専修・森林環境資源科学専修の森林保全学実習、測量学実習の現地実習を、広嶋・田中らが、それぞれ6月13～16日、8月21～25日に行い、それぞれ11名、17名の農学部生と引率教員が参加した。このうち森林保全学実習の6月14～16日について、全国大学演習林協議会の公開森林実習と位置づけて行い、京都大学から1名の学生が参加した。

教養学部前期課程Sセメスター総合科目D人間・環境「森林環境資源学」(ダムと森林)のフィールドワーク、Aセメスター主題科目全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」を、広嶋・田中・水内・佐藤らが代表教員の蔵治教授(企画部)と共に、それぞれ6月3～4日、2月24～26日に行い、それぞれ12名、20名の教養学部前期課程の学部生が参加した。「ダムと土砂と海」には菊池准教授(附属水産実験所)にも参加いただいた。Sセメスター主題科目全学体験ゼミナール「人の手で造り管理する森林—林業・風景計画の視点から」の一部を、広嶋・田中・水内らが6月3～4日に行い、14名の教養学部前期課程の学部生が参加した。

名古屋大学(1月11日、38名)の講義、実習を受け入れ、技術職員が対応した。

国際教育として、フランスのグランゼコール ENGEE よりインターン生1名(5月1日～6月30日)、マレーシアサバ大学よりインターン生2名(2月8～28日、2月8日～次年度5月31日)を受け入れた。JST さくらサイエンスプランを利用して台湾大学より学生10名(9月2～4日)、マレーシアサバ大学より学生1名(10月21～22日)を受け入れ、教職員が実習、研修を行った。広嶋が中国・海南大学にて、人工林の管理に関する集中講義を行った(11月5～11日)。

【研究】

白坂・穴の宮・東山・犬山において気象、水文観測、雨水・渓流水サンプリング、水質分析を継続した。長期生態系プロットにおいて毎木調査、リター調査、種子調査、地上徘徊性昆虫調査、鳥類調査、ティーバッグの埋土分解実験を継続した。水文データを対象に、過去の記録紙の読み取り、マイクロフィルム化されていない最近の記録紙のPDF化、過去のデジタルデータをCD-Rと紙媒体で永久保存する作業を進めた。また長期生態系プロットの毎木調査データを対象に、過去の記録の保存作業やデータクオリティの再確認作業を進め、一部結果を環境省モニタリング1000事務局に提出した。また研究所に保管されている古い写真・地図を対象に、デジタルアーカイブ化を行った。本研究所を主著者とする、穴の宮試験地流域における2011～2016年の日降水量・流出量の観測結果が、蔵治教授(企画部)らを著者とする、2003～2015年の白坂流域の井戸水位観測結果が、「演習林」に掲載された。白坂の2015年の日降水量・日流出量、降水と渓流水の水質データが、基盤データ整備委員会水文水質部門によって「演習林」に掲載された。広嶋を主著者とする、都道府県別間伐量の推定に関する論文が、*Journal of Forest Research* 誌に掲載された。広嶋を共著者とする、スギのフェノロジーに関する論文が *Forestry* 誌に、ヤマビル駆除剤に関する論文が関東森林研究誌にそれぞれ掲載された。田中を共著者とする、赤津研究林のナラ枯れと溪流の硝酸態窒素濃度の関係に関する論文が *Journal of Forest Research* 誌に、赤津研究林での降水水質に関する論文が *Asian Journal of Atmospheric Environment* 誌に、森林と草地の土壌水分の時間変動に関する論文が *Geophysical Research Letters* 誌に、針葉樹と広葉樹のリター遮断量に関する論文が *iForest* 誌にそれぞれ掲載・受理された。水内を主著者とする、京都府の私設公園の計画思想に関する論文がランドスケープ研究誌に掲載された。佐藤を共著者とする、赤津研究林等で実施されているリター層の分解に関する論文が *Science of The Total Environment* 誌に、ナラ枯れ木の周囲の樹木の生長への影響に関する論文が *Journal of Forest Research* 誌にそれぞれ掲載された。里見を主著者とする、ツツジさし木における穂長と発根本数の関係に関する論文が、

関東森林研究誌に掲載された。韓国で開催された SNU – UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis of Forest Resources and Environment において、広嶋が日本と台湾におけるスギ成長モデルの適用事例について、田中がナラ枯れと蒸発散量の関係についてそれぞれ発表した。タイで開催された International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests : towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses において、田中がタイと日本の共同研究で取得した水文気象データについて、水内が生態水文学研究所と地域社会の関係について、佐藤がタイのチークプランテーションにおける土壌水分条件による蒸散への影響についてそれぞれ発表した。第 6 回中部森林学会において、佐藤がヒノキ人工林における表面流量と土砂及びリター移動量との関係について、高橋が広葉樹二次林のリター層が地表面流に及ぼす影響について、梁瀬がヤマガラとシジュウカラの繁殖特性についてそれぞれ発表した。第 129 回日本森林学会において、水内が本多静六の神社風致デザイン論の展開について発表した。技術職員等試験研究・研修会議および第 2 回東京大学技術発表会において、里見が下刈りを省略したヒノキ人工林の現状について発表した。「浜名湖をめぐる研究者の会 第 26 回ワークショップ」において、井上が 74 林班におけるマツ枯れの近況について発表した。国際研究交流として、オクラホマ州立大学からクリス・ゾウ氏を特任准教授として受け入れ、共同研究を行った(4月1日～7月31日)。5月24日に利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会を開催し、12 件のポスター発表があった。データ利用規則に基づき、東京大学の五十嵐氏、長岡氏、国立台湾大学の Lai 氏にデータ利用申請を許可した。

【社会連携】

犬山市立今井小学校および城東小学校でそれぞれ4回、3回開催された「探鳥会」に梁瀬が講師として参加した。また、11月15日の瀬戸市立水野小学校の総合学習に井上・梁瀬が講師として参加した。東京大学赤津研究林サポーターズクラブ「シデコブシの会」、「犬山研究林利用者協議会」による赤津研究林、犬山研究林での主催行事、見学団体ガイド等がそれぞれ18件、33件行われた。シンポジウム「日本遺産のストーリー: やきものの風景 with 東大演習林」を1月27日に開催し、44名が参加した。瀬戸市環境審議会、「せと環境塾」運営委員会、犬山市環境審議会に広嶋が委員として、瀬戸市自然環境の保護及び保全特定地区選定委員会に田中が委員としてそれぞれ参加した。

【施業管理】

第5期生態水文学研究所教育研究計画において4つにゾーニングした研究林を、それぞれの施業方針に従って管理した。愛知県の保安林整備事業で6.35ha、小規模治山事業で3.55haの間伐を実施した。危険の未然防止の観点から、瀬戸市と犬山市の公道沿いに発生したナラ枯れおよびマツ枯れ木を伐採した。民有地との境界沿いの危険木を伐採した。不法投棄対策のためフェンス、車止め、警告看板を設置した。74林班においてマツ枯れ対策として湖西市と協働で地上からの予防散布(5月21日)、年越し枯死木調査(4月20日、被害本数0本)、静岡県によるマツ枯れ被害木の伐採搬出(材積2.41m³)、枯死木調査(11月29日、被害本数10本、うち今年度被害10本、材積2.69m³)を行った。

【その他】

平成29年度東海地区農学部附属演習林等技術職員研修を開催した。

富士癒しの森研究所

2017年度は、癒しの森プロジェクトをベースとした共同研究に科研費が交付され、山中湖村行政および所外研究者との共同研究体制を構築し、当計画期間終盤に向けての活動に踏み出した。

【教育】

実習等受け入れ:大学の実習として、農学部の実習5件、大学院の実習2件、教養学部7件、工学部1件を受け入れた。ANESCの留学生プログラム1件および海外からのインターンシップを1名受け入れた。学生体験活動プログラム受講生を2名受け入れた。**講義等主催**:「癒しの森プロジェクト」にもとづく教養学部開講科目として、全学体験ゼミ「癒しの森と地域社会(夏)(冬)」を開講・実施した。森林風致計画学研究室のゼミに参加し、卒業論文・修士論文の研究サイトとしての利用を呼びかけた。これまでに引き続き、山中寮と研究所の森林を活用したゼミ合宿を誘致した。ICTを活用した遠隔教育の実践を全学体験ゼミナール内で行った。

【研究】

実証林:林内気象データを蓄積した。地域住民参加型で第3回下層植生調査を実施した。**保健休養機能に関する研究**:実証林における生理心理調査について学会発表を1件行い、論文2件受理となった。科研費「地域の健康を支える資源としての森林資源のポテンシャルと住民のニーズの把握」が採択され、調査研究を開始した。**フットパスの検討**:フットパスに関する情報収集をした。**林内活動の楽しみに関するデータの蓄積**:特別ガイドにおけるアンケート調査を行った。**技術職員による研究**:山中湖村における有害鳥獣対策の経緯と現状について技術職員等試験研究・研修会議で発表を行った。**気象観測**:I林班での気象データの回収、蓄積を行った。**放射性物質調査**:キノコ放射性物質調査に参加し、サンプリングを行った。

【社会連携】

村行政との連携:村との協定に基づき、村関係部署との懇談会を行うとともに、科研採択研究での共同研究体制を構築した。**地域公開企画**:地域行政等と富士五湖フットパスフォーラムを共催した。村主催の報告会において村との共同研究計画について報告した。**癒しの森の会**:癒しの森の会の運営を支援した。**外部団体との交流**:やまなし木質バイオマス協議会、NPO 富士山自然学校など、外部団体の活動へ貢献および参画した。NPO ホールアース自然学校との連携を深めた。**広報の拡充**:ブログの定期的な更新を行った。『淡青』の特集で富士癒しの森研究所の取り組みについて紹介した。

【施業管理】

森林整備:刈払いは計画通り実施した。III-8 小班の立木販売による間伐を検討したが、販売価格が低く立木販売としての間伐実施は不可能であることが明らかとなった。枯損木処理は旧作事場裏手のアカマツ枯死木について市町村交付金相当額予算で外注にて処理を行った。村より要望のあった、隣接する中学校に伸びる危険枝・危険木について、市町村交付金相当額予算による外注にて枝払い及び伐採処理を行った。その後カラマツ腐朽木の風倒により村体育施設の屋根に被害が生じたため、再発防止策として中学校周辺のカラマツの打撃音樹内腐朽簡易診断装置による腐朽診断を開始した。山中寮周辺および湖畔について、危険枝の撤去を市町村交付金相当額予算により外注にて実施した。他の危険木について整備の緊急性にかんがみ予定外の区や風倒木処理作業を各所で行った。また林内の景観改善とグラウンドの獣害対策を兼ねて、II林班内に集積してある枯損枝などをグラウンド周辺に移動し土塁状に積み上げた。その他、ツタウルシのつる切を林道沿いを中心に実施した。**施設整備**:歩道、車道共に全線の整備を行った。湖畔広場東屋

の壁材丸太の入れ替えを行った。経理課予算により、自炊宿舍台所周辺を中心に、老朽化による強度低下を補うため改修工事を実施した。Ⅲ 林班及びⅡ 林班のパネル式看板土台について設置・改修工事を実施した。林内掲示板にクマ出没に関する注意を掲示した。講義室利用の際の利便性を向上させるべく講義室前に薪棚を設置した。交通安全のため、車両出入りにミラーを設置した。

【その他】

東大職員向け特別ガイド:計画通り、東大教職員向け特別ガイドを春・秋・冬の3回実施した。**教室系技術職員研修**:労働ストレス管理に関する教室系技術職員研修を実施し、7名の参加があった。**体育チームおよび山中寮との連携**:体育チーム、山中寮運業者との定期的な協議する場を設けるなど、山中寮新運営体制における連携をはかった。現樹芸研究所村瀬一隆技術専門職員が「癒しの森プロジェクト」の確立に関する技術的貢献で全国大学演習林協議会・森林管理技術賞の技術貢献賞を受賞した。



富士五湖フットパスフォーラムを共催



国立台湾大学のサマープログラム受け入れ



教室系技術職員研修でノルディックウォーキング



特別ガイド「冬の散歩みち」でスノーシュー体験

樹芸研究所

樹芸研究所第4期教育研究計画は大胆なスリム化と資源の集中を念頭において立てたが、それでも十分に手が回らない課題が生じているのが実情である。技術職員数が一減となったこともあり、これまで優先して実施してきた事業を更に推進することを選択して、教育と研究の特色がきらりと光る組織を目指すこととした。

第4期教育研究計画において樹芸研究所では教育分野にエフォートを大きく割くこととした。特に2006年度に開始した前期教養課程の主題科目・全学体験ゼミナールの実施に大きなエフォートを割いている。全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会においては見えにくい「プロセス」を、体験を通して気付かせる仕掛けであることを基本としながら、大学受験を終えたばかりの学部1,2年生に「学ぶ」ということの原点を問うことに重きを置く講義である。温室をメイン舞台として展開する体験ゼミナール「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー」は構想から8年越しとなる2014年度ようやくの実施に漕ぎ着けた。その中のカカオノキからカカオを収穫してチョコレートを製造するというアクティビティを発展させる格好で、チョコレート会社と共同研究を行っている。2015年8月に温室が高温になる事故によりしばらくカカオの収穫ができなくなったが、2017年春には収穫を再開できるまでに回復した。樹芸研究所産カカオからチョコレートを製造する条件が再び整った。温室では、カカオ以外にも原料植物の現物を用いる教育プログラム開発に意欲的に取り組んでいる。バニラはその代表で、体験ゼミナール等の教育プログラムに供するために安定したキュアリング法を開発した。その方法は知財部に新規性・進歩性があると認められ、2017年3月に特許申請を行った。

その他、研究ではおよそ30年前に実施したユーカリ適応試験の遺産を活かして材の加工特性や製品化の方向性を探る取り組みを進め、並行して林分単位での生産性を明らかにする目的であらたに植栽試験も進めている。この様に当所では利用方法を明らかにした上でユーカリを林業樹種として提案したいと考えている。これら植栽した有望なユーカリたちは非常に好い成長を示し、見学した学生に日本林業の可能性を示し関心を持ってもらう魅力的な教材となっている。この様にただデータをとって報告するばかりではなく、見せる「ユーカリ林分」を造成することの有意義を訴えていく。近年は早生樹が注目を集める様になり、森林総合研究所九州支所にスギ精英樹・センダンとともにユーカリを植栽する運びとなった。

ユーカリ以外の樹種では、クスノキ合板を製造しその性能試験を行ったほか、これまで手が回らなかった油糧植物アブラギリに関して伝統工芸木炭生産技術保存会と安定供給に関する共同研究を昨年度に開始し、今年度はそれに加え桐油絞りの実験を行った。

第4期計画半ばに実施した外部評価では、全学体験ゼミナール等の教育に特化した取り組みとあらたな林業を見据えたユーカリ事業に関して全ての評価委員から高い評価を受けた。演習林総体の中で、実験的な取り組みを行うことを樹芸研究所の使命の一つと捉えているので、第4期計画においては更にその役割を全うしたいと考えている。教育分野での大きな改革は、主力の全学体験ゼミナールを1年生専用としたことである。夏学期の1年生受講生は少ない傾向があるが、大学での学びを学生に意識させることを目指している「伊豆に学ぶ」シリーズでは是非にも夏学期の1年生受講生を増やしていきたい。1年次の学生に演習林の存在を知ってもらうことは、特に重要なことだと考えている。

【教育】

・農学部 国際開発農学専修3年生

「森林実習」(他大学生に開放し、全演協「公開森林実習」としている。)

・教養学部前期課程1,2年生 主題科目 全学自由研究ゼミナール

「伊豆に学ぶプラス1」,「伊豆に学ぶプラス2」

- ・教養学部前期課程 1, 2 年生 主題科目 全学体験ゼミナール
 - 「伊豆に学ぶ(夏)1」, 「伊豆に学ぶ(夏)2」, 「伊豆に学ぶ(夏)3」,
 - 「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー」
 - 「伊豆に学ぶ 1」, 「伊豆に学ぶ 2」, 「伊豆に学ぶ 3」
 - 「企画系さらに伊豆に学ぶ 1」「企画系さらに伊豆に学ぶ 2」
- ・東京大学体験活動 「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」
 - 南伊豆地域で竹林や獣害問題に向き合う NPO の方々と連携して実物の問題に当たる

【研究】

1. 適応試験で選抜されたユーカリ 10 種を林業樹種として再検討
 - ・*E. smithii*, *maidenii*, *bicostata*, *radiata* を伐採し, 製材加工特性の試験(森林総合研究所)
 - ・2013 年 6 月, 12 月に実生苗を植栽した *E. saligna* の成長調査を継続して実施した。(王子)
 - ・*E. elata*, *piperita* のクローン試験地の成長調査(日本製紙)
 - ・*E. smithii* の実生試験地の成長調査を継続して実施した。
2. 樹芸研究所産カカオ・バニラの利用法の検討
 - ・カカオ・バニラの増殖
 - ・チョコレート製造・販売。(メリーチョコレートカムパニーと共同研究)
 - ・バニラのキュアリング新手法の開発
3. 油糧植物の植栽地整備と利用方法の検討
 - ・アブラギリの間伐試験を継続。(伝統工芸木炭生産技術保存会と共同研究)
 - ・桐油しぼり試験

【社会連携】(市民向け公開講座)

- ・温室特別公開ー樹芸産カカオを使ったチョコレートー(ロッセ, メリーチョコの協力を得た)

【施業管理】

- ・青野作業所の危険木処理を市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・加納事務所構内のブロック塀改修工事を市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・ICT 講義棟の瓦屋根及び外壁改修工事を施設修繕準備金を充当して実施した。

【その他】

- ・2 名の非常勤職員を障害者雇用枠で雇用している。
- ・2018 年度 4 月 1 日付けで技術職員を新規採用する。

教育研究センター

【教育】

週1回のゼミ(演習林ゼミと教育研究センターゼミ)と指導教員との連携による個別指導を通じて、演習林に所属する学生(博士課程学生6名、修士課程学生4名、4年生2名、研究生5名、合計17名)の卒論、修論、博論研究等の指導・支援を行うとともに、学生生活全般のケアを行った。教育研究センターゼミでは、研究倫理やプレゼンに関する基礎的な演習・指導を行った。また、修士論文、学生が筆頭著者の投稿論文、学会発表ポスター、要旨等の英文チェックを行った。今年度は修士課程で2名が修了し、学部課程では2名が卒業した。学部・大学院のガイダンス等では、演習林における教育研究の説明を行った。演習林教員で担当している講義のスケジュール調整、教養学部講義、演習林ゼミ等の教育推進に関わる経費管理等を通じて、演習林の教育活動を支援した。また、学内の各種委員会に出席した。また、試験監督などの入試業務に従事した。

広報情報委員会と連携し、各演の教育利用実績を取りまとめた。また、教育目的での演習林利用希望者に対して、各地方演習林との連絡調整を行い、必要な情報を提供した。教育推進委員会と連携し、全国演習林協議会の公開森林実習の受付、諸手続きを支援した。

【研究】

演習林編集委員会と連携し、「演習林報告」、「演習林」の編集作業を行った。演習林内の委員会活動が円滑にできるよう、農学系事務との連絡調整を行うとともに、経費執行等の支援をした。広報情報委員会と連携し、各地方演習林の研究利用実績を取りまとめた。

研究目的で演習林を利用する利用者に情報を提供し、全演習林の研究活動を支援した。演習林教職員による投稿論文(英文要旨含む)の英文、演習林報告の目次、地方演習林の各種施設等の英文チェックを行った。

名古屋議定書ABS指針、科学研究費改革に関する説明会に参加し、その結果を演習林全体で共有できるようにした。

その他、所属する教員がそれぞれ関連するプロジェクト、および、そのデータ解析に向けた準備を行った。また、各自の科研費、運営費等で、個別テーマの研究に取り組んだ。

【社会連携】

広報情報委員会と連携し、ホームページ、科学の森ニュース、学内広報・弥生等の機関紙を通じて、演習林の社会貢献に関する広報活動を行った。また、各地方演習林の広報活動を取りまとめ、専攻長・附属施設長会議に毎月報告した。さらに、演習林の活動報告の情報を取りまとめ、演習林年報を発行した。一般公開、教職員向け特別ガイドの補助・支援を行った。

幡豆中学校(愛知県豊田市)、春日部共栄中学校(埼玉県春日部市)の3年生に対して、演習林見学、デモ講義、研究室見学などの対応を行った。

【施業管理】

地方演習林の施業管理、毎木・収穫調査、苗畑作業への補助について、丹羽技術専門職員が協力した。

【その他】

農学系事務からの各種問い合わせに対応するとともに、連絡調整を行った。安全衛生活動として、地震時の緊急避難について、教職員、学生ともに緊急避難場所を1号館と2号館の間のヒマラヤスギの近くに一次避難した後、農学部グラウンドに集合することを確認した。

国際対応として、フランスから2名、イギリスから1名、マレーシアから4名のインターンシップ生の受入手続きおよび弥生地区に滞在時の対応を行った。また、国立台湾大学のサマースクール受入の一環として弥生地区での研究室訪問の対応を行った。



インターン生ロヒさんによる学生へのプレゼンテーション

■各常置委員会活動■

【基盤データ整備委員会】

＜気象部門＞

東京大学演習林では、これまで最長で100年を超える期間気象観測を継続してきた。現在の観測システムは2001年から稼働し、7地方演習林を網羅する合計17か所の観測地を基盤データ整備委員会気象部門で責任をもって観測を続けてきた。

2012年1月1日からは「教育研究計画2011-2020」に基づいた新体制の下での観測を継続している。すなわち、基盤データ整備委員会気象部門で責任をもつI種観測地は札郷(千葉), 前山(北海道), 小赤沢(秩父), 白坂(生態水文), 青野(樹芸)の5か所、観測項目は気温, 湿度, 降水量, 日射量, 風速, 風向である。I種以外の観測地はII種として各地方演習林の裁量で観測や全演でのデータ公開を行っているが、気象部門として各地方演習林で対応の困難な案件についてのサポートは継続している。

本年度は、気象部門会議は開催しなかったが、観測機器やその部品についてはメンテナンス計画に基づいて購入, 更新している。本年度は定期的・計画的に行っている湿度チップの定期交換を行ったほか、前山, 札郷の電源強化のためバッテリーと太陽電池パネルの更新を行った。

また、サブ雨量計のデータロガーに、雨量計との相性に起因する不具合が見つかったので、札郷, 前山, 小赤沢の3地点のデータロガーを他社製の製品に入れ替えた。

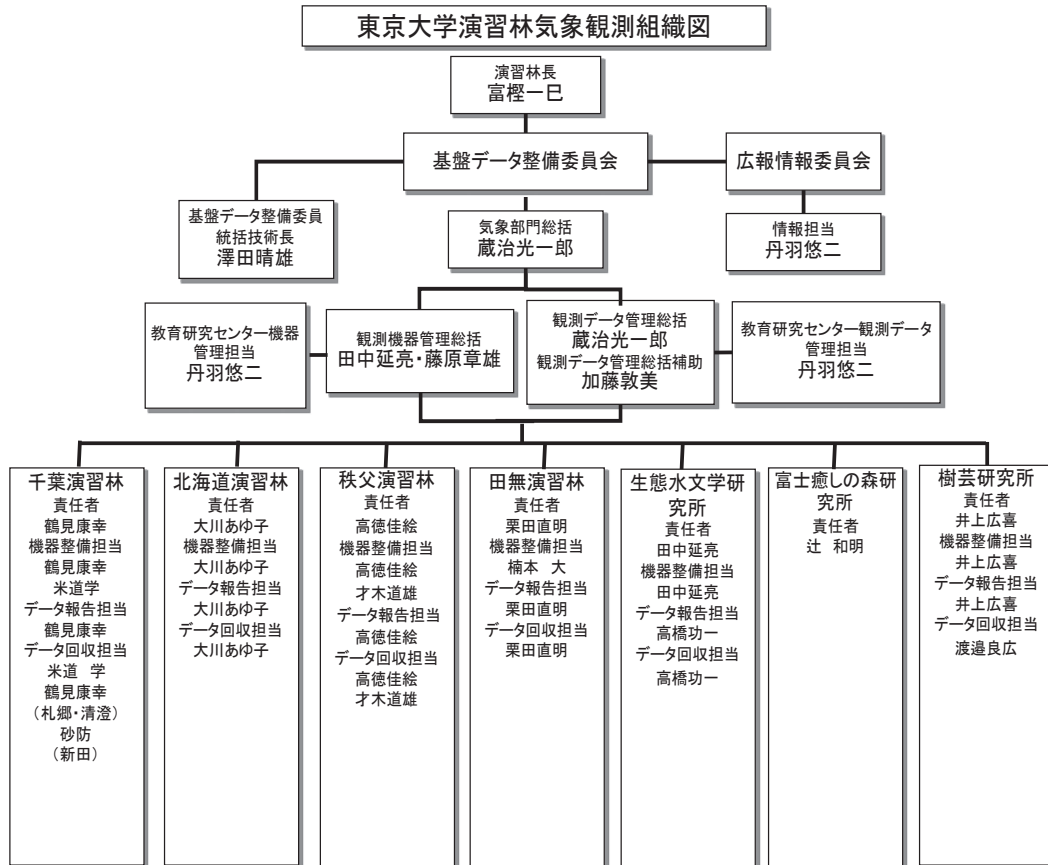
観測データの公開については、2013年1月1日より演習林ホームページでの公開を大幅に早め、翌々月には公開するようにしている。2016年のデータは観測体制とともに「演習林」60号(2018年3月発行)に2016年気象年報として掲載した。なお、「演習林」において気象データは1989年から2000年まで年報・月報の2本立てで報告してきたが、月報はホームページ(<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/>)上で公開することとしたため、「演習林」誌上での2001年以降の気象データは、年報のみの報告にとどめ、月報は少数の冊子として作成し、教育研究センターおよび各地方演で保管してきた。今年度、「演習林」の投稿規定に変更があったことを踏まえ、2016年の気象データは年報・月報とも「演習林」誌上で報告することとし、月報を少数の冊子として作成することは取りやめた。

2018年度に大学院農学生命科学研究科が推進した「農学コンテンツの情報化のためのプラットフォーム構築」事業との関連で、過去に「演習林」で公表されているがデジタルデータを公表していないデータに関して、デジタルデータを作成し、公表する作業を進めた。

2018. 3. 15

2017年 各地方演の観測地と観測項目 (○観測公表項目, △観測しているが公表していない, ()内代替機器有無)																
演習林名	千葉演			北海道演			秩父演				田無演	生態水文研			樹芸研	
	I	II	II	I	II	II	I	II	II	II	I	II	II	I	II	
観測地	札郷	清澄	新田	前山	山部	山部事務所	小赤沢	栃本	大血川	ワサビ沢	第一苗畑	白坂	東山	穴の宮	青野	加納
気温	○(○)	○(-)	○(-)	○(○)	○(-)		○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(-)	○(-)	○(○)	△(△)
地温								○(-)			○(-)	○(-)			○(-)	
湿度	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)		○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)		○(-)	○(-)	
降水量	○(○)	○(○)	○(-)	○(○)	○(-)		○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(-)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	△(-)
日射量	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)		○(-)	○(-)		○(-)		○(-)	△(-)	△(-)	○(-)	
風速	○(-)		○(-)	○(-)	○(-)		○(-)	○(-)				○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	
風向	○(-)			○(-)	○(-)		○(-)	○(-)				○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	
降雪																
積雪																
降雪深									○(-)							
積雪深																

2017年4月1日



<生物部門>

○植物分野

演習林内に生育する維管束植物(自生種・導入植栽種)をリストアップし、同時にさく葉標本を1種につき3点作成する。2033年度に全演の植物目録を更新することを目標に資料の収集にあたっている。2017年度は、11月17日に農学部図書館会議室において担当者会議を開催し、ハーバリウムコードの取得や標本のデータベース化、標本ラベルの作成など今後の活動内容についての検討を行った。

2017年度の各演習林の活動

千葉演習林: I種の活動は、通常業務中の採取を継続した。II種の活動は行わなかった。ハーバリウムコード取得の申請フォームを作成し登録準備を完了した。

北海道演習林: I種の活動は、標本整理を6日間・6人工行った。II種の活動は大麓山ハイキング登山会のガイドを1日・2人工行った。新たな標本採取は行っていないが、標本整理を行った結果、植栽・逸出なども合わせて872種から950種に増加した。

秩父演習林: I種・II種ともに活動は行わなかった。

田無演習林: I種の活動は表の通り。II種の活動として、樹木園で自動撮影カメラによるフェノロジー調査を行った。

生態水文学研究所: I種の活動は、標本の保管容器入れ替えなど標本の管理作業を行った。II種の活動としては、五位塚倉庫や旧赤津作業所などから古い標本が見つかったため、標本保管箱の内容把握及び標本リストの整理と保管状況の改善を行った。

富士癒しの森研究所: I種の活動は標本整理を行った。II種の活動は行わなかった。

樹芸研究所: I種の活動は標本153種の台紙への貼り付けを行った。II種の活動は行わなかった。

演習林名	調査日数	調査人員	2017 採取 標本種数	2017 採取 標本点数	2017 度末 総標本種数
千葉演習林	0※	0※	1	3	694
北海道演習林	0	0	0	0	950
秩父演習林	0	0	0	0	942
田無演習林	9.0	9.0	29	87	270
生態水文学研究所	0	0	0	0	1,202
富士癒しの森研究所	0	0	0	0	416
樹芸研究所	0	0	0	0	628

※他の通常業務中に行った。

○脊椎動物(鳥類を除く)分野

本年度も脊椎動物のリスト化を目的として、以下に示すⅠ種およびⅡ種の各調査を実施した。千葉演習林ではニホンジカ区画法調査の手法を転換するべく、自動撮影カメラの導入を試みた。北海道演習林では自動撮影カメラ調査により移入種ミンクを、秩父演習林ではコウモリ捕獲調査により在来種ヒナコウモリをそれぞれ初めて記録した。富士癒しの森研究所では野生動物被害対策を目的として、山中湖村への自動撮影カメラ調査成果の提供を検討した。そのほか、技術職員等研修会議において、各演習担当者から脊椎動物に関する調査結果や被害状況および対策、新技術模索について報告した。

	千葉	北海道	秩父	田無	生態水文	富士	樹芸
Ⅰ種 自動撮影カメラ調査	○ 6	○ 10	○ 11	○ 3	○ 13	○ 8	○ 6
コウモリ捕獲調査	○※ ¹ 3		○ 1				
Ⅱ種 目撃情報記録	○ 5	○ 6	○ 5	○ 9	○ 11	○ 2	○ 3
ライトセンサス		○ 4	○ 5				
自動撮影カメラ調査	○※ ²	○ 6					

○は実施した調査を、数値は確認種数を示す

※1：学生実習の一環で実施

※2：ニホンジカ区画法調査の代替として試行中（2018年1～3月）

○昆虫分野

(1) 全演習共通の調査を実施

本年度もピットフォールトラップを用いた地表徘徊性甲虫相調査を実施した。2008年から各地方演習林共通の方法による定期的・定量的採集を行っており、採集された標本は北海道演習林に集められている。千葉演習林、北海道演習林、秩父演習林、田無演習林、生態水文学研究所、樹芸研究所では、2013年より調査地を移動した。富士癒しの森研究所では別の調査地がないため当初から同じ場所を実施している。

2008～2010年の標本については同定結果が出ている。2011～2017年は未同定である。

2011～2012年, 2013～2017年の同定が済んだところで, それぞれ, あるいはまとめて, 雑誌「演習林」へ投稿する。5年毎の公表を目標とする。

(2) 各地方演習林を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化

各地方演習林を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化は各地方演習林で進めている。

○鳥類分野

本年度も各演習林でみられる鳥類のリストアップとモニタリングを目的に教育研究計画のⅠ種, Ⅱ種の調査項目を実施した。2017年4月から12月までの確認種数, 調査回数等は下記表の通りで, 北海道, 秩父, 富士癒し, 田無の4演習林で計7種を新たに記録した(全演習林での初記録2種を含む)。千葉演習林では, 鴨川市との交流事業である「野鳥の巣箱をかけよう(観察会4月, 巣箱作り11月)」が計画, 実施され(観察会は荒天のため中止), 生態水文学研究所では, 近隣小学校の探鳥会の講師を7回担当した。また, 秩父演習林からは, ヨタカの生息調査法に関する論文1編が日本鳥学会誌に掲載されたほか, 生態水文学研究所からは中部森林学会において, ヤマガラとシジュウカラの巣箱調査に関する発表があった(中部森林研究投稿済)。2月には, Ⅰ種項目として撮りためた鳥類の生態写真と職員が執筆した鳥に関するエッセイのWEB公開についての打合せを行い, WEBの構成やデザイン, 作業手順を具体的に検討し, 2018年度10月公開予定で作業を進めていくことになった。2018年度も引き続き, 組織的に調査体制を維持していきながら, 計画を実行していく予定である。

演習林名	確認種計		調査回数		調査人員		確認種数	
	科	種	公式調査	任意調査	公式調査	任意調査	公式調査	任意調査
千葉	26	44	6	102	6	102	22	42
北海道	31	76	12	90	30	99	42	74
秩父	30	68	14	35	14	35	35	61
田無	31	56	4	39	8	71	23	56
生態水文	33	67	3	58	3	58	37	66
富士	26	49	6	22	6	22	26	31
樹芸	22	31	4	19	4	19	17	27

確認種の分類は日本鳥類目録改訂第7版(日本鳥学会2012)に従った

確認種数は演習林隣接地域での記録も含む

任意調査は公式調査以外の野外業務の際, 一時的に任意で行った調査, 観察

<水文・水質部門>

千葉演習林, 北海道演習林, 秩父演習林, 生態水文学研究所, 樹芸研究所において, 降水量と流出量の観測を行うとともに, 降水と溪流水の水質分析を行った。千葉演習林での観測・分析は森林理水及び砂防工学研究室の協力を受けた。観測・分析結果を生態水文学研究所に集約し, 雑誌「演習林」で公表した。データは各演習林と生態水文学研究所で保管・管理している。今年度の観測体制と観測地点, 活動内容の詳細は以下である。

1, 降水量・流出量観測

北海道演習林, 秩父演習林, 生態水文学研究所, 樹芸研究所では各演習林にて, 千葉演習林では森林理水及び砂防工学研究室にて降水量と流出量を観測し, 日降水量・日流出量へ整理したデータを生態水文学研究所に報告した。流出量観測地点は袋山沢 A(千葉演習林), 丸山沢(北海道演習林), バケモノ沢(秩父演習林), 白坂本谷(生態水文学研究所), 3号沢(樹芸研究所), 降水量観測地点は,

新田(千葉演習林), 東郷ダム(北海道演習林), ワサビ沢(秩父演習林), 白坂(生態水文学研究所), 青野(樹芸研究所)である。

2, 降水・溪流水の試料採取と分析

北海道演習林, 秩父演習林, 生態水文学研究所では各演習林にて, 千葉演習林では森林理水及び砂防工学研究室にて降水と溪流水を月に1度採取してpHとECを計測し, 分析担当者へ送付した。ただし秩父演習林では水試料のpHとECの計測はサントリーグローバルイノベーションセンター株式会社水科学研究所で行った。降水, 溪流水の採取地点は1の降水量と流出量の観測地点とそれぞれ同じである。樹芸研究所では, 加納観測地点での降水量1mm以上の降水を出勤日毎に採取するとともに, 3号沢の溪流水を月に1度採取してpHとECを計測し, 分析に供した。

水試料の分析は次の研究室で行った。千葉演習林の水試料は森林理水及び砂防工学研究室で, 北海道演習林と樹芸研究所は樹芸研究所で行った。秩父演習林及び生態水文学研究所の降水試料は樹芸研究所で, 秩父演習林と生態水文学研究所の溪流水試料は生態水文学研究所で行った。

分析項目は溪流水については Na^+ , K^+ , Mg^{2+} , Ca^{2+} , SO_4^{2-} , NO_3^- , Cl^- , pH, ECの9項目, 降水については, 上記9項目に NH_4^+ を加えた10項目とした。

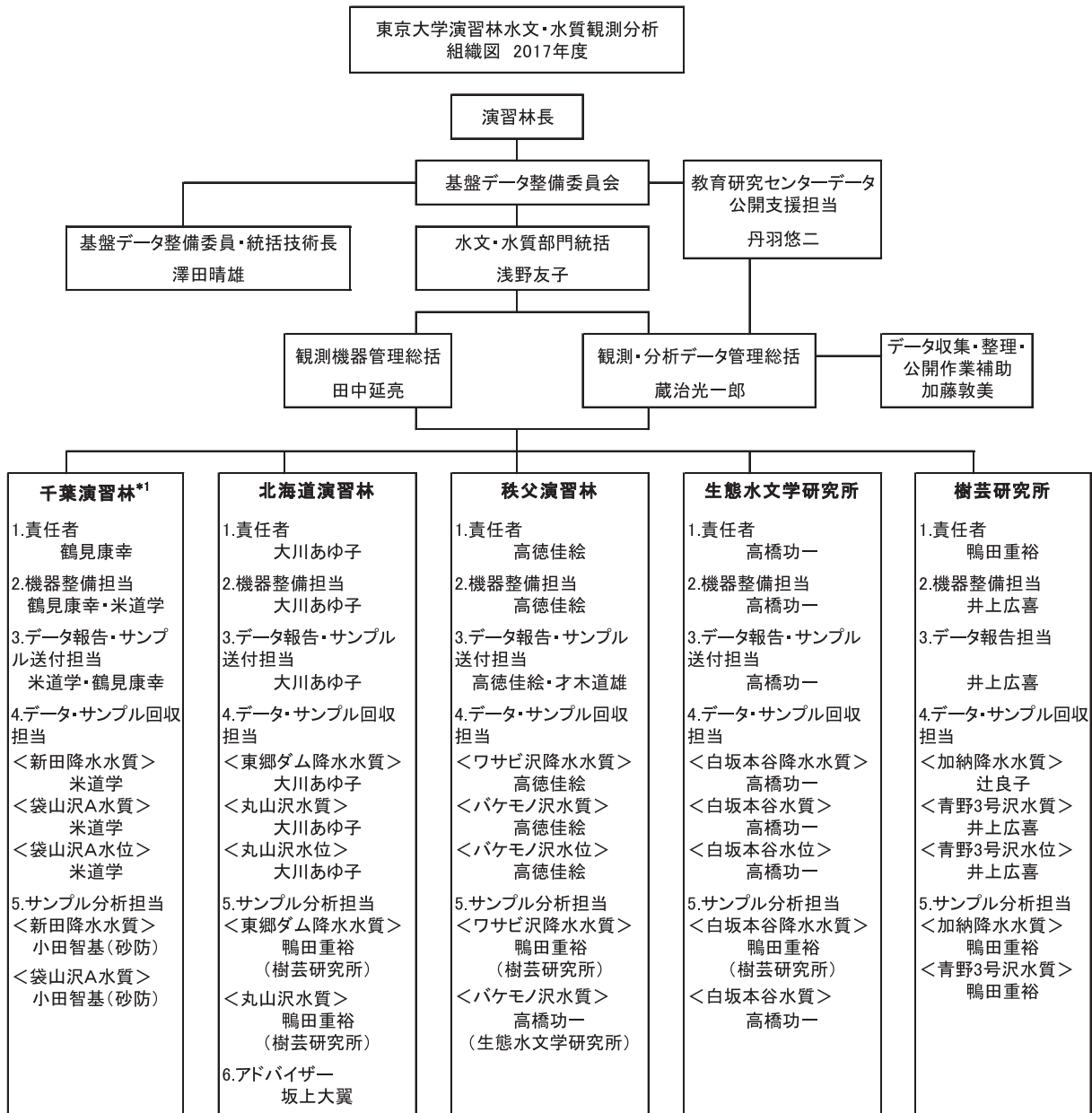
分析結果については, 千葉演習林については森林理水及び砂防工学研究室から, それ以外の試料については水試料を採取した各演習林の担当者がとりまとめ, 生態水文学研究所に報告した。

3, 観測結果のとりまとめと公表

日降水量, 日流出量, 降水と溪流水の水質分析結果を生態水文学研究所がとりまとめた。今年度は2015年1月~12月の観測結果を雑誌「演習林」60号で公表した。

4, その他

水文・水質部門として北海道演習林の担当者1名の農学生命化学研究科技術部第5回分析技術グループ研修(水産実験所で開催)への参加を支援した。大雨と老朽化で破損した丸山沢量水堰堤と白坂量水堰堤の修理を行なった。



*1: 千葉演習林の水文・水質観測は森林理水及び砂防工学研究室のご協力を得ている。

2017年度 各常置委員会活動

表 基盤データ整備委員会 水文水質部門 データ公表進行状況

○2016年度までに公表済み ●2017年度公表

日降水量

		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
千葉演習林	新田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
北海道演習林	東郷ダム	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
秩父演習林	トウバク沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
秩父演習林	ワサビ沢	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	●
生態水文学研究所	白坂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸研究所	青野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

日流出量

		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
千葉演習林	袋山沢A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
千葉演習林	袋山沢B	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	●
千葉演習林	袋山沢C	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	●
北海道演習林	丸山沢	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
秩父演習林	トウバク沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
秩父演習林	バケモノ沢	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	●
生態水文学研究所	白坂(本谷)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸研究所	1号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
樹芸研究所	2号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸研究所	3号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

水質(降水)

		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
千葉演習林	新田	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	●
北海道演習林	東郷ダム	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	●
秩父演習林	ワサビ沢	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	●
生態水文学研究所	白坂	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	●
樹芸研究所	加納	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	●

水質(渓流水)

		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
千葉演習林	袋山沢A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
千葉演習林	袋山沢B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
北海道演習林	丸山沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
秩父演習林	トウバク沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
秩父演習林	バケモノ沢	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	●
生態水文学研究所	白坂南谷	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
生態水文学研究所	白坂本谷	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	●
樹芸研究所	1号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
樹芸研究所	2号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸研究所	3号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

<GIS 部門>

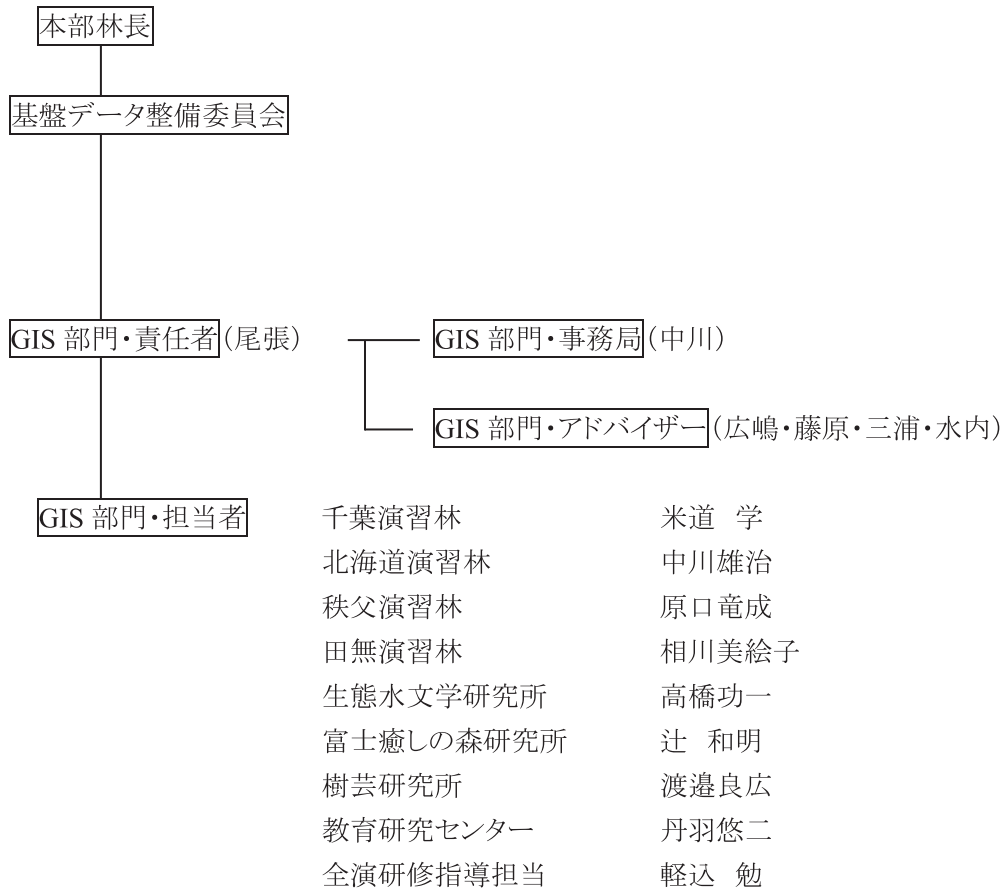
本年度は GIS 部門第 4 期活動計画期間(2016～2018 年度)の 2 年目にあたる。前期の成果をさらに発展させるべく、①GIS データの整備と活用、②GIS 操作技術の向上、の 2 つを当期における GIS 部門の活動方針としている。

活動方針①に関して、当期はタブレット端末を利用した森林資源調査の効率化に取り組むこととし、本年度は防水タブレット端末(iPad)と GNSS 受信機を全演共用機材として導入した。レーザーコンパス測量システムや GNSS 受信機など全演共用機材のリストをウェブページ等に公開(内部限定)した。国土地理院が提供する基盤地図情報(数値標高モデル)5 m メッシュ DEM(航空レーザ測量データ)を取得した。千葉演習林では高齢林間伐後の立木位置図やシカ生息数調査のセンサーカメラ位置図を ArcGIS で作成した。北海道演習林では次年度施業区域の一部を小型無人航空機(UAV)による空中写真撮影を行い、オルソ空中写真を整備し、施業計画立案の参考資料として活用した。秩父演習林では大面積プロットや原生林試験地の立木位置図作成・更新を行ったほか、CS 立体図やタブレット端末の活用を進めた。田無演習林では演習林周辺の高低差を表した図面やコウモリ捕獲調査許可申請のための行政への提出図面を作成した。生態水文学研究所では林小班データの更新および旧演習林敷地のポリゴン化を行った。富士癒しの森研究所では各種研究業務、予算要求図面の作成などで GIS データの整備・活用を進めた。樹芸研究所では随時 GIS データの修正や補完を行った。

活動方針②に関して、11 月 29 日～12 月 2 日に富士癒しの森研究所で GIS 技術指導者養成研修会を開催した。北海道演習林の中川雄治技術専門職員と教育研究センターの丹羽悠二技術専門職員が講師を務め、「回転翼型 UAV を用いた空中写真撮影とデータ解析」をテーマに研修を実施した。千葉演習林・秩父演習林・富士癒しの森研究所の技術職員計 4 名が受講した(写真 1)。UAV の基礎知識や基本構造に関する講義を行った。また、野外において UAV のデモフライトを行い、操縦方法の実習とフライトに関するリスクマネジメントを行い、起こりうる危険の情報を共有した。得られたデータを室内に持ち帰り、Photoscan(画像処理ソフトウェア)を用いてオルソ画像や DEM を作成し、途中 ArcGIS での処理も挟んで、立木位置図の作成を行った。UAV を使って実証林の空撮を行い、得られた画像からオルソ画像の作成や立木本数の計測を行った。1 月 30 日～2 月 1 日には田無演習林と生態調和農学機構の教職員計 4 名を対象とした GIS 技術研修会を開催した(写真 2)。千葉演習林の軽込勉技術専門職員が講師を務め、ドローンの飛行に関わる注意点と三次元写真計測(SfM)及びデータ解析の基礎について実習を行った。UAV の基礎知識と関係法令、PhotoScan の操作実習、ArcGIS で DEM データを利用した標高表示を行った。1 月 31 日～2 月 2 日には生態水文学研究所の職員 4 名を対象とした GIS 技術研修会を開催した(写真 3)。秩父演習林の原口竜成技術専門職員が講師を務め、「フィールドでのモバイル端末等を使用した GIS データ収集と編集、ArcGIS Online の活用」をテーマに研修を実施した。ArcGIS Online の基本操作とデータ共有、タブレット端末を使用したフィールドデータ収集について実習を行った。また、ArcGIS Pro の基本操作、UAV の飛行に関する法令や留意事項について講義を行った。

2017年度 各常置委員会活動

基盤データ整備委員会 GIS 部門の構成(2018年3月現在)



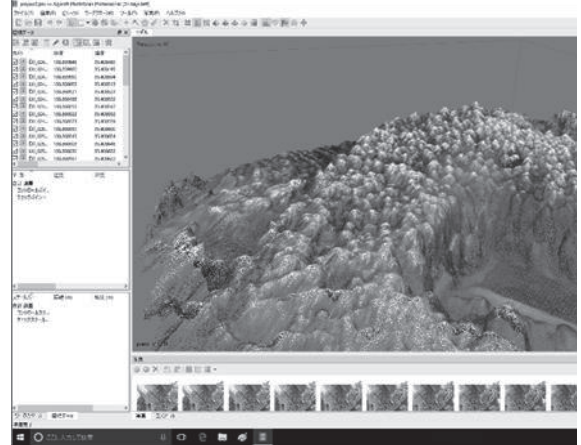


写真1 GIS技術指導者養成研修会におけるデモフライトの様子(左)と空撮画像処理(右)



写真2 田無演習林で行われたGIS技術研修会の様子(左)とArcGISで作成した標高図(右)



写真3 生態水文学研究所で行われたGIS技術研修会の様子

<固定試験地部門>

東京大学の 7 地方演習林には数多くの試験地が設定され測定が行われている。試験地部門では、2011 年度に決めた「試験地データの整備と公開に向けての具体的なスケジュールと方法についての基本的な方針」に基づいて一部のデータのデジタル化とデータ公開に向けて準備を進めている。2017 年度は一部データの公開を始める予定であったが、当初予定していた東京大学リポジトリによる公開がリポジトリのサービス提供計画の変更により困難となったため、別途公開の方法を検討する必要が発生した。

一方、研究科レベルでの事業として 2017 年度より「農学コンテンツの情報化のためのプラットフォーム構築」が始まり、2018 年度からは「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」の一部として農学に関する歴史的資料のアーカイブおよびプラットフォーム化」が推進されることとなった。試験地部門で扱うデータも同事業の一部として研究科ホームページでの公開を目指すこととし、そのための対策チーム「農学コンテンツ対策チーム(通称)」を試験地部門内に立ち上げた。今後は本チームを中心として、試験地データのデジタル化および公開に向けての作業を研究科と連携して進めることとした。具体的な公開方法や公開時期については 2018 年度当初までに検討し、可能な限り 2018 年度中には最初のデジタルデータ公開を実現すべく進めていく予定である。

【研究推進委員会】

第1回委員会を4月21日に開催し、当委員会の活動方針と活動体制(前年度から変更なし)を確認するとともに、本年度の活動計画について議論を行った。また、12月20日と1月17日にはコアメンバー(委員長、副委員長、各班班長)による打合せを行い、次年度の活動計画について検討した。

当委員会内に設置された企画班と評価班において、それぞれ活動計画に従い、以下の活動を実施した。

企画班では、前年度に作成したメタデータ(基盤データ整備委員会各部門が収集するデータ、および各地方演習林の試験地等データを対象としたリスト)の定期更新を行い、演習林の教職員・学生向けのホームページよりダウンロードできるようにした。また演習林内の教職員・学生向けメーリングリストおよび演習林ゼミにて、メタデータの紹介および利用の呼びかけを行った。「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」の申請準備として、メタデータの公開状況もしくは公開方針に関する分類作業を行った。

評価班では、演習林教員の外部資金獲得および論文・学会発表等業績の情報を収集・リスト化し、演習林年報に掲載する研究活動資料として広報情報委員会に情報提供した。

その他、日本学術振興会(JSPS)研究拠点形成事業(B. アジア・アフリカ学術基盤形成型)における長期データ解析研究会の活動を当委員会として支援した。3つの研究分科会(RG1:水・気候, RG2:生態系, RG3:管理)にサポート要員を配置し、分科会運営を支援した。また、研究分科会が開催した現地検討会(RG1:3月5日, RG3:7月10～11日・3月5日)にかかる参加旅費を支弁した。さらに、同事業のウェブサイト(<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/c2c/>)を新たに開設し、その更新・保守を行った。

【教育推進委員会】

1. 委員会の開催

2017年5月19日(金)、10月27日(金)、2018年2月16日(金)の3回開催した。

2. 活動報告

2-1. 教養学部講義の組織的取り組み:演習林では、2006年度より、教養学部における講義の開講に積極的に取り組んできた。近年は、年に30以上の科目が開講され、2017年度は33科目が開講された(図-1)。これらの講義を通じて演習林を訪れ、森林・農山村の現状を学ぶ機会を持った学生は毎年300～400人にのぼり、2017年度は405名が受講した(図-2)。これに加えて、「教育研究計画2011～2020」に例示された「演習林として戦略的な題目の設定」を目指して検討した。その結果、2015～16年度に総合科目「森林環境資源学」(ダムと森林)として開講してきた科目を、2017年度は総合科目「森林環境資源学」(ダムと森林, 森と癒し, 森の最終形)という科目名に変更し、これまで生態水文学研究所で行ってきた現地講義を、同研究所に加えて千葉演習林, 富士癒しの森研究所でも行うことで、講義内容の充実と受け入れ可能学生数の増加を実現できた。

また、教養学部前期課程2年次の学生向けに開講されている農学総合科目および農学基礎科目は、研究科全体で農学部における初年次教育と位置づけられており、これらの講義を担当することは農学部(研究科)全体への貢献として、演習林として組織的に取り組む必要がある講義等に該当すると考えられるので、これらの科目は駒場キャンパスで行う講義に準ずる扱いとすることとした。

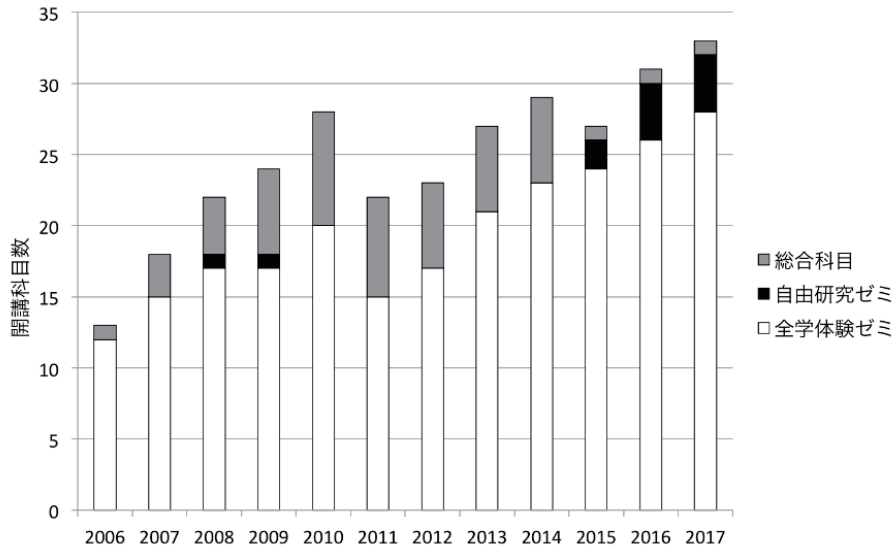


図-1 教養学部開講科目数の推移

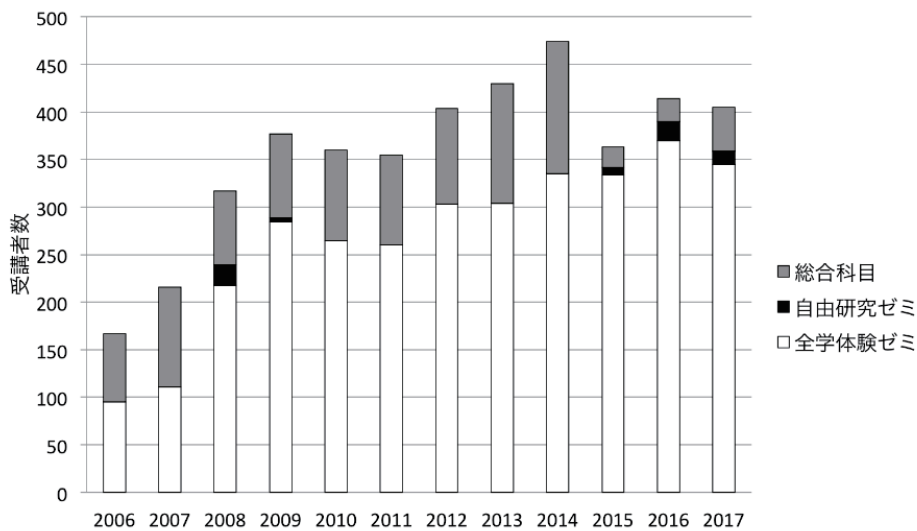


図-2 教養学部開講科目受講者数の推移

注：受講者数は、履修登録者数ではなく、実際に講義を受けた学生数。
2006～07年度の全学体験ゼミは集計されていない科目が含まれる。

2-2. 教育推進委員会予算: 演習林として組織的に取り組む教育活動に関わる費用負担が職種、指導学生の多少、講義数の多寡等によって大きく偏らないようにするために、教育推進委員会予算として、現有教員の教員経費の2%と欠員教員の教員経費の半額を原資とし、運営費からの補てん分を加え、教養学部前期課程の教育(全学体験ゼミ等)にかかる経費(遠隔地教員の講義のための旅費については研究科負担)、演習林ゼミに出席するための最低限の旅費、「演習林」として講義の担当を受け持っているオムニバス講義のための旅費、助教の教育技術の向上をはかるうえで重要な学部実習の担当に必要な旅費等を支弁した。また、研究科から学部教育改革経費の配分が見込まれる場合は、全学体験ゼミナール等学部学生の教育に関連する消耗品等のうち、教育推進委員会が認めた費用については支弁できるように、教育推進経費の支出基準を改正した。

2-3. 広報情報委員会との連携: 演習林ホームページにおいて公開森林実習の情報を発信した。また公開森林実習のポスターを作成し、農学系の大学に送付して広報につとめた。「科学の森ニュース」にコラム「演習林の教育活動における国際交流」を執筆した。

2-4. 演習林ゼミ:演習林ゼミは、教育目的で、卒業論文ならびに修士論文および博士論文の作成に必要な指導を行うための「特別演習」「特別実験」等の科目の一部として行われている。2017年度は4研究室ごとのアレンジおよび卒論、修論、技術職員の発表で計11回開催した。開催案内の配信先を年度当初に確認することにした。

2-5. 学生の確保:教養学部講義担当と協力し、演習林で学ぶためにはどのような学部・専修を選択すればよいかをわかりやすく示した資料として「森林のことを専門的に学ぶには？」を教養学部の講義・ゼミで受講生に配付した。また、進学・大学院受験等のガイダンスの場で「科学の森で学ぼう」パンフレット(PDFで発行)を印刷して配布した。体験ゼミ参加者が進学してきた事例があることから、教養学部講義の実施と合わせ、一定の効果を上げていると評価できる。

2-6. 教員総会:2017年11月14日、15日に実施された教員総会で駒場教育の方向性について議論し、フィールドを持っていることの重要性などを確認した。

2-7. 公開森林実習:全国大学演習林協議会(全演協)では、各大学が持っている演習林相互の有効活用を促進することを目的に教育関係共同利用として「公開森林実習」を実施している。東京大学は、他大学の学生に東大演習林で学ぶ機会を提供するとともに、本学学生に他大学の演習林で行われるさまざまな「公開森林実習」に参加する機会を提供するため、単位の取得にかえて「成績証明書・履修証」を発行することで、全演協の「公開森林実習」に参加している。

2017年度は、森林系2専修およびフィールド科学専修の「森林科学総合実習」、「森林保全学実習」のうち演習林で行われる部分、および国際開発農学専修の「森林実習」を「公開森林実習」として位置づけ、それぞれ「森林科学総合実習－北海道の天然林生態系とその持続的管理－」、「森林と土砂と溪流の実習－山から川に流れ出る土砂を測ろう－」、「伊豆の公開森林実習－人と森林のあり方について考える－」として開講した。その結果、「森林科学総合実習」は参加者なし、「森林と土砂」は京都大から1名、「伊豆の公開森林実習」は京都大から1名の学生が受講した。

2-8. 国際交流:台湾大学から学生・院生10名を受け入れ、9月2日から6日にかけて、関係各位の協力を得ながら生態水文学研究所、富士癒しの森研究所、弥生キャンパスにてサマースクールを実施した。海南大学での集中講義を森林流域管理学研究室が11月に担当した。

【環境安全管理委員会】

毎月開催される農学部の環境安全管理室会議に出席して、情報の収集にあたり、演習林会議を通して情報の共有をはかっている。特定化学物質障害予防規則等の改正への対応など組織で対応すべき事案が多くなっており、弥生キャンパスの研究室とは異なる立場・環境にある演習林の対応について環境安全管理室会議にて質問・説明すること、それらを演習林に持ち帰ることは本委員会の重要な活動の一つである。

教育研究安全衛生マネジメントシステムを2007年度より研究部(現教育研究センター)および各地方演習林をそれぞれユニットとして実施している。2017年度も継続して、各ユニットで安全衛生計画等の作成、定期的なミーティング、リスクアセスメントと対策の検討、安全衛生に関わる各種研修、講習を行った。演習林外部の研修・講習へ職員が参加するとともに、演習林内部でも実施している。教育研究安全衛生マネジメントシステムのまとめや機械等自主検査結果の報告等は各演習林で自律的に実施して、100%の提出率を達成している。100%の提出は当たり前のことではあるが、演習林は常に高い意識を持って安全に配慮していることを示すものである。

2014年2月4日に千葉演習林のシカ生息数調査に際して発生した死亡事故を機に、研究科環境安全管理室の全面的なバックアップを得て演習林を利用する様々な形態ごとに演習林が果たすべき安全配

慮の範囲の明確にした。2015年度に実施した外部評価では、死亡事故が起きた現実を重視して、安全への一層の取り組みが必要であることと、人員削減によるリスク増があることから組織的に人材確保に取り組むべきことの重要性が指摘された。このことを受けて演習林独自の安全への取り組みを行うことを検討した。その一つとして地方演習林の安全管理体制の視察を行い、地方演習林職員と職場の安全環境に関する交流を行うこととした。

今年度は10月5日に伐木との接触事故が北海道演習林で発生した。倒木の根元をチェーンソーで切断した際、幹の根元が下がって地面に落下して足元にあった別の倒木に接触し、この倒木と地面に右足首付近を挟まれて身動きが取れなくなった(右足関節圧挫傷を負った)ということが事故の概要である。安全靴を使用していたため大事に至らずに済んだが重大事故になりうる事故災害と捉えている。統括技術長と各演習林・研究所の技術主任を中心にして、①伐採・搬出作業の手順とMSの再確認、②安全防具の再確認と使用の徹底、③単独作業を行う場合の連絡手段の再確認を行い、再発防止と全演習林の安全意識の向上に資することになった。細心の注意を払っても事故災害は起こり得るので、実際に事故災害が起こった時にしっかりと検証・点検を行って安全性を高めていく努力がとても重要である。

ハチ刺されも複数回報告されたが、今年度はダニ咬傷の報告も多くあげられた。ハチと比較した場合、ダニとの接触ののち刺咬に至るまでに時間があることが特徴なので、調査等で山林から帰還したあとにダニチェックを入念に行うことが安全性を高めるという認識を共有している。

【広報情報委員会】

演習林会議の前の週に、図書館会議室のTV会議システムを利用して毎月1回の会議を行い、広報、情報、ネットワーク、ホームページ、会計等の各担当から報告を行うとともに、審議・議論を行った。また、7月の委員会では、各演の広報情報担当を集め全体会議を開催した(写真1)。この会議では主に、広報からは地域に対する広報活動とSNSの利用について、情報からはネットワーク環境、利用実績システム、セキュリティシステムについて、全体としては演習林のお土産と書籍の販売について、情報の共有や今後の方向性について話し合われた。

【広報活動】

・演習林編集委員会と連携して、雑誌「演習林報告」137号・138号、「演習林」60号を編集・発行した。それぞれの英語表記について、「演習林報告」は「Bulletin of The University of Tokyo Forests」、「演習林」は「Miscellaneous Information of The University of Tokyo Forests」を正式名とし、今年度発行のものからこの表記で統一するとした。また、2年毎に発行している演習林「概要」の他、科学の森ニュース78号～81号、「科学の森で学ぼう」の編集、印刷、出版と配布、全演ホームページの更新とコンテンツの管理を行った。ホームページでは、10月の東京大学学術機関リポジトリのリニューアルに伴い、当該URLの修正を行ったほか、12月の全国大学演習林協議会のホームページリニューアルに伴い、一部web上で直接編集が可能となった箇所の更新を行った。

・科学の森ニュースについては、科学の森ニュース発行の3か月前に広報情報委員会と科学の森ニュース編集委員会を合同開催することにより、掲載する記事の情報を各地方演習林から収集できるようにした。

・毎月の専攻長・附属施設長会議に演習林の活動を資料として提出したほか、各演習林と協力しながら、広報誌(学内広報、淡青、弥生など)への原稿の投稿、情報の提供を行った。

・平成29年4～平成30年3月の演習林出版局の出版物(ポストカード含む)の販売実績は、ジュンク堂札幌店で4冊、農学部生協店で83冊、生協駒場書籍部で5冊、多摩六都科学館ミュージアムシヨツ

プ 13 冊, 神林書店 17 冊, 千葉県立中央博物館ミュージアムショップで 22 冊, 地方演習林合計で 543 冊, 全体では 687 冊, 合計 498,024 円(消費税込)となった。4 月から千葉県立中央博物館ミュージアムショップ, 7 月から生協の駒場書籍部と取引を開始した。

【情報活動】

- ・各演習林の利用実績の収集・報告およびデータベースの維持管理を行った。
- ・基盤データ整備委員会と連携し, 試験地部門におけるデータベースの構築, 公開についての作業分担協力, 気象部門における各演で観測された気象データの収集と取りまとめ, 公開支援, 水文・水質部門における観測データの公開支援を行った。
- ・技術職員等試験研究・研修会議報告について, とりまとめや編集を行った。
- ・演習林年報の書体や書式について, 全体的な統一が取れるように確認を行った。
- ・広報情報委員会の下部組織である演習林ネットワーク委員会では, メールアカウントの管理業務・演習林サイボウズ・Web/データベースサーバの管理・部局 CERT における担当としてコンピュータセキュリティに関する業務, 地方演習林のインターネット接続・コンピュータネットワークに対する支援などを行った。今年度は, 農学事務からの all@メールの下流設定の確認, 演習林サイボウズの管理体制について検討を行い, フォルダの名称変更・統合や管理運営マニュアルの作成, UTokyo WiFi の運用開始やマイクロソフト包括ライセンスによる Office ソフトの利用開始に関する対応, ICT を用いた遠隔地講義の推進のため, 地方演習林の施設整備の支援を行った。また, ランサムウェア被害に関する報告と対策となるバックアップ体制についての周知, 全学セキュリティファイアウォール運用状況等説明会の参加, メールホスティングサービスメールアカウント盗用への注意喚起など, UT-CERT 部局担当として対応にあたった。



写真 全体会議の様子

【国際交流委員会】

演習林国際交流委員会は、おもに、各国の大学演習林との交流計画の作成・実施を任務としている。2017年度には、研究推進委員会との協力により2016年度から採択となった、日本学術振興会（JSPS）研究拠点形成事業（B.アジア・アフリカ学術基盤形成型）に「アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把握する長期観測フィールドのネットワーク構築（代表：鎌田直人，2016-2018年度）」の事業を中心に活動を行った。2017年5月にはソウル国立大学と南部演習林でワークショップ、11月にはカセサート大学とチャンマイ周辺にてシンポジウムを開催した。両方とも、東京大学のほか、国立台湾大学・ソウル国立大学校・カセサート大学・マレーシアサバ大学から参加した。また、2018年3月にはJSPS C2C の中間シンポジウムを東京大学農学部で行い、これまでの総括と次期申請へむけて打ち合わせを行った。あわせて千葉演習林・生態水文学研究所へのエクスカージョンも行った。国立台湾大学の森林系の学生10名を筑波大学と合同でサマースクールに受け入れた。マレーシアサバ大学とは、研究交流協定の発展的更新と学生交流協定が締結された。ヨーロッパの大学演習林の協議会であるSILVA NETWORKの年次集会（2017年6月）に鎌田と尾張が参加して、演習林における教育について情報交換を行った。

【森林病虫害委員会】

森林病虫害委員会は森林管理において支障となる病虫害が発生し各地方演習林で対応が困難な場合に専門的な立場から管理指針を助言することになっている。

2017年度は千葉演習林をはじめ房総半島南部でマテバシイを中心にブナ科樹木萎凋病（通称ナラ枯れ）が発生した。千葉演習林では千葉県各機関と協議して状況の把握、対応に取り組んでおり、本委員会でも千葉演習林と情報の共有を図っている。

生態水文学研究所74林班ではマツ枯れに対する薬剤散布を継続しており、生態水文学研究所が調査した被害状況の報告を受けている。被害は抑えられていることから、今後も経過観察を続け枯死が多発した場合には対応策を検討する。2010年度に実施したマツ枯れ予防樹幹注入試験地（注入木約130本）についても2017年度は枯死木がなかったため、調査は実施しなかった。本試験地では注入後数年間、予防効果について経過観察し、注入木で枯死が多発した場合には薬剤の分布調査を行うことになっている。

その他に対応が必要な病虫害発生案件はなかった。

【「東京大学の森」育成資金委員会】

2017年度の寄付受入状況は3月上旬までに9件、100万円（本部取り分含む）であり、寄付件数、寄付額とも過去最低であった2016年度を上回ったが、2011～2015年度に比べると依然として少額であった。2013年度まで演習林で行っていた東京大学基金渉外本部主催の東大寄付者フォローアップセミナーが、2014年度以降、渉外本部の方針変更で開催されておらず、寄付の減少につながっていると考えられる。2017年度は渉外本部に頼らず寄付を募るための準備として「東京大学の森」育成資金のパンフレットを改訂した。

東京大学基金のホームページにおける「東京大学の森」育成資金の情報は、階層の奥深くにあったが、本部渉外基金課のご協力により、以下のように情報を「その他の寄付募集企画」に変更し、説明文を掲載していただいた。

東京大学ホームページの左側のバナー「東京大学基金」
 →その他の寄付募集企画
 →東京大学の森育成資金の案内
 (説明文と、全演ホームページの該当箇所へのリンクがある)

東京大学基金ホーム > プロジェクトカテゴリー > その他の寄付募集企画

その他の寄付募集企画

『東京大学経済学図書館・経済学部資料室寄付のお願い』



東京大学経済学図書館・経済学部資料室は、1世紀余りの間、日本における経済学の専門図書館として継続的な資料収集を行ってきました。所蔵資料は学内外を問わず、調査・研究のための利用に広く供されており、資料保存や資料のデジタル化にも力を入れています。同館が、今後も幅広い資料を収集し、未来へと伝えていくことができるよう、その継続的活動の支援を目的とした寄付募集です。

詳細はこちら→http://www.lib.e.u-tokyo.ac.jp/?page_id=184

『東大生海外体験プロジェクト』



グローバル化が進む日本の将来を担う若者に、私たちは何ができるのか？学生時代に海外に行く機会を得、異文化の中に身を置くことで多くの学びを得ることは、グローバル人材への成長に最も効果的ではないかと私たちは考えます。そこで本プログラムを設立し、経済的な問題やキッカゲとなる機会が少ななど、学生時代に海外体験を積みたくても種のない学生達を応援することと致しました。…【目標額】第一期申込み1億円(2013年12月31日まで)

詳細はこちら→<https://payment.utf.u-tokyo.ac.jp/tokyo/todaiseiktpj/>

『明治新聞雑誌文庫への寄付のお願い』



明治新聞雑誌文庫は開設以来、着実に資料の収集・整理を進めてきました。しかし、明治・大正期資料は刊行から100年以上、昭和初期の資料も刊行から70年以上が過ぎ、劣化が進んでいます。近代日本の貴重な文化遺産である新聞・雑誌の文庫「明治新聞雑誌文庫」へのご支援をお願いします。

詳細はこちら→<http://www.meiji.j.u-tokyo.ac.jp/donate.html>
 ご寄付のお申込みはこちら→<http://utf.u-tokyo.ac.jp/2016/04/post-a04f.html>

『東京大学の森』育成資金』



「東京大学の森」育成資金は、東京大学が一貫して守り育んできた森を、今後も適切で持続可能な森林管理を行い、市民教育にも寄与したいと考え、その財政基盤の強化の一助を図るべく設立したものです。是非とも、ご理解ご支援賜りたくお願い申し上げます。

詳細はこちら→<http://www.uf.au-tokyo.ac.jp/kusei/capital/cooperation.html>
 ご寄付のお申込みはこちら→<http://utf.u-tokyo.ac.jp/2017/08/post-de07.html>

『体験活動支援基金(FLY Program他)』



本学では、学生がキャンパス内での学びだけでなく、これまで生きてきた世界とは異なった考え方や発想、行動様式や価値観に接し、刺激を受け、自身の価値観を相対化し、不遇に新たな学びを通して、自分自身を成長させる機会を提供しています。学生が体験活動、地域活動、国際交流

寄付のお願い
パンフレット PDF

- 寄付をする
- 寄付のしかた
- 寄付の特典
- 寄付のご報告・成果
- 寄付の必要性
- 寄付者の声
- よくあるご質問・その他

プロジェクトカテゴリー

- ▶ 東日本大震災からの救援・復興
- ▶ 奨学金給付制度の充実
- ▶ キャンパス環境の整備
- ▶ 教育・研究の支援
- ▶ 卒業生ネットワーク
- ▶ 各運動部・東大スポーツ全般の支援
- ▶ 学部・研究科・研究所・センター支援
- ▶ その他の寄付募集企画

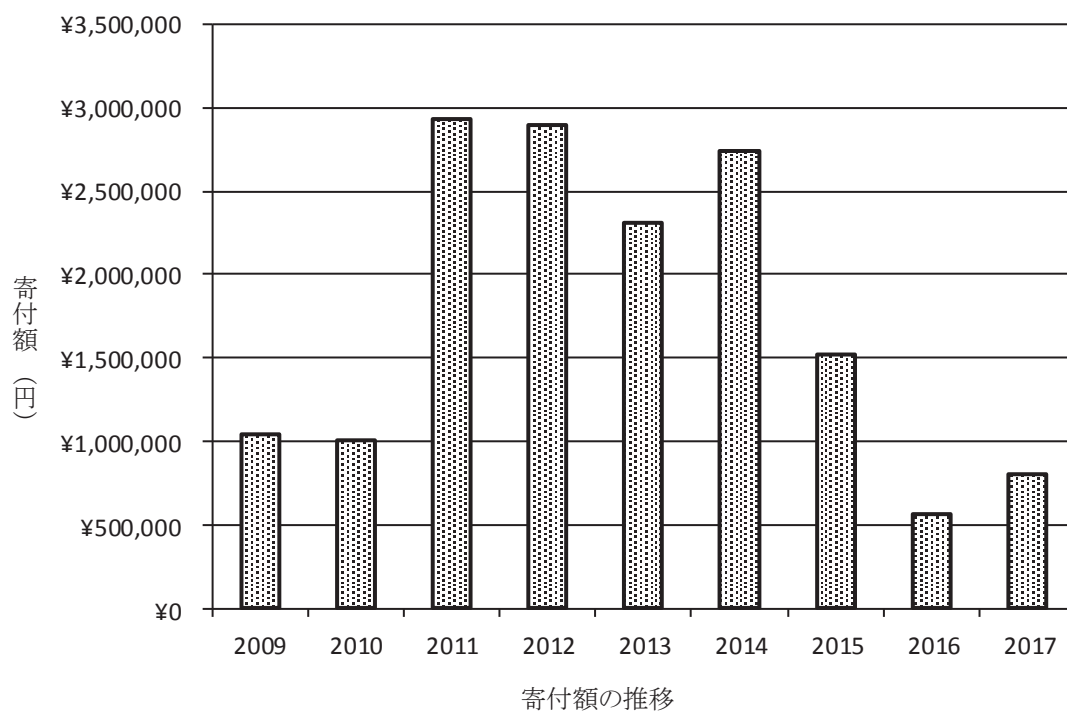
古本募金
不要になった書籍を寄付しませんか?

- 47 -

2017年度 各常置委員会活動

「東京大学の森」育成資金 寄付状況

年度	寄付件数	寄付額(円) (演習林への配分総額)	1件あたりの 寄付額(円)	備考
2009年度	5	1,044,000	208,800	開始初年度
2010年度	11	1,012,000	92,000	
2011年度	30	2,936,750	97,892	
2012年度	26	2,895,950	111,383	
2013年度	42	2,312,000	55,048	
2014年度	13	2,745,500	211,192	
2015年度	11	1,521,500	138,318	
2016年度	6	561,000	93,500	
2017年度	9	800,000	88,889	
計	160	15,828,700		



■資料■

■教育活動■

大学院講義等

大学院農学生命科学研究科

生圏システム学専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人	後藤 晋	平尾聡秀	鈴木智之	前原 忠	森林圏生態学
久本洋子	福井 大				
鎌田直人	後藤 晋	平尾聡秀			森林圏生態学演習
山田利博	嶋田重裕	楠本 大			森林生物機能学
山田利博	嶋田重裕	楠本 大			森林生物機能学演習
石橋整司					森林生態圏管理学特論
蔵治光一郎					国際森林学特論
石橋整司	安村直樹				森林圏生態社会学演習
蔵治光一郎	浅野友子	田中延亮			森林圏水循環機能学
蔵治光一郎	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子		森林流域管理学演習
内山憲太郎	山岸順子	高田まゆら	松崎慎一郎	深澤圭太	
石橋整司	深野祐也	細谷 将	當山啓介	久本洋子	生圏システム学特論
齊藤 修	菊池 潔	平瀬祥太郎	山田 晋		
鎌田直人	山田利博	石橋整司	尾張敏章	蔵治光一郎	
嶋田重裕	後藤 晋	廣嶋卓也	平尾聡秀	浅野友子	生圏システム学実験・研究
安村直樹	楠本 大				

森林科学専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人	後藤 晋	平尾聡秀	鈴木智之	前原 忠	森林圏生態学
久本洋子	福井 大				
山田利博	嶋田重裕	楠本 大			森林生物機能学
石橋整司					森林生態圏管理学特論
蔵治光一郎					国際森林学特論
蔵治光一郎	浅野友子	田中延亮			森林圏水循環機能学
鎌田直人	山田利博	石橋整司	蔵治光一郎	後藤 晋	
嶋田重裕	尾張敏章	廣嶋卓也	平尾聡秀	浅野友子	森林科学特別実験
安村直樹	楠本 大				
鎌田直人	山田利博	石橋整司	蔵治光一郎	後藤 晋	
嶋田重裕	尾張敏章	廣嶋卓也	平尾聡秀	浅野友子	森林科学特別演習
安村直樹	楠本 大				

農学国際専攻修士課程

教 員 名	講 義 名
鎌田直人	森林昆虫生態学 (Forest Insect Ecology)
尾張敏章	国際森林認証論 (International Forest Certification)

生圏システム学専攻博士課程

教 員 名	講 義 名
鎌田直人 後藤 晋 平尾聡秀	森林圏生態学特別演習
山田利博 鴨田重裕 楠本 大	森林生物機能学特別演習
石橋整司 安村直樹	森林圏生態社会学特別演習
蔵治光一郎 尾張敏章 廣嶋卓也 浅野友子	森林流域管理学特別演習
鎌田直人 山田利博 石橋整司 蔵治光一郎 後藤 晋 鴨田重裕 尾張敏章 廣嶋卓也 平尾聡秀 浅野友子 安村直樹 楠本 大	生圏システム学特別実験・研究

森林科学専攻博士課程

教 員 名	講 義 名
鎌田直人 山田利博 後藤 晋 鴨田重裕 平尾聡秀 楠本 大	森林生態圏管理学特別演習 I
石橋整司 蔵治光一郎 尾張敏章 安村直樹 廣嶋卓也 浅野友子	森林生態圏管理学特別演習 II
鎌田直人 山田利博 後藤 晋 鴨田重裕 平尾聡秀 楠本 大	森林生態圏管理学特別実験 I
石橋整司 蔵治光一郎 尾張敏章 安村直樹 廣嶋卓也 浅野友子	森林生態圏管理学特別実験 II

2017年度 教育活動 学部講義等

農学部講義・演習・実験実習

教員名			講義名	学部:課程(専修)等	開講年次・ターム
鎌田直人 蔵治光一郎 尾張敏章 浅野友子	山田利博 後藤 晋 廣嶋卓也 安村直樹	石橋整司 鴨田重裕 平尾聡秀 楠本 大	森林生態圏管理学	応用生命科学課程・環境資源科学課程	3年次・S1-SP
永田 信	古井戸宏通 安村直樹		森林政策学	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1-SP
丹下 健	益守 眞也 後藤 晋		造林学	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1-SP
後藤 晋			森林遺伝育種学	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・A1
福田健二 久本洋子	松下範久 鈴木智之	楠本 大	森林植物学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1-SP
富樫一巳 前原 忠	久保田耕平 加賀谷隆		森林動物学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1-SP
丹下 健 久本洋子	益守眞也 楠本 大		造林学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1-SP
古井戸宏通	安村直樹 齋藤暖生		森林政策学演習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・S1-SP
丹下 健	益守眞也 鈴木智之		森林土壌学実験	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・S1-SP
熊谷朝臣 田中延亮	浅野友子 蔵治光一郎	小田智基 堀田紀文	森林保全学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・S1-SP
白石則彦 中島 徹	廣嶋卓也 當山啓介	藤原章雄	森林経理学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年次・S1-SP
白石則彦 坂上大翼	鎌田直人 福井 大	尾張敏章	森林科学総合実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修・フィールド科学専修	3年次・SP
下村彰男	藤原章雄		森林風景計画学実習	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年次・A1-A2
鴨田重裕 平尾聡秀	広嶋卓也 露木 聡	井上広喜	森林実習	国際開発農学専修	3年次・SP
高橋一生 久保成隆	浅野友子 木村伸吾		水の環境科学	農学総合科目	2年次・A1-A2
白石則彦 古井戸宏通 安村直樹	蔵治光一郎 仁多見俊夫 尾張敏章	龍原 哲 熊谷朝臣 広嶋卓也	森林環境科学汎論	農学基礎科目	2年次・A2

教養学部講義・演習

教員名			講義名	開講ターム・ セメスター
蔵治光一郎 水内佑輔 三浦直子	広嶋卓也 藤原章雄 當山啓介	田中延亮 齋藤暖生 久本洋子	総合科目D(人間・環境)「森林環境資源学(ダムと森林, 森と癒し, 森の最終形)」	S
富樫一巳 福田健二 益守眞也	丹下 健 久保田耕平	鎌田直人 松下範久	総合科目E(物質・生物)「森の生物学(共存する森林生物)」	S
嶋田 透 勝間 進 高田まゆら 久保田耕平	石川幸男 東原和成 鎌田直人	松尾隆嗣 富樫一巳 宮下 直	全学自由研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」	S
嶋田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラスS1」	S
嶋田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラスS2」	S
石橋整司	露木 聡		全学自由研究ゼミナール 「古典落語から知る江戸の自然・文化」	A
嶋田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラスA1」	A1
嶋田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラスA2」	A2
鈴木 牧 福井 大	久本洋子	當山啓介	全学体験ゼミナール 「フィールドで考える野生動物の保護管理」	S
嶋田重裕	鎌田直人	平尾聡秀	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)」	S
嶋田重裕	井出雄二		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)1」	S
嶋田重裕			全学体験ゼミナール「企画系さらに伊豆に学ぶS1」	S
嶋田重裕			全学体験ゼミナール「企画系さらに伊豆に学ぶS2」	S
楠本 大	安村直樹	竹本周平	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成 —子どもに伝える自然体験」	S
浅野友子 藤原章雄	石橋整司 齋藤暖生	後藤 晋	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(夏)」	S
山田利博 鈴木智之	平尾聡秀	浅野友子	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	S
廣嶋卓也	田中延亮	水内佑輔	全学体験ゼミナール「人の手で造り管理される森林—林業・ 風景計画の視点から」	S
石橋整司 久本洋子	井上広喜 當山啓介	齋藤暖生 前原 忠	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	S1
石橋整司 廣嶋卓也 當山啓介	蔵治光一郎 藤原章雄 久本洋子	安村直樹 齋藤暖生	全学体験ゼミナール 「君はスギとヒノキのことを本当に知っているか?(入門編)」	S2
山田利博 鈴木智之	平尾聡秀	浅野友子	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	A
蔵治光一郎 廣嶋卓也	田中延亮 水内佑輔	菊池 潔 佐藤貴紀	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	A
嶋田重裕	岡本 研		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)2」	A1
嶋田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)3—後編—」	A1
石橋整司 久本洋子	井上広喜 當山啓介	齋藤暖生 前原 忠	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	A1
嶋田重裕			全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)後編」	A1
嶋田重裕			全学体験ゼミナール「企画系, さらに伊豆に学A1」	A1
石橋整司	露木 聡	藤原章雄	全学体験ゼミナール「森の魅力をマッピング～GPSを使った オリジナル地図づくり～」	A1

2017年度 教育活動 学部講義等

教員名			講義名	開講ターム・ セメスター
鎌田直人 福井 大	尾張敏章	坂上大翼	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	A2
石橋整司	久本洋子	當山啓介	全学体験ゼミナール「房総の森と生業(なりわい)を学ぶ」	A2
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	A2
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	A2
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	A2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「企画系, さらに伊豆に学ぶA2」	A2
鴨田重裕	井上広喜		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ－熱帯植物編－」	A2
浅野友子 齋藤暖生	石橋整司 三浦直子	藤原章雄	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(冬)」	A2
安村直樹 山田 晋	齋藤暖生 小山明日香	當山啓介	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	A2

他大学の非常勤講師(委嘱あり)

教員名	講義名	対象学部	学科等	学年	大学名
石橋整司	環境論	電気通信学部	総合文化講座	1年	電気通信大学
石橋整司	エコロジーA	造形学部	デザイン学科	2・3・4年	東京造形大学
鈴木智之	生物環境論	社会情報学部	情報社会学科	2・3・4年	群馬大学
鎌田直人	森林病虫害論(虫害)	農学部	森林科学科	3・4年	宇都宮大学
安村直樹	農林社会経済学 特別講義 I	生命環境科学 研究科	生物資源 科学専攻	修士・博士	筑波大学

2017年度 教育活動 その他の講義・実習対応

その他の講義・実習対応(学内で担当教員以外で対応した場合/他大学で委嘱のない場合)

教職員名	講義名	対象学部等	学科等	学年	大学名
佐藤貴紀	総合科目D(人間・環境)「森林環境資源学(ダムと森林, 森と癒し, 森の最終形)」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
大村和也・五十嵐勇治・高野充広・吉田弓子・才木道雄	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
犬飼 浩・磯崎靖雄・小池征寛・木村恒太・大川あゆ子・木村徳志・福岡 哲・中川雄治・岡平卓巳・井口和信・廣田善己・及川 希・犬飼慎也・阿達康眞	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
犬飼 浩・木村恒太・磯崎靖雄・遠國正樹	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
五十嵐勇治・齋藤俊浩	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
栗田直明・相川美絵子	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成－子どもに伝える自然体験」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
栗田直明	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
辻 和明・西山教雄	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
村川功雄・塚越剛史	全学体験ゼミナール「君はスギとヒノキのことを本当に知っているか?(入門編)」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
三次充和	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
塚越剛史・鈴木祐紀・村川功雄・鶴見康幸・千嶋 武	全学体験ゼミナール「房総の森と生業(なりわい)を学ぶ」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻 良子	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)1」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻 良子	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)2」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻 良子	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)3」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻 良子	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻 良子・小林徹行	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学

2017年度 教育活動 その他の講義・実習対応

教職員名	講義名	対象学部等	学科等	学年	大学名
村瀬一隆・渡邊良広・辻 良子	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻 良子・相川美絵子	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
佐藤貴紀・井上 淳・高橋功一	全学体験ゼミナール「人の手で造り管理される森林ー林業・風景計画の視点から」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
井上 淳・高橋功一・里見重成・梁瀬桐子	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
坂上大翼・木村恒太・犬飼慎也・丹羽悠二	森林環境科学汎論	農学部	農学基礎科目	2年	東京大学
坂上大翼・木村恒太・中川雄治・丹羽悠二	森林遺伝育種学	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
坂上大翼・中川雄治・遠國正樹・井上 崇・江口由典・木村恒太・小林徹行・天山学・丹羽悠二	森林生態圏管理学	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
栗田直明・相川美絵子・辻和明・西山教雄	森林動物学実験	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
鈴木祐紀・千嶋 武・齋藤俊浩・大村和也・五十嵐勇治・高野充広・原口竜成・高德佳絵・才木道雄・平尾聡秀	森林植物学実験	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
當山啓介・鈴木祐紀・村川功雄・大石諭・鶴見康幸・塚越剛史・千嶋 武・軽込勉・三次充和・米道 学・栗田直明・相川美絵子	造林学実験	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
辻 和明	森林政策学実習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
田中延亮・井上 淳・高橋功一・里見重成・梁瀬桐子	測量学実習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
中川雄治・井口和信・岡平卓巳・廣田善己・小池征寛・遠國正樹・井上 崇・木村恒太・小林徹行・及川 希・磯崎靖雄	森林科学総合実習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修・フィールド科学専修	3年	東京大学
齋藤俊浩・五十嵐勇治・高野充広・才木道雄	バイオマス科学実習 森林科学実習	農学部	生物素材科学専修	3年	東京大学
栗田直明	緑地環境実地実習	農学部	緑地環境学専修	3年	東京大学
原口竜成・吉田弓子	森圏管理学実習	農学部	フィールド科学専修	3年	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻 良子・澤田晴雄	森林実習	農学部	国際開発農学専修	3年	東京大学
齋藤暖生・齋藤純子	国際農学実験・個別実験	農学部	国際開発農学専修	3年	東京大学
軽込 勉・三次充和・大石諭・鶴見康幸	森林経理学実習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年	東京大学

2017年度 教育活動 その他の講義・実習対応

教職員名	講義名	対象学部等	学科等	学年	大学名
高野充広・高德佳絵・才木道雄・栗田直明	森林土壌学実験	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年	東京大学
井上 淳・高橋功一・里見重成・梁瀬桐子	森林保全学実習・東京大学公開森林実習「森林と土砂と溪流の実習」	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年	東京大学
齋藤俊浩・五十嵐勇治・高野充広・吉田弓子	フィールド科学総論	大学院農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	修士課程	東京大学
千嶋 武	生圏システム学特論	大学院農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	修士課程	東京大学
犬飼 浩・小林徹行・木村恒太・木村徳志・福岡 哲・井口和信・松井理生・延 栄一・江口由典・小池征寛・井上 崇・大川あゆ子・千嶋武・軽込 勉・大石 諭	陸域生態学実習	大学院新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	修士課程	東京大学
齋藤俊浩・高野充広	自然環境デザインスタジオ2	大学院新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	修士課程	東京大学
竹本周平	環境調和特別演習 持続可能な農林畜水産業 1. 環境負荷	大学院農学生命科学研究科	環境調和農学特別コース	博士課程	東京大学
井上 淳・高橋功一・里見重成・梁瀬桐子	東京大学公開森林実習「森林と土砂と溪流の実習」	なし		学部学生	全国大学演習林協議会
久本洋子	樹木学実習	農学部	森林科学科	1年	宇都宮大学
水内佑輔	自然と人間8	教養講義科目		1・2年	名古屋市立大学
井上 淳・高橋功一・里見重成・梁瀬桐子	生物環境科学基盤実験実習	農学部		2年	名古屋大学
坂上大翼・小林徹行	森林資源学スタディツアー	農学部	生物環境学科 森林資源学コース	3年	愛媛大学
大川あゆ子	生物学実習	農学部	生物資源科学科	3・4年	北海道大学
坂上大翼	インターンシップⅡ：北海道における森林のあり方と開発	現代社会学部	社会システム学科	4年	同志社女子大学
竹本周平	現代日本論入門	留学生センター	短期留学プログラム	学部生・大学院生	東京学芸大学

4研究室の所属メンバー

森林圏生態学研究室

教授	鎌田直人
准教授	後藤 晋
講師	平尾聡秀
助教	前原 忠
助教	久本洋子
助教	鈴木智之
助教	福井 大
博士2年	サイフル・アムリ・サラギー
博士2年	執行宣彦
博士1・2年	彭 勇
修士2年	川崎 満
修士1年	金道知聖
修士1年	小原 茜
学部4年	田中翔大

森林生物機能学研究室

教授	山田利博
准教授	鴨田重裕
講師	楠本 大
助教	坂上大翼
助教	井上広喜
助教	竹本周平
博士1・2年	アンヌ・カロリナ

森林圏生態社会学研究室

教授	石橋整司
講師	安村直樹
助教	藤原章雄
助教	齋藤暖生
助教	當山啓介
研究生	陳 天宇
研究生	李 東旭
研究生	李 昕暉
研究生	韋 珉傑

森林流域管理学研究室

教授	蔵治光一郎
准教授	尾張敏章
講師	廣嶋卓也
講師	浅野友子
助教	田中延亮
助教	三浦直子
助教	水内佑輔
特任助教	佐藤貴紀
IPADS博士2・3年	サデーパ・ジャヤトゥンガ
博士1年	チョー・トゥー・モー
博士1年	ムスリ・イスミニャ
修士2年	五十嵐慶一
学部4年	平山偉之
研究生	ヴィージェナイカ パピトラ ランガニー

所属学生の学位論文

修士論文

学生氏名	題目
五十嵐慶一	気候変動と土地利用変化が洪水流量に及ぼす影響の予測 —タイ北部Nan県Song Khwae郡を事例として—
川崎 満	ニホンジカの食性に対する季節, 生息地環境および遺伝構造の役割

卒業論文

学生氏名	題目
田中翔大	シカ植食圧と環境要因が天然林の萌芽動態に及ぼす影響: 種の形質による応答の違い

森林生態圏管理学大講座ゼミ

第1回 (2017年4月21日(金)13:00-17:00/森林生物機能学研究室)		
楠本 大	(田無演習林)	シグナル物質によるヒノキ師部の防御反応の制御
鴨田重裕	(樹芸研究所)	樹芸研究所の取り組み ①早生樹林業
山田利博	(秩父演習林)	生立木の材変色腐朽における菌類群集組成
第2回 (2017年5月19日(金)13:00-17:00/森林圏生態学研究室)		
執行宣彦	(森林博士2年)	土壌微生物群集がセルロース分解に及ぼす影響
鎌田直人	(北海道演習林)	昆虫個体群と群集の季節性と周期性
後藤 晋	(教育研究センター)	北方針葉樹はこれからの温暖化に耐えられるのか？ ー温暖地への移植実験から見えてきたことー
久本洋子	(千葉演習林)	千葉演習林のマツ材線虫病抵抗性アカマツ苗木生産事業のこれまでとこれから
第3回 (2017年6月26日(金)13:00-17:00/森林圏生態社会学研究室)		
幡 建樹		木材需要の質的变化と林業・林産業の新展開 ー信州カラマツ林業を事例としてー
安村直樹	(田無演習林)	どうやって苗木を確保するか？:供給面と需要面からの検討
當山啓介	(千葉演習林)	千葉演習林における針葉樹人工林の試験地と成長理論
齋藤暖生	(富士癒しの森研究所)	日本における非木材生産物アクセス権排除の多様性と動態
第4回 (2017年7月21日(金)13:00-17:00/森林流域管理学研究室)		
クリス ゾウ	(オクラホマ州立大学)	Juniper encroachment and hydrological responses in the southern Great Plains, USA
水内佑輔	(生態水文学研究所)	大正・昭和初期の京都府間人における東山公園設立経緯と谷源蔵の考え
三浦直子	(教育研究センター)	山地河川における地上レーザ測量 ー河床のドライスキャンはできるのか？ー
田中延亮	(生態水文学研究所)	Factors explaining the tree-to-tree variation in stemflow for Japanese cypress plantation
浅野友子	(秩父演習林/ 富士癒しの森研究所)	山地河川における出水時の河道抵抗
蔵治光一郎	(企画部)	ヒノキ林の間伐が流量に及ぼす影響ー斜面ライシメータによる実験
第5回 (2017年9月22日(金)13:00-17:00/森林生物機能学研究室)		
鳥居正人	(田無演習林)	東・東南アジアで採取されたRaffaella属菌の分子系統
竹本周平	(田無演習林)	わが国に分布するカタツブタケ属(クロサイワイタケ目クロサイワイタケ科)菌類とアジア諸国における調査の必要性
坂上大翼	(北海道演習林)	UAV搭載型熱赤外・マルチスペクトルセンサによる樹木の水分生理状態評価の試み
井上広喜	(樹芸研究所)	特許出願の事例紹介
第6回 (2017年10月27日(金)13:00-17:00/森林圏生態学研究室)		
金道知聖	(森林修士1年)	タケ地下茎の伸長に対する周辺環境の影響
富樫一巳	(森林科学専攻)	マツ材線虫病の流行とアリー効果
福井 大	(北海道演習林)	森林施業がコウモリ類の活動に及ぼす影響～音声モニタリングの結果～
平尾聡秀	(秩父演習林)	石灰岩地帯に隔離分布するカバノキ科絶滅危惧種チブミネバリの遺伝的多様性と生育環境の評価
第7回 (2017年11月17日(金)13:00-17:00/森林圏生態社会学研究室)		
石橋整司	(千葉演習林/企画部)	秩父演習林で撮影したクマ剥ぎ動画
齋藤 馨	(新領域・自然環境)	えぞ松の更新(幸田文1971)とサイバーフォレスト(富良野前山ライブモニタリング2014-)
藤原章雄	(富士癒しの森研究所)	富士癒しの森研究所における教育プログラム

2017年度 教育活動 森林生態圏管理学大講座ゼミ

第8回 (2017年12月22日(金)13:00-17:00/修士論文発表・卒業論文発表・森林圏生態学研究室)		
田中翔大	(フィールド科学学部4年)	生物的・非生物的環境要因が萌芽動態に及ぼす影響:種的生活史戦略による応答の違い
川崎 満	(森林修士2年)	奥秩父山地における夏季・冬季のニホンジカ食性の特徴:生息地環境・植物形質・遺伝構造の役割
五十嵐慶一	(生圏修士2年)	タイ北部ナン地方における土地利用変化を考慮した気候変動が洪水流量に及ぼす影響の予測
彭 勇	(森林博士2年)	Insect-host plant species relationship in bark and ambrosia beetle community in Hokkaido
第9回 (2018年1月19日(金)13:00-17:00/森林流域管理学研究室)		
ヴィージェナイカ・パビトラ・ランガニ	(森林研究生)	異なる条件下での木材生産に関する比較研究 —スリランカにおけるチーク人工林の評価—
チョー・トゥー・モー	(森林博士1年)	ミャンマーにおける森林資源管理
サデーパ・ジャヤトゥンガ	(IPADS博士3年)	固定翼UAVで撮影した針広混交林の画像による写真測量成果の性能評価:航空機レーザー計測との比較
飛田京子	(利用博士2年)	チェーンソーの技術教育について
佐藤貴紀	(生態水文学研究所)	生態水文学研究所におけるナラ枯れ被害の経年変化
尾張敏章	(北海道演習林)	北海道演習林での12年間の研究を振り返って
第10回 (2018年2月16日(金)13:00-17:00/森林圏生態学研究室)		
小原 茜	(森林修士1年)	ニホンジカが森林土壌の改変を通じて実生動態に及ぼす影響
サイフル・アムリ・サラギー	(森林博士2年)	Ambrosia beetle, bark beetle, and ambrosia fungi in relation to tree weakening on maple
鈴木智之	(秩父演習林)	57年前の風倒で発生した枯死木が森林生態系の食物網の与える影響
第11回 (2018年3月9日(金)12:30-14:30/農学部1号館7番教室/技術職員研究発表)		
里見重成	(生態水文学研究所)	下刈りを省略したヒノキ人工林—針広混交林化3年目の林況—
原口竜成	(秩父演習林)	剥皮害を受けたヒノキ人工林における間伐後の枝条巻付の防除効果
辻 和明	(富士癒しの森研究所)	山中湖村における有害鳥獣対策の経緯と現状 —富士癒しの森研究所の貢献可能性の検討—
松井理生	(北海道演習林)	エゾシカによる越冬地での樹木被害 —岩魚沢大面積長期生態プロットにおける被害事例—
※第11回(農学部1号館1階6番教室)を除き第1～11回は農学部1号館2階森林科学専攻会議室で開催された。		

演習林教育研究センターゼミ

月	日	発表者氏名	発表タイトル
4	7	後藤 晋	教育研究センターゼミ・ガイダンス
	14	全員	プレゼンのミニ講習(自己紹介)
	28	執行宣彦	標高に沿った樹木と土壌細菌の機能的多様性のつながり
5	12	川崎 満	奥秩父山地におけるニホンジカの食性:環境要因と遺伝構造はどのような影響を及ぼすか
	26	サイフル・アムリ・サラギー	Ambrosia beetle, bark beetle, and ambrosia fungi in relation to tree weakening on maple
6	2	後藤 晋	論文執筆に向けた引用文献の探し方・使い方
	9	陳 天宇	地球温暖化防止における森林管理・政策の現状と課題ー日本と中国を中心に
	23	金道知聖	タケ地下茎の伸長に対する周辺環境の影響
	30	楠本 大	とある教員のプレゼン作成思考法
7	7	五十嵐慶一	気候変動が森林流域サービスに及ぼす影響とその適応策の費用対効果に関する研究
		小原 茜	ニホンジカの個体数増加が森林土壌を介して実生動態に与える影響
	28	ロヒ(Laurie)	インターン生として行ったこと, 学んだこと
		田中翔大	何が樹木の萌芽に影響するのか?
9	8	執行宣彦	下層植生が土壌細菌群集の機能的冗長性に及ぼす影響
	15	後藤 晋	論文レビュー"Changes in leaf phenology of three European oak species in response to experimental climate change"
	29	金道知聖	タケ地下茎の伸長に対する周辺環境の影響
10	6	アンナ・カロリナ	Studies on Biosynthesis of antifungal phenolic derivatives of Ezo-spruces
	13	五十嵐慶一	気候変動が森林流域サービスに及ぼす影響とその適応策の費用対効果に関する研究
	20	小原 茜	ニホンジカが森林土壌の改変を通じて樹木実生に与える影響 論文レビュー"Deer-mediated changes in environment compound the direct impacts of herbivory on understory plant communities"
11	9	川崎 満	ニホンジカの餌選択に対する地域植生及び標高の及ぼす影響
	24	田中翔大	何が樹木の萌芽に影響するのか?
12	1	サイフル・アムリ・サラギー	Ambrosia beetle, Bark beetle, and Ambrosia Fungi in relation to Tree Weakening on Maple Tree
	15	チョー・トゥー・モー	Forest resources management and the dependency of rural livelihoods on forest resources in Myanmar

2017年度 教育活動 実習等

実習等

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール 「危険生物の知識(春編)」	教養学部		1・2年	14	5月	1
千葉	東京大学	地域自然誌論	新領域創成 科学研究科		修士課程	10	5月	2
千葉	東京大学	自然環境学実習	新領域創成 科学研究科		修士課程	10	5月	3
千葉	千葉県立 君津青葉 高等学校	環境系列「東大演習林」校外実習			高校2年	15	5・6月	2
千葉	東京大学	造林学実験	農学部	森林系2専修	3・4年	26	6月	5
千葉	東京大学	森林経理学実習	農学部	森林系2専修	3・4年	8	6月	4
千葉	東京大学	森林植物学実験	農学部	森林系2専修	3・4年	24	6月	3
千葉	東京大学	総合科目「森林環境資源学」	教養学部			17	6月	2
千葉	宇都宮大学	樹木学実習	農学部	森林科学科	1年	37	7月	2
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール 「君はスギとヒノキのことを本当に知っている のか?(入門編)」	教養学部		1・2年	17	7月	2
千葉	東京大学	地球惑星環境学野外調査I	理学部		3・4年	21	8月	6
千葉	京都大学	地質調査実習	理学部	地質学 鉱物学教室	修士課程	15	8月	6
千葉	東京大学	千葉演習林体験活動プログラム	農学部		3年	1	8月	4
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール 「フィールドで考える野生動物の保護管理」	教養学部		1・2年	19	8・9月	4
千葉	千葉大学	地質学野外実験Ⅱおよび地殻構造学野外 実験Ⅰ	理学研究科	地球科学	3・4年	26	9月	7
千葉	東京大学	陸域生態学実習	新領域創成 科学研究科		修士課程	4	9月	4
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール 「危険生物の知識(秋編)」	教養学部		1・2年	21	10月	1
千葉	東京大学	生圏システム学特論	農学生命科 学研究科	生圏システム 学専攻	修士課程	6	11月	1
千葉	東京大学	森林経理学実習	農学部	森林系2専修	3・4年	20	12月	4
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール 「房総の森と生業(なりわい)を学ぶ」	教養学部		1・2年	18	2月	4
北海道	北海道大学	統合自然環境調査法実習	大学院環境 科学院		大学院生	13	6月	5
北海道	北海道 札幌啓成 高等学校	SSH道内視察研修(自然環境)			高校生	18	8月	3
北海道	東京大学	全学体験ゼミナール 「森に学ぶ(ふらの)」	教養学部		1・2年	14	8月	4
北海道	東京大学	陸域生態学実習	新領域創成 科学研究科	自然環境学専 攻	大学院生	7	8月	5
北海道	同志社女子 大学	インターンシップⅡ	現代社会 学部	社会システム 学科	3年	13	8月	1
北海道	東京大学	森林科学総合実習	農学部	森林系2専修・ 森林科学専攻	学部生・ 大学院生	19	9月	4
北海道	北海道大学	生物学実習	農学部	生物資源 科学科	3・4年	16	9月	2
北海道	酪農学園 とわの森 三愛高校	道内研修			高校生	15	10月	1
北海道	東京大学	全学体験ゼミナール 「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	教養学部		1・2年	38	2月	3
秩父	東京大学	森林土壌学実験	農学部	森林系2専修	4年	5	4月	3
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部		1・2年	10	5月	4
秩父	東京大学	自然環境デザインスタジオ	新領域創成 科学研究科		大学院生	13	6月	3
秩父	埼玉県立 秩父農工 科学高校	樹木採集実習	森林科学科		1年	41	7月	1
秩父	東京大学	森林植物学実験	農学部	森林系2専修	3・4年	25	7月	3
秩父	立教大学	立教ゼミナール発展編				8	8月	4

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
秩父	首都大学 東京	動物系統学実習	理工学 研究科	生命科学専攻	3・4年	6	8月	4
秩父	埼玉県立 熊谷西高等 学校	樹木園の植物研修, 出会いの丘わきの水 質調査				22	8月	1
秩父	東京大学	フィールド科学総論	農学生命科 学研究科	生圏システ ム専攻	大学院生	15	9月	4
秩父	東京大学	バイオマス科学実習・森林科学実習	農学部	生物材料系 2専修	3年	23	9月	3
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	教養学部		1・2年	4	10・12 月	4
秩父	東京大学	森圏管理学実習	農学生命科 学研究科		大学院生 ・3年	10	11月	1
秩父	東京大学	自然環境デザインスタジオ2	新領域創成 科学研究科		大学院生	9	11月	3
田無	東京大学	造林学実験	農学部	森林系2専修	3年	23	4・5・7 月	3
田無	東京大学	緑地環境実地実習	農学部	緑地環境学 専修	3年	5	4・1月	3
田無	東京大学	全学体験ゼミナール「都市の緑のインター プリター養成ー子どもに伝える自然体験ー」	教養学部		1・2年	6	5・6月	3
田無	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系2専修	3年	28	5・9月	2
田無	東京大学	フィールド農学応用実習	農学部	応用生物学専 修	3年	20	7月	1
田無	東京大学	全学自由研究ゼミナール 「昆虫と節足動物の生物学」	教養学部		1・2年	8	8月	2
田無	東京大学	体験活動プログラム「都内でも農林作業 フィールドワーク体験」	全学部共通		1・2・3・4年	2	9月	1
田無	東京大学	環境調和特別演習 持続可能な農林畜水産業 1.環境負荷	農学生命科 学研究科	環境調和農学 特別コース	大学院生	21	10月	1
田無	東京学芸 大学	現代日本論入門	留学生 センター		学部生・ 大学院生	20	12月	1
田無	東京大学	全学体験ゼミナール 「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部		1・2年	5	1月	1
生態水文	東京大学	全学体験ゼミナール 「人の手で造り管理する森林」	教養学部		1・2年	14	6月	2
生態水文	東京大学	総合科目「森林資源管理学」フィールドワー ク(ダムと森林)	教養学部		1・2年	12	6月	2
生態水文	東京大学	森林保全学実習	農学部		4年	12	6月	4
生態水文	東京大学	公開森林実習「森林と土砂と溪流の実習 ー山から川に流れる土砂を測ろうー」			学部生	1	6月	3
生態水文	東京大学	測量学実習	農学部	森林系2専修	3年	17	8月	5
生態水文	東京大学	さくらサイエンスプログラム 台湾大学サマースクール			学部生 大学院生	10	9月	3
生態水文	名古屋大学	生物環境科学基盤実験実習	農学部	生物環境 科学科	2年	36	1月	1
生態水文	東京大学	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	教養学部		1・2年	20	2月	3
富士	東京大学	全学体験ゼミナール 「危険生物の知識(春編)」	教養学部		1・2年	20	5月	2
富士	東京大学	森林生態圏管理学特論	農学部		大学院生	3	6月	1
富士	東京大学	総合科目「森林環境資源学(森と癒し)」 フィールドワーク	教養学部			22	6月	2
富士	東京大学	環境設計演習	農学部		4年	9	6月	1
富士	東京大学	森圏管理学実習	農学部	フィールド 科学専修	3・4年	7	7月	2
富士	ルイス& クラーク大学	日本・富士山研修	歴史学科			12	7月	1
富士	東京大学	全学体験ゼミナール 「癒しの森と地域社会(夏)」	教養学部		1・2年	10	7月	2
富士	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系2専修	3・4年	27	8月	3
富士	東京大学	国際農学実験・実習「個別実験 「森林における動物観察」	農学部	国際開発農学 専修		1	8月	2
富士	東京大学	森林政策学演習	農学部			12	8月	4
富士	東京大学	フィールド演習	工学部	社会基盤学 専攻	3年	51	9月	4
富士	東京大学	体験活動プログラム「癒しの森の森林管理」	教養学部			2	9・12 月	5

2017年度 教育活動 実習等

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
富士	東京大学	さくらサイエンスプログラム 台湾大学サマースクール			大学院生	10	9月	1
富士	神奈川大学	特別実習	理学部		2年生	27	9月	1
富士	東京大学	国際農学実験・実習1個別実験 「山の幸を探る」	農学部	国際開発農学 専修		2	9月	2
富士	東京大学	農林畜水産業と環境負荷及び 農林水畜産業と生態系攪乱	農学生命科 学研究科	環境調和農学 特別コース	大学院生	29	10月	1
富士	東京大学	全学体験ゼミナール 「危険生物の知識(秋編)」	教養学部		1・2年	21	10月	2
富士	東京大学	全学体験ゼミナール 「森の魅力をマッピング」	教養学部		1・2年	9	11月	3
富士	東京大学	森林圏生態社会学演習	農学部		院生	1	11月	2
富士	東京大学	総合科目「癒しの森と地域社会(冬)」	教養学部		1・2年	8	12月	3
富士	東京大学	全学体験ゼミナール 「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部		1・2年	5	1月	3
樹芸	東京大学	全学自由研究ゼミナール 「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1・2年	2	8月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ1」	教養学部		1年	5	8月	5
樹芸	東京大学	全学自由研究ゼミナール 「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1・2年	1	8月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ2」	教養学部		1年	11	8月	5
樹芸	東京大学	全学自由研究ゼミナール 「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1・2年	2	9月	5
樹芸	東京大学	森林実習	農学部	国際開発農学 専修他	3年	22	9月	4
樹芸	東京大学	公開森林実習「伊豆の公開森林実習 一人と森林のあり方について考える」	東京大学		学部生	1	9月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ3」	教養学部他		1・2・3・4年	5	9月	5
樹芸	東京大学	体験活動プログラム 「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」	東京大学		1・2・4年	4	10月	3
樹芸	東京大学	全学自由研究ゼミナール 「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1・2年	1	1月	5
樹芸	東京大学	全学自由研究ゼミナール 「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1・2年	2	2月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	教養学部		1年	20	1月	5
樹芸	東京大学	全学自由研究ゼミナール 「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1・2年	2	3月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	教養学部		1年	19	2月	5
樹芸	東京大学	全学自由研究ゼミナール 「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1・2年	2	3月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	教養学部他		1・2・3年	11	3月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミナール 「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー」	教養学部		1年	14	3月	5
樹芸	東京大学	体験活動プログラム 「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」	東京大学		2・3年	2	3月	3

■研究活動■

教職員の論文等

	発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
	Hadi AA, Mizuuchi Y, Honjo T, Furuya K	Identifying Impressive Landscape Objects Based on Geotagged Photographs (A Case Study of Self-Portraits and Ordinary Photos)	Journal of Indonesian Tourism and Development Studies	5(2)	73-80	2017
	Hadi AA, Mizuuchi Y, Dwi S, Honjo T, Furuya K	Identifying Visitor Preferences for Locations and Features In Bogor Botanical Garden, Indonesia, using GPS Tracking and Geo-tagged Photos	Journal of Architecture & Environment	16(1)	27-40	2017
	Igarashi Y, Aihara H, Handa Y, Katsumata H, Fujii M, Nakano K, Hirao T	Development and evaluation of microsatellite markers for the critically endangered birch <i>Betula chichibuensis</i> (Betulaceae)	Applications in Plant Sciences	5(5)	1700016	2017
	Hisamoto Y, Goto S	Genetic control of altitudinal variation on early female reproduction in <i>Abies sachalinensis</i> revealed by a crossing experiment	Journal of Forest Research	22(3)	195-198	2017
	Tanaka K, Tanaka N, Matsuo N, Tantasirin C, Suzuki M	Impacts of irrigation on the deciduous period of a teak (<i>Tectona grandis</i> L. f.) species in a monsoonal climate	Canadian Journal of Forest Research	47	1193-1201	2017
	Abrams MD, Umeki K, Bouma C, Nabeshima E, Toyama K	A dendroecological analysis of forest dynamics for old-growth <i>Abies-Tsuga-Quercus</i> on the Boso peninsula, southeastern Japan	Tree-Ring Research	73 (2)	59-74	2017
	Takayama N, Fujiwara A, Saito H, Horiuchi M	Management Effectiveness of a Secondary Coniferous Forest for Landscape Appreciation and Psychological Restoration	International Journal of Environmental Research and Public Health	14(7)	800	2017
	Shigyo N, Umeki K, Ohashi H, Kawada K, Hirao T	Phylogenetic constraints to soil properties determine elevational diversity gradients of forest understory vegetation	Plant Ecology	218	821-834	2017
	Takayama N, Saito H, Fujiwara A, Horiuchi M	The effect of slight thinning of managed coniferous forest on landscape appreciation and psychological restoration	Progress in Earth and Planetary Science	4	17	2017
	Shiraki K, Tanaka N, Tantasirin C, Suzuki M	Water budget and rainfall to runoff process at a seasonal tropical watershed in northern Thailand	Hydrological Research Letters	11	149-153	2017
	Tu VT, Hassanin A, Gorfol T, Arai S, Fukui D, Thanh HT, Son NT, Furey NM, Csorba G	Integrative taxonomy of the <i>Rhinolophus macrotis</i> complex (Chiroptera, Rhinolophidae) in Vietnam and nearby regions	Journal of Zoological Systematics and Evolutionary Research	55	177-198	2017
	Imamura N, Gomyo M, Tanaka N	Increase in streamwater nitrate nitrogen concentrations caused by a disturbance to a forested catchment by Japanese oak wilt	Journal of Forest Research	22(4)	218-223	2017
	Hata K, Iwai N, Sato T, Sawada H	Species-specific growth patterns of trees neighboring dead oak trees caused by Japanese oak wilt disease	Journal of Forest Research	22(4)	248-255	2017
	Goto S, Kajjiya-Kanegae H, Ishizuka W, Kitamura K, Ueno S, Hisamoto Y, Kudoh H, Yasugi M, Nagano AJ, Iwata H	Genetic mapping of local adaptation along the altitudinal gradient in <i>Abies sachalinensis</i>	Tree Genetics & Genomes	13	104	2017
	Torii M, Matsuda Y, Ito S	Comparisons of hyphal growth of <i>Raffaelea quercivora</i> among four Japanese Fagaceae species	Forest Pathology	47	e12358	2017
	Liu Q, Hao Y, Stebler E, Tanaka N, Zou CB	Impact of plant functional types on coherence between precipitation and soil moisture - a wavelet analysis	Geophysical Research Letters	44	12197-12207	2017

2017年度 研究活動 教職員の論文等

	発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一号	頁	年
	Mitsugi M, Hisamoto Y, Suzuki H	An invasive freshwater shrimp of the genus <i>Neocaridina</i> Kubo, 1938 (Decapoda: Caridea: Atyidae) collected from Boso Peninsula, Tateyama City, Chiba Prefecture, eastern Japan	Crustacean Research	46	83-94	2017
	Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	Evaluating the performance of photogrammetric products using fixed-wing UAV imagery over a mixed conifer-broadleaf forest: Comparison with airborne laser scanning	Remote Sensing	10	187	2018
	Hiroshima T, Nakajima T, Kanomata H	Calculation of commercial thinning volumes in 47 prefectures in Japan	Journal of Forest Research	23(1)	47-55	2018
	Imamura N, Iwai N, Tanaka N, Ohte N	A comparison between wet-only and bulk deposition at two forest sites in Japan	Asian Journal of Atmospheric Environment	12	67-77	2018
	Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	Analysis of forest structural complexity using airborne LiDAR data and aerial photography in a mixed conifer-broadleaf forest in northern Japan	Journal of Forestry Research	29(2)	479-493	2018
	Chen S, Cao T, Tanaka N, Gao T, Zou C	Characteristics and hydrological properties of the litter layer: implications for water conservation forest management	iForest - Biogeosciences and Forestry	11	243-250	2018
	Thong VD, Mao X, Csorba G, Bates P, Ruedi M, Viet NV, Loi DN, Nha PV, Chachula O, Tuan TA, Son NT, Fukui D, Tu VT, Saikia U	First records of <i>Myotis altarium</i> (Chiroptera: Vespertilionidae) from India and Vietnam.	Mammal Study	43	67-73	2018
	Aizawa M, Iwaizumi M, Yoshimaru H, Goto S	Identification of the parental species of a putative hybrid spruce <i>Picea × notha</i> using DNA markers with contrasting modes of inheritance	Acta Phytotaxonomica et Geobotanica	69(1)	11-19	2018
	Asano Y, Uchida T	The roles of channels and hillslopes in rainfall-runoff lag times during intense storms in a steep catchment	Hydrological Processes	32(6)	713-728	2018
	Nishizono T, Zushi K, Hiroshima T, Toyama K, Kitahara F, Terada F, Takagi M, Saito S	Latitudinal variation in radial growth phenology of <i>Cryptomeria japonica</i> D. Don trees in Japan	Forestry	91	206-216	2018
※	竹本周平	樹木根系の健全性を脅かす土壌病害	ツリードクター	24	19-23	2017
※	田中延亮	発想のたまご「客観的に自分の研究をみる」	水文水資源学会誌	30(2)	127	2017
	福井 大	コウモリ類の音声調査の現状と課題	JEAS NEWS	154	10-11	2017
	小西雄登・早寄 浩・松尾奈緒子・吉藤奈津子・高梨 聡・藤原 健・田中延亮・五十嵐康記・Chatchai Tantasirin	タイ北部落葉性チークの年輪成長及び年輪同位体比に年降水量が与える影響	中部森林研究	65	43-46	2017
	落合拓朗・松尾奈緒子・田中延亮・チャチャイタンタシリン・田中克典	散水実験によるタイ北部のチーク林の落葉時期の決定要因の解明	中部森林研究	65	47-50	2017
	松尾奈緒子・落合拓朗・梅村 匠・鎌倉真依・吉藤奈津子・チャチャイタンタシリン・田中延亮・田中克典	タイ北部の落葉性チークの個葉ガス交換特性に土壌水分が及ぼす影響	中部森林研究	65	51-54	2017
	高橋功一・田中延亮・松井理生	生態水文学研究所白坂小流域の林分構造の変化ー1954年, 2007年, 2014年の調査結果よりー	中部森林研究	65	101-104	2017
	村瀬一隆・渡邊良広・辻 良子・澤田晴雄・辻和明・小林徹行・井上 広喜・鴨田重裕	ユーカリ植栽苗木への野生動物の影響	中部森林研究			2017

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
梁瀬 桐子・水谷 瑞希・佐藤 貴紀・荒木 田善隆・松井 理生・高徳 佳絵・才木 道雄	ヤマガラとシジュウカラの巣箱調査による繁殖特性の長期トレンドの解明	中部森林研究			2017
齋藤 暖生	ありふれたごちそう～山菜の魅力	森林科学	80	22-25	2017
久本 洋子・Prava Pandey	ネパール北東部での調査報告－レッサーパンダ保全の観点から見たタケの開花と住民の利用－	竹	134	10-14	2017
増田 圭祐・松井 孝典・福井 大・福井 健一・町村 尚	機械学習法を用いたエコロケーションコントロールによるコウモリの種判別	哺乳類科学	57(1)	19-33	2017
山田 利博・平尾 聡秀	シラカシのボタン材と腐朽材中の菌類群集組成	樹木医学研究	21(3)	138-139	2017
峯 宇 巧・太田 祐子・山下 香菜・井道 裕史・山田 利博	スギ人工腐朽材における腐朽の度合いと音の伝わり方	樹木医学研究	21(3)	144-145	2017
水内 佑輔	国立公園成立における計画思想と政治社会的背景	ランドスケープ研究	83(2)	165-169	2017
前田 啓・信田 聡・鴨田 重裕・岡野 健	クスノキ間伐材からの合板試作とその物理的性質	東京大学農学部演習林報告	137	27-39	2017
稲垣 怜那・寺田 珠実・井上 広喜・鴨田 重裕・鮫島 正浩	<i>Eucalyptus saligna</i> 葉の主成分である没食子酸類の活用に向けた抗菌スペクトルの検討	東京大学農学部演習林報告	137	41-51	2017
山田 利博	森林生態系教育研究の拠点	弥生	65	11	2017
江上 浩・久本 洋子・鈴木 重雄・高橋 幸貴・須藤 智博・虻川 勝宜	稈伐採と塩素酸ナトリウム・クロレートS全面土壌散布の組み合わせによる放置竹林の効率的駆除	森林防疫	66	11-22	2017
才木 道雄・後藤 晋	さえずり頻度の時間的変異を考慮したヨタカの効率的な生息調査法	日本鳥学会誌	66(1)	19-28	2017
水内 佑輔	造園雑誌からみる国立公園の思想・計画－その実践と混沌－	ランドスケープ研究	83(3)	294-295	2017
久本 洋子・當山 啓介・廣嶋 卓也・山田 利博・沖野 滉一・江上 浩	ヤマビル駆除用リンゴ酸液剤の植物に対する影響	関東森林研究	68(2)	97-100	2017
軽 込 勉・米道 学・里見 重成・梁瀬 桐子・久本 洋子	ヒメコマツさし木における発根時期の特定と根系の発達の促進	関東森林研究	68(2)	169-172	2017
原口 竜成・平尾 聡秀・山田 利博	東京大学秩父演習林におけるサワラ根株心腐被害の発生状況	関東森林研究	68(2)	181-184	2017
里見 重成・米道 学・軽 込 勉・梁瀬 桐子・久本 洋子	キヨスミツバツツジのさし木における穂長と発根本数の関係	関東森林研究	68(2)	233-234	2017
當山 啓介	伐採管理の側面から考える森林計画の必要性と課題	林業経済	70(8)	1-9	2017
山田 利博	治療事例の蓄積と活用	グリーンエージ	528	8-12	2017
後藤 晋	針葉樹における局所適応と遺伝的背景－トドマツの標高適応を例にして－	生物の科学 遺伝	72(1)	63-69	2017
當山 啓介・有賀 一広・鈴木 保志	木質バイオマス需要と最適伐期、最適間伐体系の関係－栃木県北地域をモデルとして－	日本森林学会誌	99(6)	251-258	2017
山本 嵩久・有賀 一広・古澤 毅・當山 啓介・鈴木 保志・白澤 紘明	栃木県における木質バイオマス発電のための長期的な未利用材利用可能量推計	日本森林学会誌	99(6)	266-271	2017
坂上 大翼・木村 徳志・福岡 哲	東京大学北海道演習林におけるカラマツ属交雑育種試験地の現在(4)－50年を超えたカラマツ類各種と種間交雑F ₁ 世代の生育－	北海道の林木育種	60(2)	14-19	2017
久本 洋子	高標高産トドマツの早熟性は遺伝するのか？－交配実験によって明らかにされた雌性繁殖における標高変異の遺伝的制御－	北海道の林木育種	60(2)	24-28	2017
福井 大	北の森の動物たちの今(8)コウモリ:研究の歴史と現在	北方林業	69	47	2018
竹本周平	トウモロコシのふるさとを訪ねて－メキシコに学ぶ伝統野菜の保全－	RikaTan理科の探検	30	30-31	2018
水内 佑輔	国立公園におけるインバウンド観光の系譜－本多静六、国立公園の誕生から満喫プロジェクトへ－	森林科学	82	9-12	2018
尾張 敏章・松井 理生・江口 由典・延 栄一・小林 徹行・美濃 羽靖	林分施業法の選木技術－択伐施業における選木者の作業行動－	北方森林研究	66	79-82	2018

2017年度 研究活動 教職員の論文等

	発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一号	頁	年
	犬飼慎也・遠國正樹・中川雄治・古家直行・Sadeepa Jayathunga・尾張敏章	低価格固定翼UAVを用いた林分現況把握の試み	北方森林研究	66	93-96	2018
	浅野友子・内田太郎・西口幸希	山地河川における洪水時の河道抵抗の実態	砂防学会誌	70(6)	12-23	2018
	竹本周平	白紋羽病菌をめぐる古典探訪(1)	林業と薬剤	223	1-5	2018
	稲垣怜那・寺田珠実・井上広喜・嶋田重裕・鮫島正浩	<i>Eucalyptus saligna</i> の葉に含まれるフェノール性成分とその生合成に関わるPAL酵素の解析	東京大学農学部演習林報告	138	1-42	2018
	五十嵐勇治・高德佳絵・吉田弓子・木村恒太・鈴木智之	シカ食害下の秩父山地における不嗜好性植物による緑化のための播種試験	東京大学農学部演習林報告	138	43-64	2018
	Goto S	The timing of bud flush and bud set of the sub-boreal conifers <i>Abies sachalinensis</i> , <i>Picea jezoensis</i> , and <i>P. glehnii</i> dominant in Hokkaido, Japan	演習林(東大)	60	1-7	2018
	蔵治光一郎・黒木里香・五名美江	生態水文学研究所赤津研究林白坂流域井戸水位観測報告(II)	演習林(東大)	60	9-18	2018
	才木道雄・吉田弓子・原口竜成・五十嵐勇治・大村和也・高德佳絵	秩父演習林ボランティア組織の養成と変遷	演習林(東大)	60	19-30	2018
	Yamada T, Omura K, Saito T, Igarashi Y, Takatoku K, Saiki M, Murakawa I, Iguchi K, Inoue M, Saito H, Tsuji K, Kobayashi NI, Tanoi K, Nakanishi TM	Radiocesium contamination of wild mushrooms collected from the University of Tokyo Forests over a six-year period (2011-2016) after the Fukushima nuclear accident	演習林(東大)	60	31-47	2018
	高德佳絵・千嶋 武・原口竜成・才木道雄	秩父演習林における「原生林固定試験地」毎木調査資料(2016)	演習林(東大)	60	49-54	2018
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	生態水文学研究所日降水量・日流出量観測結果報告(X)	演習林(東大)	60	55-64	2018
	原口竜成・澤田晴雄・大村和也・高德佳絵・吉田弓子	秩父演習林イヌブナ天然林におけるリターフールデータ(1991年6月～2006年12月)	演習林(東大)	60	65-73	2018
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会水文水質部門	東京大学演習林水文観測・水質分析報告(自2015年1月至2015年12月)	演習林(東大)	60	75-99	2018
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会気象部門	東京大学演習林気象報告(自2016年1月至2016年12月)	演習林(東大)	60	101-120	2018

※これまで発行の年報に未掲載の論文である。

学会発表等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Kamata N	Introduction of the JSPS project and long-term monitoring and inventory data at The University of Tokyo Forests	Proceedings of SNU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis of Forest Resources and Environment		13	2017
Kuraji K	Hydrological data for comparative study of hydrological response along with forest recovery in Korea and Japan	Proceedings of SNU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis of Forest Resources and Environment		19	2017
Chandratilake GGT, Tanaka N, Sato T, Gomyo M, Kamata N	Long-term monitoring of ecohydrology for evaluating hydrological consequences following the Japanese oak wilt	Proceedings of SNU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis of Forest Resources and Environment		22	2017
Kamata N	Bark and ambrosia beetles fauna in Japan and Asian countries: Latitudinal gradient in seasonal cycles and host-insect relationship	Proceedings of SNU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis of Forest Resources and Environment		27	2017
Owari T	Bringing long-term growth records of <i>Cryptomeria japonica</i> plantations for collaborative research	Proceedings of SNU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis of Forest Resources and Environment		41	2017
Toyama K	Coniferous plantation and long-term experimental plots in the UTokyo Chiba Forest	Proceedings of SNU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis of Forest Resources and Environment		42	2017
Hiroshima T, Nakajima T	Introduction of the Computerized Yield Table Construction System in Japan	Proceedings of SNU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis of Forest Resources and Environment		43	2017
Mizuuchi Y, Furuya K	A Study on Look up View's Evaluation: A Case of Takao Quasi-National Park	JpGU - AGU Meeting 2017 Japan Geoscience Union Meeting			2017
Owari T, Yasumura N, Ishibashi S, Kamoda S, Saito H	The University of Tokyo Forests serving as an educational ground for forest science in Japan	SILVA Network Annual Conference 2017			2017
Kamata N	International educational activities for forest science using university forests: Experiences of The University of Tokyo Forests, Japan	SILVA Network Annual Conference 2017			2017
Saito H	Variable status of access rights for non-timber forest products in Japan	The 16th Biennial Conference of the International Association for the Study of Commons			2017

2017年度 研究活動 学会発表等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	Application of image-based point clouds for forest inventory and management: Study in a mixed conifer broadleaved forest in Northern Japan	Abstract Book of IUFRO 125th Anniversary Congress 2017		373	2017
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	Quantifying structural complexity as an indicator of biodiversity in heterogeneous forests: Potential of ALS and UAV system	Abstract Book of IUFRO 125th Anniversary Congress 2017		397	2017
Owari T, Nagatake S, Fukushi K, Kasahara H, Inukai S	Visual assessment of naturally grown Japanese oak trees for whisky barrels	Abstract Book of IUFRO 125th Anniversary Congress 2017		466	2017
Suzuki M, Takagi T, Kusumoto D	Gap creation in post-coppice woodlands may increase both resilience and resistance of plant species against ungulate herbivory: an analysis based on life-history strategy theories	Abstract Book of IUFRO 125th Anniversary Congress 2017		645	2017
Hamai F, Fujioka E, Fukui D, Hiryu S	A study on the adaptive foraging strategy of wild echolocating bats: microphone-array measurement of three-dimensional acoustic navigation behavior	The 6th International Bio-Logging Science Symposium (IBLS6)			2017
Ujino T, Fukui D, Yoda K, Hiryu S, Fujioka E	Analysis of navigation strategy by echolocating bats across small to large spaces; Measurement of echolocation and flight behavior of bats using GPS data-loggers and microphone-array system	The 6th International Bio-Logging Science Symposium (IBLS6)			2017
Tanaka N	Evapotranspiration from different forest types under the same climate	22nd International Forestry and Environment Symposium 2017			2017
Kamata N	Forest decline by fungus-ambrosia beetle complexes	22nd International Forestry and Environment Symposium 2017			2017
Kamata N	Introduction of the JSPS project and long-term monitoring and inventory data at The University of Tokyo Forests	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program "International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses"		10	2017
Lai Y, Tanaka N, Tantasirin C, Tsai M	Climatic Classification and Mapping: Preliminary Results for Asian Experimental Forests Based on Worldclim Database	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program "International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses"		12	2017
Kuraji K, Gomyo M, Sato T, Takahashi K	The role of litter layer on direct runoff from a secondary deciduous forest in the Ecohydrology Research Institute, The University of Tokyo Forests	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program "International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses"		14	2017

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻-号	頁	年
Tanaka N, Tantasirin C, Kume T, Yoshifuji N, Tanaka K, Shiraki K, Igarashi Y, Sato T, Takizawa H, Suzuki M	Long-term hydro-meteorological data collected at two forested sites in northern Thailand	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program ” International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”		18	2017
Owari T, Guan BT, Park PS	Towards collaborative research on long-term <i>Cryptomeria japonica</i> growth in Asian University Forests	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”		26	2017
Saito H	Relationship between University Forests and Society in Japan: A short history of expansion and individuation	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”		32	2017
Mizuuchi Y	An Explore to the Forests on Ecohydrology Research Institute from the Perspective of Landscape Planning	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”		33	2017
Igarashi K, Kuraji K	Impact of climate change on forest service at basin scale and cost-benefits performance analysis for the adaptation	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”		36	2017

2017年度 研究活動 学会発表等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Takemoto S	The fungal genus <i>Rosellinia</i> (Xylariaceae: Xylariales) in Japan and necessity of survey in Asian countries	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”		37	2017
Chouangthavy B, Sanguansub S, Kamata N	A role of a woodland in an agricultural landscape on diversity of beetles (Class: Insecta, Order: Coleoptera) in central Thailand	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”		38	2017
Sanguansub S, Buranapanichpan S, Saowaphak T, Kamata N	Bark and ambrosia beetle assemblage monitored by ethanol baited traps in a tropical seasonal forest at Doi Suthep-Pui National Park, northern Thailand	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”		39	2017
Saowaphak T, Sanguansub S, Buranapanichpan S, Kamata N	Influence of host tree phylogeny on ambrosia and bark beetle assemblage in a tropical seasonal forest at Doi Suthep-Pui National Park, northern Thailand	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”		40	2017
Aranyabhaga N, Kuraji K	Altitude Increase in Rainfall in Mae Chaem Watershed in Year 2011	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”		49	2017

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻-号	頁	年
Sato T, Tanaka N, Yoshifuji N, Tantasirin C	The Influence of Soil Moisture Condition on Transpiration Seasonality in Teak Plantation in Northern Thailand	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”		50	2017
Saito H	Distribution of Termite Mounds in an Area Characterized by Trees in Paddy Fields: A Case Study in a Village in Central Laos	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”		51	2017
Kamata N	Long-term phenology data: Indicators of climate change	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”			2017
Guan BT, Kamata N	Cooperation for Analyzing Long-term Phenological data: A summary and Future Perspective	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”			2017
Takemoto S	The fungal genus <i>Rosellinia</i> (Xylariaceae: Xylariales), its importance and call for collaborative study in Asian countries	Abstracts: JSPS Core-to-Core Program “International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses”			2017
Fujioka E, Hamai F, Sumiya M, Motoi K, Fukui D, Kobayashi KI,	Echolocation and flight strategies of aerial-feeding bats during natural foraging	The Journal of the Acoustical Society of America	142(4)	2495	2017

2017年度 研究活動 学会発表等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Kamata N	Introduction of the JSPS Project and Long-term Monitoring and Inventory Data at The University of Tokyo Forests	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “Interim Symposium: Achievements and Prospects for the Network of Long-term Research Field Stations in Asian Forests”		12	2018
Kuraji K, Tanaka N, Im S, Lai Y, Tantasirin C, Aranyabhaga N, Mahali M, Majuakim L, Malandi WA, Cleophas F	Interim Report by Research Group (RG) 1: Water and Climate	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “Interim Symposium: Achievements and Prospects for the Network of Long-term Research Field Stations in Asian Forests”		13	2018
Kamata N, Guan BT, Chu F, Lardizabal MLT, Sanguansub S, Sauwaphak T, Buranapanichpan, Kang K, Goto S, Takemoto S	Progress Report and Future Scope of RG2 (Ecosystem)	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “Interim Symposium: Achievements and Prospects for the Network of Long-term Research Field Stations in Asian Forests”		14	2018
Owari T, Toyama K, Mizuuchi Y, Hiroshima T, Saito H	Collaborative Research Activities within Asian University Forests: Interim Report by Research Group 3 (Management)	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “Interim Symposium: Achievements and Prospects for the Network of Long-term Research Field Stations in Asian Forests”		15	2018
Kamata N	Aggregation pheromone of an ambrosia beetle <i>Platypus quercivorus</i>	2nd EAB EXTEMIT-K			2018
Kamata N	Bark and ambrosia beetle assemblage in Japan and Asian countries	2nd EAB EXTEMIT-K			2018
浅野友子・三浦直子・内田太郎	山地流域におけるピーク水位の規程要因に関する考察	平成29年度砂防学会研究発表会概要集		342	2017
三浦直子・浅野友子・森部義規	地上型レーザによる河床地形計測－複雑な水面勾配をもつ山地河川における水面下データ補正方法	平成29年度砂防学会研究発表会概要集		458	2017
浅野友子・内田太郎・三浦直子	鉄砲水や土砂流出による災害発生予測精度向上に向けた出水時の山地河川の水利特性解明	平成29年度砂防地すべり技術研究成果報告会講演論文集		69-88	2017
増田圭祐・松井孝典・福井 大・町村 尚	畳み込みニューラルネットワークを用いたエコーロケーションコールによるコウモリの種判別	2017年度人工知能学会全国大会			2017
藤岡慧明・氏野友裕・福井 大・依田 憲・飛龍志津子	野生コウモリの大規模ナビゲーション戦略の分析－環境情報の利用戦略と標的探索戦略について－	ロボティクス・メカトロニクス講演会2017			2017
藤岡慧明・氏野友裕・福井 大・依田 憲・飛龍志津子	コウモリの大規模空間における音響ナビゲーション行動の分析 ～GPSロガーによる長距離軌道計測およびGPS音響ロガーの開発～	新学術領域研究「生物ナビゲーションのシステム科学」領域会議			2017
氏野友裕・藤岡慧明・福井 大・依田 憲・飛龍志津子	野生コウモリを追跡！GPSロガーとマイクロホンアレイからみた音響ナビゲーション戦略	行動2017			2017
執行宣彦・平尾聡秀・梅木 清	森林における土壌細菌群集の機能と復元性に下層植生が及ぼす影響	環境微生物系学会合同大会2017			2017

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
木村由莉・福井 大・川田伸一郎・吉行瑞子	果実食性のオオコウモリの生息地として知られる南大東島の洞窟から見つかった食虫性コウモリの糞	日本哺乳類学会 2017年度大会			2017
中島 徹・中島 譲・広嶋卓也・龍原 哲・白石則彦・光田 靖・鹿又秀聡・北原文章・田中真哉・松本光朗・岡 勝	多様な時空間スケールに対応可能な森林計画策定支援システムの検討	木材利用システム研究会			2017
中野敬浩・林 詳悟・橋本和明・松田靖博・宇野久水・野々村敦子・山田利博	衛星リモートセンシングによる植栽維持管理技術に関する検討	土木学会平成29年度全国大会第72回 年次学術講演会			2017
高橋功一・五名美江・佐藤貴紀・蔵治光一郎	広葉樹二次林のリター層が地表面流に及ぼす影響	第7回中部森林学会 大会		706	2017
佐藤貴紀・田中延亮・蔵治光一郎・五名美江・北岡明彦・鈴木春彦・中島諒大	ヒノキ人工林における表面流量と土砂及びリター移動量との関係	第7回中部森林学会 大会		708	2017
梁瀬桐子・水谷瑞希・佐藤貴紀・荒木田善隆・松井理生・高德佳絵・才木道雄	ヤマガラとシジウカラの巣箱調査による繁殖特性の長期トレンドの解明	第7回中部森林学会 大会			2017
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・澤田晴雄・辻 和明・小林徹行・井上広喜・鴨田重裕	ユーカリ植栽苗木への野生動物の影響	第7回中部森林学会 大会			2017
石橋整司	東京大学秩父演習林で撮影された2回のクマ剥ぎ動画について	第7回関東森林学会 大会		23	2017
塚越剛史・米道 学・軽込勉・久本洋子・里見重成	サンブスギに強制他殖したスギ実生林分から採得されたクローン苗へのチャアナタケモドキ菌(<i>Fomitiporia torreyae</i>)の接種試験腐れ	第7回関東森林学会 の発現			2017
軽込 勉・米道 学・里見重成・梁瀬桐子・久本洋子	ヒメコマツにおけるさし穂サイズと発根及び冬芽の関係	第7回関東森林学会			2017
米道 学・軽込 勉・里見重成・梁瀬桐子・久本洋子	マツの接ぎ木におけるビニールハウスの光環境が活着率に及ぼす影響	第7回関東森林学会			2017
鎌田直人・平尾聡秀	東京大学秩父演習林に生息するニホンジカの行動圏:おもに荒川水系の滝川と入川の2流域間の移動について	第50回森林野生動物研究会 大会			2017
池田貴子・平尾聡秀	北海道の都市近郊域に生息するキタキツネの餌資源利用とエキノコックス感染状況	第23回「野生生物と社会」 学会大会			2017
後藤 晋・米道 学・久本洋子・斎藤俊浩・平尾聡秀・木村徳志・福岡 哲・伊原徳子・種子田春彦	温暖地に移植した北方針葉樹3種の開葉フェノロジー変化~開芽から冬芽形成まで~	森林遺伝育種学会 第6回大会			2017
安村直樹・立花 敏・齊藤奈央子	北海道における林業用苗木生産工程の把握:とくに季節性とその緩和に注目して	林業経済学会2017 年秋季大会			2017
鳥居正人・楠本 大・山田利博	<i>Raffaelea quercivora</i> の病原性と細胞壁分解酵素活性との関連	樹木医学会第22回 大会			2017
山田利博・山下香菜・太田祐子	3樹種の人工空洞円板を用いた横打撃共振法の特性検討	樹木医学会第22回 大会			2017
岩上和磨・峯宇 巧・太田祐子・山下香菜・井道裕史・山田利博	ケヤキ人工腐朽材における腐朽の度合いと音の伝わり方	樹木医学会第22回 大会			2017
氏野友裕・中井元貴・藤岡慧明・依田 憲・福井大・飛龍志津子	GPSデータロガーとマイクロホンアレイを組み合わせた野生コウモリの採餌飛行戦略の分析	第13回日本バイオリギング 研究会			2017
當山啓介	木質バイオマス生産量に影響する皆伐の制度的制約	第13回バイオマス科学 学会議			2018
木村由莉・福井 大・川田伸一郎・吉行瑞子・鈴木希実	南西諸島の海洋島に生息していた食虫性コウモリ類の存在	日本古生物学会第 167回例会			2018
邸 帥豪・前田 啓・信田聡・鴨田重裕・齋藤周逸	南伊豆産コウヨウザンの乾燥特性及び強度試験	第68回日本木材学 会大会			2018
山下香菜・太田祐子・峯宇 巧・山田利博	スギ心材の腐朽進行段階における超音波伝播速度と強度との関係	第68回日本木材学 会大会			2018

2017年度 研究活動 学会発表等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
鈴木智之・角田智詞・杉浦大輔・兵藤不二夫・深澤 遊・中森泰三・金子信博	枯死木を利用する生物群集が森林生態系食物網に与える影響:50年前の風倒地を例に	第65回日本生態学会大会			2018
高木豊大・楠本 大・鈴木牧	放棄二次林における伐採とシカ柵の設置が植物の機能群特性に与える影響	第65回日本生態学会大会			2018
増田圭佑・松井孝典・福井 大・町村 尚	Deep Convolutional Neural Networkを用いたコウモリ種判別システムの開発と音声モニタリングへの応用	第65回日本生態学会大会			2018
志村綱太・鈴木智之・可知直毅・鈴木準一郎	不均質な浸水と乾燥期間がオオバアサガラ当年生実生の生残や成長に及ぼす影響	第65回日本生態学会大会			2018
Peng Y, Tu L, Kamata N	Nitrogen addition reduces soil respiration through reducing rhizospheric respiration and heterotrophic respiration in a subtropical evergreen broad-leaved forest	第65回日本生態学会大会			2018
鈴木 牧・高木豊大・三次充和・軽込 勉・藤平晃司・久本洋子・楠本 大	シカは二次遷移を止めるか?～二次林伐採+シカ柵実験の8年間の軌跡から～	第65回日本生態学会大会			2018
森本淳子・梅林利弘・堀田亘・鈴木智之・尾張敏章・井上貴央・柴田英昭・渋谷正人・石橋 聡	大規模風倒か?乱後の風倒木搬出が森林の炭素蓄積に与える長期的影響	第65回日本生態学会大会			2018
楠本 大	ヒノキ師部の傷害樹脂道形成と傷害エチレン生成の特性	第129回日本森林学会大会学術講演集		93	2018
白澤紘明・有賀一広・山本嵩久・當山啓介・広嶋卓也	地形・道路情報を用いた木質バイオマス資源の全国的な利用可能量推定	第129回日本森林学会大会学術講演集		101	2018
中島 徹・中島 譲・広嶋卓也・龍原 哲・白石則彦・鹿又秀聡・松本光郎・岡 勝・光田 靖	都道府県別伐出可能量に基づく国レベルのバイオマス供給量の評価	第129回日本森林学会大会学術講演集		101	2018
鈴木 牧・楠本 大・高木豊大・久本洋子	シカ過密地域の二次林をどうするか?～10年の実験結果から～	第129回日本森林学会大会学術講演集		106	2018
齋藤暖生	林野における資源採取の衰退・消滅と法制度に関する試論	第129回日本森林学会大会学術講演集		109	2018
石崎涼子・三俣 学・齋藤暖生・川添拓也	自然アクセス権と森林利用を巡る諸問題:スイスおよびドイツを事例として	第129回日本森林学会大会学術講演集		115	2018
西園朋広・関子光太郎・広嶋卓也・當山啓介・北原文章・寺田文子・高木正博・齋藤 哲	スギの肥大成長フェノロジーの地理的変異	第129回日本森林学会大会学術講演集		117	2018
丹羽悠二・楠本 大	360度映像を使った疑似森林体験の可能性と課題	第129回日本森林学会大会学術講演集		128	2018
齋藤 馨・中村和彦・藤原章雄・尾張敏章・坂上大翼	えぞ松の更新(幸田文1971)とサイバーフォレスト	第129回日本森林学会大会学術講演集		128	2018
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	Changes in forest structural complexity followed by selection cutting: An analysis using multi-temporal UAV imagery	第129回日本森林学会大会学術講演集		130	2018
Kyaw Thu Moe, Owari T, Kasahara H, Ogawa H	Growth of high-value timber species in natural forests under selection system in northern Japan	第129回日本森林学会大会学術講演集		132	2018
金道知聖・楠本 大・久本洋子	地下の障害物がモウソウチク実生苗の成長に与える影響	第129回日本森林学会大会学術講演集		142	2018
小原 茜・岩崎未季・梅木清・平尾聡秀	ニホンジカが森林土壌の改変を通じて実生動態に及ぼす影響	第129回日本森林学会大会学術講演集		152	2018
浅野友子・川崎雅俊・高徳佳絵・才木道雄・原口竜成・齋藤俊浩	流域のスケールと水流出の関係ー奥秩父山地荒川源流域での観測結果ー	第129回日本森林学会大会学術講演集		162	2018
Saragih S, Torii M, Takemoto S, Kamata N	Branch dieback of maples and related ambrosia beetles	第129回日本森林学会大会学術講演集		176	2018
川崎 満・平尾聡秀・梅木清	奥秩父山地における夏・冬季のニホンジカ食性の特徴	第129回日本森林学会大会学術講演集		179	2018
田中翔大・梅木 清・平尾聡秀	非攪乱環境下の天然林においてシカ食害と環境条件が萌芽動態に与える影響	第129回日本森林学会大会学術講演集		184	2018
水内佑輔	本多静六にみる近代神社デザイン論の展開	第129回日本森林学会大会学術講演集		195	2018

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
東原貴志・蔵治光一郎・井上真理子・大谷 忠・荒木祐二・伊神裕司・渡邊英二	高校生を対象とした森林の保水力実験に関する授業実践	第129回日本森林学会大会学術講演集		209	2018
平田泰雅・古家直行・尾張敏章・坂上大翼・鎌田直人	航空機レーザースキャナーを用いた天然林の林分特性把握	第129回日本森林学会大会学術講演集		217	2018
梅林利弘・福田健二・内海泰弘・楠本 大・佐野雄三	針葉樹2種の苗木において根切りと水ストレスが通水に及ぼす影響	第129回日本森林学会大会学術講演集		222	2018
沈 昱東・涌井幸子・竹原優子・星野安治・内海泰弘・鎌田直人・野堀嘉裕・市栄智明・村岡裕由・斎藤 琢・平野 優・安江恒	日本各地に生育するブナの年輪幅変動と気候応答の類似性	第129回日本森林学会大会学術講演集		225	2018
市原 優・加藤 厚・山田利博・服部 力	スギ辺材のチャアナタケモドキ感染部位に集積した抗菌物質	第129回日本森林学会大会学術講演集		241	2018
執行宣彦・平尾聡秀・梅木 清	樹木のフェノロジーが土壤微生物群集の季節変動に及ぼす影響	第129回日本森林学会大会学術講演集		242	2018
古家直行・平田泰雅・尾張敏章・坂上大翼・犬飼慎也・中川雄治・遠國正樹	針広混交天然林におけるUAV空撮画像による地形モデリング	第129回日本森林学会大会学術講演集		244	2018
坂上大翼・古家直行	マルチスペクトル・熱赤外センサによる樹木水分生理状態の検出特性	第129回日本森林学会大会学術講演集		248	2018
當山啓介	森林経営計画制度における主伐量上限制約の厳格性の試算	第129回日本森林学会大会学術講演集		250	2018
尾張敏章・坂上大翼・當山啓介・中村和彦・サデーバ ジャヤトウガ・小池征寛・遠國正樹・井上 崇・木村恒太	天然林施業の知識ベース構築とその運用	第129回日本森林学会大会学術講演集		250	2018
鳥居正人・遠藤力也・山田利博	カシノナガキクイムシから検出された細菌群集	第129回日本森林学会大会学術講演集		294	2018
山田利博・鳥居正人・平尾聡秀	シラカンボタン材中の菌類群集組成	第129回日本森林学会大会学術講演集		297	2018
三次充和・鈴木廣志	福島県の3河川の下流域から採集されたヌマエビ類4種	日本甲殻類学会第55回大会			2017
高野充広・大村和也・栗田直明・西山教雄・丹羽悠二・木村恒太	秩父演習林におけるライトセンサによるシカ発見数の変化	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		1-3	2018
原口竜成・大村和也・高野充広・才木道雄・千嶋武・木村恒太	剥被害を受けたヒノキ人工林における間伐後の枝条巻付の防除効果	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		5-10	2018
及川 希・松井理生	北海道演習林における野生動物被害の状況	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		11-14	2018
松井理生・大川あゆ子・中川雄治	エゾシカによる越冬地での樹木被害ー岩魚沢大面積長期生態系プロットにおける被害事例ー	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		15-20	2018
村川功雄	千葉演習林における野生動物による被害の状況と対策	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		21-24	2018
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・澤田晴雄・辻 和明・小林徹行	ユーカリ植栽苗木への野生動物の影響	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		25-28	2018
辻 和明・西山教雄	山中湖村における有害鳥獣対策の経緯と現状ー富士癒しの森研究所の貢献可能性の検討ー	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		29-32	2018
丹羽悠二・遠國正樹・木村恒太	UAV画像は大型哺乳類のセンサスに有効か？	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		33-36	2018
栗田直明・相川美絵子	田無演習林に隣接する民地にかかる樹木伐採の進捗状況と課題	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		37-40	2018
辻 良子・村瀬一隆・渡邊良広・須田常仁	樹芸研究所大温室におけるカカオノキのフェノロジー調査	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		41-44	2018

2017年度 研究活動 学会発表等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
里見重成・高橋功一・井上淳・梁瀬桐子	下刈りを省略したヒノキ人工林～針広混交林化3年目の林況～	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		45-48	2018
軽込 勉・米道 学・里見重成・梁瀬桐子	ヒメコマツにおけるさし穂サイズと発根および冬芽の関係	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		49-52	2018
米道学・軽込 勉・塚越剛史	コンテナを用いたマツ材線虫病に対する抵抗性アカマツの苗木生産の試み	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		56-56	2018
中山綾子・丹羽悠二	教育研究計画2011～2020が始まって研究・教育・社会貢献のバランスはどう変化したか？	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		57-60	2018
澤田晴雄	演習林の事故災害報告－2005～2016年度－	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議報告		61-64	2018
辻 和明・西山教雄	山中湖村における有害鳥獣対策の経緯と現状－富士癒しの森研究所の貢献可能性の検討－	第2回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		26	2018
澤田晴雄・大石 諭・犬飼浩・齋藤俊浩・栗田直明・平野圭二・西山教雄・村瀬一隆・丹羽悠二・栗田孝	農学生命科学研究科附属演習林の事故災害報告－2005年度～2016年度の特徴－	第2回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		27	2018
米道 学・軽込 勉	千葉演習林で生産配布されたマツ材線虫病抵抗性マツの生育状況と今後のあり方	第2回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		27	2018
井上 崇・小池征寛・遠國正樹・木村恒太	無人航空機(UAV)を利用した森林管理業務効率化の取り組み－機械地拵地の区画測量を対象として－	第2回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		27	2018
中川雄治・岡平卓巳・廣田善己・井口和信	ドローンによる森林空中写真の撮影とオルソ化	第2回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		28	2018
相川美絵子・栗田直明	田無演習林の全木調査の方法とこれまでの結果報告	第2回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		28	2018
里見重成・高橋功一	ヒノキ人工林新植地の下刈りを省略してみた	第2回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		29	2018
辻 良子・村瀬一隆・渡邊良広	樹芸研究所大温室における教育プログラムの紹介	第2回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		29	2018
原口竜成・大村和也・高野充広・才木道雄・千嶋武・木村恒太	剥被害を受けたヒノキ人工林における間伐後の枝条巻付の防除効果	第2回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		29	2018
高野充広・大村和也・栗田直明・西山教雄・丹羽悠二・木村恒太	秩父演習林にて行われている夜間動物調査について	第2回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		29	2018
軽込勉・鶴見康幸・村川功雄・米道 学	千葉演習林における農薬及び危険物を含む化学物質の取扱いと管理	第2回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		30	2018
白井深雪・曾我竜一・池田正則・澤田晴雄・高橋功一・藤田真志・佐々木潔州・堀 吉満・黒岩真弓	東京大学大学院農学生命科学研究科分析技術グループ研修の紹介	第2回東京大学技術発表会プログラム・予稿集		31	2018
森 広志・村瀬一隆	獣害前提でも実現可能な林業を提案するための林業樹種の検討	平成29年度静岡県森林・林業技術研究発表会			2017
森 広志・村瀬一隆	獣害前提でも実現可能な林業を提案するための林業樹種の検討	第65回森林計画研究発表大会			2018
黒岩真弓・白井深雪・曾我竜一・池田正則・澤田晴雄・高橋功一・藤田真志・佐々木潔州・堀 吉満	東京大学大学院農学生命科学研究科分析技術グループ研修の紹介	生物学技術研究会報告	29		2018

著書

著者名	題 目	書名・編者	出版社名	頁	年
齋藤暖生	森が秘める「癒し」のはたらき	都市と森林 三俣学・ 新澤秀則編	晃洋書房	29-46	2017
鴨田重裕	本州初のカカオ栽培とチョコ レート製造 - 東京大学演習林 樹芸研究所の学生たち	地域資源活用 食品 加工総覧 追録第14 号 農山漁村文化協 会編	農山漁村文化協会	6	2017

2017年度 研究活動 演習林を利用して行った論文等

演習林を利用して行った論文等

	発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一号	頁	年
※	黒岩 恵	亜硝酸動態解析による森林土壌の窒素維持・放出機構の解明	東京大学 卒業論文		139pp	2015
※	Urakawa R, Ohte N, Shibata H, Tateno R, Hishi T, Fukushima K, Inagaki Y, Hirai K, Oda T, Oyanagi N, Nakata M, Toda H, Kenta T, Fukuzawa K, Watanabe T, Tokuchi N, Nakaji T, Saigusa N, Yamao Y, Nakanishi A, Enoki T, Ugawa S, Hayakawa A, Kotani A, Kuroiwa M, Isobe K	Biogeochemical nitrogen properties of forest soils in the Japanese archipelago	Ecological Research	30	1-2	2015
※	伊勢裕太	日本列島の森林における土壌微生物群集組成と窒素循環プロセスに対する寄与	東京大学 修士論文		80pp	2016
※	Urakawa R, Ohte N, Shibata H, Isobe K, Tateno R, Oda T, Hishi T, Fukushima K, Inagaki Y, Hirai K, Oyanagi N, Nakata M, Toda H, Kenta T, Kuroiwa M, Watanabe T, Fukuzawa K, Tokuchi N, Ugawa S, Enoki T, Nakanishi A, Saigusa N, Yamao Y, Kotani A	Factors contributing to soil nitrogen mineralization and nitrification rates of forest soils in the Japanese archipelago	Forest Ecology and Management	361	382-396	2016
※	Egusa T, Ohte N, Oda T, Suzuki M	Quantifying aggregation and change in runoff source in accordance with catchment area increase in a forested headwater catchment	Hydrological Processes	30(22)	4125-4138	2016
※	Hoshina H, Hayashi Y	Taxonomic Report on <i>Catops hilleri</i> Species Group (Coleoptera: Leiodidae: Cholevinae), (II)	Japanese Journal of Systematic Entomology	22 (2)	287-290	2016
※	斉藤明子・尾崎煙雄・鈴木 勝	東京大学千葉演習林で採集した甲虫類(VIII)	房総の昆虫	58	41-43	2016
※	斉藤明子・尾崎煙雄	東京大学千葉演習林で千葉県初記録のエンゾハサミムシを採集	房総の昆虫	58	77	2016
※	石塚 航・矢野慶介	国際会議Abies 2016の開催	北海道の林木育種	59(2)	1-6	2016
※	Nakajima T	Estimating Tree Growth Using Crown Metrics Derived from LiDAR Data	Journal of the Indian Society of Remote Sensing	44(2)	217-223	2016
※	平山偉之	山地河川における流域地形と洪水到達時間の関係	東京大学 卒業論文		52pp	2017
※	藤目直也	森林斜面における表層土壌の水分環境形成メカニズムの解明	東京大学 卒業論文		33pp	2017
※	山西裕大	富良野市東大演習林を用いた自然体験プログラムの実践	北海道教育大学 卒業論文		67pp	2017
※	Umebayashi T, Yamada T, Fukuhara K, Endo R, Kusumoto D, Fukuda K	In situ observation of pinewood nematode in wood	European Journal of Plant Pathology	147	463-467	2017
※	Urakawa R, Ohte N, Shibata H, Tateno R, Inagaki Y, Oda T, Toda H, Fukuzawa K, Watanabe T, Hishi T, Oyanagi N, Nakata M, Fukushima K, Nakanishi A	Estimation of field soil nitrogen mineralization and nitrification rates using soil N transformation parameters obtained through laboratory incubation	Ecological Research	32	279-285	2017
	長岡 岳	日本の山地森林流域への土壌浸食モデルの適用	東京大学 卒業論文		31pp	2018
	田中翔大	シカ植食圧と環境要因が天然林の萌芽動態に及ぼす影響:種の形質による応答の違い	東京大学 卒業論文		50pp	2018
	川崎 満	ニホンジカの食性に対する季節, 生息地環境および遺伝構造の役割	東京大学 修士論文		60pp	2018

2017年度 研究活動 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
高木豊大	旧薪炭林における伐採と防鹿柵の設置が植物の成長と防御に与える影響	東京大学 修士論文		41pp	2018
邸 帥豪	コウヨウザンの乾燥性に関する研究	東京大学 修士論文		97pp	2018
小西雄大	溪流沿いのシオジ(<i>Fraxinus spaethiana</i>) 個体が地域集団の遺伝的多様性維持に果たす役割	東京大学 修士論文 要旨集		15-16	2018
坂井梨奈	南伊豆クスノキ人工林における中木層の生育条件	東京農業大学 卒業論文		35pp	2018
中邨祥吾	都市森林における中型哺乳類と小型哺乳類の種間関係	横浜国立大学 修士論文		36pp	2018
森嶋佳織	日本におけるニホンヤマビルの地理的遺伝構造と栃木県の分布拡大集団の遺伝的特徴	宇都宮大学 修士論文		72pp	2018
横山千晃	昆虫におけるインドール酢酸の生合成過程に関する研究	茨城大学 修士論文		17pp	2017
福田壮二郎	混濁流中の泥質礫の起源および分解過程の解明: 下部更新統上総層群大田代層の例	京都大学 卒業論文		104pp	2018
塩谷悠希	北海道東部に希産するヤチカンバの固有性と種間交雑による遺伝子汚染の検証	北海道大学 卒業論文		53pp	2018
青木有紗	富良野市東大演習林を用いた自然体験プログラムの開発と実践	北海道教育大学 卒業論文		106pp	2018
助川日菜	異なる森林植生間における齧歯類により貯えられた‘貯食物’の比較および‘貯食者’の推測について	帯広畜産大学 卒業論文		25pp	2018
鈴木野々花	北海道山間部天然林におけるヒメネズミの母親による繁殖巣箱の継続および反復利用性について	帯広畜産大学 卒業論文		29pp	2018
山口 翠	北海道山間部天然林におけるエゾモモンガ当年仔の停留性に関する研究	帯広畜産大学 卒業論文		28pp	2018
鈴木陽己	テレメトリー調査法を用いた北海道の山間部天然林におけるエゾモモンガの‘営巣レンジ’の解明	帯広畜産大学 修士論文		35pp	2018
小田智基・江草智弘・堀田紀文	東京大学千葉演習林袋山沢試験地における対照流域法による水文観測	砂防学会誌	70(1)	68-71	2017
浅野友子・内田太郎・三浦直子	鉄砲水や土砂流出による災害発生予測精度向上に向けた出水時の山地河川の水利特性解明	平成29年度砂防地すべり技術研究成果報告会講演論文集		69-88	2017
大塚次郎・成田有美子・飯田啓達・飯野貴美子・増山直美・板鼻直榮・磯田圭哉・近藤禎二・山田浩雄・生方正俊	コウヨウザンの球果と種子の形質および精選手法について	関東森林研究	68(2)	129-132	2017
近藤禎二・山田浩雄・磯田圭哉・大塚次郎・飯田啓達・生方正俊	東京大学千葉演習林におけるコウヨウザンの成長	関東森林研究	68(2)	133-136	2017
磯田圭哉・大塚次郎・飯田啓達・成田有美子・増山直美・近藤禎二・山田浩雄・生方正俊	東京大学千葉演習林内のコウヨウザン林分における自殖家系の検出	関東森林研究	68(2)	145-148	2017
原口竜成・平尾聡秀・山田利博	東京大学秩父演習林におけるサワラ根株心腐被害の発生状況	関東森林研究	68(2)	181-184	2017
石橋整司	東京大学秩父演習林で撮影された2回のクマ剥ぎ動画について	第7回関東森林学会大会		23	2017
高橋功一・田中延亮・松井理生	生態水文学研究所白坂小流域の林分構造の変化ー1954年, 2007年, 2014年の調査結果よりー	中部森林研究	65	101-104	2017
梁瀬桐子・水谷瑞希・佐藤貴紀・荒木田善隆・松井理生・高德佳絵・才木道雄	ヤマガラとシジュウカラの巣箱調査による繁殖特性の長期トレンドの解明	中部森林研究			2017
高橋功一・五名美江・佐藤貴紀・蔵治光一郎	広葉樹二次林のリター層が地表面流に及ぼす影響	第7回中部森林学会大会		706	2017
山崎秀雄	本誌第47号東大千葉演習林のヤマトスナゴミシダマシについて	房総の昆虫	60	55	2017
斉藤明子・鈴木 勝	東京大学千葉演習林で採集した甲虫類(IX)	房総の昆虫	60	21	2017
斉藤明子・尾崎輝雄・鈴木 勝	「東京大学千葉演習林の昆虫相」の追加と訂正 その1	房総の昆虫	60	62	2017
宮内博至	東京大学千葉演習林のヤスマツアメンボ、オキナワイトアメンボ	房総の昆虫	59	72	2017
阿部 功	大型の偶産蛾クロモンシタバを秩父市(旧大滝村)で採集	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	164	46	2017

2017年度 研究活動 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
荻原 昇	埼玉県で採集した蛾(未発表の記録)	寄せ蛾記 (埼玉昆虫談話会誌)	167	39-47	2017
水上久雄	埼玉県初記録の蛾15種の記録	寄せ蛾記 (埼玉昆虫談話会誌)	168	27-28	2018
水上久雄	東京大学秩父演習林にて2014年に採取した蛾	寄せ蛾記 (埼玉昆虫談話会誌)	168	29-42	2018
青木有紗・安藤秀俊	富良野市東大演習林を用いた教育プログラムの実践	日本理科教育学会 北海道支部大会		B-4	2017
倉橋昭雄	東京大学北海道演習林における林木育種の取り組みー1954~1996ー	北海道の林木育種	60(1)	10-14	2017
高橋 淳	シカによる茶樹の食害	茶業技術	61	2pp	2017
篠原 正	日本における鉄鋼材料の大気腐食挙動ー E-Asiaプロジェクト暴露試験結果ー	防錆技術	61(7)	245-251	2017
鈴木野々花・定梶さくら・押田龍夫	ヒメネズミの母親による繁殖を目的とした巣箱の反復利用性に関する研究(予報)	日本哺乳類学会 2017年度大会		140	2017
助川日菜・土佐泰志・押田龍夫	北海道の天然広葉樹林における貯食物の解析から貯食者を推測する	日本哺乳類学会 2017年度大会		141	2017
土佐泰志・押田龍夫	同所的に生息するエゾモモンガとヒメネズミの巣箱利用性は森林植生の違いによって異なるか?	日本哺乳類学会 2017年度大会		142	2017
橋本滯奈・林明日香・武市有加・押田龍夫	異なる繁殖期においてエゾモモンガ <i>Pteromys volans orii</i> の繁殖パターンは異なるか? 北海道の山間部天然林における11年間の長期観察結果から分かったこと(続報)	日本哺乳類学会 2017年度大会		142	2017
山口 翠・押田龍夫	北海道山間部天然林におけるエゾモモンガ <i>Pteromys volans orii</i> の出生地への停留性に関する研究(予報)	日本哺乳類学会 2017年度大会		143	2017
鈴木陽己・押田龍夫	テレメトリー調査法を用いた北海道の山間部天然林におけるエゾモモンガの営巣レンジの解明(予報)	日本哺乳類学会 2017年度大会		143	2017
志村綱太	渓流域における木本実生の分布と開空度および溪流からの距離と相対標高の関係	首都大学東京バイオコンファレンス2017			2017
三輪 誠	埼玉県奥秩父における大気中オゾン濃度の測定と植物に対するオゾン影響	第58回大気環境学会 年会講演要旨集		419	2017
後藤 晋・米道 学・久本洋子・斎藤俊浩・平尾聡秀・木村徳志・福岡 哲・伊原徳子・種子田春彦	温暖地に移植した北方針葉樹3種の開葉フェロロジー変化~開芽から冬芽形成まで~	森林遺伝育種学会 第6回大会		7	2017
角田裕志・三輪 誠	捕獲活動に対するニホンジカの行動的反応(予報)	第23回「野生生物と社会」学会大会		66	2017
勝又健一	木の弾性波速度計測と波形のADSRエンベロープの利用	(一社)日本非破壊検査協会 平成29年秋季講演大会講演概要集		209-210	2017
鐘 婷婷・田中克明・小嶋 博・松広 航・木田和紀・井上翔宇・岡林誠士・菅原雄介・石井裕之・高西淳夫	不整地移動ロボットの移動効率向上に関する研究ーUAVからの視覚情報を利用したコストマップ生成ー	第18回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会		3455-3459	2017
志村綱太・鈴木智之・可知直毅・鈴木準一郎	不均質な浸水と乾燥期間がオオバアサガラ当年生実生の生残や成長に及ぼす影響	第65回日本生態学会大会			2018
斎藤 馨・中村和彦・藤原章雄・尾張敏章・坂上大翼	えぞ松の更新(幸田文1971)とサイバーフォレスト	第129回日本森林学会大会学術講演集		128	2018
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	Changes in forest structural complexity followed by selection cutting: An analysis using multi-temporal UAV imagery	第129回日本森林学会大会学術講演集		130	2018
安藤岳洋・齊藤陽子・黒河内寛之・井出雄二	房総半島に隔離分布するアサダの集団動態と遺伝的多様性	第129回日本森林学会大会学術講演集		139	2018
浅野友子・川崎雅俊・高德佳絵・才木道雄・原口竜成・齋藤俊浩	流域のスケールと水流出の関係ー奥秩父山地荒川源流域での観測結果ー	第129回日本森林学会大会学術講演集		162	2018
平田泰雅・古家直行・尾張敏章・坂上大翼・鎌田直人	航空機レーザースキャナーを用いた天然林の林分特性把握	第129回日本森林学会大会学術講演集		217	2018
坂上大翼・古家直行	マルチスペクトル・熱赤外センサによる樹木水分生理状態の検出特性	第129回日本森林学会大会学術講演集		248	2018
才木道雄・後藤 晋	さえぎり頻度の時間的変異を考慮したヨタカの効率的な生息調査法	日本鳥学会誌	66(1)	19-28	2017

2017年度 研究活動 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
五十嵐勇治・高徳佳絵・吉田弓子・木村恒太・鈴木智之	シカ食害下の秩父山地における不嗜好性植物による緑化のための播種試験	東京大学農学部演習林報告	138	43-64	2018
蔵治光一郎・黒木里香・五名美江	生態水文学研究所赤津研究林白坂流域井戸水位観測報告(II)	演習林(東大)	60	9-18	2018
才木道雄・吉田弓子・原口竜成・五十嵐勇治・大村和也・高徳佳絵	秩父演習林ボランティア組織の養成と変遷	演習林(東大)	60	19-30	2018
Yamada T, Omura K, Saito T, Igarashi Y, Takatoku K, Saiki M, Murakawa I, Iguchi K, Inoue M, Saito H, Tsuji K, Kobayashi NI, Tanoi K, Nakanishi TM	Radiocesium contamination of wild mushrooms collected from the University of Tokyo Forests over a six-year period (2011-2016) after the Fukushima nuclear accident	演習林(東大)	60	31-47	2018
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	生態水文学研究所日降水量・日流出量観測結果報告(X)	演習林(東大)	60	55-64	2018
原口竜成・澤田晴雄・大村和也・高徳佳絵・吉田弓子	秩父演習林イヌブナ天然林におけるリターフォールデータ(1991年6月~2006年12月)	演習林(東大)	60	65-73	2018
Harada H, Sakata A	<i>Pseudocalopadia chibaensis</i> (Lichenized Ascomycota, Pilocarpaceae), a New Corticolous Species of Campylidiate Lichen from Japan	Lichenology	16(2)	103-115	2017
Sakata A, Harada H, Yoshikawa H	Taxonomic study on the Lichen Family Roccellaceae (Arthoniales) of Japan (5). Two New Corticolous Species of <i>Mazosia</i>	Lichenology	16(1)	31-47	2017
Harada H	<i>Leptogium kiyosumiense</i> (Lichenized Ascomycota, Collemataceae), a New Species of the <i>Mallotium</i> -Group from Chiba-ken, Central Japan	Lichenology	16(1)	23-30	2017
Yokoyama C, Takei M, Kouzuma Y, Nagata S, Suzuki Y	Novel tryptophan metabolic pathways in auxin biosynthesis in silkworm	Journal of Insect Physiology	101	91-96	2017
Togashi K	Effects of crowding on larval diapause and adult body size in <i>Monochamus alternatus alternatus</i> (Coleoptera: Cerambycidae)	The Canadian Entomologist	149	159-173	2017
Hayashi Y	Two New Species of the Genus <i>Proteinus</i> from Japan (Coleoptera: Staphylinidae: Proteininae)	Japanese Journal of Systematic Entomology	23 (2)	253-256	2017
Inoue Y, Tsubota H	A taxonomic revision of cleistocarpous species of <i>Weissia</i> (Pottiaceae, Bryophyta) in Japan	Phytotaxa	306(1)	1-20	2017
Nishijima S, Nishikawa C, Miyashita T	Habitat modification by invasive crayfish can facilitate its growth through enhanced food accessibility	BMC Ecology	17	37(9pp)	2017
Shinohara T, Le TH, Chianpairot A, Viyanit E	Atmospheric Corrosion Behaviors of Galvanized Steels in Asia	第64回材料と環境討論会予稿集		297	2017
Le TH, Shinohara T, Chianpairot A, Tahara A, Viyanit E, Hong H, Pham TS, Nguyen TT	Atmospheric corrosion behavior of steel in Asian areas	Proceedings of the 20th International Corrosion Congress		Paper No. 99815	2017
Shinohara T, Le TH, Chianpairot A, Viyanit E	Atmospheric Corrosion Behavior of Galvanized Steels in Asia	Proceedings of the 11th International Conference on Zinc and Zinc Alloy Coated Steel Sheet (Galvatech 2017)		Paper No.0179	2017
Morishima K, Suzuki T, Aizawa M	Characterization of 13 polymorphic microsatellite loci in the Japanese land leech	Parasitology International	67	13-15	2018
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	Evaluating the performance of photogrammetric products using fixed-wing UAV imagery over a mixed conifer-broadleaf forest: Comparison with airborne laser scanning	Remote Sensing	10	187, 24pp	2018
Imamura N, Gomyo M, Tanaka N	Increase in streamwater nitrate nitrogen concentrations caused by a disturbance to a forested catchment by Japanese oak wilt	Journal of Forest Research	22(4)	218-223	2017

2017年度 研究活動 演習林を利用して行った論文等

	発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一号	頁	年
	Hata K, Iwai N, Sato T, Sawada H	Species-specific growth patterns of trees neighboring dead oak trees caused by Japanese oak wilt disease	Journal of Forest Research	22(4)	248-255	2017
	Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	Analysis of forest structural complexity using airborne LiDAR data and aerial photography in a mixed conifer-broadleaf forest in northern Japan	Journal of Forestry Research	29(2)	479-493	2018
	Imamura N, Iwai N, Tanaka N, Ohte N	A comparison between wet-only and bulk deposition at two forest sites in Japan	Asian Journal of Atmospheric Environment	12	67-77	2018
	Igarashi Y, Aihara H, Handa Y, Katsumata H, Fujii M, Nakano K, Hirao T	Development and evaluation of microsatellite markers for the critically endangered birch <i>Betula chichibuensis</i> (Betulaceae)	Applications in Plant Sciences	5(5)	1700016	2017
	Takayama N, Saito H, Fujiwara A, Horiuchi M	The effect of slight thinning of managed coniferous forest on landscape appreciation and psychological restoration	Progress in Earth and Planetary Science	4	17	2017

※これまで発行の年報に未掲載の論文である。

受賞・特許等**環境微生物系学会合同大会2017 優秀ポスター賞**

受賞者氏名	題 目
執行宣彦・平尾 聡秀・梅木 清	森林における土壌細菌群集の機能と復元性に下層植生が及ぼす影響

第66回北方森林学会大会 技術賞

受賞者氏名	題 目
犬飼慎也・遠國 正樹・中川雄治・ 古家直行・ Sadeepa Jayathunga・尾張 敏章	低価格固定翼UAVを用いた林分現況把握の試み

第129回日本森林学会大会 学生ポスター賞(植物生態分野)

受賞者氏名	題 目
小原 茜・岩崎未 希・梅木 清・平 尾聡秀	ニホンジカが森林土壌の改変を通じて実生動態に及ぼす影響

平成29年度森林GISフォーラム学生研究コンテスト 優秀賞(修士・博士論文の研究部門)

受賞者氏名	題 目
Sadeepa	Estimation of volume and carbon stock using fixed-wing UAV-imagery
Jayathunga	: A study in a mixed conifer-broadleaf forest

平成29年度 研究科長賞 (修士課程)

受賞者氏名	題 目
五十嵐慶一	気候変動と土地利用変化が洪水流量に及ぼす影響の予測 —タイ北部Nan県Song Khwae郡を事例として—

2017年度 研究活動 外部資金によって行われた研究

外部資金によって行われた研究
科学研究費

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
後藤 晋	基盤研究(A)	気候変動の影響緩和を目指した北方針葉樹の環境適応ゲノミクス	後藤 晋	東京大学
久本洋子	基盤研究(A)	気候変動の影響緩和を目指した北方針葉樹の環境適応ゲノミクス	後藤 晋	東京大学
尾張敏章	基盤研究(A)	北方林における気候変動への適応:生態系レジリエンスの保全をめざした生態系管理	森本淳子	北海道大学
鈴木智之	基盤研究(A)	北方林における気候変動への適応:生態系レジリエンスの保全をめざした生態系管理	森本淳子	北海道大学
鎌田直人	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	鎌田直人	東京大学
楠本 大	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	鎌田直人	東京大学
竹本周平	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	鎌田直人	東京大学
鎌田直人	基盤研究(B)	環境DNAを用いた森林葉食性昆虫の天敵微生物のモニタリング技術の開発	鎌田直人	東京大学
山田利博	基盤研究(B)	音響トモグラフィによる樹木の非破壊腐朽診断法の高精度化	山田利博	東京大学
鈴木智之	基盤研究(B)	枯死木が腐食連鎖系の群集組成と食物網構造に与える長期的影響の解明	鈴木智之	東京大学
鎌田直人	基盤研究(B)	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためのモニタリング手法の開発	平田泰雅	森林総合研究所
尾張敏章	基盤研究(B)	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためのモニタリング手法の開発	平田泰雅	森林総合研究所
坂上大翼	基盤研究(B)	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためのモニタリング手法の開発	平田泰雅	森林総合研究所
蔵治光一郎	基盤研究(B)	学校教育における木材の生産技術と森林の多面的機能の指導内容と評価に関する研究	東原貴志	上越教育大学
後藤 晋	基盤研究(B)	外生菌根菌 <i>Cenococcum geophilum</i> における耐塩性の分子基盤の解析	練 春蘭	東京大学
鈴木智之	基盤研究(B)	病虫害による大量枯死が森林生態系のCO2放出におよぼす影響	深澤 遊	東北大学
田中延亮	基盤研究(B)	病虫害による大量枯死が森林生態系のCO2放出におよぼす影響	深澤 遊	東北大学
楠本 大	基盤研究(B)	樹木内生菌の伝播・繁殖機構および樹体内共生機構の解明	松下範久	東京大学
當山啓介	基盤研究(B)	長期的な森林バイオマス利用可能量算定モデルの構築とエネルギー収支分析	有賀一広	宇都宮大学
齋藤暖生	基盤研究(B)	自然アクセス制度の国際比較ーコモンズ論の新展開にむけて	三俣 学	兵庫県立大学

2017年度 研究活動 外部資金によって行われた研究

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
藤原章雄	基盤研究(B)	電源・情報インフラが存在しない森林環境に最適化した統合型の空間情報センシング機構	瀬崎 薫	東京大学
三浦直子	基盤研究(B)	多様な在来種が生育する草地植生は河川堤防法面に創出可能か？	山田 晋	東京大学
田中延亮	基盤研究(B)(海外)	同位体年輪分析による落葉・常緑熱帯林の気象・生理的環境応答の長期変動履歴の解明	吉藤奈津子	森林研究・整備機構
藤原章雄	基盤研究(B) 特設分野研究	地域の健康を支える資源としての森林資源のポテンシャルと住民ニーズの把握	藤原章雄	東京大学
齋藤暖生	基盤研究(B) 特設分野研究	地域の健康を支える資源としての森林資源のポテンシャルと住民ニーズの把握	藤原章雄	東京大学
福井 大	基盤研究(C)	コウモリ類の音声モニタリングの汎用化に向けた音声データベースと識別方法の構築	福井 大	東京大学
楠本 大	基盤研究(C)	樹木防御反応の誘導・調節に対する細胞間シグナル物質の機能解明	楠本 大	東京大学
広嶋卓也	基盤研究(C)	最適採材による用材・燃料材区分を考慮した都道府県別・間伐材生産量予測モデルの開発	広嶋卓也	東京大学
平尾聡秀	基盤研究(C)	進化的トレードオフ・環境応答を考慮して非損傷個体からの萌芽発生の重要性を解明する	梅木 清	千葉大学
鈴木智之	基盤研究(C)	進化的トレードオフ・環境応答を考慮して非損傷個体からの萌芽発生の重要性を解明する	梅木 清	千葉大学
楠本 大	基盤研究(C)	上層木の管理は植生の被食耐性を高めるか？資源分配理論からの検証	鈴木 牧	東京大学
齋藤暖生	若手研究(B)	自然資源採取・利用活動のアーカイブ化と地域における活用	齋藤暖生	東京大学
平尾聡秀	若手研究(B)	シカ食害による森林植生と土壤微生物相の機能的変化がリター分解に及ぼす影響の解明	平尾聡秀	東京大学
鎌田直人	挑戦的萌芽研究	食物網構造を組み入れた全球的な群集の多様性創出機構の解明	鎌田直人	東京大学
後藤 晋	挑戦的萌芽研究	針葉樹更新初期に顕在化する近交弱勢遺伝子のゲノムワイド探索	後藤 晋	東京大学
尾張敏章	挑戦的萌芽研究	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	尾張敏章	東京大学
坂上大翼	挑戦的萌芽研究	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	尾張敏章	東京大学
當山啓介	挑戦的萌芽研究	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	尾張敏章	東京大学
尾張敏章	挑戦的萌芽研究	圧倒的原生林ライブ配信・アーカイブが持つ国際的エンターテインメント価値の実証	齋藤 馨	東京大学
坂上大翼	挑戦的萌芽研究	圧倒的原生林ライブ配信・アーカイブが持つ国際的エンターテインメント価値の実証	齋藤 馨	東京大学

2017年度 研究活動 外部資金によって行われた研究

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
藤原章雄	挑戦的萌芽研究	圧倒的原生林ライブ配信・アーカイブが持つ国際的エンターテインメント価値の実証	齋藤 馨	東京大学
齋藤暖生	挑戦的萌芽研究	再生エネルギー等利用促進のための法的小よび社会的諸条件の検討－CPRsの視点から－	神山智美	富山大学
藤原章雄	挑戦的萌芽研究	計算機を介した人と生態系のインタラクションによる野生動物の被曝モニタリング	小林博樹	東京大学
福井 大	新学術領域研究 (研究領域提案型)	コウモリのアクティブセンシングによるナビゲーション行動の包括的理解	飛龍志津子	同志社大学
丹羽悠二	奨励研究	360度カメラを用いたコウモリ類の撮影に関する技術的手法の確立とVR技術への応用	丹羽悠二	東京大学
軽込 勉	奨励研究	ヒメコマツのさし木における発根メカニズムの解明－光要求を中心－	軽込 勉	東京大学
千嶋 武	奨励研究	奥秩父山地の登山道の歴史と現状－歴史的要素を組み入れた体験プログラムの開発	千嶋 武	東京大学
鳥居正人	特別研究員奨励費	<i>Raffaelea</i> 属菌の病原性発現機構の解明	鳥居正人	東京大学

その他補助金

氏名	補助金等名称	研究課題	研究代表者	代表者所属
鎌田直人	研究拠点形成事業 (Bアジアアフリカ学術基盤形成型)	アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把握する長期観測フィールドのネットワーク構築	鎌田直人	東京大学
鈴木智之	藤原ナチュラヒストリー 振興財団学術研究助成	58年前に生じた枯死木を起点とする腐植食物網の解明	鈴木智之	東京大学

奨学寄付金

氏名	寄付目的	寄付者
石橋整司	松くい虫防除に関する研究	(公社)ゴルフ緑化促進会
久本洋子	千葉演習林におけるマツ材線虫病抵抗性アカマツのコ ンテナ苗生産システムの構築	(公社)ゴルフ緑化促進会
當山啓介	Profitability Analysis of Forestry and Support Program in Japan	Korea Rural Economic Institute
鎌田直人	天然林におけるミズナラ優良木の単木管理及び 樽材適性評価法の開発	サントリースピリッツ 株式会社
山田利博	学術研究の経費	サントリーホールディングス 株式会社
安村直樹	林業用苗木生産工程の現状とその省力化に向けた経 営上の課題に関する研究	公益財団法人 前川報恩会
安村直樹	「身近な自然を広く、深く」ー新たなツールを用いた自然 保護活動サポーターの育成	公益財団法人 山口育英奨学会
広嶋卓也	炭素循環動態にかかる学術研究の経費	一般財団法人 自然環境研究センター
広嶋卓也	森林動態にかかる学術研究の経費	一般財団法人 自然環境研究センター
鴨田重裕	地熱を活用した熱帯原産有用植物の国内生産と その利用に関する研究	(株)メリーチョコレートカム パニー
鴨田重裕	駿河炭原木、アブラギリに関する伐木調査研究	伝統工芸木炭生産技術保 存会

受託研究費

氏名	研究課題名	委託機関
當山啓介	山地災害リスクを低減する技術の開発	農林水産省
蔵治光一郎・田 中延亮・佐藤貴 紀・広嶋卓也	水源かん養機能モニタリング研究委託	豊田市
蔵治光一郎	タイ国における統合的な気候変動適応戦略の共創推進 に関する研究	JST
後藤 晋	北方森林生態系の温暖化に対するストレス対応プロセ スの解明	三井物産株式会社

他機関との共同研究

氏名	研究課題名	共同研究機関
久本洋子	造園植栽地を用いた植物の域外保全に関する研究	箱根植木株式会社
鎌田直人	環境変動下における森林生態系攪乱に対する 北海道演習林の順応的管理に関する研究	王子木材緑化(株) 北海道支店
山田利博	倒木リスクスクリーニング技術の研究	西日本高速道路エンジニ アリング四国株式会社
平尾聡秀	寒冷圏における生態系機能の評価に向けた微生物 群集の機能プロファイリング手法の検討	北海道大学 低温科学研究所
鴨田重裕	本邦で生育可能なユーカリ種のクローン増殖に関する 研究	日本製紙(株)
鴨田重裕	本邦で生育可能なユーカリ種の加工特性と製品化に関 する研究	森林総合研究所・京都大学
鴨田重裕	本邦で生育可能なユーカリ種の生産性試験	(株)いしい林業

■社会連携■

学外各種委員会等委員

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
石橋整司	学術著作権協会監事	一般社団法人 学術著作権協会
石橋整司	千葉県森林審議会森林保全部会	千葉県
石橋整司	鴨川市文化財保護審議会委員	鴨川市
石橋整司	千葉県土石採取対策審議会委員	千葉県
久本洋子	英文誌編集主事	日本森林学会
久本洋子	運営委員	竹林景観ネットワーク
久本洋子	千葉県ヒメコマツ協議会	千葉県
久本洋子	監事	森林遺伝育種学会
久本洋子	樹木医技術部会	日本樹木医会
當山啓介	幹事(事務局)	木材利用システム研究会
當山啓介	企画運営委員会委員	森林計画学会
當山啓介	広報委員会委員	森林計画学会
村川功雄	鳥獣保護管理員	千葉県
米道 学	鳥獣保護管理員	千葉県
軽込 勉	鳥獣保護管理員	千葉県
鎌田直人	富良野市防災会議委員	富良野市
鎌田直人	富良野市総合戦略有識者会議委員	富良野市
鎌田直人	富良野市環境審議会委員	富良野市
鎌田直人	地域管理経営計画等に関する懇談会委員	北海道森林管理局
鎌田直人	日本昆虫学会英文誌編集部編集諮問委員	日本昆虫学会
鎌田直人	兼六園マツ等保全対策指導者	石川県
鎌田直人	北海道林木育種協会顧問	北海道林木育種協会
鎌田直人	科学研究費委員会専門委員	独立行政法人日本学術振興会
鎌田直人	北方森林学会幹事	北方森林学会
鎌田直人	北方森林学会評議員	北方森林学会
尾張敏章	日本森林学会代議員	一般社団法人日本森林学会
尾張敏章	北方森林学会幹事	北方森林学会
尾張敏章	北方森林学会評議員	北方森林学会
坂上大翼	北海道林木育種協会評議員	北海道林木育種協会
坂上大翼	北海道林木育種協会編集委員	北海道林木育種協会
坂上大翼	北海道林木育種協会地方連絡員	北海道林木育種協会
坂上大翼	北方森林学会幹事	北方森林学会
福井 大	日本生態学会 Ecological Research 編集委員	一般財団法人日本生態学会
福井 大	生物音響学会理事	一般社団法人生物音響学会
福井 大	和歌山市廃棄物処理に係る専門技術委員	和歌山市
山田利博	樹木医学研究編集委員会/評議員会/監 事/理事会	樹木医学会
山田利博	埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会	埼玉県
山田利博	甲信秩父ユネスコエコパーク登録推進検討 委員会	山梨県
山田利博	草加松原保全管理委員会	草加市
山田利博	関東山地ニホンジカ広域協議会 専門委員会	関東地方環境事務所
山田利博	関東山地カモシカ保護地域特別調査指導 委員会	群馬県・埼玉県・東京都・山梨県・長野県教 育委員会
山田利博	モニタリングサイト1000コアサイト検討会	環境省
山田利博	善養寺聖向のマツ再生事業委員会	江戸川区/善養寺
山田利博	秩父地域鳥獣被害対策協議会	埼玉県
浅野友子	埼玉県森林審議会委員	埼玉県
浅野友子	Hydrological Research Letters編集委員	水文・水資源学会
浅野友子	日本森林学会代議員	日本森林学会
平尾聡秀	JaLTER代表者委員会	JaLTER

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
平尾聡秀	JaLTER運営委員会	JaLTER
平尾聡秀	秩父地域森林林業活性化協議会幹事	秩父市
平尾聡秀	埼玉県環境科学国際センター客員研究員	埼玉県
鈴木智之	日本生態学会キャリア支援専門委員会	日本生態学会
齋藤俊浩	秩父地域鳥獣被害対策協議会幹事会	埼玉県
齋藤俊浩	秩父地域森林林業活性化協議会分科会	秩父市
楠本 大	理事	樹木医学会
竹本周平	理事	樹木医学会
竹本周平	市民スタッフ	我孫子市鳥の博物館(教育委員会委嘱)
相川美絵子	技術部会	一般社団法人日本樹木医会
相川美絵子	広報委員	NPO法人樹の生命を守る会
広嶋卓也	愛知県瀬戸市環境審議会委員	愛知県瀬戸市
広嶋卓也	愛知県犬山市環境審議会委員	愛知県犬山市
広嶋卓也	せと環境塾運営協議会員	愛知県瀬戸市
広嶋卓也	猿投の森づくりの会・理事	日本山岳会東海支部
広嶋卓也	カーボン・オフセット認証運営委員会委員	カーボンオフセット協会
広嶋卓也	広報担当理事	森林計画学会
水内佑輔	学術委員会	日本造園学会
水内佑輔	関東支部運営委員会事務局	日本造園学会
水内佑輔	風景計画研究推進員	日本造園学会
田中延亮	特定地区自然環境調査委員会	瀬戸市
齋藤暖生	公募助成事業選考委員会	公益財団法人栗井英朗環境財団
齋藤暖生	顧問	やまなし木質バイオマス協議会
齋藤暖生	Evaluator	Elinor Ostrom Award
鴨田重裕	第5号委員	一般財団法人東京大学運動会
鴨田重裕	理事	中部森林学会
蔵治光一郎	委員・地下水分科会長	水循環基本法フォローアップ委員会
蔵治光一郎	参与	水制度改革議員連盟
蔵治光一郎	矢作川流域圏懇談会 副座長・山部会部会長	国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所
蔵治光一郎	大阪府森林環境整備事業評価審議会 委員	大阪府
蔵治光一郎	長良川河口堰最適運用検討委員会 委員	愛知県
蔵治光一郎	とよた森づくり委員会 委員	豊田市
蔵治光一郎	水循環推進協議会 委員	岡崎市
蔵治光一郎	代議員	日本森林学会
蔵治光一郎	国際委員会 委員	水文・水資源学会
蔵治光一郎	理事・編集委員会 委員	不知火海・球磨川流域圏学会
蔵治光一郎	顧問	猿投の森づくりの会
蔵治光一郎	共同代表	矢作川森の研究者グループ
蔵治光一郎	理事	NPO法人才の木
蔵治光一郎	理事	ニッセイ緑の財団
後藤 晋	理事(総務委員長)	森林遺伝育種学会
後藤 晋	科学研究費委員会専門委員	(独)日本学術振興会
後藤 晋	農林水産業・食品産業技術研究推進事業 1次審査専門評価委員	農林水産業・食品産業技術振興協会
後藤 晋	交付金プロジェクト「有用遺伝子の特定に 向けたスギ全ゲノム走査」評価委員	国立研究開発法人 森林総合研究所
後藤 晋	農林総合研究センター研究等評価委員	埼玉県

2017年度 社会連携 小中高等学校への対応

小中高等学校への対応

教員名	講演名	主催	開催場所	日程
梁瀬桐子	探鳥会	犬山市立今井小学校	犬山市	4/14・6/17・ 11/10・1/18
梁瀬桐子	探鳥会	犬山市立城東小学校	犬山市	5/11・11/9・ 2/15
安村直樹・楠本大・栗田直明・相川美絵子	校外学習(理科特別授業)	実践学園中学校	田無演習林	5/30
後藤 晋・中山綾子	中学生に対する演習林案内と森林教育	愛知県西尾立幡豆中学校(3年生2名)	教育研究センター・田無演習林	5/31
軽込 勉・當山啓介・大石 諭	校外実習	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	5/31-6/1
蔵治光一郎	2年生森林科学の特別授業	君津青葉高校	君津青葉高校	6/12・19
大村和也・才木道雄・高德佳絵・高野充広・藤平晃司・吉田弓子	秩父市中学生社会体験チャレンジ事業・秩父第一中学校「仕事発見DAY」	秩父市立秩父第一中学校	秩父演習林	7/5-7
安村直樹・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	職場体験	東久留米市立南中学校	田無演習林	7/11-13
藤原章雄	学部学科探求講座	福井県立武生高等学校	福井県立武生高等学校	7/12
五十嵐勇治	樹木採集実習	埼玉県立秩父農工科学高等学校	秩父演習林	7/24
三次充和	生物部夏季生物教室	東京大学教育学部附属中等教育学校	千葉演習林	7/27-29
石橋整司・久本洋子・當山啓介・三次充和・村川功雄	高校生のための森と海のゼミナール～大学の先生と考える環境問題と生物多様性～	千葉演習林, 千葉大学海洋バイオシステム研究センター	千葉演習林, 千葉大学海洋バイオシステム研究センター	7/31-8/2
楠本 大・栗田直明・相川美絵子	校外授業活動「人間と社会」2017	東京都立西高等学校	田無演習林	8/1
坂上大翼・中川雄治・廣田善己・井口和信・岡平卓巳・小池征寛	平成29年度スーパーサイエンスハイスクール事業視察研修「北海道の針広混交天然林の構造」	北海道札幌啓成高等学校	北海道演習林	8/1-2
大石 諭・三次充和	君津市スクールミュージアム	君津市立坂畑小学校	千葉演習林	8/18・9/21
岡平卓巳・江口由典	東京大学北海道演習林の森林施業と研究活動	北海道帯広農業高等学校(森林科学科)	北海道演習林	8/23
當山啓介・三次充和	天津小学校特別支援学級校外活動	鴨川市立天津小学校	天津小学校ほか	10/2・10/16
後藤 晋・丹羽悠二・中山綾子	中学生に対する森林教育(デモ講義)	埼玉県春日部共栄中学校(3年生25名)	セイホクギャラリー	10/6
福井 大・及川 希	道内研修	酪農学園とわの森三愛高校(獣医・理数コース)	北海道演習林	10/12

2017年度 社会連携 小中高等学校への対応

教員名	講演名	主催	開催場所	日程
竹本周平・栗田直明・相川美絵子	職場体験	西東京市立ひばりが丘中学校	田無演習林	10/24-26
栗田直明・相川美絵子	生活科見学	自由学園初等部	田無演習林	10/26
楠本 大・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	生活科見学	西東京市立住吉小学校	田無演習林	10/31
安村直樹・楠本大・栗田直明・相川美絵子	職場体験	西東京市立田無第二中学校	田無演習林	10/31-11/2
石橋整司・久本洋子・當山啓介・鈴木祐紀・村川功雄・大石 諭・鶴見康幸・塚越剛史・千嶋武・軽込 勉・三次充和・米道 学	緑の教室	鴨川市立天津小学校	千葉演習林	11/1
井上 淳・梁瀬桐子	総合学習	瀬戸市立水野小学校	瀬戸市立水野小学校	11/15
大村和也・高德佳絵・高野充広・藤平晃司	社会体験チャレンジ	秩父市立影森中学校	秩父演習林	11/15-17
楠本 大・竹本周平	校外学習	西武学園文理小学校	田無演習林	11/21
楠本 大・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	職場体験	東久留米市立下里中学校	田無演習林	1/24-25
大川あゆ子	総合学習	富良野市立樹海小学校	北海道演習林	1/31
軽込 勉	校外実習	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	3/28

2017年度 社会連携 公開講座・セミナー等

公開講座・セミナー等

講座名	主催	開催場所	日程
木材・合板博物館「見学会」		千葉演習林	4/8
千葉県森林インストラクター会・ 千葉演習林ボランティア会Abies「合同研修会」		千葉演習林	4/8-9
「犬山の森」春のふれあい自然観察会	犬山市	生態水文学研究所	4/15
総会と植物調査会	シデコブシの会	生態水文学研究所	4/16
富士五湖フットパスフォーラム		富士癒しの森研究所	4/17
教職員向け特別ガイド「春の彩りを訪ねて」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	4/22
千葉演習林一般公開「春の郷台畑へ行こう！」	千葉演習林	千葉演習林	4/22-23
ウォークラリー	東海大学附属 相模高等学校	千葉演習林	4/26
植物観察	千葉演習林 ボランティア会Abies	千葉演習林	4/28
休日公開	田無演習林	田無演習林	4/29
ツリークライミング®体験会	ツリークライミング® ジャパン オフィシャル ツリークライミングチー ムももんがへず	田無演習林	4/29
休日公開	田無演習林	田無演習林	5/7
植物観察	千葉演習林 ボランティア会Abies	千葉演習林	5/15
「ヨモギ発酵」と「鹿肉のススメ」の講演と実演	シデコブシの会	生態水文学研究所	5/20
利用者研究会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会	生態水文学研究所	生態水文学研究所	5/24
ガイドツアー「演習林の試験地見学」	秩父演習林	秩父演習林	5/25
神社山自然観察路春季一般公開	北海道演習林	北海道演習林	5/28
校外実習(植物)	千葉県立 君津青葉高等学校	千葉演習林	5/31-6/1
里山林を管理するための技術研修	NPO法人竹森の里	千葉演習林	6/3
第30回「子ども樹木博士」認定会	田無演習林	田無演習林	6/4
休日公開	田無演習林	田無演習林	6/4
とよた森林学校「森林セミナー」	豊田森林組合	生態水文学研究所	6/10
公開セミナー	北海道演習林	北海道演習林	6/18
大麓山ハイキング登山会	北海道演習林	北海道演習林	7/9
猿投の森づくりの会「赤津研究林現地見学会」	猿投の森づくりの会	生態水文学研究所	7/22
夏季生物教室	附属中等教育学校 生物部	千葉演習林	7/27-29
高校生のための森と海のゼミナール ～大学の先生と考える環境問題と生物多様性～	千葉演習林	千葉演習林	7/31-8/2
東大農場・演習林子どもサマースクール	東大農場・演習林 子どもサマースクール 実行委員会	田無演習林	8/1
公開講座「東大の森林で昆虫採集」	秩父演習林	秩父演習林	8/4-5
除草作業	千葉演習林 ボランティア会Abies	千葉演習林	8/10
矢田川源流の森林の歴史と今後の保存についての学習	矢田・庄内川を きれいにする会	生態水文学研究所	8/11
君津市スクールミュージアム 坂畑小学校「職員研修」		千葉演習林	8/18
夏の植物調査会	シデコブシの会	生態水文学研究所	8/20
鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修「フィールド実習」		千葉演習林	8/31
千葉演習林ボランティア会Abies「植物観察」	千葉演習林 ボランティア会Abies	千葉演習林	9/6
第3回「癒しの森の植生調査隊」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	9/13
第3回「癒しの森の植生調査隊」追加調査	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	9/20
君津市スクールミュージアム「東大演習林見学会」		千葉演習林	9/21
マテバシイ集め&加工	千葉演習林 ボランティア会Abies	千葉演習林	9/30
東大教職員向け特別ガイド「きのこに親しむ」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	9/30
神社山自然観察路秋季一般公開	北海道演習林	北海道演習林	10/1
お月見研修会	千葉演習林 ボランティア会Abies	千葉演習林	10/6-7
チョコレート作りを体験しよう！	樹芸研究所	樹芸研究所	10/28
日本山岳会千葉支部「郡尾尾根山行」		千葉演習林	10/31
緑の教室	天津小学校	千葉演習林	11/1
森の循環を学ぶツアー	愛日緑化造園 株式会社	生態水文学研究所	11/1
ガイドツアー「カエデの見分け方を学ぶ」	秩父演習林	秩父演習林	11/2

講座名	主催	開催場所	日程
鴨川市共催事業「野鳥の巣箱をかけよう(工作編)」		千葉演習林	11/4
日本山岳会千葉支部「郡界尾根山行」		千葉演習林	11/12
につしんESD事業 みじかな自然観察会第4回	日進市	生態水文学研究所	11/18
「犬山の森」秋のふれあい自然観察会	犬山市	生態水文学研究所	11/19
旧丸山町照隅会「森林博物資料館見学」		千葉演習林	11/24
とよた森林学校講座「森林と水資源と山地災害」	豊田森林組合	生態水文学研究所	11/25
東大図書館・情報基盤センター有志による自然観察会		千葉演習林	11/25-26
東大教職員向け特別ガイド「千葉演習林で楽しむ紅葉とランチ」	千葉演習林	千葉演習林	12/2
鴨川市・東京大学交流事業 「東京大学・小石川植物園見学ツアー」		千葉演習林	12/2
千葉県森林インストラクター会「千葉演習林を学ぶ会」		千葉演習林	12/2
標石を探そうツアー	シデコブシの会	生態水文学研究所	12/3
休日公開	田無演習林	田無演習林	12/3
東大教職員向け「リース作り体験会」	田無演習林	田無演習林	12/3
内浦山県民の森催事「二日間川から養老川の源流をゆく」		千葉演習林	12/4
木更津市立金田公民館主催事業「自然観察会」	木更津市立 金田公民館	千葉演習林	12/8
千葉県生物多様性センター「房総のヒメコマツ観察会」		千葉演習林	12/10
第13回影森祭	秩父演習林	秩父演習林	12/10
千葉シニア大学OB会「植物観察会」		千葉演習林	12/17
房総横断・鋸山トレイル		千葉演習林	12/17
公開講座「秩父演習林の哺乳類と冬の森」	秩父演習林	秩父演習林	1-20
せと環境塾認定講座 「日本遺産のストーリー:やきものの風景with東大演習林」	生態水文学研究所	生態水文学研究所	1/27
千葉県勤労者山岳連盟「ロングハイク」		千葉演習林	1/28
森林博物資料館一般公開	千葉演習林	千葉演習林	2/3
東大教職員向け特別ガイド「冬の散歩みち」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2/3
郷台モウソウチク開花試験地間伐作業	千葉演習林 ボランティア会Abies	千葉演習林	2/14
千葉県森林インストラクター会「自然観察会」		千葉演習林	2/18
内浦山県民の森催事「安房と上総を結ぶ道『東条みち』をゆく」		千葉演習林	2/21
シンポジウム「気持ちよく納められる森林環境税とは？」	企画部	弥生キャンパス	3/1
房総半島・養老溪谷トレイル		千葉演習林	3/10-11
植物観察	千葉演習林 ボランティア会Abies	千葉演習林	3/17-18
早稲田大学高等学院理科部生物班による森林実習	早稲田大学高等学院	生態水文学研究所	3/23-25
猪ノ川沿いの草川原用水二五穴の見学	千葉県立中央博物館	千葉演習林	3/22
山中湖村未来発表会		富士癒しの森研究所	3/24
高校生によるヒメコマツの保全活動	千葉県立 君津青葉高等学校	千葉演習林	3/28

学会, 研修, 市民教育等における講演(招待講演を含む)

教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
當山啓介	研修会における講演	千葉県森林インストラクター会, 千葉演習林ボランティア会 Abies	千葉演習林	4/8-9
當山啓介・三次充和	見学案内	木材・合板博物館	千葉演習林	4/8
広嶋卓也・田中延亮・水内佑輔・梁瀬桐子	「犬山の森」春の自然観察会	犬山市	生態水文学研究所犬山研究林	4/15
栗田直明・相川美絵子	見学案内	鶴瀬西二歩の会	田無演習林	4/21
石橋整司	東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム「食と農の理解と展望」	東京大学	伊藤国際学術研究センター	5/13
竹本周平・相川美絵子	見学案内	練馬区立関町リサイクルセンター	田無演習林	5/16
齋藤暖生	森林技術者・森林ボランティアのための森林環境教育グレードアップカレッジ「地域知と森林利用～山菜・キノコ採り研究の知見から」	岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター, 東北森林管理局	岩手大学	5/22
水内佑輔	第10回自然公園研究会: 国立公園のインバウンドを考える「戦前期の国立公園における観光資源とその価値観」	自然公園研究会	日本交通公社ビル	5/22
蔵治光一郎	湧水と付き合う知恵(取水制限という知恵)	長良川河口堰最適運用検討委員会	ウィルあいち	5/28
久本洋子	里山管理研修会	特定非営利活動法人竹むりの里	千葉演習林・内浦山県民の森	6/3-4
広嶋卓也	森林セミナー「森林のもつ公益的機能」	とよた森林学校	生態水文学研究所	6/10
齋藤暖生	森林インストラクター養成講習「山村と農林業」	全国森林レクリエーション協会	全林野会館	6/18・8/19
大村和也・才木道雄・高德佳絵・高野充広・藤平晃司・吉田弓子	秩父市中学生社会体験チャレンジ事業・秩父第一中学校「仕事発見DAY」	秩父市立秩父第一中学校	秩父演習林	7/5-7
安村直樹・楠本 大・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	植物園協会技術者講習会	日本植物園協会	田無演習林	7/6
五十嵐勇治	樹木採集実習	埼玉県立秩父農工科学高等学校	秩父演習林	7/24
楠本 大	2017東大農場・演習林子どもサマースクール	2017東大農場・演習林子どもサマースクール実行委員会	田無演習林	8/1
竹本周平	最強の動物「クマムシ」を探せ!	我孫子市鳥の博物館	我孫子市鳥の博物館	8/5
相川美絵子	野外講座の踏査	千葉県森林インストラクター会	田無演習林	8/25
塚越剛史・軽込 勉	鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修フィールド実習 講師	株式会社野生動物保護管理事務所	千葉演習林	8/31
齋藤暖生	山梨をテストサイトとする低炭素・自然共生シナリオの構築ワークショップ「富士癒しの森研究所の取り組み」	国立研究開発法人国立環境研究所, グローバル・カーボン・プロジェクト	山梨県立図書館	9/1
蔵治光一郎	土壌物理学の基礎	埼玉大学教育学部	埼玉大学	9/4
犬飼 浩	道央森林整備事業協議会業務研修	道央森林整備事業協議会	北海道演習林	9/8
犬飼 浩	林分施業法を中心とした, 東大北海道演習林における森林管理の研修	住友林業株式会社 資源環境本部 山林部 紋別山林事業所	北海道演習林	9/19
平尾聡秀	天然水の森フォーラム2017「東京大学秩父演習林プロジェクト～標高別にシカ柵を設置することの意義～」	サントリーホールディングス株式会社	サントリーホール	9/27
鎌田直人・犬飼 浩・小林徹行	日本政策金融公庫林業セミナー	株式会社日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部	北海道演習林	9/28
楠本 大	見学案内	学校法人自由学園リビングアカデミー	田無演習林	10/2

2017年度 社会連携 学会, 研修, 市民教育等における講師等

教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
鎌田直人・犬飼 浩	JICA平成29年度課題別研修 「地域住民の参加による多様な森林保全」コース	海外林業 コンサルタンツ協会	北海道演習林	10/4
山田利博	幹の外科技術と機器による診断(樹木医研修)	日本緑化センター	筑波研修センター	10/6・ 10/20
広嶋卓也	「生態水文学研究所の紹介」	東海地区 技術職員研修	生態水文学 研究所	10/11
坂上大翼	森林学習プログラム推進事業 森林学習ガイド研修 会(フィールド編)「東京大学北海道演習林の天 然林と森づくり」	富良野市教育委員会	北海道演習林	10/12
蔵治光一郎	千葉県と東大のかかわりと水循環	NPO法人 日本地質汚染機構	北とびあ	10/27
蔵治光一郎	地下水を涵養する水源林を巡る課題	水資源保全全国自治 体連絡会全体会議	全国都市会館	10/27
三次充和	見学案内	日本山岳会千葉支部	千葉演習林	10/31
田中延亮	森ツアー「森の循環を学ぶツアー」	フォレストニア	生態水文学研究 所赤津研究林	11/1
村川功雄・三次充和	鴨川市共催事業「野鳥の巣箱をかけよう(工作編)」 講師	鴨川市	千葉演習林	11/4
山田利博	研修交流会 講義「秩父演習林概要」	千葉演習林ボラン ティア会Abies	秩父演習林	11/7
浅野友子	平成29年度 砂防地すべり技術研究成果報告会 「鉄砲水や土砂流出による災害発生予測精度向上 にむけた出水時の山地河川の水利特性解明」	一般財団法人 砂防・地すべり技術 センター	砂防会館別館 シェーンバッハ 砂防	11/14
山田利博	日本林業技士会3県支部森林・林業合同研修会	埼玉県治山林道協 会, 日本林業技士会 埼玉県支部	秩父演習林	11/15
大村和也・高德佳絵・高 野充広・藤平晃司	社会体験チャレンジ	秩父市立影森中学校	秩父演習林	11/15-17
田中延亮	みぢかな自然かんさつ会	日進市	生態水文学研究 所赤津研究林	11/18
広嶋卓也・田中延亮・梁 瀬桐子	「犬山の森」秋のふれあい自然観察会	犬山市	生態水文学研究 所犬山研究林	11/19
蔵治光一郎	桂川流域の森林の未来可能性と 私たちにできること	桂川・相模川 流域協議会	びゅあ富士	11/22
三次充和	見学案内	旧丸山町照隅会	千葉演習林	11/25
蔵治光一郎・梁瀬桐子	とよた森林学校「森林と災害～豪雨災害を忘れな い～」第2回「東海豪雨と人工林の管理」	とよた森林学校	生態水文学 研究所	11/25
田中延亮	勉強会「森林の持つ力とその影響など」	瀬戸市 上半田川自治会	愛知県瀬戸市	12/3
後藤 晋	「北方針葉樹の標高に沿った適応: 遺伝的基盤の 解明に向けて」(招待講演)	第28回Qecoセミナー	九州大学 伊都キャンパス	12/4
蔵治光一郎	未来のこどもたちにどんな森を残せるか —首都圏を支え守る 利根川の水源林—	NPO法人まえばし 保育ネットワーク	前橋プラザ元気21	12/4
蔵治光一郎	未来のこどもたちにどんな森を残せるか —首都圏を支え守る 利根川の水源林—	NPO法人まえばし 保育ネットワーク	前橋市 総合福祉会館	12/5
久本洋子	日中の竹の遺伝研究と生態研究の最前線 「生活史特性を中心とした日本におけるタケ類の遺 伝・生態学研究のあゆみ」	北九州市立大学 アジア文化社会研究 センター	北九州市立大学	12/6
鶴見康幸	見学案内	木更津市立 金田公民館	千葉演習林	12/8
竹本周平	地衣散歩	我孫子市鳥の博物館	我孫子市	12/9
蔵治光一郎・田中延亮	とよた森林学校「森林と災害～豪雨災害を忘れな い～」第3回「間伐すれば人工林はよみがえる」	とよた森林学校	小原大平児童館・ 大洞市有林	12/9
久本洋子・軽込 勉	房総のヒメコマツ観察会 講師	千葉県自然保護課	千葉演習林	12/10
後藤 晋	「サイズもゲノムも巨大! 難敵、針葉樹の適応的遺 伝子に迫る」(招待講演)	東京大学 生物科学セミナー	東京大学理学部 生物学科	12/13
蔵治光一郎	豪雨災害と森づくり	あさひ森の健康診断 実行委員会	敷島会館	12/16
栗田直明・相川美絵子	定例植物観察会「安全管理と業務について」	東大農場・演習林の 存続を願う会	田無演習林	12/19

2017年度 社会連携 学会, 研修, 市民教育等における講師等

教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
蔵治光一郎	豪雨災害と森づくり 九州北部豪雨災害の衝撃	矢作川流域圏懇談会 山部会	ぬかた会館	1/22
安村直樹	北海道における林業用苗木生産の様子	茨城県林業種苗 協同組合	茨城県林業協会	1/25
広嶋卓也・水内佑輔	日本遺産のストーリー: やきものの風景with東大演習林	生態水文学研究所・ せと環境塾	瀬戸市 パルティせと	1/27
蔵治光一郎	水循環と森林	全水道	日本教育会館	1/27
蔵治光一郎	森林環境税について	岡崎市水循環推進協 議会	岡崎市役所	1/29
広嶋卓也	わいがや講座 「GIS(地理情報システム)を活用した森林管理」	猿投の森づくりの会	尾張旭市 新池交流館	2/6
尾張敏章・犬飼 浩	2017年度課題別研修「市場メカニズムを活用した 持続的森林・自然資源管理」	JICA北海道(札幌)	北海道演習林	2/6
蔵治光一郎	水循環基本法フォローアップ委員会における 地下水議論の動向	インターアクア2018	東京ビッグサイト	2/14
後藤 晋	「林木を育種する! ? ~その難しさと面白さ~」 (招待講演)	小石川植物園 市民セミナー	小石川植物園	2/24
安村直樹・蔵治光一郎	「気持ちよく納められる森林環境税とは?」 森林研究者の立場から	演習林企画部	弥生講堂 一条ホール	3/1
坂上大翼	「幸田文の見た富良野の森」 (第7回サイバーフォレストシンポジウム「随筆『えぞ 松の更新・幸田文』と森のライブ音」)	サイバーフォレスト 研究会 ほか	東京大学柏図書館 (TV会議システ ム)	3/11
相川美絵子	野外講座の第一回下見	千葉県森林 インストラクター会	田無演習林	3/15
齋藤暖生	富士癒しの森研究所の来歴と植物	特定非営利活動法人 富士山自然学校	山中湖交流プラザ きらら	3/17
當山啓介	総会における講演	千葉演習林ボラン ティア会Abies	千葉演習林	3/17
平尾聡秀	研究セミナー「シカによる植生衰退が土壤微生物 機能に及ぼす影響」	埼玉県環境科学 国際センター	埼玉県環境科学 国際センター	3/23
蔵治光一郎	森林環境税とは何か	NPO法人オの木	弥生講堂アネック スセイホクギャラ リー	3/24

■ 管理 ■

2017年度 管理

管理面積集計表

2017年4月1日現在 ha

	合計	樹林地								竹林	伐採跡地	未立木地	その他
		人工林				天然林							
		小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林	小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林				
千葉	2,170	858	826	17	15	1,302		377	925	1		9	
北海道	22,715	3,372	3,058	135	179	18,522		15,082	3,440		660	161	
秩父	5,812	767	749		18	4,986	199	778	4,009			59	
田無	9	6	2	3	1							3	
生態水文	1,292	304	302		2	949		949				39	
富士	38	38	34	1	3								
樹芸	246	109	50		59	106			106			31	
合計	32,282	5,454	5,021	156	277	25,865	199	17,186	8,480	1	660	302	

※2012年度より、北海道演習林の針葉樹林は混交林へ区分しました。

※2016年の北海道演習林管理面積合計に誤りがありました。【誤】合計21,883ha→【正】合計22,715ha

林相別蓄積集計表

2017年4月1日現在 m³

演習林名	計	人工林	天然林
千葉	810,611	252,212	558,399
北海道	5,158,105	680,557	4,477,548
秩父	1,462,189	360,322	1,101,867
田無	2,344	2,344	
生態水文	239,026	84,928	154,098
富士	11,462	11,462	
樹芸	74,797	51,153	23,644
合計	7,758,534	1,442,978	6,315,556

植栽樹種

(本)

千葉	スギ	ヒノキ	スギ (コンテナ苗)	
		704	584	100
北海道	トドマツ	エゾマツ	アカエゾマツ	グイマツ
	11,134	14,339	5,732	1,499
秩父				
田無				
生態水文				
富士				
樹芸				

立木伐採量

m³

		主伐材積			利用 間伐 材積	主伐, 間伐 合計
		人工林		小計		
		針葉樹	広葉樹			
千 葉	立木販売					
	素材生産資材量					
	その他					
	合 計					
北海道	立木販売	7,478	3,053	10,532	5,870	16,401
	素材生産資材量	395	1,302	1,698		1,698
	その他					
	合 計	7,873	4,356	12,229	5,870	18,099
秩 父	立木販売					
	素材生産資材量					
	その他					
	合 計					
田 無	立木販売					
	素材生産資材量					
	その他					
	合 計					
生態水文	立木販売					
	素材生産資材量					
	その他					
	合 計					
富 士	立木販売					
	素材生産資材量					
	その他					
	合 計					
樹 芸	立木販売					
	素材生産資材量					
	その他					
	合 計					
合 計	立木販売	7,478	3,053	10,532	5,870	16,401
	素材生産資材量	395	1,302	1,698		1,698
	その他					
	合 計	7,873	4,356	12,229	5,870	18,099

2017年度 管理

育林実行量①（地拵え, 新植および補植, 下刈り, 除伐）

演習林名	地拵え			新植および補植				下刈り			除伐		
	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	植栽本数	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考
千葉	44C11-3	0.44		44C11-3	0.44	1,018		23C3-2	0.45		22C7-4	0.05	実習
	44C2	0.10	実習	44C2	0.10	250	実習	44C11-1	0.51				
				23C3-2	0.05	70	補植	45C11-2	0.12				
北海道	41	B	0.18	請負	2	A	2.88	3,450	※1	3	E	0.10	請負
	41	C	9.53	〃	2	A	0.19	269		4	B	5.16	〃
	42	B	0.14	〃	2	B	2.74	2,910	※1	4	C	1.27	〃
	43	A	0.49	〃	3	E	4.72	5,187	〃	13	A	3.71	〃
	43	B	0.14	〃	41	B	0.15	160	〃	13	B	7.46	〃
	44	A	0.11	〃	41	C	8.99	10,083	〃	14	A	6.81	〃
	43	B	3.51	直営	41	C	0.36	360		29	D	3.89	〃
	44	A	0.01	〃	42	B	0.14	120	※1	35	D	0.84	〃
	45	A	0.02	〃	43	A	0.49	630	〃	71	D	0.97	〃
	74	H	1.91	請負	43	B	3.52	3,990	〃	73	D	1.28	〃
					43	B	0.13	230		74	C	2.34	〃
					44	A	0.11	120	※1	75	B	5.06	〃
					44	A	0.01	15		92	A	8.46	〃
					45	A	0.02	30	※1	92	B	5.11	〃
					74	H	1.64	1,667	〃	92	C	0.08	〃
					74	H	0.27	305					
					74	C	1.09	465	※1				
					74	C	0.12	20					
					74	C	2.33	98	補植				
					75	B	1.99	2,285	※1				
				75	B	0.14	210	補植					
				92	B	0.67	100	補植					
								※1 請負での新植 無印は直営での新植					
田無									1	1	0.06	延面積	
									1	2	0.14	〃	
									1	3	0.10	〃	
									1	4	0.09	〃	
									1	5	0.09	〃	
									1	6	0.39	延面積	
									1	7	0.20	〃	
									1	8	0.38	〃	
									1	9	0.13	〃	
									1	11	0.06	〃	
									1	12	0.20	延面積	
									1	13	0.02	〃	
									1	14	0.05	〃	
								1	16	0.04	〃		
								1	19	0.09	延面積		
								1	20	0.04	〃		
								1	22	0.02	〃		
								1	23	0.18	延面積		
								1	24	0.07	〃		
								1	25	0.11	延面積		
								1	26	0.29	〃		
合計		16.58			33.29	34,042			56.38			0.05	

秩父演習林, 生態水文学研究所, 富士癒しの森研究所, 樹芸研究所では該当する業務はなかった。

育林実行量②（枝打ち, 保育間伐, 獣害対策, その他）

演習林名	枝打ち			保育間伐			獣害対策(シカ柵設置など)			その他		
	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考
千葉				36C5-2	2.35		44C11-3	0.07				
				25C3	0.13	箕輪試験地	44C2	0.01	実習地			
				3C1	0.04	箕輪試験地						
				33D	0.06	箕輪試験地						
				11C1-1	0.05	実習						
北海道				98	C	15.00	※1	33	A	2.18	鼠毒餌散布	
							※1 請負(補助金)	57	C	1.60	〃	
								71	D	2.63	〃	
								72	D	4.53	〃	
								73	D	2.85	〃	
								74	C	2.66	〃	
								74	H	2.16	〃	
								74	J	0.91	〃	
								75	B	3.09	〃	
								87	C	4.24	〃	
秩父	3	い29	2.93	ヒノキ	8	い1	4.80	※2	3	い30	0.70	シカ柵補修
					31	い17	2.91	※2	20	ち1		防獣柵点検(樹木園新設周囲1080m)
					31	い19	2.52	※2	29	い40	0.22	シカ柵補修
					※2埼玉県水源地域の森づくり事業			31	い23	1.18	シカ柵補修	
								28	い8	1.28	樹皮ガード保守	
								29			樹皮ガード取付, 矢竹沢第3作業道沿い	
								18			樹皮ガード取付, バケモノ沢モノレール沿い	
生態水文				7	い1	2.24	愛知県保安林整備事業					
				21	い3	2.64	〃					
				22	い3	1.47	〃					
				45	い7	0.21	愛知県小規模治山整備事業					
				45	い8	0.43	〃					
				45	い9	0.50	〃					
				56	い1	1.07	〃					
				56	い2	0.58	〃					
				56	い3	0.76	〃					
				63	い13	0.40	直営					
			72	い10	0.30	ボランティア						
合計		2.93			28.23				30.31			

田無演習林, 富士癒しの森研究所, 樹芸研究所では該当する業務はなかった。

2017年度 管理

素材生産総括表

m³

	素材生産資材量			素材生産量			歩留(%)		
	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	平均	針葉樹	広葉樹
千 葉									
北海道	1,697.59	395.14	1,302.45	1,094.51	270.94	823.57	64.47	68.57	63.23
秩 父									
田 無									
生態水文									
富 士									
樹 芸									
合 計	1,697.59	395.14	1,302.45	1,094.51	270.94	823.57	64.47	68.57	63.23

土木実行総括表

m

千 葉	実行内容	林道維持	歩道維持		
	実行数量	52,710	1,707		
北海道	実行内容	車道手入	砂利敷均し	崩壊修繕	請負草刈り
	実行数量	62,750	1,330	13箇所	138,600
秩 父	実行内容	林道維持	作業道維持	歩道維持	モノレール維持
	実行数量	11,395	5,160	46,615	3,067
田 無	実行内容	碎石敷均し	歩道草刈		
	実行数量	30	1,230		
生態水文	実行内容	林道維持	歩道維持		
	実行数量	5,750	2,840		
富 士	実行内容	車道草刈	歩道草刈		
	実行数量	600	900		
樹 芸	実行内容	車道草刈	車道整備	歩道草刈	歩道整備
	実行数量	1,979	1,203	1,708	550

道路現況

m

	車道延長				歩道延長	
	林道延長	作業道延長	計	密度(m/ha)	延長	密度(m/ha)
千 葉	31,436		31,436	14.5	125,361	57.8
北海道	484,500	448,890	933,390	41.0	7,800	0.3
秩 父	11,395	7,302	18,697	3.2	182,371	31.4
田 無					1,590	176.70
生態水文	11,840	1,500	13,340	10.3	12,400	9.6
富 士	2,087		2,087	54.9	3,009	79.2
樹 芸	3,486	3,657	7,143	29.0	11,753	47.8
合 計	544,744	461,349	1,006,093		344,284	

運営費予算配分額, 収入, 外部資金

区分	内訳	金額(千円)
運営費予算配分額	年度当初配分額	248,997
	市町村交付金相当額予算	41,980
	追加配分・協力金	18,221
	その他の予算	45,949
	計	355,147
収入	演習林林産物収入	84,217
	刊行物販売等売払収入	517
	講習料収入	589
	その他の収入	17,963
	計	103,286
外部資金	科学研究費	66,353
	奨学寄附金	13,188
	受託研究費	32,301
	他機関との共同研究費	5,000
	その他補助金	7,675
	計	124,517
合計		582,950

演習林林産物収入細分表

区分	立木	素材	その他			合計
			ヒサカキ	苗木	残材等, その他	
千葉	m ³	m ³	24 束	本	m ³	14,000 円
	円	円	14,000 円	円	円	
北海道	16,401.06 m ³	1,026.68 m ³	束	本	m ³	83,881,698 円
	34,705,850 円	49,175,848 円	円	円	円	
秩父	16.85 m ³	m ³	束	本	m ³	313,200 円
	313,200 円	円	円	円	円	
生態水文	m ³	m ³	束	本	1.53 m ³	7,650 円
	円	円	円	円	7,650 円	
合計	16,417.91 m ³	1,026.68 m ³	24 束	0 本	1.53 m ³	84,216,548 円
	35,019,050 円	49,175,848 円	14,000 円	0 円	7,650 円	

演習林技術職員等試験研究・研修会議

会場: 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 樹芸研究所・下賀茂寮

日程 [平成 29 年 12 月 7 日(木)]

12:45 下賀茂寮にて受付

13:10 記念撮影

13:15 開会挨拶 鴨田重裕 樹芸研究所所長

13:20 試験研究発表(○:発表者)

《共通テーマの部》『野生動物による被害の状況と対策』

秩父演習林におけるライトセンサスによるシカ発見数の変化

○高野充広・大村和也(秩父演習林)・栗田直明(田無演習林)・西山教雄
(富士癒しの森研究所)・丹羽悠二(教育研究センター)・木村恒太(北海道演習林)

剥被害を受けたヒノキ人工林における間伐後の枝条巻付の防除効果

○原口竜成・大村和也・高野充広・才木道雄(秩父演習林)・千嶋 武(千葉演習林)
・木村恒太(北海道演習林)

北海道演習林における野生動物被害の現状

○及川 希・松井理生(北海道演習林)

エゾシカによる越冬地での樹木被害 — 岩魚沢大面積長期生態系プロットにおける被害事例—

○松井理生・大川あゆ子・中川雄治(北海道演習林)

14:20 休憩

千葉演習林における野生動物による被害の状況と対策

○村川功雄(千葉演習林)

ユーカリ植栽苗木への野生動物の影響

○村瀬一隆・渡邊良広・辻 良子(樹芸研究所)・澤田晴雄(企画部)
・辻 和明(富士癒しの森研究所)・小林徹行(北海道演習林)

山中湖村における有害鳥獣対策の経緯と現状 — 富士癒しの森研究所の貢献可能性の検討—

○辻 和明・西山教雄(富士癒しの森研究所)

UAV 画像は大型哺乳類のセンサスに有効か?

○丹羽悠二(教育研究センター)・遠國正樹・木村恒太(北海道演習林)

15:40 《自由テーマの部》

田無演習林に隣接する民地にかかる樹木伐採の進捗状況と課題

○栗田直明・相川美絵子(田無演習林)

樹芸研究所大温室におけるカカオノキのフェノロジー調査

○辻 良子・村瀬一隆・渡邊良広・須田常仁(樹芸研究所)

下刈りを省略したヒノキ人工林～針広混交林化3年目の林況～

○里見重成・高橋功一・井上 淳・梁瀬桐子(生態水文学研究所)

ヒメコマツにおけるさし穂サイズと発根及び冬芽の関係

○軽込 勉・米道 学(千葉演習林)・里見重成・梁瀬桐子(生態水文学研究所)

コンテナを用いたマツ材線虫病に対する抵抗性アカマツの苗木生産の試み

○米道 学・軽込 勉・塚越剛史(千葉演習林)

つづく

教育研究計画 2011～2020 が始まって研究・教育・社会貢献のバランスはどう変化したか？

ー各演の利用実績データに基づく解析ー

○中山綾子・丹羽悠二(教育研究センター)

17:20 講評 蔵治光一郎 企画部長

17:30 夕食・懇親会

[平成 29 年 12 月 8 日(金)]

講義・現地研修

9:00 澤田晴雄 統括技術長「演習林の事故災害報告」

10:00 ユーカリ林・クスノキ林・モウソウ竹林見学

12:00 昼食後解散

参加者

林 長 ・ 企 画 部 : 富樫一巳・蔵治光一郎・澤田晴雄

千 葉 演 習 林 : 村川功雄・米道 学・軽込 勉

北 海 道 演 習 林 : 松井理生・延 栄一

秩 父 演 習 林 : 高野充広・原口竜成

田 無 演 習 林 : 栗田直明

生態水文学研究所 : 里見重成・高橋功一

富士癒しの森研究所 : 辻 和明・西山教雄

樹 芸 研 究 所 : 鴨田重裕・井上広喜・村瀬一隆・渡邊良広・辻 良子・須田常仁・大島浩子・
進士真理子

教育研究センター : 丹羽悠二・中山綾子



■その他■

■ 国際交流 ■

交流事業

相手大学および 機関名	国名	協定締結の有無	交流期間	目的
ルイス& クラーク大学	米国	無	2017/7/18	富士山研究 日本研修プログラム 2017
国立台湾大学	台湾	有	2017/9/2-6	サマープログラムの実施
アジア生物資源環境 研究センター	アジア, アフリカ各国	無	2017/10/19	ANESC生物資源環境学セミナーの 開催および国際交流
海南大学	中国	有	2017/11/5- 11	国際交流事業に基づく特別講義, 現地視察

国際シンポジウム

参加者氏名	シンポジウム名	主催	開催地	日程
蔵治光一郎・ 鎌田直人・尾 張敏章・広嶋 卓也・富山啓 介・田中延亮・ 福井 大	SNU – UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis of Forest Resources and Environment	University Forests, Seoul National University The University of Tokyo Forests, The University of Tokyo	Seoul National University, Seoul, Korea	2017/5/8-11
鎌田直人・尾 張敏章	SILVA Network annual conference	SILVA Network	チェコ	2017/6/26-28
尾張敏章	IUFRO 125th Anniversary Congress	IUFRO	フライブルグ	2017/9/17-24
鎌田直人・田 中延亮	22nd International Forestry and Environment Symposium 2017	University of Sri Jaywardenepura	スリランカ カルタラ	2017/11/10-11
蔵治光一郎・ 鎌田直人・尾 張敏章・久本 洋子・竹本周 平・田中延亮・ 水内佑輔・齋 藤暖生・佐藤 貴紀	JSPS Core-to-Core Program "International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses"	Faculty of Forestry, Kasetsart University The University of Tokyo Forests, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo	Faculty of Forestry, Kasetsart University, Thailand	2017/11/27-12/1
蔵治光一郎・ 石橋整司・鎌 田直人・尾張 敏章・後藤 晋・広嶋卓也・ 富山啓介・福 井 大・鈴木智 之・竹本周平・ 田中延亮・水 内佑輔・前原 忠・三浦直子	JSPS Core-to-Core Program "Interim Symposium: Achievements and Prospects for the Network of Long-term Research Field Stations in Asian Forests"	The University of Tokyo Forests, The University of Tokyo	The University of Tokyo, Tokyo, Japan	2018/3/3-5

国際共同研究

氏名	研究課題	共同研究者所属	氏名	国籍
鎌田直人	食物網構造を組み入れた全球的な群集の多様性創出機構の解明	南ボヘミア大学・チェコ科学アカデミー	Vojtech Novotny	チェコ
			Martin Volf	チェコ
		南ボヘミア大学	Martin Libra	チェコ
		インド養蚕研究所	Rajesh Kumar	インド
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	New Guinian Binatang Research Center	Roll Lillip	パプア・ニューギニア
		インド養蚕研究所	Rajesh Kumar	インド
		カセサート大学	Sunisa Sanguansub	タイ
		チェンマイ大学	Sawai	タイ
			Buranapanichpan	タイ
			Teerapong Saowaphak	タイ
		ガジャマダ大学	Sri Rahayu	インドネシア
		マレーシアサバ大学	Maria Lourdes	マレーシア
		フロリダ大学	Jiri Hulcr	アメリカ合衆国
		カリフォルニア大学リバーサイド校	Richard Stouthamer	アメリカ合衆国
鎌田直人	アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把握する長期観測フィールドのネットワーク構築	国立台湾大学	Biing T. GUAN	台湾
蔵治光一郎	Impact of climate change on rainfall variability in Mae Chaem Watershed and Whole Mountainous Area in the Upper Chao Phraya River Basin	タイ王立灌漑局	Nilobol Aranyabhaga	タイ
蔵治光一郎	Hydrological Monitoring in Mount Alab and Inobong, Crocker Range Park, Sabah	マレーシアサバ大学	Maznah Mahali	マレーシア
後藤 晋	東南アジアにおけるヒノキ属の系統推定と産地試験	Seoul National University	Dr. Kyu-Suk Kang	韓国
		National Taiwan University	Dr. Fang-Hua Chu	台湾

海外渡航

氏名	所属演習林	行き先	用務	出発日	帰着日
久本洋子	千葉演習林	タイ	JSPS Core-to-Core Program	2017/11/25	2017/11/30
當山啓介	千葉演習林	韓国	SNU-UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis of Forest Resources and Environment	2017/5/8	2017/5/12
鎌田直人	北海道演習林	マレーシア	キクイムシの採集	2017/4/25	2017/5/2
鎌田直人	北海道演習林	韓国	森林資源・環境の長期データモニタリングとデータ解析に関するソウル大学・東京大学合同ワークショップ	2017/5/7	2017/5/12
鎌田直人	北海道演習林	インドネシア	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病にかかわる実験の遂行	2017/5/28	2017/6/4
鎌田直人	北海道演習林	タイ	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病にかかわる実験の遂行	2017/6/4	2017/6/8
鎌田直人	北海道演習林	チェコ	SILVA Network annual conference	2017/6/24	2017/6/30
鎌田直人	北海道演習林	インドネシア	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病にかかわる実験の遂行	2017/6/30	2017/7/7
鎌田直人	北海道演習林	タイ	キクイムシ類の採集とデータ整理	2017/8/21	2017/8/28
鎌田直人	北海道演習林	マレーシア	キクイムシの採集	2017/9/7	2017/9/15
鎌田直人	北海道演習林	インド	ナラ・カシ林のキクイムシ類の調査	2017/10/4	2017/10/20
鎌田直人	北海道演習林	タイ	キクイムシデータ解析・論文作成、JSPS国際シンポジウム、採集したキクイムシの整理	2017/11/22	2017/12/5
鎌田直人	北海道演習林	マレーシア	キクイムシ類の調査	2018/2/1	2018/2/8
尾張敏章	北海道演習林	韓国	森林資源・環境の長期データモニタリングとデータ解析に関するソウル大学・東京大学合同ワークショップ	2017/5/7	2017/5/12
尾張敏章	北海道演習林	チェコ	SILVA Network annual conference	2017/6/24	2017/6/30
尾張敏章	北海道演習林	ドイツ	IUFRO 125年記念大会	2017/9/15	2017/9/26
尾張敏章	北海道演習林	タイ	アジア森林圏の長期モニタリングデータ解析に関する国際シンポジウム	2017/11/26	2017/12/2
福井 大	北海道演習林	韓国	森林資源・環境の長期データモニタリングとデータ解析に関するソウル大学・東京大学合同ワークショップ	2017/5/7	2017/5/12
竹本周平	田無演習林	インドネシア	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病にかかわる実験の遂行	2017/5/29	2017/6/4
竹本周平	田無演習林	タイ	JSPS Core-to-Core Program シンポジウムへの参加と発表	2017/11/25	2017/12/2
広嶋卓也	生態水文学研究所	韓国	ソウル国立大学東京大学合同ワークショップへの参加	2017/5/8	2017/5/11
広嶋卓也	生態水文学研究所	中国	海南大学との国際交流事業に基づく特別講義および現地検討会	2017/11/5	2017/11/11
田中延亮	生態水文学研究所	韓国	ソウル国立大学東京大学合同ワークショップへの参加	2017/5/8	2017/5/11
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	科研プロジェクトの現地調査、打ち合わせ	2017/8/9	2017/8/14
田中延亮	生態水文学研究所	スリランカ	第22回国際林業・環境シンポジウム出席	2017/11/8	2017/11/13
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	アジア森林圏の長期モニタリングデータ解析に関する国際シンポジウム出席	2017/11/25	2017/12/2
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	科研プロジェクトの現地調査、打ち合わせ	2018/2/15	2018/2/19
水内佑輔	生態水文学研究所	タイ	アジア森林圏の長期モニタリングデータ解析に関する国際シンポジウム出席	2017/11/25	2017/12/2
佐藤貴紀	生態水文学研究所	タイ	アジア森林圏の長期モニタリングデータ解析に関する国際シンポジウム出席	2017/11/25	2017/12/2
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	オランダ	国際コモンズ学会世界大会への参加	2017/7/8	2017/7/16
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	タイ	JSPS Core-to-Core Program "International Symposium on Analysis of long-term monitoring data in Asian forests: towards further understanding of environmental changes and ecosystem responses"	2017/11/26	2017/12/2
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	米国	自然アクセス権に関する現地調査	2018/2/24	2018/3/6
三浦直子	教育研究センター	中国	海南大学との国際交流事業に基づく特別講義および現地検討会	2017/11/5	2017/11/11
蔵治光一郎	企画部	韓国	国際シンポジウム出席(アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把握する長期観測フィールドのネットワーク構築)	2017/5/8	2017/5/11
蔵治光一郎	企画部	タイ	タイ国における統合的な気候変動適応戦略の共創推進に関する研究	2017/6/5	2017/6/8
蔵治光一郎	企画部	タイ	国際シンポジウム出席(アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把握する長期観測フィールドのネットワーク構築)	2017/11/27	2017/12/3
蔵治光一郎	企画部	タイ	タイ国における統合的な気候変動適応戦略の共創推進に関する研究	2018/1/5	2018/1/11
蔵治光一郎	企画部	タイ	タイ国における統合的な気候変動適応戦略の共創推進に関する研究	2018/2/4	2018/2/8

外国人研究者の来訪

演習林名	来訪目的	日程	国籍	人数
千葉演習林	日本及び中国に産するサクラ属の集団異伝的研究	2017/4/13	中国	1
千葉演習林	新田・袋山沢における水文観測	2017/5/12	ソロモン諸島・台湾・インドネシア・フィジー	4
千葉演習林	自然環境学専攻S1・S2ターム授業科目「地域自然誌論(47151-27)」	2017/5/25-26	スリランカ	2
千葉演習林	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(機器メンテナンス)	2017/5/29	中国	1
千葉演習林	高齢人工林試験地見学(ソウル大学による視察)	2017/7/9-10	韓国	1
千葉演習林	隣接する千葉県県有林において調査・研究を行うため	2017/11/6-7	モンゴル	2
千葉演習林	調査地下見(菌接種用のイロハモミジ個体の検討)	2017/11/8	インドネシア	1
千葉演習林	調査地見学(来年度研究利用の下見)	2017/11/10-11	ミャンマー	1
千葉演習林	千葉演習林見学	2017/11/12-14	ネパール	3
千葉演習林	JSPS Core To Core プログラム現地視察	2018/3/4-5	台湾・タイ・スリランカ・インドネシア	4
北海道演習林	樹木に寄生するアンブロシアキクイムシ類の攻撃性に関する研究	2017/4/1-18/3/31	中国	1
北海道演習林	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析とカラマツの成長に及ぼす影響の解析(インターン)	2017/4/7-8/19	フランス	1
北海道演習林	コウモリ類の渡りに関する研究	2017/4/17-18	アメリカ	1
北海道演習林	低価格固定翼型無人飛行機(UAV)を用いた森林情報の把握	2017/5/15-18	スリランカ	1
北海道演習林	大麓山ハイキング登山会	2017/7/9	中国・フランス	2
北海道演習林	研究インターン(分子生物学の研究補助)	2017/7/21-9/23	イギリス	1
北海道演習林	オックスフォード大学附属植物園の日本原産植物コレクションの再整備と日本特産植物の現地外保全, および日本の植物相の多様性調査	2017/7/24-26	イギリス	2
北海道演習林	富良野地方におけるサケ科魚類の保全生態学的研究	2017/7/26-31・10/30-11/2	不明	1
北海道演習林	地域住民の参加による多様な森林保全(JICA研修)	2017/10/4	マラウイ・ミャンマー・バブアニューギニア・ソロモン・スーダン・トルコ・ベネズエラ・ベトナム・エチオピア・フィジー・インド・ケニア	16
北海道演習林	博士論文作成にかかる研究打合せ及び現地調査補助	2017/10/16-20	ミャンマー	1
北海道演習林	野生動物の共存機構と適応進化に関する研究	2017/10/30	韓国	3
北海道演習林	タイ山岳地帯におけるキクイムシ類群集と樹木の関係の解析	2017/12/5-2018/1/6	タイ	2
北海道演習林	コウモリ類の採餌移動に関する研究	2017/6/4-29	ドイツ	2
北海道演習林	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	2018/1/14-2/10	タイ	3
北海道演習林	市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理(JICA研修)	2018/2/6	バブアニューギニア・エチオピア・アフガニスタン・チュニジア・マラウイ・イラン・モザンビーク・コンゴ民主共和国・インドネシア	12
北海道演習林	研究インターン(マレーシアで採種採集したサンプルの解析)	2018/2/8-3/31	マレーシア	2
北海道演習林	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためのモニタリング手法の開発	2018/2/15-16	スリランカ	1
北海道演習林	インターン	2018/2/28-3/31	マレーシア	1
秩父演習林	北東アジアの森林における台風攪乱の時空間的影響の評価とその影響の解明	2017/6/12-17	チェコ共和国	5
秩父演習林	樹木種子および標本の採集	2017/7/3-7	イギリス	2
秩父演習林	山地・森林流域保全に関するインターンシップ	2017/7/3-21	フランス	1
秩父演習林	スギ人工林の成長に関する国際共同研究の現地検討会	2017/7/11	韓国	1
秩父演習林	人工林試験地調査	2017/10/24-25	中国	2
秩父演習林	ドイツ斜面水文学研究会 現地見学の案内	2018/3/13	ドイツ・オランダ	11

2017年度 国際交流 外国人研究者の来訪

演習林名	来訪目的	日程	国籍	人数
田無演習林	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	2017年4月から計72日	インドネシア	1
田無演習林	Study on the properties of cellulose nano fiber from different plant species	2017年4月から計6日	ミャンマー	1
田無演習林	環境モニタリングロボットの長期運用に関する研究	2017年4月から計13日	中国	1
田無演習林	南京農業大学植物保護学院訪日団の田無演習林視察(中日農業科技交流)	2017/5/31	中国	27
田無演習林	2017年度田無演習林利用者交流会	2017/6/27	インドネシア・ミャンマー・中国	4
田無演習林	インターン	2017/7/25-26	フランス	1
田無演習林	外生菌根菌の耐塩性に関する遺伝子の解明	2017/12/5	中国	2
田無演習林	アカマツ苗に共生する他種の菌根菌が <i>Laccaria amethystina</i> の子実体形成と根外菌糸体に影響を与える	2017/12/7-21	中国	3
田無演習林	見学	2018/3/8	オランダ	1
生態水文学研究所	リター遮断量の観測と研究	2017/4/1-2017/7/31	アメリカ	1
生態水文学研究所	インターン	2017/5/1-6/30	フランス	1
生態水文学研究所	研究の指導を受けるため	2017/8/1-9/30	タイ	1
生態水文学研究所	さくらサイエンスプログラム 台湾大学サマースクール	2017/9/2-4	台湾	11
生態水文学研究所	さくらサイエンスプランによる海外若手研究者の研修	2017/10/21-22	マレーシア	1
生態水文学研究所	インターン	2018/2/8-28	マレーシア	2
生態水文学研究所	JSPS-C2Cプロジェクトシンポジウムの現地見学	2018/3/5	韓国・シンガポール	4
生態水文学研究所	試験地見学	2018/3/14-15	ドイツ・スイス・オーストリア	11
富士癒しの森研究所	インターンシップ学生による見学	2017/6/30-7/1	フランス	1
富士癒しの森研究所	ルイス&クラーク大学 日本・富士癒しの森研究所山研修	2017/7/18	アメリカ	13
富士癒しの森研究所	360度カメラを用いた森林環境の映像記録	2017/8/25-27	台湾	4
富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所癒しの森研究所の諸施設見学および研究打ち合せ	2017/9/2	ドイツ	1
富士癒しの森研究所	国立台湾大学サマープログラム	2017/9/5	台湾	11
富士癒しの森研究所	ANESC生物資源環境学セミナー	2017/10/19	不明	33
富士癒しの森研究所	サウンドスケープに関する環境教育教材の開発～富士癒しの森研究所癒しの森を事例に～	2017/11/20-21	中国	1
富士癒しの森研究所	森林圏生態社会学演習	2017/11/21-22	中国	4
富士癒しの森研究所	日中韓三カ国黄砂共同研究会合による視察	2017/12/7	中国・韓国	12
樹芸研究所	コウヨウザンの乾燥に関わる物性の評価	2017/4/24-25・7/20-21	中国	1
企画部・教育研究センター	インターン	2017/4/4-4/6・8/21	フランス	1
企画部・教育研究センター	インターン	2017/7/21-24	フランス	1
企画部・教育研究センター	国立台湾大学サマースクール	2017/9/6	台湾	10
企画部・教育研究センター	JSPS-C2Cプロジェクト中間総括シンポジウム	2018/3/3-5	韓国・台湾・タイ・マレーシア・インドネシア・シンガポール・スリランカ	9
企画部	森林科学セミナー発表	2017/6/22	米国	1
企画部	研究上の議論	2017/9/18	シンガポール	2
企画部	アジアセンターさくらサイエンスプラン参加者歓迎会	2017/10/16	マレーシア	1
企画部	アジアセンターさくらサイエンスプラン個別研修	2017/10/21-22	マレーシア	1

■出版広報活動■

演習林報告

「演習林報告」137号・138号を発行した。

演習林報告第137号 2017年9月12日発行

横関隆登

郷土風景論史研究の展開過程－1979年から2015年にかけて－

1-25

前田啓・信田聡・鴨田重裕・岡野健

クスノキ間伐材からの合板試作とその物理的性質

27-39

稲垣怜那・寺田珠実・井上広喜・鴨田重裕・鮫島正浩

Eucalyptus saligna 葉の主成分である没食子酸類の活用に向けた抗菌スペクトルの検討

41-51

演習林報告第138号 2018年3月8日発行

稲垣怜那・寺田珠実・井上広喜・鴨田重裕・鮫島正浩

Eucalyptus saligna の葉に含まれるフェノール性成分とその生合成に関わるPAL酵素の解析

1-42

五十嵐勇治・高德佳絵・吉田弓子・木村恒太・鈴木智之

シカ食害下の秩父山地における不嗜好性植物による緑化のための播種試験

43-64

齊藤陽子・瀬戸康弘・井出雄二

植栽年代の異なるクスギ人工林の遺伝的組成－大陸産種苗植栽の可能性－

65-75

演習林

「演習林」60号を発行した。

演習林第60号 2018年3月22日発行

後藤晋

北海道に優占する亜寒帯性針葉樹、トドマツ、アカエゾマツ、エゾマツの開芽期と冬芽形成期－英文－

1-7

蔵治光一郎・黒木里香・五名美江

生態水文学研究所赤津研究林白坂流域井戸水位観測報告(Ⅱ)

9-17

才木道雄・吉田弓子・原口竜成・五十嵐勇治・大村和也・高德佳絵

秩父演習林ボランティア組織の養成と活動の変遷

19-29

山田利博・大村和也・齋藤俊浩・五十嵐勇治・高德佳絵・才木道雄・村川功雄・井口和信・井上淳・齋藤暖生・辻和明・小林奈通子・田野井慶太郎・中西友子

東京大学演習林における福島第一原子力発電所事故後6年間(2011～2016)の野生キノコの放射性セシウムの測定結果－英文－

31-47

高德佳絵・千嶋武・原口竜成・才木道雄

秩父演習林における「原生林固定試験地」毎木調査資料(2016)

49-54

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所

生態水文学研究所日降水量・日流出量観測結果報告(X)

55-64

原口竜成・澤田晴雄・大村和也・高德佳絵・吉田弓子

秩父演習林イヌブナ天然林におけるリターフォールデータ(1991年6月～2006年12月)

65-73

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会水文水質部門

東京大学演習林水文観測・水質分析報告(自2015年1月至2015年12月)

75-99

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会気象部門

東京大学演習林気象報告(自2016年1月至2016年12月)

101-120

科学の森ニュース



■第78号■ 2017年6月10日発行

【表紙記事】食文化・チョコレート研究者とショコラティエが温室カカオを収穫 (樹芸研究所)

＜記事＞

- ・山中湖村との地域交流に関する協定締結式 (富士癒しの森研究所)
- ・一般公開「春の郷台畑へ行こう！」開催 (千葉演習林)
- ・「山部国際宿泊施設」がオープン (北海道演習林)
- ・演習林のイベントダイジェスト 2017年6月～2017年8月

＜クローズアップ＞

探鳥会への講師派遣による地元小学校との交流 (生態水文学研究所)

＜科学の森の動植物紹介＞

アブラチャン (富士癒しの森研究所)

＜名所・名物紹介＞

天然林施業試験地 (北海道演習林)



■第79号■ 2017年9月10日発行

【表紙記事】ツリークライミング体験会を実施 (田無演習林)

＜記事＞

- ・全学体験ゼミナール「危険生物の知識 (春編)」 (富士癒しの森研究所、千葉演習林)
- ・「利用者研究会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会」を開催 (生態水文学研究所)
- ・「大麓山ハイキング登山会」を開催 (北海道演習林)
- ・演習林のイベント情報 2017年9月～2017年11月

＜クローズアップ＞

サイバーフォレストのライブ配信による鳥類センサス (富士癒しの森研究所 藤原章雄)

＜科学の森の動植物紹介＞

アブラギリ (樹芸研究所)

＜コラム＞

過密なヒノキ人工林での土砂と水の動きを解き明かす (生態水文学研究所 佐藤貴紀)



■第80号■ 2017年12月10日発行

【表紙記事】国立台湾大学からサマースクールで来演 (教育推進委員会)

＜記事＞

- ・演習林の技術職員3名が森林管理技術賞を受賞
- ・センの座卓が北海道演習林に里帰り：素材生産業者の家族から寄附 (北海道演習林)
- ・市民、東大農場、科学館とコラボ！子どもサマースクール (田無演習林)
- ・演習林のイベント情報 2017年12月～2018年2月

＜クローズアップ＞

労働ストレスに関する職員研修 (富士癒しの森研究所)

＜科学の森の動植物紹介＞

オオモクゲンジ (田無演習林)

＜名所・名物紹介＞

モノレール (秩父演習林)



■第81号■ 2018年3月10日発行

【表紙記事】地域資源としての瀬戸の「やきもの」に関するシンポジウムを開催 (生態水文学研究所)

＜記事＞

- ・イベント企画術の研修会を実施！全国から技術職員が参加 (田無演習林)
- ・地震発生を想定した避難訓練の実施 (樹芸研究所)
- ・山火事の被害状況調査 (秩父演習林)
- ・演習林のイベント情報 2018年3月～2018年5月

＜クローズアップ＞

20年目を迎えた地域貢献イベント・天津小学校「緑の教室」 (千葉演習林)

＜科学の森の動植物紹介＞

シジュウカラ (生態水文学研究所)

＜コラム＞

エゾマツのコンテナ苗がクリスマスツリーに変身 (教育研究センター 後藤晋)

新聞・雑誌・放送等

演習林名	メディア	日付	内容
田無演習林	タウン通信	2017/4/5	演習林でツリークライミング
千葉演習林	千葉日報記事	2017/5/14	県立君津青葉高校 ヒメコマツ保全活動
生態水文学 研究所	広報誌「犬山」	2017/5/15	春のふれあい自然観察会
富士癒しの 森研究所	山梨日日新聞	2017/5/16	富士五湖フットパスフォーラム
千葉演習林	房日新聞	2017/5/21	高田松原再生事業 天津小クロマツの育苗
生態水文学 研究所	読売新聞(愛知県版)	2017/6/4	あさひ森の健康診断
田無演習林	シチズン社内報	2017/6/9	シチズングループの生物多様性保全活動事例
千葉演習林	房日新聞	2017/6/11	高田松原再生事業 天津小クロマツの植樹
生態水文学 研究所	矢作新報	2017/7/7	豊田市の受託研究 森の水源涵養機能観測
北海道 演習林	北海道新聞	2017/9/7	森林学習プログラム(樹海小)
田無演習林	FM西東京	2017/9/12	『食・農・森』～東大生態調和機構から
樹芸研究所	伊豆新聞	2017/9/21	ユウカリ植栽 森林計画研究発表大会の全国大会進出
樹芸研究所	伊豆新聞	2017/10/31	公開講座チョコレート作り
樹芸研究所	静岡新聞	2018/1/1	南伊豆産カカオ
樹芸研究所	陸奥新報	2018/1/1	カカオ 「豆へのこだわり」
樹芸研究所	河北新報	2018/1/3	カカオ 「繊細な技術」
樹芸研究所	岩手日日	2018/1/8	カカオ 「豆へのこだわり」
生態水文学 研究所	RADIO SANQ	2018/1/22	サンキューアフタヌーン 「COOL CHOICE 賢い選択」
企画部	矢作新報	2018/2/2	豪雨災害と森づくり
北海道 演習林	服部新聞(142号)	2018/3/5	第412回旭川銘木市
樹芸研究所	日経MJ	2018/3/19	国産カカオ栽培広がる
田無演習林	タウン通信	2018/3/21	イベント情報(ツリークライミング体験会)

■安全衛生■

下表のように安全・防災のための各種講習会を実施した。その他に各演習林の実情と必要性に応じ安全衛生のための定期的な会議や点検を実施、あるいは日常的な連絡・注意喚起のための態勢を整備している。

安全・防災のための講習会等

研修名	開催機関等	開催月	参加人数
教育研究安全衛生マネジメントシステム会議	田無演習林	毎月	8
普通救命講習I	秩父消防本部	4月	2
教育研究安全衛生マネジメントシステム説明会	農学生命科学研究科環境安全管理室	4月	4
安全運転管理者講習	千葉県安全運転管理協会	4月	1
ホイールローダー安全運転講習	千葉演習林	4月	13
新入教職員安全衛生ガイダンス及び情報倫理・情報セキュリティガイダンス	農学生命科学研究科環境安全管理室	4月	1
教育研究安全衛生マネジメントシステム会議	企画部・教育研究センター	4月	12
教育研究安全衛生マネジメントシステム会議	秩父演習林	5月	16
利用者ガイダンス	秩父演習林	5月	41
運搬車、三脚脚立講習	田無演習林	5月	8
安全運転管理者講習会	北海道旭川方面公安委員会	6月	1
蜂対策講習会	北海道演習林	6月	35
教育研究安全衛生マネジメントシステム会議	北海道演習林	6月	35
ハチ毒アレルギー検査受診	富士癒しの森研究所	7月	1
北海道演習林安全の日 (林内安全運転講習会)	北海道演習林	8月	21
安全運転管理者等講習	埼玉県安全運転管理者協会	8月	1
交通安全講習会	北海道演習林	11月	33
交通安全講習会	秩父演習林	11月	14
防災訓練	生態調和農学機構	11月	8
地震発生を想定した避難訓練	樹芸研究所	11月	7
チェンソー使用安全講習	千葉演習林	11月	18
伐採・搬出等に関する安全講習	樹芸研究所	12月	5
ドローン安全飛行講習	千葉演習林	12月	18
清澄学生宿舎防災訓練	安房消防署小湊分遣署	12月	18
スノーモバイル講習会	北海道演習林	1月	27
普通救急救命講習	富士吉田消防署	3月	5

資格取得のための講習等

研修名	開催機関等	開催月	参加人数
自由研削用といしの取替え等の業務に係る特別教育	旭川地方労働基準協会	4月	1
「携帯用丸のご盤」作業従事者安全教育	旭川地方労働基準協会	5月	2
車両系木材伐出機械等の運転業務特別教育	林業業労災防止協会旭川分会	5月	1
はい作業主任者技能講習	北海道林業機械化協会	6月	1
地山掘削作業主任者	建設業労働災害防止協会千葉県支部	6月	1
土止め支保工作業主任者	建設業労働災害防止協会千葉県支部	6月	1
千葉県農薬管理指導士	千葉県労働基準協会联合会	7月	3
研削砥石特別教育	山九	8月	1
ロープ高所作業特別教育	ロープ高所作業協会	8月	2
毒物劇物取扱者	千葉県	9月	1
有機溶剤作業主任者技能講習	千葉県労働基準協会联合会	9月	1
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	千葉県労働基準協会联合会	9月	1
玉掛け技能講習	キャタピラー教習所(株)北海道教習センター	3月	2
小型移動式クレーン運転技能講習	キャタピラー教習所(株)北海道教習センター	3月	2

災害発生状況

2017年度は災害は29件(千葉6, 北海道15, 秩父6, 生態水文1, 樹芸1)であった。内訳は労働時の災害がハチ刺され7件(千葉2, 北海道4, 樹芸1), ダニ刺され7件(千葉2, 北海道4, 秩父1), ナタによる切創3件(北海道1, 秩父2), 打撲・肉離れ・外傷等6件(北海道3, 秩父2, 生態水文1)であった。また物損事故は重機1件(北海道1), 普通車両3件(千葉1, 北海道1, 秩父1), UAV1件(北海道1), チェーンソー1件(千葉1)であった。

災害種別	被災者		
	教職員(件)	学生(件)	その他(件)
重大災害			
設備災害			
通勤災害	1		
人的被害あり	22	1	
人的被害なし (設備災害でない機器・施設損傷あり)	5		
人的被害・機器・施設損傷なし			

東京大学安全衛生管理業務月報に基づく演習林災害統計

休業種別	被災者		
	教職員(件)	学生(件)	その他(件)
休業災害(4日以上)			
休業災害(4日未満)			
不休災害	28	1	
合計	28	1	

山火事予防活動

演習林名	名称	開催場所	日程	参加人数
北海道	巡視及び注意喚起の幟, 設置と撤去	北海道演習林一円	2017/4/1～ 2017/5/31	全職員
秩父	消火訓練(大血川管内)	秩父演習林	2017/8/28	14
秩父	消火訓練(栃本管内)	秩父演習林	2018/1/22	14

2017年度 研修

■研修■ 技術職員

研 修 名	開 催 機 関	開催月	参加人数
平成29年度東京大学新任教職員研修	東京大学本部人材育成課	4月	1
平成29年度東京大学技術職員研修「海洋観測技術研修」	東京大学	4月	1
平成29年度(前期)教室系技術職員学外技術研修 (日本樹木医学会群馬大会)	一般社団法人 日本樹木医学会	6月	1
平成29年度技術職員研修「3Dプリンター技術研修(基礎コース)」	東京大学	7月	1
平成29年度(前期)教室系技術職員学外技術研修 (森林情報士養成研修・森林航測2級)	一般社団法人 日本森林技術協会	9月	1
平成29年度(前期)教室系技術職員学外技術研修 (日本鳥学会2017年度大会)	日本鳥学会	9月	1
平成29年度第26回九州地区農学部附属演習林技術職員研修	琉球大学	10月	3
平成29年度東海地区農学部附属演習林等技術職員研修 (水・土砂の長期モニタリング調査)	東京大学	10月	6
平成29年度国立大学法人北海道大学北方生物圏フィールド科学 センター森林圏ステーション技術職員専門研修	北海道大学	10月	1
平成29年度技術職員研修「労働ストレスの管理と回復のための 活動および回復環境について学ぶ」	東京大学	10月	4
平成29年度(後期)教室系技術職員学外技術研修 (標識調査勉強会)	公益財団法人 山科鳥類研究所	10月	1
平成29年度中国・四国・近畿地区 農学部附属演習林技術職員研修	島根大学	11月	5
第20回関東甲信越地区農学部附属演習林技術職員研修 市民を対象としたイベント企画～伝える技術とリスク管理～	東京大学	11月	3
平成29年度東京大学技術職員研修 「刈払い機, チェンソー等の点検研修及び安全講習」	東京大学	11月	2
基盤データ整備委員会GIS部門技術指導者養成研修	東京大学大学院 農学生命科学研究科附属演習林	11-12月	4
平成29年度技術職員等試験研究・研修会議	東京大学大学院 農学生命科学研究科附属演習林	12月	18
基盤データ整備委員会GIS部門GIS整備指導研修	東京大学大学院 農学生命科学研究科附属演習林	1-2月	6
第5回分析技術グループ研修	東京大学大学院農学生命科学研究科 技術部分析グループ	2月	3
第2回東京大学技術発表会	東京大学総合技術本部	2月	24
平成29年度(後期)教室系技術職員学外技術研修 (第129回日本森林学会)	東京大学	3月	1

事務職員

研 修 名	開 催 機 関	開催月	参加人数
平成29年度技術職員研修「コンピュータネットワーク研修」	東京大学	11月	1

■組織図■

企画部・教育研究センター

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
演習林林長 教授 富樫一巳		
企画部 部長 教授 蔵治光一郎 統括技術長 技術専門員 澤田晴雄	教授 石橋整司(兼)	特任専門職員 柴田ゆう子
教育研究センター センター長 准教授 後藤 晋 技術主任 技術専門職員 丹羽悠二	准教授 嶋田重裕(兼) 助教 前原 忠 助教 三浦直子 技術職員 中山綾子 (代替職員) 技術専門職員 近澤静恵 (育児休業)	事務補佐員 小林ひとみ 2017年5月31日まで 2017年12月1日から
農学系事務部 事務部長 吉田雅彦 総務課長 金子郁夫 経理課長 村岡 俊 教務課長 瀧口昭江	研究支援チーム 副課長 根本浩三 係長 佐野浩幸 他事務部各係	
学生等	氏名	
IPADS 博士2年/3年 博士2年 博士2年 博士1・2年 博士1・2年 博士1年(9月入学) 博士1年 修士2年 修士2年 修士1年 修士1年 学部4年 学部4年 研究生 研究生 研究生 研究生 研究生	サデーパ・ジャヤトウンガ サイフル・アムリ・サラギー 執行宣彦 彭 勇 アンナ・カロリナ チョー・トゥー・モー ムスリ・イスミニャ 五十嵐慶一 川崎 満 金道知聖 小原 茜 平山偉之 田中翔大 陳 天宇 李 東旭 李 昕曄 韋 珉傑 ヴィージェナイカ・パビトラ・ランガニー	

2017年度 組織図

千葉演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
林長	教授	石橋整司		
技術主任	技術専門職員	大石 諭		
技術副主任	技術専門職員	米道 学		
森林管理部門 部門長	技術専門職員	鈴木祐紀		
土木係	技術専門職員	塚越剛史	技術専門職員 千嶋 武(兼)	
森林管理係	技術専門職員	軽込 勉	技術専門職員 鈴木祐紀(兼)	
作業所部門 部門長	技術専門職員	鶴見康幸		
清澄作業所	技術専門職員	村川功雄		特任専門職員 粕谷善廣 特任専門職員 岡田康則 特任専門職員 加瀬清巳
札郷・郷台作業所	技術専門職員	米道 学		特任専門職員 宮原はな 特任専門職員 吉田龍三 特任専門職員 富川 勲 臨時用務員 糟谷育代(兼)
教育研究主任	助教	久本洋子		
教育研究支援部門 部門長	助教	久本洋子		
資料管理係	技術専門職員	千嶋 武	技術専門職員 大石 諭(兼) 技術専門職員 三次充和(兼)	
試験係	助教	當山啓介	助教 久本洋子(兼) 教授 石橋整司(兼)	
利用促進部門 部門長	技術専門職員	大石 諭		
社会連携係	技術専門職員	三次充和		
利用調整係	助教	當山啓介	技術専門職員 三次充和(兼) 一般職員 根上昌久(兼)	臨時用務員 糟谷育代(兼) 特任専門職員 羽若部理會
事務室係長		田山勝則		
事務係	係長	田山勝則	主任 野山 智 一般職員 根上昌久(再)	
施設係	係長	田山勝則	技術専門職員 鶴見康幸(兼) 技術専門職員 村川功雄(兼) 技術専門職員 米道 学(兼)	
管財係	係長	田山勝則		

北海道演習林

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
林長 教授 鎌田直人 林長補佐 准教授 尾張敏章		
教育研究主任 助教 坂上大翼 助教 福井 大 主査 主査 川辺幸一 技術主任 技術専門員 犬飼 浩 技術副主任 技術専門員 井口和信		
庶務係 係長 横山和宏	主任 天山 学	事務補佐員 穴澤三恵子
会計係 係長 岡田教和	専門職員(係長級) 小川 理	
資産管理係 係長 米田久和		
企画調整係主任 技術専門員 犬飼 浩(兼)	技術専門職員 大川あゆ子	
調査資料係主任 技術専門職員 笠原久臣	技術専門職員 小川 瞳 技術職員 犬飼慎也 技術専門職員 大川あゆ子(兼)	学術支援職員 犬飼雅子 2017/5/1から2017/10/31まで 学術支援職員 木村恵美子 2017/5/1から2017/10/31まで 学術支援職員 佐藤晴樹 2017/6/1から2017/12/15まで
種苗造林係主任 技術専門員 岡村行治	技術専門職員 宅間隆二	
生産販売係主任 技術専門職員 福土憲司		特任専門職員 片平可奈
土木生産係 (土木担当)主任 技術専門職員 磯崎靖雄	技術専門職員 阿達康真 技術職員 及川 希	
土木生産係 (生産担当)主任 技術専門職員 小池征寛	技術専門職員 井上 崇 技術職員 木村恒太 技術職員 遠國正樹	
調査第一係主任 技術専門職員 松井理生	技術職員 江口由典 技術職員 小林徹行 技術職員 延 栄一 (代替職員) 算用子麻未 (育児休業)	
調査第二係主任 技術専門職員 中川雄治	技術専門員(兼) 井口和信 技術専門職員 岡平卓巳 特任専門職員 廣田善己	
試験係	教授 鎌田直人 准教授 尾張敏章 助教 坂上大翼 助教 福井 大	
山部樹木園主任 技術専門職員 木村徳志	技術専門職員 福岡 哲	学術支援職員 内芝和江 2017/4/1から2017/11/30まで 技能補佐員 安藤佳子 2017/4/1から2017/11/30まで 技能補佐員 中坪優子 2017/4/1から2017/11/30まで
セミナーハウス 施設長 鎌田直人	一般職員 横山和宏(兼)	特任専門職員 杉原時子 特任専門職員 望月 睦 2017/6/1から 特任専門職員 松村裕美 2017/5/1から2017/10/31まで

2017年度 組織図

秩父演習林

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
林長 教授 山田利博		
林長補佐 講師 平尾聡秀		
教育研究主任 講師 浅野友子		
試験係主任 助教 鈴木智之		
事務室 係長 本橋雅人 2017/6/30まで 係長 三宅順一 2017/7/1から	主任 亀原弥生 主任 渡邊幸司	特任専門職員 浅見美津子
技術主任 技術専門職員 齋藤俊浩		特任専門職員 富沢貴志
森林管理 チーム 技術専門員 大村和也	技術専門職員 吉田弓子	
利用促進 チーム 技術専門職員 高德佳絵	技術専門職員 五十嵐勇治 技術専門職員 原口竜成 技術専門職員 才木道雄	特任専門職員 島崎雅美 特任専門職員 内田理恵
作業所 チーム 技術専門職員 高野充広	技術専門職員 藤平晃司	特任専門職員 山中五郎 特任専門職員 山中淑子 特任専門職員 浅見美津子(兼)
影森苗畑 技術専門職員 齋藤俊浩(兼)		

田無演習林

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
林長 講師 安村直樹		
林長補佐 講師 楠本 大		
教育研究主任 助教 竹本周平		特別研究員 鳥居正人
技術主任 技術専門員 栗田直明	技術専門職員 相川美絵子	特任専門職員 尾林文男 特任専門職員 石浦恭子 技術補佐員 小幡理恵

生態水文学研究所

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
所長 講師 廣嶋卓也 所長補佐 助教 田中延亮		
教育研究主任 助教 水内佑輔 教育研究係主任	講師 広嶋卓也(兼) 助教 田中延亮(兼) 特任助教 佐藤貴紀 2017/5/16から 技術専門職員 高橋功一 技術専門職員 里見重成	特任研究員 佐藤貴紀 2017/5/15まで 特任研究員 アンナナイナール 2017/7/9から 特任専門職員 加藤敦美 特任専門職員 鎌田幸子(兼) 2017/5/15まで 学術支援職員 高橋由佳(兼) 2017/6/1から 学術支援職員 新實夏美 2017/11/15まで 学術支援職員 黒木里香(兼)
過去データ管理室 助教 田中延亮	講師 広嶋卓也(兼) 助教 水内佑輔(兼)	学術支援職員 加藤純子 学術支援職員 黒木里香 特任専門職員 加藤敦美(兼)
事務主任 事務室係長 平野圭二		特任専門職員 加藤正勝 事務補佐員 大地泰子 2017/8/31まで 学術支援職員 田中智子 2017/10/1から
技術主任 技術専門員 井上 淳 研究林管理係主任	技術職員 梁瀬桐子 技術専門職員 里見重成(兼)	特任専門職員 鎌田幸子 2017/5/31まで 学術支援職員 高橋由佳 2017/6/1から 特任専門職員 渡辺平和 学術支援職員 橋本 聖
環境安全推進室 事務室係長 平野圭二	技術専門員 井上 淳(兼)	

富士癒しの森研究所

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
所長 講師 浅野友子 所長補佐 助教 齋藤暖生		
教育研究主任 助教 藤原章雄		
技術主任 技術専門職員 辻 和明 技術主任補佐 技術専門職員 西山教雄	技術専門職員 辻 和明(兼) 技術専門職員 西山教雄(兼)	臨時用務員 高村史香 特任専門職員 齋藤純子

樹芸研究所

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
所長 准教授 鴨田重裕 所長補佐 助教 井上広喜		
教育研究係 教育研究主任 助教 井上広喜		
技術係 技術主任 技術専門職員 村瀬一隆 教育研究支援チーム 森林管理チーム	技術専門職員 辻 良子 技術専門職員 渡邊良広	技能補佐員 大島浩子 技能補佐員 須田常仁 技能補佐員 大久保尚志
事務係 事務主任 (不在)	技術専門職員 辻 良子(兼)	事務補佐員 進士真理子

2017年度 人事異動

■人事異動■

日付	異動	新所属・職名	氏名	旧所属・職名
2017.4.1	昇任	附属演習林企画部 教授	蔵治光一郎	同 千葉演習林 准教授
2017.4.1	勤務換	附属演習林千葉演習林 教授	石橋整司	附属演習林企画部 教授
2017.4.1	昇任	附属演習林企画部 技術専門員	澤田晴雄	同 技術専門職員
2017.4.1	昇任	附属演習林生態水文学研究所 技術専門員	井上 淳	同 技術専門職員
2017.4.1	昇任	附属演習林田無演習林 技術専門員	栗田直明	同 技術専門職員
2017.4.1	昇任	附属演習林秩父演習林 技術専門職員	吉田弓子	同 技術職員
2017.4.1	昇任	総務課附属演習林北海道演習林事務室 主査	川辺幸一	文学部・人文社会系研究科財務・ 研究支援チーム 係長
2017.4.1	勤務換	附属演習林千葉演習林 技術専門職員	三次充和	附属演習林北海道演習林 技術専門職員
2017.4.1	勤務換	附属演習林北海道演習林 技術職員	小林徹行	附属演習林樹芸研究所 技術職員
2017.4.1	勤務換	附属演習林千葉演習林 技術専門職員	千嶋 武	附属演習林秩父演習林 技術専門職員
2017.4.1	勤務換	附属演習林生態水文学研究所 技術専門職員	里見重成	附属演習林千葉演習林 技術専門職員
2017.4.1	勤務換	附属演習林秩父演習林 技術専門職員	藤平晃司	附属演習林千葉演習林 技術専門職員
2017.4.1	勤務換	附属演習林北海道演習林 技術専門職員	阿達康真	附属演習林千葉演習林 技術専門職員
2017.5.16	採用	附属生態水文学研究所 特任助教	佐藤貴紀	同 特任研究員(特定短時間)
2017.7.1	配置換	総務課附属演習林秩父演習林事務室 係長	三宅順一	附属図書館総務課会計係 係長
2018.3.31	定年退職	附属演習林 技術職員(再雇用)	岡村行治	附属演習林北海道演習林 技術専門員
2018.3.31	任期満了 退職		中山綾子	附属演習林 技術職員 (育児休業代替職員)
2018.3.31	再雇用職員 任期満了		根上昌久	総務課附属演習林千葉演習林事務室 一般職員

■利用状況■

全利用者

演習林名:千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	15	鴨川市有害鳥獣対策協議会				15	15	有害鳥獣捕獲	日帰り
2	4	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	(1)非汚染地域大気環境調査(4/3, 17), (2)化学物質大気環境調査(4/26-27)	日帰り
3	4	1	公益財団法人PHOENIX木材・合板博物館				14	14	極相林, スギ品種林, スギ生育優良林等の見学	日帰り
4	4	2	千葉県森林インストラクター会	2			24	26	演習林及び房総の自然文化の研修, 公開日のボランティアスタッフの準備, Abiesとの交流	清澄宿泊施設
5	4	2	千葉演習林ボランティア会 Abies				10	10	FICとの交流会	清澄宿泊施設
6	4	2	麻布大学獣医学部生理学第1研究室	2	2			4	イモリ調査と採集	日帰り
7	4	1	国立科学博物館植物研究部	2				2	日本及び中国に産するサクラ属の集団異伝的研究	日帰り
8	4	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	2			2	4	早生樹コウヨウザンの試験林・見本林の視察研修	日帰り
9	4	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	2		1		3	シカ忌避植物イブセンリョウの採食防御戦略	日帰り
10	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室	2		2		4	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	清澄宿泊施設2
11	4	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
12	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林				57	57	千葉演習林一般公開「春の郷台畑へ行く」実施のため	日帰り
13	4	2	千葉演習林ボランティア会 Abies				22	22	千葉演習林一般公開開催のサポート	日帰り
14	4	1	首都大学東京都環境学部自然・文化ツーリズムコース	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り
15	4	1	千葉県衛生研究所医動物研究室	2				2	千葉県におけるマダニ類の生息状況調査	日帰り
16	4	1	慶応義塾大学経済学部生物学教室	1			1	2	森林性両生類の生息モニタリング及び生態特性に関する調査	日帰り
17	4	1	東海大学附属相模高等学校	20			522	542	ウォークラリー実施のため	日帰り
18	4	2	慶応義塾大学経済学部生物学教室	2			2	4	森林性両生類の生息モニタリング及び生態特性に関する調査	日帰り
19	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	13				13	千葉演習林 春の研修会	日帰り
20	4	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				5	5	動植物写真撮影(Abiesグッズ用に使用のため)	日帰り
21	5	17	鴨川市有害鳥獣対策協議会				17	17	有害鳥獣捕獲	日帰り
22	5	1	特定非営利活動法人竹もりの里				2	2	里山林を監理するための技術研修のための下見	日帰り
23	5	5	千葉県環境生活部大気保全課				8	8	(1)非汚染地域大気環境調査(5/1, 15, 29), (2)化学物質大気環境調査(5/11-12)	日帰り
24	5	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
25	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	産地の異なるトドマツ実生苗の高温耐性スクリーニング/温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	清澄宿泊施設2
26	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	1		1		2	イチイガシの開花結実に関する研究	日帰り
27	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1				1	造林学実験下見	日帰り

2017年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
28	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1				1	学生実習「森林植物学実験」下見のため	日帰り
29	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	3		7 (3)		10 (3)	新田・袋山沢における水文観測	日帰り
30	5	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				4	4	猪ノ川林道植物観察会	日帰り
31	5	3	千葉科学大学大学院危機管理学研究科危機管理学専攻	2	5	3		10	房総半島における樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
32	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	4	14			18	教養学部全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	日帰り
33	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	31	2	4	15	52	「千葉演習林利用者説明会」開催のため	清澄宿泊施設
34	5	2	千葉演習林ボランティア会 Abies				7	7	千葉演習林「利用者説明会」参加(聴講)	清澄宿泊施設
35	5	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏機能学研究室			1		1	旧薪炭林における林冠木の伐採とシカの採食圧が植物の成長－防御戦略に与える影響	日帰り
36	5	2	森林総合研究所林木育種センター遺伝資源部・分類同定研究室	8				8	コウヨウザンの成長特性、材質特性の解明、優良系統の選定	日帰り
37	5	7	京大文学部理学科地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室		7	3		10	房総半島大田代層におけるタービダイト中のマッドクラストの記載	札郷宿泊施設
38	5	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	4		24 (2)		28 (2)	自然環境学専攻S1・S2ターム授業科目「地域自然誌論(47151-27)」	清澄宿泊施設
39	5	1	奈良県立大学ユーラシア研究センター	1			1	2	本多静六と土倉庄三郎に関する考察	日帰り
40	5	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	10		20		30	自然環境学実習	清澄宿泊施設
41	5	1	千葉科学大学大学院理学研究科	5 (1)		1		6 (1)	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(機器メンテナンス)	日帰り
42	5	1	千葉県立君津青葉高等学校	2			15	17	平成29年度君津青葉高校環境系列「東大演習林」校外学習実施のため	清澄宿泊施設
43	6	9	京大文学部理学科地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室		9	5	5	19	房総半島大田代層におけるタービダイト中のマッドクラストの記載	札郷宿泊施設
44	6	1	千葉県立君津青葉高等学校	2			15	17	平成29年度君津青葉高校環境系列「東大演習林」校外学習実施のため	日帰り
45	6	15	鴨川市有害鳥獣対策協議会				15	15	有害鳥獣捕獲	日帰り
46	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖様式の解明に関する野外調査	日帰り
47	6	1	特定非営利活動法人竹もりの里				17	17	里山林を管理するための技術研修	日帰り
48	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	8	32			40	森林経理学実習	札郷宿泊施設
49	6	1	奈良県立大学ユーラシア研究センター				1	1	「造林実習日誌」から見る近代造林学の構築とその思想	日帰り
50	6	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	5	120	10		135	造林学実験	清澄宿泊施設
51	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	6	63	9		78	森林植物学実験	清澄宿泊施設
52	6	4	千葉県環境生活部大気保全課				5	5	(1)非汚染地域大気環境調査(6/9, 26), (2)化学物質大気環境調査(6/13-14)	日帰り
53	6	2	千葉科学大学大学院危機管理学研究科危機管理学専攻	2	4	2		8	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2

2017年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
54	6	1	いであ株式会社自然環境保全部				1	1	ミゾゴイ生息状況調査	日帰り
55	6	2	森林総合研究所多摩森林科学園	4	1	1		6	千葉演習林における取り組みの見学(12日6名) 森林教育活動に関する見学(13日1名)	清澄宿泊施設2
56	6	1	兵庫県植物誌研究会				1	1	キョスミウツボの生育確認	日帰り
57	6	1	日本鞘翅学会				1	1	千葉県昆虫談話会採集・寄贈標本「ヤマトスナゴミムシダマシ」の確認	日帰り
58	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		3		4	森林伐採・植栽に伴う渓流水の流量・水質変化に関する研究	日帰り
59	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	7	34			41	教養学部総合科目「森林環境資源学」	清澄宿泊施設
60	6	2	慶応義塾大学経済学部生物学教室	2				2	森林性両生類の生息モニタリング及び生態特性に関する調査	日帰り
61	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室	1		1		2	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	日帰り
62	6	1	株式会社野生動物保護管理事務所				2	2	鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修事業についての打合せ	日帰り
63	6	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
64	7	9	鴨川市有害鳥獣対策協議会				9	9	有害鳥獣捕獲	日帰り
65	7	2	宇都宮大学農学部森林科学科	4	66	8		78	樹木学実習	清澄宿泊施設
66	7	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏機能学研究室			1		1	野外におけるイズセンリョウの摘葉・被陰実験の現地検討	日帰り
67	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖様式の解明に関する野外調査	日帰り
68	7	1	首都大学東京都市環境学部自然・文化ツーリズムコース	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り
69	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	7	34	3		44	教養学部全学体験ゼミナール「君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか? (入門編)」	清澄宿泊施設
70	7	1	千葉大学大学院理学研究院	1				1	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(機器メンテナンス)	日帰り
71	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	12(2)				12(2)	高齢人工林試験地見学(ソウル大学による視察)	清澄宿泊施設2
72	7	1	奈良県立大学ユーラシア研究センター				1	1	本多静六と土倉庄三郎に関する研究	日帰り
73	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2		6		8	今澄混交化試験地観測	清澄宿泊施設2
74	7	2	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	4			4	8	房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性	札郷宿泊施設
75	7	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏機能学研究室	2		2		4	野外におけるイズセンリョウの摘葉・被陰作業	清澄宿泊施設
76	7	1	学校法人戸村学園コスモス幼稚園	31			129	160	林間学校(清澄～麻綿原間往復のハイキング)	日帰り
77	7	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
78	7	2	千葉科学大学大学院危機管理学研究科危機管理学専攻	2	4	2		8	房総半島における樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
79	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室	1		1		2	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	日帰り
80	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1			2	3	素材生産(皆伐, 間伐)及び造林を直近に行った現場の見学と, 立木販売実績・入札手順等の学習	日帰り
81	7	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				5	5	Abiesボランティア活動「郷台作業所構内モウソウチク開花試験地の除草」	日帰り

2017年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
82	7	1	茨城大学農学部資源生物科学科	1	1	1		3	シバヤナギに形成される虫えい(ゴール)の形成機構の解明	日帰り
83	7	2	森林総合研究所林木育種センター遺伝資源部探索収集課	4				4	コウヨウザンの成長特性, 材質特性の解明, 優良系統の選定	日帰り
84	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻宮下研究室	6	3			9	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
85	7	3	東京大学教育学部附属中等教育学校	6			84	90	夏季生物教室	清澄宿泊施設
86	7	2	千葉県昆虫談話会				25	25	千葉県における昆虫相の調査	札郷宿泊施設
87	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林				4	4	「高校生のための森と海のゼミナール」実施	清澄宿泊施設
88	7	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				2	2	千葉演習林・千葉大学海洋バイオセンター共済事業「高校生のための森と海のゼミナール」サポートのため	清澄宿泊施設
89	7	12	千葉県環境生活部大気保全課	20			4	24	(1)非汚染地域大気環境調査(7/12-18, 10, 19, 24, 29), (2)化学物質大気環境調査(7/5, 6, 10, 19, 24)	日帰り
90	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林				8	8	「高校生のための森と海のゼミナール」実施	清澄宿泊施設2
91	8	2	千葉演習林ボランティア会 Abies				3	3	千葉演習林・千葉大学海洋バイオセンター共済事業「高校生のための森と海のゼミナール」サポートのため	清澄宿泊施設
92	8	14	鴨川市有害鳥獣対策協議会				14	14	有害鳥獣捕獲	日帰り
93	8	7	東京大学理学研究科地球惑星科学専攻	32	90	40	6	168	東京大学理学研究科 野外調査実習(1)	清澄宿泊施設
94	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	日帰り
95	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖様式の解明に関する野外調査	日帰り
96	8	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	(1)非汚染地域大気環境調査(8/7, 18), (2)化学物質大気環境調査(8/22-23)	日帰り
97	8	1	株式会社野生動物保護管理事務所				2	2	鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修におけるフィールド実習地での林道下見	日帰り
98	8	1	首都大学東京都市環境学部自然・文化ツーリズムコース	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り
99	8	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				6	6	Abiesボランティア活動「郷台作業所構内モウソウチク開花試験地除草-#2」と歩道杭確認	日帰り
100	8	21	京都大学理学部理学科地球惑星科学専攻地球生物圏史地層学グループ		21			21	千葉県上総層群大田代層におけるタービダイト中のマッドクラストの記載	札郷宿泊施設
101	8	1	君津市教育委員会生涯学習文化課	5			3	8	君津市立坂畑小学校スクールミュージアム 自然観察会下見	日帰り
102	8	4	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻鈴木研究室			4		4	シカの影響による下層植生の経年変化	清澄宿泊施設2
103	8	6	京都大学理学部地質学鉱物学教室	30	84	6		120	課題演習E2(地質調査実習)	清澄宿泊施設
104	8	6	日本地質学会関東支部清澄FC実行委員会	25	22			47	フィールド調査の継承・発展のための地質調査の基礎的訓練	清澄宿泊施設
105	8	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏機能学研究室	2		2		4	植生調査	清澄宿泊施設2
106	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1				1	造林学実験(準備)	日帰り
107	8	2	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	4			2	6	房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性	札郷宿泊施設

2017年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
108	8	2	株式会社野生動物保護管理事務所	6			8	14	鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修におけるフィールド実習地の下見	日帰り
109	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室	1		1		2	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	日帰り
110	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4				4	360度カメラを用いたコウモリ類の撮影に関する技術的手法の確立とVR技術への応用	清澄宿泊施設2
111	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林		4			4	千葉演習林体験プログラム	清澄宿泊施設2
112	8	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏機能学研究室			3		3	野外におけるイズセンリョウの摘葉・被陰作業(再測定)	清澄宿泊施設2
113	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	14	57			71	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	清澄宿泊施設
114	8	1	株式会社野生動物保護管理事務所				19	19	鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修におけるフィールド実習	日帰り
115	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	日帰り
116	8	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
117	9	11	京都大学理学部理学科地球惑星科学専攻地球生物圏史地層学グループ	5	11			16	千葉県上総層群大田代層におけるタービダイト中のマッドクラストの記載	札郷宿泊施設
118	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	4	19			23	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	日帰り
119	9	14	鴨川市有害鳥獣対策協議会				14	14	有害鳥獣捕獲	日帰り
120	9	7	千葉大学大学院理学研究院地球科学	28	168	14		210	理学部地球科学科選択必修科目「地質学野外実験2」「地殻構造学野外実験1」	清澄宿泊施設
121	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖様式の解明に関する野外調査	日帰り
122	9	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	(1)非汚染地域大気環境調査(9/4, 19), (2)化学物質大気環境調査(9/25-26)	日帰り
123	9	1	千葉大学大学院理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(機器メンテナンス)	日帰り
124	9	1	安房土木事務所鴨川出張所	6			6	12	樹木の生長状況の観測	日帰り
125	9	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				5	5	郷台林道杭調査及び今澄植物観察	日帰り
126	9	1	早稲田大学創造理工学部総合機械工学科		1	1		2	自律移動型のロボットの森林内での長期運用に関する研究	日帰り
127	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		1		2	森林流域における水文観測	日帰り
128	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	3				3	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明(ドローンによる上空からの苗木の撮影192本)	日帰り
129	9	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏機能学研究室			4		4	小坪沢試験地, 檜尾試験地に生育する植物の自然高の再測定	清澄宿泊施設2
130	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1				1	ウラムラサキの子実体採集	日帰り
131	9	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏機能学研究室			2		2	小坪沢試験地, 檜尾試験地に生育する植物の自然高の再測定	日帰り
132	9	1	千葉県農林総合研究センター森林研究所	3				3	千葉県で初めて確認されたカシノナガキクイムシの被害調査	日帰り
133	9	1	茨城大学農学部資源生物科学科	1				1	シバヤナギに形成される虫えい(ゴール)の形成機構の解明	日帰り

2017年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
134	9	1	君津市教育委員会生涯学習文化課	5			23	28	君津市立坂畑小学校スクールミュージアム 自然観察会	日帰り
135	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	2		2		4	イチイガシの開花結実に関する研究, アサダの葉の採取	清澄宿泊施設2
136	9	3	森林総合研究所林木育種センター遺伝資源部探索収集課	18				18	コウヨウザンの成長特性, 材質特性の解明, 優良系統の選定	日帰り
137	9	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査・種子採取・生育試験用植物採取	日帰り
138	9	4	東京大学大学院新領域創成科学研究科	12		16		28	陸域生態学実習	清澄宿泊施設2
139	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室			3		3	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	清澄宿泊施設2
140	9	2	慶応義塾大学経済学部生物学教室	2		2		4	森林性両生類の生息モニタリング及び生態特性に関する調査	日帰り
141	9	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				7	7	Abies活動「マテバシイのドングリ加工」	日帰り
142	9	1	千葉大学大学院理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(機器メンテナンス)	日帰り
143	10	12	鴨川市有害鳥獣対策協議会				12	12	有害鳥獣捕獲	日帰り
144	10	5	千葉県環境生活部大気保全課				8	8	(1)非汚染地域大気環境調査(10/2, 18, 30), (2)化学物質大気環境調査(10/16, 17)	日帰り
145	10	4	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏機能学研究室	4				4	12期長期実験区の毎木調査参加のため	清澄宿泊施設2
146	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室	1		1		2	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	日帰り
147	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖様式の解明に関する野外調査	日帰り
148	10	2	慶応義塾大学経済学部生物学教室	2			2	4	森林性両生類の生息モニタリング及び生態特性に関する調査	日帰り
149	10	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	2				2	房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性(カシノナガキクイムシ調査)	日帰り
150	10	1	千葉県農林総合研究センター森林研究所	1				1	クロマツでの高接ぎを目指して高接ぎ方法の情報収集	日帰り
151	10	2	千葉演習林ボランティア会 Abies				18	18	Abies活動「お月見研修」	札郷宿泊施設
152	10	3	千葉大学大学院融合理工学府地球環境科学専攻地球科学コース		3	3		6	卒業研究, 特別研究1(地質調査)	清澄宿泊施設
153	10	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				2	2	Abies活動「自然観察会」他の下見	日帰り
154	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	4	21			25	教養学部全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	日帰り
155	10	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				6	6	Abies活動「自然観察会」(NPO法人千葉シニア自然大学同窓会の観察会案内を兼ねる)	日帰り
156	10	5	京都大学理学部理学科地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室	5	5			10	上総層群大田代層におけるタービダイト中のマッドクラストの記載	札郷宿泊施設
157	10	3	森林総合研究所林木育種センター遺伝資源部探索収集課	9				9	コウヨウザンの成長特性, 材質特性の解明, 優良系統の選定	日帰り
158	10	4	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏機能学研究室	4				4	12期長期実験区の土壌動物調査参加のため	清澄宿泊施設2
159	10	4	(一財)日本環境衛生センター環境生物・住環境部				8	8	新規殺虫剤のマダニに対する実地効力の検討	日帰り
160	10	1	千葉大学大学院理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(機器メンテナンス)	日帰り

2017年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
161	10	1	千葉県森林インストラクター会(公益社団法人日本山岳会千葉支部)				4	4	公益社団法人日本山岳会千葉支部「郡界尾根山行」	日帰り
162	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻宮下研究室	4	8	2		14	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
163	10	1	横浜国立大学大学院環境情報学府小池研究室			2		2	都市森林における中小型ほ乳類とその種間関係(観測機器の撤去)	日帰り
164	10	1	千葉大学大学院融合理工学府地球環境科学専攻地球科学コース		1	1		2	卒業研究, 特別研究1	札郷宿泊施設
165	11	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境評価学研究室			1	1	2	ヒメコマツの実生定着に寄与する外生菌根菌種の解明	日帰り
166	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻宮下研究室		2			2	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	日帰り
167	11	3	千葉大学大学院融合理工学府地球環境科学専攻地球科学コース		3	3		6	卒業研究, 特別研究1	札郷宿泊施設
168	11	14	鴨川市有害鳥獣対策協議会				14	14	有害鳥獣捕獲	日帰り
169	11	1	鴨川市立天津小学校	3			47	50	天津小学校5年生「緑の教室」	日帰り
170	11	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				2	2	Abies活動「鴨川市立天津小学校『緑の教室』サポート	日帰り
171	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2		6		8	生圏システム学特論実習	日帰り
172	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	日帰り
173	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林				23	23	鴨川市・東京大学交流事業 野鳥の巣箱をかけよう「巣箱作り」	日帰り
174	11	2	宇都宮大学農学部森林科学科森林生産保全学講座	4	2	2(2)	1	9(2)	隣接する千葉県県有林において調査・研究を行うため	清澄宿泊施設
175	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			1(1)		1(1)	調査地下見(菌接種用のイロハモミジ個体の検討)	日帰り
176	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖様式の解明に関する野外調査	日帰り
177	11	1	公益社団法人日本山岳会千葉支部				3	3	郡界尾根山行下見	日帰り
178	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2(2)		2(2)	調査地見学(来年度研究利用の下見)	日帰り
179	11	3	ネパール国トリブバン大学	3			3(3)	6(3)	千葉演習林見学	清澄宿泊施設2
180	11	1	公益社団法人日本山岳会千葉支部				14	14	郡界尾根山行	日帰り
181	11	1	千葉県生物多様性センター				5	5	房総のヒメコマツ観察会の下見	日帰り
182	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻宮下研究室	6	12			18	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設
183	11	4	千葉県環境生活部大気保全課	6				6	化学物質大気環境調査(11/21, 22), 非汚染地域大気環境調査(11/13, 27)	日帰り
184	11	2	フィールズ有限会社				4	4	山岳マラソン(トレイルラン)のコース下見	日帰り
185	11	1	千葉県森林インストラクター会				9	9	ハイキングコースの下見	日帰り
186	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	1		1		2	イチイガシの開花結実に関する研究	日帰り
187	11	14	京都大学大学院理学研究科			14		14	地質調査(博論)	清澄宿泊施設
188	11	1	照隅会				15	15	森林博物資料館の見学	日帰り

2017年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
189	11	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森ハイキング催事「二タ間川から養老川の源流をゆく」下見	日帰り
190	11	2	東京大学経済学図書館図書運用係	14				14	東京大学図書館・情報基盤センター職員有志による自然観察会	札郷宿泊施設
191	11	3	森林総合研究所林木育種センター遺伝資源部探索収集課	9				9	コウヨウザンの成長特性、材質特性の解明、優良系統の選定	日帰り
192	11	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
193	12	1	鴨川市有害鳥獣対策協議会				1	1	有害鳥獣捕獲	日帰り
194	12	18	京都大学大学院理学研究科			18		18	地質調査(博論)	清澄宿泊施設2
195	12	17	鴨川市有害鳥獣対策協議会				18	18	有害鳥獣捕獲	日帰り
196	12	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森ハイキング催事「二タ間川から養老川の源流をゆく」下見	日帰り
197	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	4			6	10	学内特別ガイド「千葉演習林で楽しむ紅葉とランチ」実施のため	日帰り
198	12	1	千葉県森林インストラクター会				13	13	自然観察会	日帰り
199	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖様式の解明に関する野外調査	日帰り
200	12	1	内浦山県民の森管理事務所				26	26	内浦山県民の森ハイキング催事「二タ間川から養老川の源流をゆく」	日帰り
201	12	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	12	80			92	森林経理学実習	清澄宿泊施設
202	12	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				4	4	Abies活動「千葉シニア大学植物観察会サポート」下見	日帰り
203	12	2	京都大学大学院理学研究科地質学鉱物学教室			2		2	地質調査(山中克正の調査に同行)	清澄宿泊施設2
204	12	1	木更津市立金田公民館				34	34	公民館主催事業「野山ガッツリ歩き隊12月」	日帰り
205	12	1	千葉県生物多様性センター	7			30	37	房総のヒメコマツ観察会	日帰り
206	12	2	フィールズ有限会社(房総半島横断・鋸山トレイル実行委員会事務局)				8	8	地元スポーツイベントのコース下見	日帰り
207	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室			3		3	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	清澄宿泊施設2
208	12	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻生物多様性科学研究室	5	17			22	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
209	12	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	(1)化学物質大気環境調査(12/11,12), (2)非汚染地域大気環境調査(12/13, 25)	日帰り
210	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	20				20	千葉演習林「冬の研修会」	日帰り
211	12	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				5	5	千葉演習林主催「冬の研修会」聴講	日帰り
212	12	1	森林総合研究所林木育種センター遺伝資源部探索収集課	1				1	コウヨウザンの成長特性、材質特性の解明、優良系統の選定	日帰り
213	12	2	フィールズ有限会社(房総横断・鋸山トレイル実行委員会事務局)				700	700	山岳マラソン(トレイルラン)開催のため	日帰り
214	12	1	NPO法人千葉シニア大学同窓会				10	10	房総半島の植物相、特に千葉演習林の植物相の観察	日帰り
215	12	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				8	8	Abies活動「千葉シニア大学観察会」サポート	日帰り
216	12	1	安房土木事務所鴨川出張所				4	4	県単災害防止委託(四方木・法面設計)業務内、現地踏査業務	日帰り
217	12	4	安房土木事務所鴨川出張所				15	15	県単災害防止委託業務(四方木・地形測量)内、測量業務	日帰り

2017年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
218	12	1	東京大学地震研究所技術部総合観測室	1				1	地震観測機器点検, 設備撤去工事立会	日帰り
219	12	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
220	12	1	千葉県勤労者山岳連盟				7	7	第34回ロングハイキングのための下見	日帰り
221	1	18	鴨川市有害鳥獣対策協議会				19	19	有害鳥獣捕獲	日帰り
222	1	12	千葉県環境生活部大気保全課				15	15	(1)非汚染地域大気環境調査(1/9, 22), (2)ダイオキシン類に係る大気環境調査(1/9-17), (3)化学物質大気環境調査(1/18-19)	日帰り
223	1	1	東京大学地震研究所技術部	1				1	地震観測機器点検, 設備撤去工事立会検査	日帰り
224	1	1	株式会社アドイン研究所	1			1	2	細りの計測	日帰り
225	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖様式の解明に関する野外調査	日帰り
226	1	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻生物多様性科学研究室	4	12	3		19	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
227	1	1	株式会社野生動物保護管理事務所本社調査事業部				13	13	千葉県発注「平成29年度ニホンジカ・キョン生息状況調査業務委託」における調査のため	日帰り
228	1	1	千葉県勤労者山岳連盟ハイキング委員会				52	52	第34回ロングハイキング	日帰り
229	1	3	安房土木事務所鴨川出張所				12	12	県単災害防止委託業務(四方木・地形測量)内, 測量業務	日帰り
230	2	17	鴨川市有害鳥獣対策協議会				28	28	有害鳥獣捕獲	日帰り
231	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林				16	16	「森林博物資料館」一般公開	日帰り
232	2	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	(1)非汚染地域大気環境調査(2/5, 19), (2)化学物質大気環境調査(2/7-8)	日帰り
233	2	1	内浦山県民の森管理事務所				4	4	内浦山県民の森ハイキング催事「安房と上総を結ぶ道『東条みち』をゆく」下見	日帰り
234	2	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	12	72			84	全学体験ゼミナール「房総の森と生業を学ぶ」現地実習	清澄宿泊施設
235	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖様式の解明に関する野外調査	日帰り
236	2	1	千葉演習林ボランティア会 Abies	1			4	5	千葉演習林ボランティア会 Abies「役員会」の開催	日帰り
237	2	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				9	9	Abies活動「郷台モウソウチク開花年限試験地」の間伐作業	日帰り
238	2	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性(カシノナガキクイムシ調査)	日帰り
239	2	1	フィールズ有限公司				1	1	山岳マラソン(トレイルラン)大会実施後のコース状況確認	日帰り
240	2	1	千葉県森林インストラクター会				12	12	自然観察会	日帰り
241	2	5	東京大学農学部森林環境資源科学専修		5			5	卒業論文作成にかかる森林技術業務の体験	清澄宿泊施設2
242	2	1	安房土木事務所鴨川出張所				3	3	首都圏自然歩道管理工事(防護柵補修)	日帰り
243	2	1	安房土木事務所鴨川出張所				3	3	首都圏自然歩道整備工事(防護柵新設)	日帰り
244	2	7	個人利用				24	24	行方不明者の捜索	日帰り
245	2	1	東京都市大学知識工学部自然科学科生命科学研究室	2		1		3	「アンモニア菌の発生環境の解析」研究フィールドとしての千葉演習林利用についての打合せ	日帰り
246	2	1	内浦山県民の森管理事務所				28	28	内浦山県民の森ハイキング催事「安房と上総を結ぶ道『東条みち』をゆく」	日帰り

2017年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
247	2	1	千葉県農林総合研究センター森林研究所	5				5	ナラ枯れ対策会合	日帰り
248	2	2	日本大学生物資源科学部	2	6			8	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
249	2	1	慶応義塾大学経済学部生物学教室	1				1	森林性両生類の生息モニタリング及び生態特性に関する調査	日帰り
250	3	4	安房土木事務所鴨川出張所				13	13	首都圏自然歩道管理工事(防護柵補修)	日帰り
251	3	10	安房土木事務所鴨川出張所				27	27	首都圏自然歩道整備工事(防護柵新設)	日帰り
252	3	1	個人利用				3	3	行方不明者の捜索	日帰り
253	3	13	鴨川市有害鳥獣対策協議会				13	13	有害鳥獣捕獲	日帰り
254	3	11	京都大学理学部理学科地球惑星科学専攻地球生物圏史		11			11	千葉県上総層群太田代層におけるタービダイトとデブライト中の泥質礫の産状の記載(撮影とサンプル採取)	札郷宿泊施設
255	3	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	(1)化学物質大気環境調査(3/1, 2), (2)非汚染地域大気環境調査(3/5, 19)	日帰り
256	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	17 (8)				17 (8)	JSPS Core To Core プログラム現地視察	清澄宿泊施設
257	3	1	千葉県警習志野署生活安全課				40	40	行方不明者の捜索	日帰り
258	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	6	2	4		12	新田・袋山沢における水文観測	清澄宿泊施設
259	3	1	金沢大学環日本海域環境研究センター(臨海実験施設)	1		1		2	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討のための調査	日帰り
260	3	2	フィールズ有限会社事務局				443	443	山岳マラソン(第10回房総丘陵・養老溪谷トレイル)のコースとして	日帰り
261	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖様式の解明に関する野外調査	日帰り
262	3	1	千葉県立中央博物館植物学研究科	1			1	2	清澄山の地衣類相調査と地衣類の多様性に関する研究	日帰り
263	3	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				2	2	「演習林を歩こう」の下見	日帰り
264	3	2	立正大学地球環境学部	2				2	第三紀層における岩盤の侵食と風化	札郷宿泊施設
265	3	2	千葉演習林ボランティア会 Abies				20	20	千葉演習林ボランティア会Abies総会	日帰り
266	3	6	日本大学生物資源科学部	1	17			18	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
267	3	2	千葉科学大学大学院危機管理学研究科危機管理学専攻	4	6	2		12	房総半島天然林における樹上性哺乳類の生息状況	札郷宿泊施設
268	3	1	千葉県立中央博物館自然誌・歴史研究部地学研究科	2			10	12	猪ノ川沿いの草川原用水二五穴の見学	日帰り
269	3	1	慶応義塾大学経済学部生物学教室	1			1	2	森林性両生類の生息モニタリング及び生態特性に関する調査	日帰り
270	3	1	千葉県立君津青葉高等学校総合学科	2			2	4	高校生によるヒメコマツの保全活動	日帰り
271	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1				1	新田・袋山沢における水文観測	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 5341

利用件数 271

演習林名:北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	東京大学大学院人文社会科学系研究科	1				1	事務着任のため事務打合せ	山部宿泊施設
2	4	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			30 (30)		30 (30)	樹木に寄生するアンブロシアクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部宿泊施設
3	4	24	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				24 (24)	24 (24)	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析とカラマツの成長に及ぼす影響の解析	山部国際宿泊施設
4	4	1	北海道地方環境事務所				2	2	猛禽類の保護増殖事業に関わる猛禽類生息状況調査及び巣箱の状況調査・保守	日帰り
5	4	2	University of Maryland	2 (2)				2 (2)	コウモリ類の渡りに関する研究	山部宿泊施設
6	4	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	12				12	気候変動の影響緩和を目指した北方針葉樹の環境適応ゲノミクス	山部宿泊施設
7	4	2	富良野市教育委員会生涯学習センター	6				6	森林学習プログラム推進事業	日帰り
8	5	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンブロシアクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
9	5	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				31 (31)	31 (31)	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析とカラマツの成長に及ぼす影響の解析	山部国際宿泊施設
10	5	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	6	6		14	北海道の天然林におけるエゾモモンガ及びヒメネズミの基礎生態学的研究	日帰り
11	5	4	森林総合研究所北海道支所	4				4	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	山部宿泊施設
12	5	4	東京大学大学院農学生命科学研究科国際農業開発学コース			4 (4)		4 (4)	低価格固定翼型無人飛行機(UAV)を用いた森林情報の把握	山部宿泊施設
13	5	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1		3		4	北海道の天然林におけるエゾモモンガ及びヒメネズミの基礎生態学的研究	日帰り
14	5	2	東京大学総合研究博物館	2		2		4	哺乳類の胎子発生の多様性に関する研究	山部宿泊施設
15	5	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1		1		2	北海道の天然林におけるエゾモモンガ及びヒメネズミの基礎生態学的研究	日帰り
16	5	1	森林総合研究所北海道支所	1				1	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	山部宿泊施設
17	5	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1		2		3	北海道の天然林におけるエゾモモンガ及びヒメネズミの基礎生態学的研究	日帰り
18	5	1	北海道立総合研究機構林業試験場				3	3	グイマツ雑種F1(スーパーF1)試験地[1071]における葉サンプリング	日帰り
19	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林				26	26	神社山自然観察路春季一般公開	日帰り
20	5	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				3	3	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り
21	6	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			30 (30)		30 (30)	樹木に寄生するアンブロシアクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
22	6	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				30 (30)	30 (30)	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析とカラマツの成長に及ぼす影響の解析	山部国際宿泊施設
23	6	4	富良野市教育委員会生涯学習センター	17	1		149	167	森林学習プログラム推進事業	日帰り
24	6	25	Institute of Biochemistry and Biology, University of Potsdam				50 (50)	50 (50)	コウモリ類の採餌移動に関する研究	山部国際宿泊施設
25	6	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	2	2		5	北海道の天然林におけるエゾモモンガ及びヒメネズミの基礎生態学的研究	日帰り
26	6	1	森林総合研究所北海道支所	1				1	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	日帰り
27	6	12	同志社大学生命医科学部	9	9	33		51	コウモリ類の採餌移動に関する研究	山部宿泊施設
28	6	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	8	4		14	北海道の天然林におけるエゾモモンガ及びヒメネズミの基礎生態学的研究	日帰り

2017年度 全利用者 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
29	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	1				1	エゾマツの立ち枯れ病等の病害防除に関する研究	宿泊なし
30	6	1	ノースジャパン素材流通協同組合				14	14	職場内研修	日帰り
31	6	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1		1		2	北海道の天然林におけるエゾモモンガ及びヒメネズミの基礎生態学的研究	日帰り
32	6	1	森林総合研究所北海道支所	1				1	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	日帰り
33	6	1	富良野市立山部小学校	21				21	森林学習プログラム推進事業に向けて教員による一斉研究	日帰り
34	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林				20	20	公開セミナー	日帰り
35	6	2	(株)森林環境リアライズ				6	6	森林生態系多様性基礎調査	宿泊なし
36	6	3	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				12	12	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り
37	6	1	北海道大学大学院地球環境科学研究院	1				1	総合環境科学調査法実習の実施に係る現地見	日帰り
38	6	1	森林総合研究所北海道支所	1				1	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	日帰り
39	6	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1		2		3	北海道の天然林におけるエゾモモンガ及びヒメネズミの基礎生態学的研究	日帰り
40	6	5	北海道大学大学院地球環境科学研究院	20		65 (65)		85 (65)	総合環境科学調査法実習	セミナーハウス
41	6	1	富良野市立東山保育所	10			39	49	富良野市立東山・山部保育所 春の合同遠足	日帰り
42	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	3				3	エゾマツの立ち枯れ病等の病害防除に関する研究	山部宿泊施設
43	7	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンブロシアキクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
44	7	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				31 (31)	31 (31)	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析とカラマツの成長に及ぼす影響の解析	山部国際宿泊施設
45	7	8	富良野市教育委員会生涯学習センター	15			61	76	森林学習プログラム推進事業	日帰り
46	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	2				2	前山気象露場の測器等のメンテナンス	山部宿泊施設
47	7	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	6	6		14	北海道の天然林におけるエゾモモンガ及びヒメネズミの基礎生態学的研究	宿泊なし
48	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林				31 (2)	31 (2)	大麓山ハイキング登山会	日帰り
49	7	1	上川南部森林管理署	11				11	林分施業法等の天然林管理手法について	日帰り
50	7	11	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				11 (11)	11 (11)	研究インターン(分子生物学の研究補助)	山部国際宿泊施設
51	7	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				4	4	富良野地区における猛禽類生息状況調査	日帰り
52	7	9	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	9				9	インターンシップ	日帰り
53	7	3	オックスフォード大学附属植物園	6 (6)				6 (6)	オックスフォード大学附属植物園の日本原産植物コレクションの再整備と日本特産植物の現地外保全、および日本の植物相の多様性調査	セミナーハウス
54	7	1	個人				2	2	東京大学の森育成資金 記念樹の見学	日帰り
55	7	2	サントリースピリッツ株式会社				6	6	天然林におけるミスナラ優良木の特徴調査	宿泊なし
56	7	6	北海道大学地球環境科学院生物圏科学専攻			12 (6)		12 (6)	富良野地方におけるサケ科魚類の保全生態学的研究	山部宿泊施設
57	7	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1		2		3	エゾモモンガのテレメトリー調査	日帰り

2017年度 全利用者 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
58	7	2	森林総合研究所北海道支所	4				4	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	山部宿泊施設
59	7	1	いしかり森林ボランティア「クマガラ」				18	18	北海道演習林研修視察	日帰り
60	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	2				2	天然林択伐施業における選木技術の行動分析	日帰り
61	7	1	岩手県立大学総合政策学部総合政策学科	1			1	2	鳥類相の地理的変位と時間的変動	山部宿泊施設
62	8	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンブロシアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
63	8	19	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				19 (19)	19 (19)	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析とカラマツの成長に及ぼす影響の解析	山部国際宿泊施設
64	8	4	富良野市教育委員会生涯学習センター	14	2		40	56	森林学習プログラム推進事業	日帰り
65	8	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				31 (31)	31 (31)	研究インターン(分子生物学の研究補助)	山部国際宿泊施設
66	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	5				5	インターンシップ	日帰り
67	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	6				6	天然林択伐施業における選木技術の行動分析	日帰り
68	8	1	岩手県立大学総合政策学部総合政策学科	1			1	2	鳥類相の地理的変位と時間的変動	山部宿泊施設
69	8	3	北海道札幌啓成高等学校	6			54	60	北海道札幌啓成高等学校SSH道内研修B(自然環境)	セミナーハウス
70	8	4	東京環境工科専門学校	4				4	来年度の野外実習に向けた施設及び演習の見学	セミナーハウス
71	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	8	52	4		64	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)」	山部宿泊施設
72	8	3	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				30	30	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
73	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	10				10	温暖な環境に移植された北方針葉樹のストレス応答評価	山部宿泊施設
74	8	4	東京大学教育学部附属中等教育学校	4				4	来年度の夏季生物教室のための打合せ	山部宿泊施設
75	8	1	上川農業改良普及センター富良野支所	15				15	上川農業改良普及センター職員研修	日帰り
76	8	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	10	6		18	エゾモモンガのテレメトリー調査	宿泊なし
77	8	1	コウモリの会		1		2	3	北海道演習林におけるコウモリ類研究の調査地及び機材の見学	日帰り
78	8	1	森林総合研究所北海道支所	1				1	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	日帰り
79	8	3	森林総合研究所北海道支所	3				3	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	日帰り
80	8	6	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻			6		6	森林におけるサウンドスケープ構造の研究	山部宿泊施設
81	8	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	2	1		4	エゾモモンガのテレメトリー調査	日帰り
82	8	5	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	25		55 (5)	15	95 (5)	領域生態学実習	セミナーハウス
83	8	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	2			3	エゾモモンガのテレメトリー調査	日帰り
84	8	1	北海道帯広農業高等学校	2			50	52	帯広農業高校 森林科学科1年 見学	日帰り
85	8	1	同志社女子大学現代社会学部	1	13		1	15	北海道における森林のありかたと開発「インターンシップ2」	日帰り

2017年度 全利用者 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
86	8	2	株式会社エコニクス				4	4	国立公園等における再生可能エネルギーの効率的導入促進のための植生図作成及び自然環境等インベントリ整備推進委託業務	日帰り
87	8	1	明治コンサルタント株式会社				19	19	地学団体研究会 旭川総会 ポスト巡検	日帰り
88	8	1	上川町産業経済課長	3				3	北海道における天然生林での管理及び有用樹種育成について	日帰り
89	8	3	東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻	32		12	6	50	富良野アメリカ研究セミナー	セミナーハウス
90	8	1	愛媛大学農学部森林教育研究室	2	14		1	17	森林資源学スタディツアー	宿泊なし
91	8	1	別海町教育委員会生涯学習課	1			2	3	中国産 <i>Betula Ovalifolia</i> と更別産のヤチカンバとの比較	山部宿泊施設
92	9	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			30 (30)		30 (30)	樹木に寄生するアンブロシアクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
93	9	5	富良野市教育委員会生涯学習センター	19	2		42	63	森林学習プログラム推進事業	日帰り
94	9	23	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				23 (23)	23 (23)	研究インターン(分子生物学の研究補助)	山部国際宿泊施設
95	9	1	東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻	10		4	2	16	富良野アメリカ研究セミナー	セミナーハウス
96	9	1	千葉県立中央博物館	1				1	芽ばえの形態に関する記載的研究	日帰り
97	9	1	北海道森林管理局石狩森林管理署	16				16	北海道局若手有志の勉強会－施業体系と広葉樹について－	日帰り
98	9	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	9	7		18	エゾモモンガのテレメトリー調査	日帰り
99	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	4	68	8		80	森林科学総合実習	セミナーハウス
100	9	1	(株)森林環境リアライズ				3	3	森林生態系多様性基礎調査	日帰り
101	9	1	北海道新聞社富良野支局				1	1	東京大学北海道演習林森林学習プログラムの同行取材	
102	9	2	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				14	14	富良野地区における猛禽類生息状況調査	宿泊なし
103	9	1	道央森林整備事業協会				25	25	道央森林整備事業協議会業務研修	日帰り
104	9	2	東京大学医学部附属病院	2			6	8	森林資料館及び宿泊施設見学	山部宿泊施設
105	9	2	北海道大学大学院農学研究院	8	32			40	生物学実習	セミナーハウス
106	9	1	鶴居村林友会				12	12	鶴居村林友会道内視察研修	日帰り
107	9	1	住友林業株式会社				5	5	林分施業法を中心とした、東大北海道演習林における森林管理の研修	日帰り
108	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻			3		3	房総半島に隔離分布するアサダの保全遺伝	山部宿泊施設
109	9	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	2	2		5	エゾモモンガのテレメトリー調査	日帰り
110	9	3	森林総合研究所北海道支所	3				3	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	日帰り
111	9	2	富士吉田市外二ヶ村恩賜県財産保護組合	4				4	おんしりん百年の森づくりに係る先進地施業例視察	宿泊なし
112	9	1	北海道大学農学部生物資源科学科	1	1	1		3	北方系の矮性木本植物ヤチカンバの雑種期限の可能性について	日帰り
113	9	1	株式会社日本政策金融公庫	17				17	日本政策金融公庫林業セミナー	日帰り
114	9	3	サポーターズクラブシデコブシの会				27	27	北海道演習林施設・林内見学	山部宿泊施設
115	10	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンブロシアクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
116	10	2	富良野市教育委員会生涯学習センター	14			30	44	森林学習プログラム推進事業	日帰り
117	10	1	森林総合研究所北海道支所	1				1	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	日帰り
118	10	2	サポーターズクラブシデコブシの会				18	18	北海道演習林施設・林内見学	山部宿泊施設

2017年度 全利用者 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
119	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林				20	20	神社山自然観察秋季一般公開	日帰り
120	10	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	6	6		14	エゾモモンガのテレメトリー調査	宿泊なし
121	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	6				6	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	山部宿泊施設
122	10	1	NPO法人もりねつと北海道				14	14	もりねつと「森薪塾」2017	日帰り
123	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	8				8	温暖な環境に移植された北方針葉樹のストレス応答評価	山部宿泊施設
124	10	1	海外林業コンサルタンツ協会				19 (16)	19 (16)	地域住民の参加による多様な森林保全(JICA研修)	日帰り
125	10	1	株式会社エコニクス				4	4	国立公園等における再生可能エネルギーの効率的導入促進のための植生図作成及び自然環境等インベントリ整備推進委託業務	日帰り
126	10	2	東京大学TSCP室	8			10	18	バイオマス発電利用に関する現地調査及び意見交換	宿泊なし
127	10	1	酪農学園とわの森三愛高校	2			15	17	道内研修	日帰り
128	10	1	森林総合研究所北海道支所	2				2	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	山部宿泊施設
129	10	2	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				18	18	富良野地区における魚類調査	日帰り
130	10	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			5 (5)		5 (5)	博士論文作成にかかる研究打合せ及び現地調査補助	山部宿泊施設
131	10	2	株式会社セ・プラン				6	6	森林吸収源インベントリ情報整備事業土壌調査	宿泊なし
132	10	1	陸前高田市森林組合				15	15	陸前高田市森林組合視察	日帰り
133	10	1	株式会社エコニクス				2	2	国立公園等における再生可能エネルギーの効率的導入促進のための植生図作成及び自然環境等インベントリ整備推進委託業務	日帰り
134	10	1	伝統工芸木炭生産技術保存会				2	2	伝統工芸素材、日本和紙に使用するノリウツギに関する調査	日帰り
135	10	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2				2	エゾシマリスのテレメトリー調査	日帰り
136	10	1	北海道銀杏会				20	20	北海道銀杏会(東京大学OB会北海道支部)の見学	日帰り
137	10	1	森林総合研究所北海道支所	1				1	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	日帰り
138	10	1	Division of basic research, National Institute of Ecology	3 (3)				3 (3)	野生動物の共存機構と適応進化に関する研究	日帰り
139	10	2	北海道大学地球環境科学院生物圏科学専攻			4 (2)		4 (2)	富良野地方におけるサケ科魚類の保全生態学的研究	山部宿泊施設
140	11	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			30 (30)		30 (30)	樹木に寄生するアンブロシアキクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
141	11	2	北海道大学地球環境科学院生物圏科学専攻		4	4 (2)		8 (2)	富良野地方におけるサケ科魚類の保全生態学的研究	山部宿泊施設
142	11	5	森林総合研究所北海道支所	5				5	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	山部宿泊施設
143	11	1	富良野市ぶどう果樹研究所	2				2	ミズナラ材の利用に関する研究	日帰り
144	11	2	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				12	12	富良野地区における魚類調査	宿泊なし
145	11	1	伊藤忠商事株式会社				3	3	東京大学演習林の間伐材等の建材向購買等について協議	日帰り
146	12	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンブロシアキクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
147	12	27	カセサート大学	54 (54)				54 (54)	タイ山岳地帯におけるキクイムシ類群集と樹木の関係の解析	山部国際宿泊施設

2017年度 全利用者 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
148	1	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンブロシアキクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
149	1	6	カセサート大学	12 (12)				12 (12)	タイ山岳地帯におけるキクイムシ類群集と樹木の関係の解析	山部国際宿泊施設
150	1	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				4	4	富良野地区における魚類調査	日帰り
151	1	18	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			18 (18)	36 (36)	54 (54)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	山部宿泊施設
152	1	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	3				3	業務引継ぎのため打合せ及び会議への出席	山部宿泊施設
153	1	5	東京大学農学部森林環境資源科学専修		5			5	東京大学体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」	山部宿泊施設
154	1	1	上川南部森林管理署	4				4	林分施業法等の天然林管理手法について(視察)	日帰り
155	1	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				4	4	富良野地区における魚類調査	日帰り
156	1	1	富良野市立樹海小学校	2			9	11	樹海小学校・総合学習	山部宿泊施設
157	1	1	北海道新聞社富良野支局				1	1	富良野市立樹海小学校総合学習「樹海の森へ」取材	日帰り
158	2	28	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			28 (28)		28 (28)	樹木に寄生するアンブロシアキクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
159	2	10	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			10 (10)	20 (20)	30 (30)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	山部宿泊施設
160	2	1	酪農学園大学農食環境学群環境共生学類環境GIS研究室	1			14 (12)	15 (12)	JICA研修「市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理」	宿泊なし
161	2	21	東京大学農学部(マレーシアサバ大学)		42 (42)			42 (42)	研究インターン(科研費研究補助:マレーシアで採集したサンプルの解析)	山部国際宿泊施設
162	2	2	東京大学空間情報科学研究センター	2				2	天然林施業の知識ベース構築とその運用	山部長期宿泊施設
163	2	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				4	4	富良野地区における生息調査	日帰り
164	2	2	東京大学大学院農学生命科学研究科国際農業開発学コース			2 (2)		2 (2)	forest complexity analysis using airborne LiDAR and UAV-based aerial photography	山部宿泊施設
165	2	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林		114			114	教養学部全学体験ゼミナール 雪の森林に学ぶ	セミナーハウス
166	2	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				4	4	富良野地区における生息調査	日帰り
167	2	1	東京大学農学部(マレーシアサバ大学)		1 (1)			1 (1)	インターンシップ	山部国際宿泊施設
168	3	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンブロシアキクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
169	3	31	東京大学農学部(マレーシアサバ大学)		62 (62)			62 (62)	研究インターン(科研費研究補助:マレーシアで採集したサンプルの解析)	山部国際宿泊施設
170	3	31	東京大学農学部(マレーシアサバ大学)		31 (31)			31 (31)	インターンシップ	山部国際宿泊施設
171	3	9	東京大学教養学部英語コース		9			9	東京大学体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」	山部宿泊施設
172	3	2	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				8	8	富良野地区における生息調査	宿泊なし
173	3	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	3				3	圧倒的原始林ライブ配信・アーカイブが持つ国際的エンターテインメント価値の実証	山部宿泊施設
174	3	1	上川南部森林管理署	3				3	UAV(ドローン)に関する技術指導	日帰り
175	3	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	6				6	情報技術を活用した天然林施業の知識ベース構築とその運用	山部宿泊施設

2017年度 全利用者 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
176	3	5	東京大学工学部精密工学科		5			5	東京大学体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」	山部宿泊施設
177	3	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	2				2	二段林成長予測に関する研究	宿泊なし
178	3	2	東京大学本部学生支援課	2				2	東京大学体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりの挑戦ー」視察及び意見交換	山部宿泊施設
179	3	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	5				5	異動にかかる教育研究・管理運営の引継ぎ打合せ	山部宿泊施設
180	3	1	富良野市生涯学習センター				14	14	博物館事業・富良野の自然に親しむ集い	日帰り
181	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	2				2	異動にかかる教育研究・管理運営の引継ぎ打合せ	山部宿泊施設

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 3092

利用件数 181

2017年度 全利用者 秩父演習林

演習林名:秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
2	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス	日帰り
3	4	1	特定非営利活動法人バードリサーチ				1	1	モニタリングサイト1000 鳥類調査	日帰り
4	4	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	3	12	3		18	森林土壌学実験	川俣学生宿舎(食事あり)
5	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	気候変動が土壌微生物群集の変化を通じてリター分解に及ぼす影響	日帰り
6	4	1	埼玉県川の博物館	1				1	タゴガエルの生態調査	日帰り
7	4	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3		3		6	シカによる植生衰退が上位栄養段階の生物群集に及ぼす影響	栃本自炊宿舎
8	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	ヒノキ天然林産種子を用いた国際産地試験	日帰り
9	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	二ホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	日帰り
10	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	日帰り
11	4	1	株式会社野生動物保護管理事務所	1				1	二ホンジカの捕獲効果実証試験	日帰り
12	4	2	株式会社野生動物保護管理事務所	4				4	二ホンジカの捕獲効果実証試験	テント・幕営
13	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス	日帰り
14	4	1	埼玉県立茶業研究所	2				2	茶の山間冷涼地育種	日帰り
15	4	2	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻	2	6	2		10	冷温帯落葉広葉樹林における蒸発散量の直接計測	川俣学生宿舎(自炊泊)
16	4	1	なし				1	1	長期生態系調査(気象ロガー交換, 録音機設置)	日帰り
17	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	二ホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
18	4	2	埼玉昆虫談話会				6	6	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣自炊宿舎
19	4	17	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			17		17	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	日帰り
20	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	気候変動が土壌微生物群集の変化を通じてリター分解に及ぼす影響	日帰り
21	5	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
22	5	1	埼玉県立川の博物館	1				1	タゴガエルの生態調査	影森自炊宿舎
23	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
24	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
25	5	2	埼玉県高体連登山専門部	22			100	122	学校総合体育大会 登山の部 開催のため	テント・幕営
26	5	2	特定非営利活動法人バードリサーチ				2	2	モニタリングサイト1000 鳥類調査	川俣自炊宿舎
27	5	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	5			2	7	モニタリングサイト1000 鳥類調査	川俣自炊宿舎
28	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2		2	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎

2017年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
29	5	1	東京大学空間情報科学研究センター	1				1	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔に関する機材メンテナンス作業	日帰り
30	5	2	株式会社野生動物保護管理事務所				2	2	二ホンジカの捕獲効果実証試験	日帰り
31	5	3	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻		4	6		10	落葉広葉樹林自然林における測量及び水文調査	川俣学生宿舎(自炊泊)
32	5	1	埼玉県立川の博物館	1			3	4	タゴガエルの生態調査	日帰り
33	5	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オープンデータの回収、ミヤマスカシユリの確認	日帰り
34	5	1	職業能力開発短期大学校東京建築カレッジ	10			25	35	樹木園の見学	日帰り
35	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2		2	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
36	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2		2	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
37	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	日帰り
38	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1	2		3	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
39	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		20			20	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」現地講義	川俣学生宿舎(食事あり)
40	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		20			20	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」現地講義	外部宿泊
41	5	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			4		4	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
42	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	不嗜好性植物の急速な個体数増加が集団構造に及ぼす影響	日帰り
43	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				4	4	水質をトレーサーに用いた秩父山地の水移動の解明	外部宿泊
44	5	2	埼玉県昆虫談話会				4	4	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣自炊宿舎
45	5	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	二ホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	日帰り
46	5	1	埼玉県立川の博物館	1	1		3	5	タゴガエルの生態調査	日帰り
47	5	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2		4		6	生態音調査及び森林景観データの収集、ライブモニタリングシステムのメンテナンス	テント・幕営
48	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	3		1		4	リモートセンシングによる現況把握に基づく路網計画と施業計画の架橋	日帰り
49	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
50	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3	18	15		36	シカ排除柵試験地の毎木調査	川俣学生宿舎(自炊泊)
51	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				12	12	秩父演習林ガイドツアー「演習林の試験地見学」	日帰り
52	5	1	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻博士前期課程	1	2	1		4	落葉広葉樹林自然林における測量及び水文調査	日帰り
53	5	2	なし				2	2	長期生態系調査(気象ロガー交換、録音機設置)	テント・幕営
54	5	10	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			10		10	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	日帰り
55	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			1		1	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	日帰り

2017年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
56	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
57	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス	日帰り
58	6	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
59	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	日帰り
60	6	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科	15		36	3	54	自然環境デザインスタジオ	川俣学生宿舎(食事あり)
61	6	4	東京女子大学数理科学情報理学専攻	4		8		12	小型哺乳類捕獲調査(シカの採食圧が小型哺乳類に及ぼす影響)	影森自炊宿舎
62	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1	6	5		12	シカ排除柵試験地の毎木調査	日帰り
63	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	4	16	12		32	シカ排除柵試験地の毎木調査	川俣学生宿舎(食事あり)
64	6	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	1				1	人工林の植生遷移促進へ向けた基礎研究	日帰り
65	6	7	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	28	7			35	東北アジアの森林における台風攪乱の時空間的影響の評価とその影響の解明	影森自炊宿舎
66	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			4		4	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
67	6	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			5		5	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
68	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3	11	3		17	二ホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	栃本自炊宿舎
69	6	2	埼玉昆虫談話会				6	6	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣学生宿舎(自炊泊)
70	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				2	2	基盤データ整備のための植物調査	日帰り
71	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	2				2	フィールド科学総論下見	日帰り
72	6	1	NPO法人バードリサーチ				1	1	モニタリングサイト1000 鳥類調査	日帰り
73	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	6	21	9		36	リモートセンシングによる現況把握に基づく路網計画と施業計画の架橋	外部宿泊
74	6	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	2				2	オープンデータの回収, ミヤマスカシユリの確認, 調査用アサガオ苗の移植	日帰り
75	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				2	2	しおじの会と巡る東大秩父演習林樹木園	日帰り
76	6	1	埼玉県立茶業研究所	6				6	茶の山間冷涼地育種	日帰り
77	6	1	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻博士前期課程		3	1		4	落葉広葉樹林自然林における測量及び水文調査	日帰り
78	6	1	東京大学空間情報科学研究センター	1			1	2	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔に関する機材メンテナンス作業	日帰り
79	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
80	6	2	なし				2	2	鳥類調査(標識調査, 録音機設置)	テント・幕営
81	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
82	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
83	6	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	低コスト広葉樹林更新技術の更新	日帰り

2017年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
84	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2		2	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
85	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3			3	二ホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
86	6	2	東京大学アジア生物資源環境研究センター	2				2	人工林の植生遷移促進へ向けた基礎研究	外部宿泊
87	6	1	なし				1	1	鳥類調査(標識調査, 録音機設置)	日帰り
88	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	1				1	森林植物学実験野外実習の下見	日帰り
89	6	12	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			12		12	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	日帰り
90	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
91	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2		2		4	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
92	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	3 (1)				3 (1)	スギ人工林の成長に関する国際共同研究の現地検討会	日帰り
93	7	1	千葉大学大学院園芸学研究科	1		2	1	4	都市化が緑地生態系の有機物動態に及ぼす影響の解明	日帰り
94	7	5	University of Oxford Botanic Garden & Arboretum	10 (10)				10 (10)	樹木種子および標本の採集	栃本自炊宿舎
95	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス	日帰り
96	7	1	(一社)秩父観光協会大滝支部				413	413	入川溪谷ハイキング(秩父トレイルハイキング)	影森自炊宿舎
97	7	19	Graduate School of Environment Engineering and Water Resource			19 (19)		19 (19)	山地・森林流域保全に関するインターンシップ	影森自炊宿舎
98	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	1				1	シオジの結実に関する研究	日帰り
99	7	1	埼玉県川の博物館	1		1		2	タゴガエルの生態調査	日帰り
100	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			4		4	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
101	7	3	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻	1		3		4	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	日帰り
102	7	2	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻治山・緑化工学研究室	2	6	2		10	落葉広葉樹林自然林における測量及び水文調査	川俣自炊宿舎
103	7	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			5		5	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
104	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			3		3	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
105	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			4		4	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
106	7	1	特定非営利活動法人バードリサーチ				1	1	モニタリングサイト1000 鳥類調査	日帰り
107	7	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
108	7	3	秩父市立秩父第一中学校				12	12	職場体験	日帰り
109	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	6	13	4		23	リモートセンシングによる現況把握に基づく路網計画と施業計画の架橋	外部宿泊
110	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1	1		2	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	日帰り

2017年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
111	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	6	66	9		81	森林植物学実験の野外実習	川俣学生宿舎(食事あり)
112	7	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	二ホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	日帰り
113	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
114	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
115	7	2	なし				2	2	鳥類調査(標識調査, 録音機設置)	テント・幕営
116	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	日帰り
117	7	1	東京大学空間情報科学研究センター	1			1	2	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔に関する機材メンテナンス作業	日帰り
118	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	気候変動が土壌微生物群集の変化を通じてリター分解に及ぼす影響	日帰り
119	7	1	埼玉県寄居居林業事務所森林研究室	3				3	低コスト広葉樹林更新技術の確立	日帰り
120	7	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
121	7	1	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻博士前期課程		1	2		3	落葉広葉樹林自然林における測量及び水文調査	日帰り
122	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	ヒノキ天然林産種子を用いた国際産地試験(JSPS-C2C-RG2)	日帰り
123	7	1	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻			1		1	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	影森自炊宿舎
124	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
125	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2		2	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	日帰り
126	7	17	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			17		17	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	日帰り
127	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
128	8	4	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻	4	20	4		28	動物系統学野外実習	川俣学生宿舎(食事あり)
129	8	1	千葉大学大学院園芸学研究科	1		2	1	4	都市化が緑地生態系の有機物動態に及ぼす影響の解明	日帰り
130	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻			1		1	シオジの遺伝的多様性維持に河道沿いの個体が果たす役割	日帰り
131	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2	6			8	森林植生と土壌環境が菌寄生植物の標高分布と遺伝的多様性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
132	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3	9			12	森林植生と土壌環境が菌寄生植物の標高分布と遺伝的多様性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
133	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2				2	奥秩父山地の登山道の歴史と現状～歴史的要素を組み入れた体験プログラムの開発	外部宿泊
134	8	3	東京大学アジア生物資源環境研究センター	3				3	人工林の植生遷移促進へ向けた基礎研究	外部宿泊
135	8	4	立教大学全学共通カリキュラム運営センター	28	32		24	84	立教ゼミナール発展編	川俣学生宿舎(食事あり)
136	8	2	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻			2		2	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	影森自炊宿舎
137	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			4		4	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎

2017年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
138	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			4		4	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
139	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			4		4	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
140	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			3		3	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
141	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
142	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
143	8	1	埼玉県立茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	日帰り
144	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				38	38	公開講座「東大の森で昆虫採集」	川俣学生宿舎(食事あり)
145	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス, クマ剥ぎ被害木の測定	日帰り
146	8	1	埼玉県立熊谷西高等学校	7	22			29	樹木園の植物研修, 出合いの丘わきの水質調査	日帰り
147	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室			8		8	不成績造林地及び管理放棄地に侵入した広葉樹の種組成の調査	影森自炊宿舎
148	8	3	宮崎大学農学部森林緑地環境科学科	3				3	リモートセンシングによる現況把握に基づく保統計画の策定支援システムの開発	栃本自炊宿舎
149	8	1	東京女子大学数理科学科情報理学専攻	1				1	自動撮影カメラ回収(シカの採食圧が小型哺乳類に及ぼす影響)	日帰り
150	8	2	埼玉県環境科学国際センター	6				6	二ホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	日帰り
151	8	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
152	8	1	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻博士前期課程		3	2		5	落葉広葉樹林自然林における測量及び水文調査	日帰り
153	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2		2	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
154	8	2	埼玉昆虫談話会				10	10	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣学生宿舎(自炊泊)
155	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	1				1	シオジの結実に関する研究	日帰り
156	8	1	埼玉県寄居居林業事務所森林研究室	3				3	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
157	8	2	なし				2	2	鳥類調査(標識調査, 録音機設置)	テント・幕営
158	8	11	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			11		11	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	日帰り
159	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
160	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻	3	63	75		141	バイオマス科学実習・森林科学実習	外部宿泊
161	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			1		1	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	日帰り
162	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻	16		60		76	フィールド科学総論	川俣学生宿舎(食事あり)
163	9	1	三峯山博物館				2	2	野生動物調査	日帰り
164	9	2	なし				2	2	鳥類調査(標識調査, 録音機設置)	テント・幕営
165	9	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り

2017年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
166	9	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			5		5	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
167	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			3		3	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
168	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			3		3	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
169	9	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	4		6	4	14	高精細地形情報と感性情報を融合した森林動態把握と森林環境教育教材の開発	栃本自炊宿舎
170	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻			2		2	シオジの遺伝的多様性維持に河道沿いの個体が果たす役割	川俣自炊宿舎
171	9	2	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻	2	8	2		12	冷温帯落葉広葉樹林自然林における水文調査	影森自炊宿舎
172	9	1	三峯山博物館				2	2	野生動物調査	日帰り
173	9	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	二ホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	日帰り
174	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2				2	奥秩父山地の登山道の歴史と現状～歴史的要素を組み入れた体験プログラムの開発	外部宿泊
175	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	リター試料の確認	日帰り
176	9	1	埼玉県立茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	日帰り
177	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2				2	ヒメコマツ苗木の調査及び自生地の現地調査	影森自炊宿舎
178	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	1				1	シオジの結実に関する研究	日帰り
179	9	1	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻		4	1		5	冷温帯落葉広葉樹林における蒸発散量の直接計測	日帰り
180	9	2	埼玉昆虫談話会				6	6	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	日帰り
181	9	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾンデータの回収、ミヤマスカシユリの確認、入川林道沿いのブナ林視察	日帰り
182	9	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			5		5	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
183	9	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	1				1	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
184	9	16	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			16		16	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	日帰り
185	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			1		1	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	日帰り
186	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	影森自炊宿舎
187	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	日帰り
188	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	不成績造林地及び管理放棄林に侵入した広葉樹の種組成の調査	影森自炊宿舎
189	10	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
190	10	2	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻	1		2		3	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	日帰り
191	10	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			5		5	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
192	10	7	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			7		7	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎

2017年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
193	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			3		3	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
194	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			3		3	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
195	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2		2	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
196	10	4	東京女子大学数理科学科情報理学専攻	4	4	4		12	小型哺乳類捕獲調査(シカの採食圧が小型哺乳類に及ぼす影響)	川俣学生宿舎(自炊泊)
197	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	15				15	倒木スクリーニング技術の検討	川俣学生宿舎(食事あり)
198	10	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	5	28	15		48	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
199	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3	14	5		22	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	川俣学生宿舎(自炊泊)
200	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		4			4	森林植生と土壌環境が菌寄生植物の標高分布と遺伝的多様性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
201	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2	10			12	森林植生と土壌環境が菌寄生植物の標高分布と遺伝的多様性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
202	10	2	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻		6	2		8	落葉広葉樹林自然林における測量及び水文調査	川俣学生宿舎(自炊泊)
203	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	外部宿泊
204	10	3	東京大学農学部森林環境資源科学専修		3			3	原生林試験地における立地条件ごとの成長量の長期的な変化の解析	影森自炊宿舎
205	10	3	東京農工大学農学府自然環境保全学専攻			3		3	アズマヒキガエルの体サイズの計測, また胃内容物, 後肢第4指の回収	川俣学生宿舎(自炊泊)
206	10	2	埼玉昆虫談話会				4	4	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣自炊宿舎
207	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2	4	9	2	17	人工林試験地調査	川俣学生宿舎(食事あり)
208	10	1	千葉大学大学院園芸学研究科	1		2	1	4	都市化が緑地生態系の有機物動態に及ぼす影響の解明	日帰り
209	10	1	埼玉県立自然の博物館植物標本ボランティア				1	1	11/18自然の博物館開催イベントに利用するナンゴクミナカエデの葉採取(40枚程)	日帰り
210	10	1	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻	1	2	1		4	落葉広葉樹林自然林における測量及び水文調査	日帰り
211	10	1	(株)ベンチャーウイスキー				4	4	ミズナラの選木	日帰り
212	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		8			8	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」現地講義	川俣学生宿舎(食事あり)
213	10	19	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			19		19	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	日帰り
214	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			3		3	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	日帰り
215	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
216	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2		2	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
217	11	1	伝統工芸木炭生産技術保存会				2	2	伝統工芸用研磨炭に使用するホウノキに関する調査	日帰り
218	11	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科	9		27(18)		36(18)	自然環境デザインスタジオ	川俣学生宿舎(食事あり)

2017年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
219	11	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
220	11	2	千葉演習林ボランティア会 Abies				30	30	秩父演習林の見学としおじの会との交流	川俣学生宿舎(食事あり)
221	11	1	林業技士会埼玉県支部				21	21	林業技士会3支部(千葉・茨城・埼玉)合同研修会	日帰り
222	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				7	7	秩父演習林ガイドツアー「カエデの見分け方を学ぶ」	日帰り
223	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス, クマ剥ぎ被害木の測定	日帰り
224	11	1	東京大学空間情報科学研究センター	1		1		2	圧倒的原始林ライブ配信・アーカイブが持つ国際的エンターテインメント価値の実証	日帰り
225	11	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			4		4	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
226	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			3		3	二ホンジカの集団構造と地域植生の機能特性が食性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
227	11	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾンデータの回収, ミヤマスカシユリの鉢の回収	日帰り
228	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	森林植生と土壌環境が菌寄生植物の標高分布と遺伝的多様性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
229	11	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	5	14			19	二ホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	栃本自炊宿舎
230	11	2	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻	2	8	2		12	冷温帯落葉広葉樹林における蒸発散量の直接計測	影森自炊宿舎
231	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	外部宿泊
232	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	外部宿泊
233	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	外部宿泊
234	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	二ホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	日帰り
235	11	2	埼玉昆虫談話会				4	4	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣学生宿舎(自炊泊)
236	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	2	8	2		12	森圏管理学実習	日帰り
237	11	2	東京大学空間情報科学研究センター	4		6		10	圧倒的原始林ライブ配信・アーカイブが持つ国際的エンターテインメント価値の実証	外部宿泊
238	11	3	埼玉県秩父市立影森中学校				9	9	社会体験チャレンジ	日帰り
239	11	1	東京大学空間情報科学研究センター	1		3		4	高精細地形情報と感性情報を融合した森林動態把握と森林環境教育教材の開発	日帰り
240	11	2	東京大学農学部森林環境資源科学専修		2	2		4	原生林試験地における立地条件ごとの成長量の長期的な変化の解析	影森自炊宿舎
241	11	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		4			4	森林植生と土壌環境が菌寄生植物の標高分布と遺伝的多様性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
242	11	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
243	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	2		4		6	シオジの結実に関する研究・遺伝的多様性維持に河道沿いの個体が果たす役割	影森自炊宿舎
244	11	1	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻			2		2	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	日帰り

2017年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
245	11	1	東京大学空間情報科学研究センター	1			2	3	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔に関する機材メンテナンス作業	日帰り
246	11	15	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			15		15	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	日帰り
247	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2		2	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	日帰り
248	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	日帰り
249	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	森林植生と土壌環境が菌寄生植物の標高分布と遺伝的多様性に及ぼす影響	日帰り
250	12	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	鉄塔カメラのメンテナンス及び森林景観データの収集	日帰り
251	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス, クマ剥ぎ被害木の測定	日帰り
252	12	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	二ホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	日帰り
253	12	1	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻	1	4	1		6	落葉広葉樹林自然林における測量及び水文調査	日帰り
254	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		8			8	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」現地講義	川俣学生宿舎(食事あり)
255	12	3	なし				3	3	鳥類調査(標識調査, 録音機設置)	日帰り
256	12	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾンデータの回収, ミヤマスカシユリの鉢の設置	日帰り
257	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	気候変動が土壌微生物群集の変化を通じてリター分解に及ぼす影響	日帰り
258	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3	4			7	二ホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
259	12	1	東京大学空間情報科学研究センター	1				1	高精細地形情報と感性情報を融合した森林動態把握と森林環境教育教材の開発	日帰り
260	12	1	埼玉県立茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	日帰り
261	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	日帰り
262	12	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻			2		2	荒川上流域における斜面・河川地形の発達に関する研究	日帰り
263	12	2	東京大学空間情報科学研究センター	6			2	8	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔に関する機材メンテナンス作業	栃本自炊宿舎
264	12	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			4		4	二ホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	日帰り
265	12	17	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			17		17	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	日帰り
266	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
267	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス, クマ剥ぎ被害木の測定	日帰り
268	1	2	特定非営利活動法人バードリサーチ				2	2	モニタリングサイト1000 鳥類調査	栃本自炊宿舎
269	1	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
270	1	2	特定非営利活動法人バードリサーチ				2	2	モニタリングサイト1000 鳥類調査	栃本自炊宿舎
271	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1	11	12	公開講座「秩父演習林の哺乳類と冬の森」	日帰り

2017年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
272	1	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
273	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
274	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
275	2	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	高精細地形情報と感性情報を融合した森林動態把握と森林環境教育教材の開発	
276	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス, クマ剥ぎ被害木の測定	日帰り
277	2	3	東京大学農学部森林環境資源科学専修		3			3	卒業論文作成にかかる森林技術業務の体験	日帰り
278	2	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
279	2	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾン濃度計測器の回収, ミヤマスカシユリの鉢の確認	日帰り
280	2	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	二ホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	日帰り
281	2	18	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			18		18	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	日帰り
282	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
283	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス, クマ剥ぎ被害木の測定	日帰り
284	3	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
285	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1			11 (11)	12 (11)	ドイツ斜面水文学研究会 現地見学の案内	日帰り
286	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	4				4	産地別ブナの冬芽の形態調査と演習林見学	影森自炊宿舎
287	3	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科		3	1		4	落葉広葉樹林自然林における測量及び水文調査	日帰り
288	3	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				3	3	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
289	3	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾン濃度計測器の設置, ミヤマスカシユリの鉢の確認	日帰り
290	3	1	三峯山博物館				2	2	野生動物調査	日帰り
291	3	1	三峯山博物館				2	2	野生動物調査	日帰り
292	3	2	埼玉昆虫談話会				6	6	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣学生宿舎 (自炊泊)
293	3	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	サイバーフォレスト研究	日帰り
294	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	自動撮影カメラによる哺乳類の密度推定に関する調査地下見	日帰り
295	3	1	特定非営利活動法人バードリサーチ				1	1	モニタリングサイト1000 鳥類調査	日帰り
296	3	16	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			16		16	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 2563

利用件数 296

演習林名:田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖調査	
2	4	1	一般個人見学者				184	184	見学	
3	4	1	一般個人見学者				91	91	見学	
4	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1			2 (1)	3 (1)	見学	
5	4	1	鶴瀬西二歩の会				26	26	見学	
6	4	2	ツリークライミングジャパン	6	1		38	45	ツリークライミング体験会(下見と実施)	
7	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	6	10			16	緑地環境実地実習	
8	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	森林生態圏管理学の講義で使用する枝の採取	
9	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	2	23			25	造林学実験	
10	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室		2			2	五月祭の植木市	
11	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1				1	造林学実験に使用するスギ枝の分譲	
12	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			2 (2)		2 (2)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
13	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科昆虫遺伝研究室	3		7		10	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクスギの育成	
14	4	1	個人				1	1	樹木の衝撃弾性波伝播に関する調査	
15	4	1	(独)日本学術振興会				1	1	Raffaelea 属菌の病原性発現機構の解明	
16	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2			1	3	放射線照射したモミの形態異常に関する研究	
17	4	4	東大農場・演習林の存続を願う会				54	54	定例動物、植物観察会、動物、植物調査会、記録と報告	
18	4	1	首都大学東京都市環境学部自然・文化ツーリズムコース自然ツーリズム領域	1				1	モチノキタネオナガコバチ-寄生植物間相互作用の解明	
19	4	1	早稲田大学理工学術院			4 (2)		4 (2)	環境モニタリングロボットの長期運用に関する研究	
20	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科国際植物材料科学研究室	1		1 (1)		2 (1)	Study on the properties of cellulose nano fiber from different plant species	
21	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	平成28年度市町村交付金相当額での事業の現場確認(境界木伐採後の現場確認)	
22	5	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖調査	
23	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	2	23			25	造林学実験	
24	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室		3			3	五月祭の植木市	
25	5	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			6 (6)		6 (6)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
26	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクスギの育成	
27	5	2	個人				2	2	樹木の衝撃弾性波伝播に関する調査	
28	5	1	(独)日本学術振興会				2	2	Raffaelea 属菌の病原性発現機構の解明	

2017年度 全利用者 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
29	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	4			4	8	放射線照射したモミの形態異常に関する研究	
30	5	3	東大農場・演習林の存続を願う会				46	46	定例動物、植物観察会、動物、植物調査会、記録と報告	
31	5	1	北海道大学大学院農学研究科	1			1	2	スギ・クロマツ苗木における根系切断に伴う水輸送効率への影響	
32	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科国際植物材料科学研究室	2		2 (2)		4 (2)	Study on the properties of cellulose nano fiber from different plant species	
33	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	6	12			18	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成—子どもに伝える自然体験—」	
34	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	2	23	5		30	森林動物学実験	
35	5	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	6				6	樹木防御反応の誘導・調節に対する細胞間シグナル物質の機能解明	
36	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1			1	2	樹幹注入剤が材変色に与える影響	
37	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室	1		1		2	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
38	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2				2	ピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	
39	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	2		2		4	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
40	5	1	南京農業大学植物保護学院訪日団	2 (2)	26 (26)	2 (2)		30 (30)	田無演習林視察(中日農業科技交流)	
41	5	1	個人				4	4	散策	
42	5	1	元気で歩こう会				31	31	散策	
43	5	1	いであ株式会社				1	1	希少植物の移植後のモニタリング調査	
44	5	1	練馬区立関町リサイクルセンター				26	26	散策	
45	5	4	有限会社スタジオBB				4	4	林内撮影	
46	5	1	練馬巨樹の会				17	17	散策	
47	5	1	実践学園中学校	6			76	82	校外授業(理科特別授業)	
48	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2			2	4	中学生(愛知県)の職場体験の案内	
49	5	1	一般個人見学者				163	163	見学	
50	5	1	一般個人見学者				77	77	見学	
51	5	1	西原保育園たんぼぼ組	2			5	7	散策	
52	5	1	田無保育園	2			33	35	散策	
53	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	15		4 (4)		19 (4)	平成29年度田無演習林・アジアセンター合同環境整備	
54	5	8	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	8				8	産地別のダケカンバ種子の100粒重、発芽率の調査	
55	6	2	いであ株式会社				2	2	猛禽類の繁殖調査	
56	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	2				2	緑地環境実地実習(下見と打ち合わせ含む)	
57	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1				1	造林学実験に使用するスギ枝の分譲	
58	6	11	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			11 (11)		11 (11)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
59	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	

2017年度 全利用者 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
60	6	1	個人				1	1	樹木の衝撃弾性波伝播に関する調査	
61	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	8			8	16	放射線照射したモミの形態異常に関する研究	
62	6	4	東大農場・演習林の存続を願う会				54	54	定例動物、植物観察会、動物、植物調査会、記録と報告	
63	6	1	早稲田大学理工学術院			3 (2)		3 (2)	環境モニタリングロボットの長期運用に関する研究	
64	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科国際植物材料科学研究室	2		2 (2)		4 (2)	Study on the properties of cellulose nano fiber from different plant species	
65	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	1				1	科研「森林昆虫－共生微生物の共進化と温度反応及び気候変動から予測される動態予測」	
66	6	1	早稲田大学理工学術院	1	1	1		3	環境モニタリングロボットの視覚機能に関する研究	
67	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	3	5			8	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成－子どもに伝える自然体験－」	
68	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	5	5	2	104 (1)	116 (1)	第30回「子ども樹木博士」認定会	
69	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1			2	3	樹幹注入剤が材変色に与える影響	
70	6	2	大気汚染測定運動西東京連絡会				2	2	二酸化窒素測定	
71	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室	1		1		2	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
72	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	360度カメラを用いたコウモリ類の撮影に関する技術的手法の確立とVR技術への応用	
73	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	2		2		4	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
74	6	1	一般財団法人日本森林林業振興会グリーン・サークル事務局				35	35	自然観察会	
75	6	1	小平市市民樹木観察グループ「気になる木」				23	23	自然観察会	
76	6	1	社会福祉法人てつなぎの会田無ひまわり保育園	3			17	20	七夕飾り用の笹の分譲	
77	6	1	東久留米市立南中学校				5	5	職場体験(体験前の訪問、職場体験、体験後の訪問)	
78	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命工学専攻分子育種学研究室	1		1		2	バクテリアのコロニー形成の遺伝学的研究とその高効率検出・分離への応用	
79	6	1	一般個人見学者				23	23	見学	
80	6	1	一般個人見学者				101	101	見学	
81	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	16	1	12 (4)	1	30 (4)	2017年度田無演習林利用者交流会	
82	6	1	東大農場・演習林子どもサマースクール2017実行委員会	1			3	4	東大農場・演習林子どもサマースクール実行委員会	
83	6	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	5				5	産地別のダケカンバ種子の100粒重、発芽率の調査	
84	7	2	いであ株式会社				2	2	猛禽類の繁殖調査	
85	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	2	23			25	造林学実験	
86	7	11	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			11 (11)		11 (11)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	

2017年度 全利用者 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
87	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	
88	7	4	(独)日本学術振興会				5	5	Raffaelea 属菌の病原性発現機構の解明	
89	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	4			3	7	放射線照射したモミの形態異常に関する研究	
90	7	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	定例動物、植物観察会、動物、植物調査会、記録と報告	
91	7	2	早稲田大学理工学術院			8 (4)		8 (4)	環境モニタリングロボットの長期運用に関する研究	
92	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室	2		2		4	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
93	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	4				4	ピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	
94	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4				4	360度カメラを用いたコウモリ類の撮影に関する技術的手法の確立とVR技術への応用	
95	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	4		4		8	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
96	7	3	東久留米市立南中学校				9	9	職場体験(体験前の訪問、職場体験、体験後の訪問)	
97	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2			2	4	倒木スクリーニング技術のための引き倒し試験打ち合わせ	
98	7	1	個人				3	3	ポプラの観察	
99	7	1	東大農場・演習林子どもサマースクール2017実行委員会	2		1 (1)	12	15 (1)	東大農場・演習林子どもサマースクール実行委員会	
100	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林				2	2	インターンシップ学生実習	
101	7	1	一般個人見学者				81	81	見学	
102	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	30				30	公益社団法人全国植物園協会技術者研修会	
103	8	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖調査	
104	8	12	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			12 (12)		12 (12)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
105	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	
106	8	2	(独)日本学術振興会				2	2	Raffaelea 属菌の病原性発現機構の解明	
107	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1			1	2	放射線照射したモミの形態異常に関する研究	
108	8	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	定例動物、植物観察会、動物、植物調査会、記録と報告	
109	8	1	早稲田大学理工学術院			3 (2)		3 (2)	環境モニタリングロボットの長期運用に関する研究	
110	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科国際植物材料科学研究室	1		1 (1)		2 (1)	Study on the properties of cellulose nano fiber from different plant species	
111	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	6	16			22	教養学部全学自由研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」に関連した昆虫の野外実習	
112	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1				1	樹木防御反応の誘導・調節に対する細胞間シグナル物質の機能解明	
113	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2				2	ピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
114	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	360度カメラを用いたコウモリ類の撮影に関する技術的手法の確立とVR技術への応用	
115	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	3		4		7	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
116	8	3	日本大学文理学部	3	5			8	植物ウイルス相の解明	
117	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	産地別のダケカンバ種子の100粒重、発芽率の調査	
118	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	5				5	トドマツにおける自殖による色素異常の実態と発現遺伝子の解析	
119	8	1	東京都立西高等学校				1	1	校外活動「人間と社会」2017東大農場・演習林子どもサマースクールの補助	
120	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室			1		1	オオタカの繁殖状況視察・打ち合わせ	
121	8	1	東大農場・演習林子どもサマースクール2017実行委員会	4			45	49	2017東大農場・演習林子どもサマースクール	
122	8	1	千葉県森林インストラクター会				6	6	平成30年度野外講座の踏査	
123	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	苗畑、林地管理作業の協力	
124	8	1	一般個人見学者				105	105	見学	
125	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	14			12	26	倒木スクリーニング技術のための引き倒し試験	
126	8	1	田無タワー株式会社				1	1	田無タワーの紹介と田無演習林見学	
127	9	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			6 (6)		6 (6)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
128	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	
129	9	2	個人				2	2	樹木の衝撃弾性波伝播に関する調査	
130	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2			2	4	放射線照射したモミの形態異常に関する研究	
131	9	4	東大農場・演習林の存続を願う会				54	54	定例動物、植物観察会、動物、植物調査会、記録と報告	
132	9	2	早稲田大学理工学術院			3 (2)		3 (2)	環境モニタリングロボットの長期運用に関する研究	
133	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科国際植物材料科学研究室	1		1 (1)		2 (1)	Study on the properties of cellulose nano fiber from different plant species	
134	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	2	23	5		30	森林動物学実験	
135	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1			2	3	樹幹注入剤が材変色に与える影響	
136	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	2		3		5	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
137	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2	2			4	体験活動プログラム「都内でも農林作業フィールドワーク体験」	
138	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	3			2	5	産地別のダケカンバ種子の100粒重、発芽率の調査	
139	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	外性菌根菌シノココカムの接種による抵抗性マツの耐塩性付与に関する研究	

2017年度 全利用者 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
140	9	7	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	15			13	28	倒木スクリーニング技術のための引き倒し試験	
141	9	1	多摩六都科学館				115	115	西東京市立けやき小学校5年生に向けた観察会の実施	
142	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	10	6			16	平成29年度推薦入学者の田無演習林見学	
143	9	1	一般社団法人林業薬剤協会				15	15	見学及びマツ枯れ等に関する研究動向についての学習	
144	9	1	個人				10	10	西東京市に関する学習, 樹木に関する学習	
145	9	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	5				5	トドマツ産地試験林から採取した枝の葉密度およびLMA測定	
146	9	1	個人				1	1	「東京大学の森育成資金」についての相談, 里親木についての案内	
147	9	1	一般個人見学者				106	106	見学	
148	9	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科井原研究室				1	1	震災時に人命を守る自生食用植物の都市型圃場「防災植物園」の創造の研究打ち合わせ	
149	10	10	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			10 (10)		10 (10)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
150	10	2	個人				2	2	樹木の衝撃弾性波伝播に関する調査	
151	10	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	定例動物, 植物観察会, 動物, 植物調査会, 記録と報告	
152	10	1	北海道大学大学院農学研究科	1			1	2	スギ・クロマツ苗木における根系切断に伴う水輸送効率への影響	
153	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2			2	4	樹幹注入剤が材変色に与える影響	
154	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室			1		1	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
155	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2				2	ビットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	
156	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	360度カメラを用いたコウモリ類の撮影に関する技術的手法の確立とVR技術への応用	
157	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1		1		2	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
158	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	6			3	9	産地別のダケカンバ種子の100粒重, 発芽率の調査	
159	10	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	12				12	トドマツにおける自殖による色素異常の実態と発現遺伝子の解析	
160	10	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター地域資源評価研究室	5	20		1	26	環境調和特別演習 持続可能な農林畜水産業 1.環境負荷	
161	10	1	学校法人自由学園リビングアカデミー樹木クラス2年生				9	9	樹木クラスの授業の一環としての田無演習林の見学	
162	10	1	西東京市立住吉小学校	6			117	123	生活科見学	
163	10	3	西東京市立ひばりが丘中学校				12	12	職場体験	
164	10	1	自由学園初等部	1			27	28	生活科見学(下見10/12)	
165	10	1	西東京市立田無第二中学校				4	4	職場体験	
166	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科水産資源学研究室	2	1			3	ウナギ採捕調査用の漁具作成のための樹木の伐採枝および竹の譲り受け	
167	10	1	のびのびうさぎ				14	14	見学	
168	10	1	ボランティアグループ				11	11	見学	
169	10	1	一般個人見学者				94	94	見学	
170	10	1	青山学院女子短期大学	1				1	現代社会と環境	

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
171	11	10	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			10 (10)		10 (10)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
172	11	3	東大農場・演習林の存続を願う会				36	36	定例動物、植物観察会、動物、植物調査会、記録と報告	
173	11	3	早稲田大学理工学術院	1		7 (6)		8 (6)	環境モニタリングロボットの長期運用に関する研究	
174	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	2		1		3	スギと共生するアーバスキュラー菌根菌に関する研究	
175	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	2		2		4	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
176	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	トドマツにおける自殖による色素異常の実態と発現遺伝子の解析	
177	11	2	西東京市立田無第二中学校				8	8	職場体験	
178	11	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科井原研究室				1	1	震災時に人命を守る自生食用植物の都市型圃場「防災植物園」の創造の研究 打ち合わせ	
179	11	5	早稲田大学創造理工学部環境資源工学科	5				5	個体種別の生物起源有機化合物ガスの測定	
180	11	10	早稲田大学創造理工学部環境資源工学科	10		10		20	森林内における未知有機エアロゾルの分析手法の開発	
181	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科技術部	6				6	平成29年度東京大学教室系技術職員研修「刈払い機、チェーンソー等の点検研修・安全講習」	
182	11	1	大気汚染測定運動西東京連絡会				1	1	二酸化窒素測定	
183	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	4				4	全国多地点におけるコナラ丸太分解モニタリング	
184	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	1				1	農場博物館における農業技術史の研究	
185	11	1	ねりまエコ・アドバイザー協議会				10	10	見学	
186	11	1	個人				1	1	見学(里親木シリブカガシのドングリ拾い)	
187	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	18				18	平成29年度関東甲信越地区大学演習林等技術職員研修	
188	11	1	一般個人見学者				188	188	見学	
189	11	1	社会福祉法人てつなぎの会田無ひまわり保育園	2			6	8	散策	
190	11	2	西武学園文理小学校	4			51	55	2年生の校外学習(下見11/7)	
191	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	2				2	緑地環境実地実習(下見と打ち合わせ含む)	
192	12	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			4 (4)		4 (4)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
193	12	3	個人				3	3	樹木の衝撃弾性波伝播に関する調査	
194	12	5	東大農場・演習林の存続を願う会				45	45	定例動物、植物観察会、動物、植物調査会、記録と報告	
195	12	1	早稲田大学理工学術院			1 (1)		1 (1)	環境モニタリングロボットの長期運用に関する研究	
196	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室			3		3	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
197	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	360度カメラを用いたコウモリ類の撮影に関する技術的手法の確立とVR技術への応用	
198	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1		2		3	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	

2017年度 全利用者 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
199	12	7	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	7				7	産地別のダケカンバ種子の100粒重、発芽率の調査	
200	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	トドマツにおける自殖による色素異常の実態と発現遺伝子の解析	
201	12	1	グランジオ武蔵野グランジオクラブ				23	23	見学	
202	12	2	東京学芸大学自然科学系環境科学分野	2	20			22	現代日本論入門(下見, 打ち合わせ含む)	
203	12	1	大気汚染測定運動西東京連絡会				1	1	二酸化窒素測定	
204	12	1	個人				3	3	見学(里親木シリブカガシのドングリ拾い)	
205	12	1	個人				4	4	見学	
206	12	2	多摩六都科学館				67	67	西東京市立本町小学校4年生を対象とした野外観察プログラムの実施(下見12/8)	
207	12	2	東京大学アジア生物資源環境研究センター			2		2	アカマツ苗に共存する他種の菌根菌がLaccaria amethystinaの子実体形成と根外菌糸体に影響を与える	
208	12	1	個人				3	3	散策	
209	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	32			9	41	2017年度教職員リースづくり体験会	
210	12	1	一般個人見学者				156	156	見学	
211	12	1	一般個人見学者				112	112	見学	
212	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	3	5			8	緑地環境実地実習(下見と打ち合わせ含む)	
213	1	5	東京大学大学院農学生命科学研究科昆虫遺伝研究室	5				5	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	
214	1	2	個人				2	2	樹木の衝撃弾性波伝播に関する調査	
215	1	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	定例動物, 植物観察会, 動物, 植物調査会, 記録と報告	
216	1	5	早稲田大学理工学術院			10 (5)		10 (5)	環境モニタリングロボットの長期運用に関する研究	
217	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室	1		1		2	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
218	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室			1		1	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
219	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	外性菌根菌シノコッカムの接種による抵抗性マツの耐塩性付与に関する研究	
220	1	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	3				3	現場の視察, 苗畑, 林地管理作業の協力, 実技試験準備	
221	1	1	個人				3	3	散策	
222	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	1				1	マツ枯れの研究	
223	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	12	2			14	基盤データGIS部門によるGIS指導整備研修	
224	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科製紙科学研究室	1				1	樹木における二酸化炭素同化産物の輸送と材形成に関する研究	
225	1	3	東久留米市立下里中学校				13	13	職場体験(実施前の訪問1/15)	
226	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	8	5			13	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」(準備と実施)	
227	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	2				2	竹加工品の自然教育への利用	

2017年度 全利用者 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
228	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	1			1	2	農業とアートを複合した活動が社会的支援を必要とする人たちに与える効果と影響	
229	1	3	東京大学農学部森林環境資源科学専修		3			3	卒業論文作成にかかる森林技術業務の体験およびGIS研修会参加	
230	1	1	一般個人見学者				60	60	見学	
231	2	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖調査	
232	2	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			2 (2)		2 (2)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
233	2	4	東大農場・演習林の存続を願う会				33	33	定例動物、植物観察会、動物、植物調査会、記録と報告	
234	2	1	早稲田大学理工学術院			1 (1)		1 (1)	環境モニタリングロボットの長期運用に関する研究	
235	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1			1	2	樹幹注入剤が材変色に与える影響	
236	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	5			5	10	産地別のダケカンバ種子の100粒重、発芽率の調査	
237	2	1	東京大学大学院理学系研究科附属植物園育成部	1				1	レバノンシーダー及び同属の種同定のための遺伝子解析	
238	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	6	1			7	基盤データGIS部門によるGIS指導整備研修	
239	2	3	東京大学農学部森林環境資源科学専修		3			3	卒業論文作成にかかる森林技術業務の体験およびGIS研修会参加	
240	2	1	一般個人見学者				40	40	見学	
241	3	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖調査	
242	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			2 (2)		2 (2)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
243	3	1	個人				1	1	樹木の衝撃弾性波伝播に関する調査	
244	3	4	東大農場・演習林の存続を願う会				40	40	定例動物、植物観察会、動物、植物調査会、記録と報告	
245	3	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室	3		3		6	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
246	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	2				2	スギと共生するアーバスキュラー菌根菌に関する研究	
247	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1				1	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
248	3	9	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	9			1	10	産地別のダケカンバ種子の100粒重、発芽率の調査	
249	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	トドマツにおける自殖による色素異常の実態と発現遺伝子の解析	
250	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1				1	スギ苗の水ストレスと伸長成長に関する研究	
251	3	1	千葉県森林インストラクター会				7	7	2018年度野外講座(県外)の第一回目下見	
252	3	1	個人				6	6	見学	
253	3	2	個人	3			3 (2)	6 (2)	見学	
254	3	1	一般個人見学者				100	100	見学	

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 4401

利用件数 254

2017年度 全利用者 生態水文学研究所

演習林名:生態水文学研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	シデコブシの会				9	9	シデコブシの会 定例会	日帰り
2	4	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
3	4	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り
4	4	3	犬山研究林利用者協議会				11	11	ギフチョウとヒメカンアオイの生態観察	日帰り
5	4	3	犬山研究林利用者協議会				10	10	ギフチョウとヒメカンアオイの生態観察	日帰り
6	4	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	ギフチョウとヒメカンアオイの生態観察	日帰り
7	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	豊田市受託プロジェクト実施のため	日帰り
8	4	1	信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設	1				1	気象要因にもとづくコナラ属樹木の空間的な豊凶推定技術の確立	日帰り
9	4	1	犬山市経済環境部環境課				37	37	春のふれあい自然観察会	日帰り
10	4	1	シデコブシの会				28	28	シデコブシの会 総会と植物調査会	日帰り
11	4	1	猿投の森づくりの会				8	8	間伐	日帰り
12	4	1	金城学院大学薬学部薬学科	1				1	H28年度の水質調査のための採水	日帰り
13	4	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	ギフチョウとヒメカンアオイの生態観察	日帰り
14	5	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	ギフチョウとヒメカンアオイの生態観察	日帰り
15	5	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
16	5	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
17	5	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
18	5	2	東京農工大学大学院農学研究科森林・水圏生態学研究室	2				2	溪流に生息する両生類幼生の幼生期間と変態サイズの解明	赤津宿泊施設
19	5	2	シデコブシの会				26	26	「ヨモギ発酵」と「鹿肉のスモ」の講演と実演	赤津宿泊施設
20	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	2	5	4	19	30	平成29年度利用者研究集会・尾張東部自然環境研究者の会	日帰り
21	5	1	金城学院大学薬学部薬学科	1				1	H28年度の水質調査のための採水	日帰り
22	5	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林				31 (31)	31 (31)	インターン	長期滞在者用宿舎
23	6	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林				30 (30)	30 (30)	インターン	長期滞在者用宿舎
24	6	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
25	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	6	37			43	全学体験ゼミナール「人の手で造り管理する森林」	赤津宿泊施設
26	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	4	28			32	教養学部前期課程総合科目「森林資源管理学」フィールドワーク(ダムと森林)	赤津宿泊施設
27	6	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
28	6	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り
29	6	1	豊田森林組合総務課とよた森林学校事務局				41	41	とよた森林学校 森林セミナー	日帰り
30	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	6	48			54	森林保全学実習「森林と土砂と溪流の実習 -山から川に流れ出る土砂を測ろう-」	赤津宿泊施設
31	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	6	3			9	公開森林実習「森林と土砂と溪流の実習」	赤津宿泊施設
32	6	1	シデコブシの会				3	3	シデコブシの会 打ち合わせ	日帰り

2017年度 全利用者 生態水文学研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
33	6	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所				6	6	森の健康診断データ入力	日帰り
34	6	1	金城学院大学薬学部薬学科	1				1	H29年度の水質調査のための採水	日帰り
35	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	3				3	森林AI研究会の研究打ち合わせ	赤津宿泊施設
36	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	3				3	森林AI研究会の研究打ち合わせ	日帰り
37	7	1	矢田・庄内川をきれいにする会				4	4	白藤川水生昆虫等予備調査	日帰り
38	7	1	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻・環境デザイン研究室	3				3	簡易散水装置を用いた緑地の雨水浸透機能評価	日帰り
39	7	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
40	7	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	定例自主活動	日帰り
41	7	1	猿投の森づくりの会				22	22	緑陰講座(赤津研究林現地見学会)	日帰り
42	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	岡崎市の豊田大洞サイト視察への対応	日帰り
43	7	1	犬山研究林利用者協議会				3	3	定例自主活動	日帰り
44	8	1	信州大学総合理工学研究科専攻生物学コース高橋研究室	1				1	標高傾度に応じた植物群集の形成メカニズム	日帰り
45	8	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
46	8	1	信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設	1				1	気象要因にもとづくコナラ属樹木の空間的な豊凶推定技術の確立	日帰り
47	8	1	矢田・庄内川をきれいにする会				25	25	赤津研究林の見学モデルコース見学と白藤川での魚・水生昆虫採取	日帰り
48	8	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
49	8	1	シデコブシの会				9	9	シデコブシの会 植物調査会	日帰り
50	8	1	犬山研究林利用者協議会				9	9	定例自主活動	日帰り
51	8	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	定例自主活動	日帰り
52	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	5	85	10		100	測量学実習	赤津宿泊施設
53	8	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林				31 (31)	31 (31)	研究の指導を受けるため	長期滞在者用宿舎
54	9	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
55	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	3 (3)	15 (15)	15 (15)		33 (33)	さくらサイエンスプログラム 台湾大学サマースクール	赤津宿泊施設
56	9	2	愛知教育大学教育学部初等教育教員養成課程理科選修		9			9	猿投山北断層(瀬戸市北白坂地区)における極浅層反射法地震探査	日帰り
57	9	1	犬山研究林利用者協議会				11	11	定例自主活動	日帰り
58	9	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り
59	9	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	定例自主活動	日帰り
60	9	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林				30 (30)	30 (30)	研究の指導を受けるため	長期滞在者用宿舎
61	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	3				3	360度カメラを用いたコウモリ類の撮影に関する技術的手法の確立とVR技術への応用	赤津宿泊施設
62	10	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り

2017年度 全利用者 生態水文学研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
63	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	12				12	平成29年度東海地区演習林技術職員研修	赤津宿泊施設
64	10	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り
65	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室	1		1		2	放置竹林林縁における地下茎の伸長と環境に関する調査	日帰り
66	10	1	日進岩藤川自然観察会				6	6	みちかな自然観察会下見	日帰り
67	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	2		2 (2)		4 (2)	さくらサイエンスプランによる海外若手研究者の研修	赤津宿泊施設
68	10	1	犬山研究林利用者協議会				10	10	定例自主活動	日帰り
69	10	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	ギフチョウの生育環境の視察案内	日帰り
70	10	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	定例自主活動	日帰り
71	11	1	愛日緑化造園株式会社				17	17	森の循環を学ぶツアー	日帰り
72	11	2	岐阜県森林組合連合会森林整備部				6	6	森林生態系多様性基礎調査	日帰り
73	11	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
74	11	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り
75	11	1	犬山研究林利用者協議会				12	12	定例自主活動	日帰り
76	11	1	日進市役所				7	7	つつしんESD事業 みちかな自然観察会第4回	日帰り
77	11	1	シデコブシの会				12	12	シデコブシの会 巣箱内巣材調査と標石ツアー反省会	日帰り
78	11	1	犬山市経済環境部環境課				19	19	秋のふれあい自然観察会	日帰り
79	11	1	名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻				17	17	2017年度組織と材質研究会・「樹木年輪」研究会エクスカージョン・「成長錘コア自動採取装置」講習会	日帰り
80	11	1	猿投の森づくりの会				8	8	間伐	日帰り
81	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	とよた森林学校講座開催のための下見	日帰り
82	11	1	豊田森林組合総務課とよた森林学校事務局				20	20	とよた森林学校 森林と水資源と山地災害	日帰り
83	12	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
84	12	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会 標石ツアー	日帰り
85	12	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り
86	12	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	センサーカメラデータ回収	日帰り
87	12	1	犬山研究林利用者協議会				2	2	センサーカメラデータ回収	日帰り
88	12	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り
89	12	1	猿投の森づくりの会				8	8	間伐	日帰り
90	1	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	1	36	1		38	生物環境科学基盤実験実習	日帰り
91	1	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
92	1	1	大阪府立大学人間社会システム科学研究科	1				1	犬山研究林における砂防工事跡地見学	日帰り
93	1	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り
94	1	1	猿投の森づくりの会				9	9	間伐	日帰り
95	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態学研究室	1		1		2	放置竹林林縁における地下茎の伸長と環境に関する調査	日帰り
96	1	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 見学コースルート整備	日帰り

2017年度 全利用者 生態水文学研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
97	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所				20	20	せと環境塾認定講座「日本遺産のストーリー:やきものの風景with東大演習林」エクスカージョン	日帰り
98	1	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	定例自主活動	日帰り
99	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	基盤データ整備委員会GIS部門 平成29年度GIS短期派遣研修	五位塚宿泊施設
100	1	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	センサーカメラデータ回収	日帰り
101	2	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2				2	基盤データ整備委員会GIS部門 平成29年度GIS短期派遣研修	五位塚宿泊施設
102	2	21	マレーシアサバ大学				42 (42)	42 (42)	インターン	五位塚宿泊施設
103	2	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
104	2	1	猿投の森づくりの会				10	10	間伐	日帰り
105	2	1	シデコブシの会				3	3	シデコブシの会 打ち合わせ	日帰り
106	2	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り
107	2	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
108	2	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	センサーカメラデータ回収	日帰り
109	2	3	東京大学教養学部	3	54 (6)			57 (6)	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	赤津宿泊施設
110	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	3				3	造園学会中部支部サマースタジオ2018にむけた視察	日帰り
111	3	31	マレーシアサバ大学		31 (31)			31 (31)	インターン	長期滞在者用宿舎
112	3	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
113	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	3 (3)		1 (1)		4 (4)	JSPS-C2Cプロジェクトシンポジウムの現地見学	日帰り
114	3	1	犬山研究林利用者協議会				10	10	定例自主活動	日帰り
115	3	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	センサーカメラデータ回収	日帰り
116	3	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り
117	3	1	名古屋経済大学市邨高等学校中学校	3			8	11	森の観察と木の測定実習	日帰り
118	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	22 (22)				22 (22)	試験地見学	赤津宿泊施設
119	3	3	早稲田大学高等学院	3			18	21	理科部生物班による森林実習	赤津宿泊施設

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 1395

利用件数 119

2017年度 全利用者 富士癒しの森研究所

演習林名:富士癒しの森研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	八幡幼稚園				4	4	遠足の下見	日帰り
2	4	1	しおじの会				2	2	観察会下見	日帰り
3	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	4				4	円板資料の整理	外部宿泊施設
4	4	1	個人				3	3	長池地区に設置するベンチ用材の下見	日帰り
5	4	1	個人				2	2	木材搬出	日帰り
6	4	1	NPO法人アースバウンダー				3	3	山中湖村宿泊施設に滞在する中学生を対象とした環境教育プログラム実施のための下見	日帰り
7	4	1	NPO法人アースバウンダー	8			70	78	山中湖村宿泊施設に滞在する中学生を対象とした環境教育プログラム実施のため	日帰り
8	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	4			6	10	講義室打ち合わせ	日帰り
9	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	7	2		31	40	富士五湖フットバス見学	外部宿泊施設
10	4	1	個人				2	2	木材搬出	日帰り
11	4	1	個人				2	2	木材搬出	日帰り
12	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	17			15	32	春の特別ガイド「春の彩りを訪ねて」	日帰り
13	4	1	個人				2	2	木材搬出	日帰り
14	4	1	NPO法人アースバウンダー				3	3	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のための下見	日帰り
15	4	1	NPO法人アースバウンダー	10			150	160	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のため	外部宿泊施設
16	4	1	富士河口湖町地域おこし協力隊				1	1	特別ガイド「春の彩りを訪ねて」の見学	日帰り
17	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	10	40			50	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	山中寮内藤セミナーハウス
18	5	1	個人				4	4	長池地区に設置するベンチ用材の下見	日帰り
19	5	1	ドッグリゾートワフ	3			36	39	湖畔への通行, 横断	外部宿泊施設
20	5	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
21	5	1	個人				7	7	長池地区細割サイクルロード上の藤棚柵の補修	日帰り
22	5	1	NPO法人山中湖自然研究会				11	11	親睦会と自然観察	日帰り
23	5	1	ドッグリゾートワフ	3			34	37	湖畔への通行, 横断	日帰り
24	5	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
25	5	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
26	5	1	個人				2	2	警察犬訓練	外部宿泊施設
27	5	1	個人				1	1	警察犬訓練	日帰り
28	5	1	山中湖村役場				11670	11670	第37回スポニチ山中湖ロードレース大会に伴う参加者の利用スペースとして	日帰り
29	5	1	山中湖村役場				1	1	第37回スポニチ山中湖ロードレース大会に伴う参加者の利用スペースにロープ設置	日帰り
30	5	1	山中湖村役場				2	2	第37回スポニチ山中湖ロードレース大会に伴う利用予定地の確認	日帰り
31	5	1	ドッグリゾートワフ	3			33	36	湖畔への通行, 横断	外部宿泊施設
32	5	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
33	6	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
34	6	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
35	6	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
36	6	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り

2017年度 全利用者 富士癒しの森研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
37	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1		3		4	森林生態圏管理学特論	日帰り
38	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	8	44			52	総合科目「森林環境資源学(森と癒し)」フィールドワーク	山中寮内藤セミナーハウス
39	6	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
40	6	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
41	6	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
42	6	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
43	6	1	NPO法人アースバウンダー				3	3	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のための下見	日帰り
44	6	1	NPO法人アースバウンダー				3	3	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のための下見	日帰り
45	6	1	個人				2	2	薪原木搬出	日帰り
46	6	1	個人				2	2	薪原木搬出	日帰り
47	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林風致計画学研究室	1	7	2		10	農学部4年「環境設計演習」における現地実習	日帰り
48	6	1	聖ヨゼフ学園小学校	7			68	75	体験学習 グループ活動	外部宿泊施設
49	6	2	日黒星美学園小学校	18			234	252	自然観察	外部宿泊施設
50	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2			1 (1)	3 (1)	インターンシップ学生による見学	富士山中宿泊施設
51	6	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
52	6	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
53	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2				2	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会」遠隔講義	日帰り
54	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2			1 (1)	3 (1)	インターンシップ学生による見学	日帰り
55	7	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
56	7	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
57	7	1	神奈川大学理学部生物科学科・丸田恵美子教授研究室	1	4			5	9月の野外実習の下見	日帰り
58	7	1	神奈川大学理学部生物科学科・丸田恵美子教授研究室	1				1	ジャニンジン <i>Cardamine impatiens</i> のDNA解析用サンプルと種子を採取するため	日帰り
59	7	1	渋谷区立上原中学校	9			86	95	山中湖畔の自然観察	日帰り
60	7	1	千葉県森林インストラクター会				7	7	野外講座のルート下見	日帰り
61	7	1	丸山幼稚園	16			57	73	休憩・昼食・散策	日帰り
62	7	1	丸山幼稚園	16			60	76	休憩・昼食・散策	日帰り
63	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	4	14 (2)			18 (2)	フィールド科学専修 森圏管理学実験	外部宿泊施設
64	7	2	八幡幼稚園	36			128	164	夏季保育(宿泊)に伴い湖畔の自然に触れる	外部宿泊施設
65	7	1	千葉県森林インストラクター会				49	49	千葉県森林インストラクター会野外講座	日帰り
66	7	1	ルイス&クラーク大学歴史学科	2 (2)	12 (11)		1	15 (13)	ルイス&クラーク大学 日本・富士山研修	日帰り
67	7	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
68	7	1	東京大学運動会馬術部		5			5	馬術部夏季合宿下見のため	日帰り
69	7	3	茨城大学教育学部理科教育教室	3				3	日本新産植物病原菌の調査及びサンプル採取	外部宿泊施設
70	7	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
71	7	2	全国地蜂連合会	2			7	9	クロスズメバチのサンプル採捕	富士山中宿泊施設
72	7	2	岐阜県立恵那農業高等学校	2			8	10	ゼミ参加及びクロスズメバチの調査	富士山中宿泊施設
73	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	12	20			32	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(夏)」	山中寮内藤セミナーハウス

2017年度 全利用者 富士癒しの森研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
74	7	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
75	7	1	東京大学運動会馬術部		3			3	馬房の底上げ	日帰り
76	7	1	個人				2	2	林内散策	日帰り
77	7	1	NPO法人アースバウンダー	3			1	4	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のための下見	日帰り
78	7	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
79	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	6	65	15		86	森林動物学実験	山中寮内藤セミナーハウス
80	8	1	個人				4	4	林内見学	日帰り
81	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	6	2			8	国際開発農学専修「国際農学実験・実習1個別実験」	外部宿泊施設
82	8	1	東京大学空間情報科学研究センター	8			1	9	自然体験と気候変動学習を省察的に繋ぐ定点連日写真と常時録音(科研・若手B)「森からみえる」(竜王小学校)実践授業の下見	日帰り
83	8	1	昭和大学富士吉田教育部生物学教室	1				1	蜂の巣採取	日帰り
84	8	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
85	8	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
86	8	15	東京大学運動会馬術部		409	28		437	夏季合宿のため	山中寮内藤セミナーハウス
87	8	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
88	8	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
89	8	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
90	8	3	National Taiwan University	3 (3)		6 (6)	3 (3)	12 (12)	360度カメラを用いた森林環境の映像記録	山中寮内藤セミナーハウス
91	8	1	個人				5	5	見学, 散策	日帰り
92	8	1	NPO法人アースバウンダー	3			1	4	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のための下見	日帰り
93	8	1	聖ヨゼフ学園小学校	4				4	体験学習の下見	日帰り
94	8	1	昭和大学富士吉田教育部生物学教室	1				1	蜂の巣採取	日帰り
95	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻林政学研究室	16	44	4		64	森林政策学演習の実習	山中寮内藤セミナーハウス
96	8	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
97	9	1	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻	3				3	工学部社会基盤学科の必須授業「フィールド演習」の下見	日帰り
98	9	4	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻	56	204			260	工学部社会基盤学科の必修授業「フィールド演習」の対象地として利用	山中寮内藤セミナーハウス
99	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	6	3			9	学生の体験活動プログラム「癒しの森の森林管理」	富士山中宿泊施設
100	9	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
101	9	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
102	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1 (1)		10 (10)		11 (11)	国立台湾大学サマープログラム	外部宿泊施設
103	9	1	独立行政法人国立環境研究所	4		1	1 (1)	6 (1)	富士癒しの森研究所の諸施設見学および研究打ち合せ	日帰り
104	9	1	個人				3	3	森の雰囲気を見たい	日帰り
105	9	1	渋谷区立長谷戸小学校	4			28	32	山中湖畔の見学, 散策	日帰り
106	9	1	しおじの会				8	8	貴所見学及びガイダンス	日帰り
107	9	1	渋谷区立常磐松小学校	5			29	34	自然観察	外部宿泊施設
108	9	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
109	9	1	神奈川大学理学部生物科学科・丸田恵美子教授研究室	4	26	1		31	特別実習(学部2年生)	外部宿泊施設
110	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				17	17	第3回癒しの森の植生調査隊	日帰り
111	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	東京農業大学竹内啓恵さん学内教室系技術職員研修打ち合せおよび下見	日帰り

2017年度 全利用者 富士癒しの森研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
112	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				2	2	ホールアース自然学校の学内教室系技術職員研修打ち合わせおよび下見	日帰り
113	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				2	2	ホールアース自然学校連携について打ち合わせ	日帰り
114	9	1	渋谷区立富谷小学校	9			68	77	移動教室のため	外部宿泊施設
115	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	6	4			10	国際開発農学専修「国際農学実験・実習1個別実験」	山中寮内藤セミナーハウス
116	9	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
117	9	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
118	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	27			13	40	特別ガイド「キノコに親しむ」	日帰り
119	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				4	4	第3回癒しの森の植生調査隊 追加調査	日帰り
120	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林利用学研究室		4	2		6	歩道の散策(セラピー)	日帰り
121	9	1	樹木観察会やまぼうし				13	13	林内の見学及び植物観察	外部宿泊施設
122	9	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
123	9	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
124	9	2	聖ヨゼフ学園小学校	10			136	146	体験学習活動	外部宿泊施設
125	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	演習林基盤GIS部門の研修のための資料撮影	日帰り
126	10	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
127	10	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
128	10	1	NPO法人アースバウンダー				4	4	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のための下見	日帰り
129	10	1	NPO法人アースバウンダー	10			65	75	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のため	外部宿泊施設
130	10	2	個人				2	2	自炊宿舎利用	外部宿泊施設
131	10	1	全国地蜂連合会	2				2	クロスズメバチのサンプル採取	日帰り
132	10	1	東京大学空間情報科学研究センター	7		1	80	88	森林教育研究の一環としての竜王小学校5年生による森林体験学習の実施	日帰り
133	10	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	8	1	28 (28)	6 (5)	43 (33)	環境調和特別講習「農林畜水産業と環境負荷」及び「農林水畜産業と生態系攪乱」での見学	外部宿泊施設
134	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	10	42 (4)			52 (4)	全学体験セミナー「危険生物の知識(秋編)」	山中寮内藤セミナーハウス
135	10	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
136	10	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
137	10	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
138	10	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
139	10	1	NPO法人山中湖自然研究会				6	6	親睦会と自然観察	日帰り
140	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	14				14	平成29年度教室系技術職員研修「労働ストレスの管理と回復のための活動および回復環境について学ぶ」	富士山中宿泊施設
141	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	24			1	25	平成29年度教室系技術職員研修「労働ストレスの管理と回復のための活動および回復環境について学ぶ」	山中寮内藤セミナーハウス
142	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	12	27			39	全学体験セミナー「森林の魅力をマッピング～GPSを使ったオリジナル地図づくり」	山中寮内藤セミナーハウス
143	11	2	山梨県高等学校体育連盟ヨット専門部(県立富士北稜高等学校)				300	300	平成29年度関東高等学校選抜ヨット大会開催のため	外部宿泊施設

2017年度 全利用者 富士癒しの森研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
144	11	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻自然環境景観学分野斎藤研究室			2 (2)		2 (2)	研究テーマ:サウンドスケープに関する環境教育教材の開発～富士癒しの森を事例に～	外部宿泊施設
145	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	12		2	8 (8)	22 (8)	森林圏生態社会学演習	山中寮内藤セミナーハウス
146	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	8				8	基盤GIS部門技術指導者研修	山中寮内藤セミナーハウス
147	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	エゾマツにおけるコンテナ苗と裸苗の活着比較	日帰り
148	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4				4	基盤GIS部門技術指導者研修	日帰り
149	12	1	一般社団法人海外環境協力センター	3		1	22 (12)	26 (12)	日中韓三カ国黄砂共同研究会合による視察	外部宿泊施設
150	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	18	24			42	総合科目「癒しの森と地域社会(冬)」	山中寮内藤セミナーハウス
151	12	1	神奈川大学理学部生物科学科・丸田恵美子教授研究室	1				1	試料採取	日帰り
152	12	1	個人				2	2	薪原木搬出	日帰り
153	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	4	2			6	学生の体験活動プログラム「癒しの森の森林管理」	山中寮内藤セミナーハウス
154	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	エゾマツにおけるコンテナ苗と裸苗の活着比較	日帰り
155	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				10	10	小型チップパー デモンストレーション	日帰り
156	1	1	(国研)物質・材料研究機構構造材料研究拠点腐食特性グループ	1			1	2	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
157	1	1	筑波大学生命環境系水文学科リサーチユニット	1	1	2		4	気象データの取得場所, 計測方法などの見学	日帰り
158	1	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	9	15			24	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	山中寮内藤セミナーハウス
159	1	1	(株)微動学舎				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
160	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	17			12	29	特別ガイド「冬の散歩みち」	富士山中宿泊施設
161	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2				2	円板資料の整理	日帰り
162	3	1	長池フットパス協会				3	3	長池地区に設置するベンチ用材搬出先の確認	日帰り
163	3	1	(株)微動学舎				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
164	3	1	長池フットパス協会				2	2	長池地区に設置するベンチ用材搬出のため	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 15463

利用件数 164

演習林名:樹芸研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	(株)メリーチョコレートカムパニー				3	3	カカオの視察	日帰り
2	4	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科造林学教室	1	2			3	クスノキ人工林内の環境条件が下層木および天然更新に及ぼす影響	日帰り
3	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻材料・住科学講座木材物理学研究室	2		2 (2)		4 (2)	コウヨウザンの乾燥に関わる物性の評価	外部施設泊
4	4	1	一般				9	9	温室植物見学	日帰り
5	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	山地河道の水理特性解明に向けた調査	日帰り
6	5	1	(株)東京大学TLO				5	5	温室パニラの見学, 特許出願に関する打合せ	日帰り
7	5	2	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科造林学教室		7		2	9	クスノキ人工林内の環境条件が下層木および天然更新に及ぼす影響	外部施設泊
8	5	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
9	6	1	アロマギフト				1	1	各種植物の精油と製品化, 成分データについて	日帰り
10	6	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
11	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻材料・住科学講座木材物理学研究室			2 (2)		2 (2)	コウヨウザンの乾燥に関わる物性の評価	外部施設泊
12	7	1	小畑産業株式会社事業開発プロジェクト				1	1	温室植物見学, カカオ栽培法について	日帰り
13	7	1	南伊豆町商工観光課				6	6	サテライトオフィス事業に関する調査	日帰り
14	7	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
15	8	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		12			12	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
16	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		25			25	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・1」	スポーティア下賀茂
17	8	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		6			6	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
18	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		55			55	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・2」	スポーティア下賀茂
19	8	3	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科造林学教室		6			6	クスノキ人工林内から影響を受ける中木層の環境条件による生育状態の違い	外部施設泊
20	8	1	一般				5	5	温室植物見学	日帰り
21	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	8	88			96	森林実習	スポーティア下賀茂
22	9	3	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科造林学教室	1	16			17	クスノキ人工林内から影響を受ける中木層の環境条件による生育状態の違い	外部施設泊
23	9	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		10			10	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
24	9	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		25			25	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・3」	スポーティア下賀茂
25	9	1	アロマギフト				2	2	国産のユーカリ, クスノキの精油成分抽出	日帰り
26	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		12			12	体験活動プログラム「南伊豆という地域との連携に学ぶ」	加納事務所休憩施設
27	10	1	静岡県賀茂農林事務所農山村整備部	3			3	6	ユーカリ造林地の見学	日帰り
28	10	1	伝統工芸木炭生産技術保存会				2	2	アブラギリに関する搾油の研究および林地の見学	日帰り

2017年度 全利用者 樹芸研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
29	10	1	一般				5	5	狩猟下見	日帰り
30	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	3			22	25	公開講座「チョコレートづくりを体験しよう」	日帰り
31	10	1	一般				14	14	温室植物見学	日帰り
32	11	1	時事通信社文化特信部				2	2	カカオの撮影	日帰り
33	11	2	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科造林学教室		12			12	クスノキ人工林内から影響を受ける中木層の環境条件による生育状態の違い	外部施設泊
34	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	山地河道の水理特性解明に向けた調査	日帰り
35	11	10	一般				50	50	狩猟	日帰り
36	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	3				3	4-5林班長期生態系プロットにおけるカシナガ穿入調査	スポーツア下賀茂
37	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2				2	植物標本整理の協力	スポーツア下賀茂
38	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	44				44	平成29年度技術職員等試験研究・研修会議	スポーツア下賀茂
39	12	1	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科	1				1	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	日帰り
40	12	1	(株)メリーチョコレートカムパニー				1	1	パニラの収穫、醗酵補助	日帰り
41	12	10	一般				50	50	狩猟	日帰り
42	1	1	滝口木材株式会社				1	1	岩樟園クスノキ林見学	日帰り
43	1	9	一般				45	45	狩猟	日帰り
44	1	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		6			6	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
45	1	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		100			100	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	スポーツア下賀茂
46	2	2	横浜国立大学環境情報学府環境リスクマネジメント専攻			2		2	森林の特性に伴う枯死木依存性甲虫群集の変化	外部施設泊
47	2	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		6			6	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
48	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	5	95			100	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	スポーツア下賀茂
49	2	2	森林総合研究所立地環境研究領域養分動態研究室	6				6	ユーカリ林等の土壌調査	外部施設泊
50	2	7	一般				35	35	狩猟	日帰り
51	2	1	一般				5	5	温室植物見学	日帰り
52	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	5				5	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	スポーツア下賀茂
53	3	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		12			12	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
54	3	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		55			55	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	スポーツア下賀茂
55	3	1	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科	2				2	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	日帰り
56	3	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科造林学教室	1	2			3	クスノキ人工林内から影響を受ける中木層の環境条件による生育状態の違い	日帰り
57	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	1			1	2	アドバイザー視察	日帰り
58	3	1	一般				4	4	曾田香料(株)創業100年誌発行に伴う基礎資料として	日帰り

2017年度 全利用者 樹芸研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
59	3	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		12			12	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
60	3	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		70			70	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ－熱帯植物編－」	スポーティア下賀茂
61	3	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	4				4	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ－熱帯植物編－」	スポーティア下賀茂
62	3	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
63	3	1	一般				3	3	温室植物見学	日帰り
64	3	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		6			6	体験活動プログラム「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」	加納事務所休憩施設

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 1033

利用件数 64

■各演習林所在地および連絡先■

企画部・教育研究センター

〒113-8657
東京都文京区弥生1-1-1
電話 03-5841-5497
FAX 03-5841-5494

千葉演習林

〒299-5503
千葉県鴨川市天津770
電話 04-7094-0621
FAX 04-7094-2321
清澄作業所
〒299-5505
千葉県鴨川市清澄135
電話 04-7094-0585
札郷作業所
〒292-0537
千葉県君津市黄和田畑字前沢1442-1
電話 0439-39-3122
郷台作業所
〒292-0533
千葉県君津市折木沢字相ノ沢

北海道演習林

〒079-1563
北海道富良野市山部東町9番61号
電話 0167-42-2111
FAX 0167-42-2689
山部樹木園
〒079-1582
北海道富良野市字山部第一苗圃
電話 0167-39-6017
セミナーハウス
〒076-0161
北海道富良野市字麓郷市街地1
電話 0167-42-2111

田無演習林

〒188-0002
東京都西東京市緑町1-1-8
電話 042-461-1528
FAX 042-461-2302

秩父演習林

〒368-0034
埼玉県秩父市日野田町1-1-49
電話 0494-22-0272
FAX 0494-23-9620
栃本作業所
〒369-1901
埼玉県秩父市大滝3450-2
電話 0494-55-0355
FAX 0494-55-0355
大血川作業所
〒369-1901
埼玉県秩父市大滝5198
電話 0494-54-1220
影森苗畑
〒369-1871
埼玉県秩父市下影森764
電話 0494-23-9768

生態水文学研究所

〒489-0031
愛知県瀬戸市五位塚町11-44
電話 0561-82-2371
FAX 0561-85-2838
赤津作業所
〒489-0014
愛知県瀬戸市北白坂町1-1
電話 0561-21-1185
犬山作業所
〒484-0094
愛知県犬山市塔野地字大畔178-2

富士癒しの森研究所

〒401-0501
山梨県南都留郡山中湖村山中341-2
電話 0555-62-0012
FAX 0555-62-4798

樹芸研究所

〒415-0304
静岡県賀茂郡南伊豆町加納457
電話 0558-62-0021
FAX 0558-62-3170
青野作業所
〒415-0327
静岡県賀茂郡南伊豆町青野851
電話 0558-62-0254

演習林年報

平成30年7月31日

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
文京区弥生1丁目1番1号

印刷・製本 明誠企画株式会社

